

mitsubishi

三菱カーナビゲーションシステム

形名

NR-MZ80 シリーズ

取扱説明書

DIATONE SOUND.NAVI



milleoosense Lane Assist openinfo PremiDIA



Made for



ごあいさつ

この度は本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本製品の機能を十分に活かして正しくお使いいただくために、また安全運転のため、ご使用前に「取扱説明書」・「取付要領書」をよくお読みの上、正しくお使いください。

「取扱説明書」はお読みになった後、「保証書」・「お客様相談窓口一覧表」と共にいつでも見られるところに大切に保管し、わからないことや不具合が生じたときにもう一度ご覧ください。

本製品を譲られるときは、次に所有される方のために本製品に、本取扱説明書を付けてお譲りください。

！注意



- 初期設定 (P29) が完了するまで音を出さないでください。
スピーカー破損の原因となります。

Index

Intro.

ご使用前に	5
お客様へ安全上のご注意	9
本書のみかた	13

基本操作	14
本機について	14
タッチ操作のしかた	20
ドライビングリモコンについて	21
各メニュー画面について	22

AV

Sound Settings	29
初期設定	29
システム構成図	31
音質の設定を変更する	38

オーディオ機能について	49
基本操作	49
ディスクの取り扱いについて	52
音楽ファイル (MP3/WMA/AAC/WAV)について	55

ラジオ / 交通情報	61
ラジオを聞く	61
交通情報を聞く	65

DISC	66
音楽CDを聞く	66
ディスクの音楽ファイルを聞く	73
DVDビデオを見る	77

SD/MusicFolder	88
SDカードの曲を聞く	88
MusicFolderに録音する	93
MusicFolderを聞く	95

iPod/USBメモリ 111

接続する	111
iPodを再生する	112
USBデバイスの曲を聞く	118

TV 123

テレビ機能について	123
テレビを見る	125
放送局を探す	131
好みの放送局を登録する	134
情報を確認する	137
その他の操作	139

外部入力機器 142

Bluetooth Audioを使う	142
AUXを使う	146
Blu-rayを見る	147
HDMIの映像を見る	148

NAVI

基本操作	152
ナビゲーション機能について	152
ナビ画面について	155
文字入力のしかた	160
地図画面を選択する	164
案内表示について	167
地図を操作する	170
地点メニューからの操作	172
レーンアシストを使う	175
高速道路情報について	178

目的地の設定 181

自宅を目的地に設定する	181
探した場所を目的地に設定する	182
場所を探す	183
探索条件設定画面について	195
観光ルートを設定する	196

ルートの確認・変更	197	Other	
ルートの確認	197	困ったときは	307
ルートの変更	200	用語解説	318
登録地の設定	208	地上デジタルTV放送の チャンネル一覧表	325
自宅を登録する	208	その他の機器への接続について	328
登録地を設定する	209	ソフトウェアについて	329
登録地を変更する	211	仕様	331
VICS機能	216	保証とアフターサービス	333
VICSについて	216	用語索引	334
交通情報を調べる	221		
VICSによる自動処理	225		
VICS局を選ぶ	226		
DSRC機能	227		
DSRCサービスとは	227		

INFO

各種情報を確認する	231
工コ情報を確認する	231
ETC情報を確認する	235
電話を使う	239
カメラを使う	247
FM文字情報を見る	250
地図データを更新する	255
メンテナンス情報を確認する	257
バージョンを確認する	261
本機の設定	264
設定を変更する	264
NAVIの設定	265
AVの設定	274
INFOの設定	280
システムの設定	293
TVの設定	300
その他の設定	304

Intro.

あらかじめ知っておいていただきたいことについて説明します。

ご使用前に	5
免責事項について	5
ご使用上の注意	6
共通	6
テレビ機能	6
iPod/iPhone 再生機能(オプション)	7
OpenInfoについて	7
走行中の操作制限について	7
お手入れのしかた	7
商標について	7
お客様へ安全上のご注意	9
取付・配線時などのご注意	11
本書のみかた	13
基本操作	14
本機について	14
本体パネルについて	14
パネルが閉じているとき	14
パネルが開いているとき	15
オーディオソース別の動作について	16
起動する	16
SDカードについて	17
取り扱い上のご注意	17
保管上のご注意	17
SDカードを挿入する	18
地図カードの場合	18
音楽用SDカードの場合	18
SDカードを取り出す	19
地図カードの場合	19
音楽用SDカードの場合	19
タッチ操作のしかた	20
~にタッチするとき	20
リストから項目を探すとき	20
タブスイッチがあるとき	20
ドライビングリモコンについて	21
各メニュー画面について	22
AVメニュー	22
NAVIメニュー	23
INFOメニュー	24

ご使用前に

免責事項について

- ・火災、地震、津波、洪水などによる自然災害、第三者による行為、その他の事故、お客さまの故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、三菱電機は一切の責任を負いません。
- ・お客さま、または第三者が本機の使用を誤ったとき、静電気・電気的なノイズの影響を受けたとき、または故障・修理のときなどに本機に登録されていた情報（登録地など）や録音した音楽データが変化・消失した場合、その内容の補償はできません。大切な情報は万一に備えてメモなどを取っておくことをおすすめいたします。
- ・本製品に入力した個人情報（登録地の住所や電話番号など）は本機を取り外してもメモリーに残っている場合があります。他人に譲り渡す、または処分などされる際は、プライバシー保護のため個人情報の取り扱い、管理（消去など）は、必ずお客さまの責任において行ってください。三菱電機は一切の責任を負いません。
本製品を譲渡または廃棄される場合には、「メモリ初期化」(P295) の[本機の初期化]をすることをおすすめします。
また、OpenInfo サービスをご利用になっている場合は、退会手続きを行ってください。
- ・本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、記録内容の変化・消失など）に関して、三菱電機は一切の責任を負いません。
- ・表示される地図はデータ作成時点の関連で現状と異なる場合があります。また、地図データ不備による損害に関して、三菱電機は一切の責任を負いません。
- ・本製品には交通規制データが収録されていますが交通規制の変更などにより実際の交通規制と異なる場合があります。必ず実際の交通規制に従って走行してください。なお、交通規制データ不備による交通事故や交通違反の損害に関して、三菱電機は一切の責任を負いません。

- ・地図データの不備などで返品・返金・交換・改造などはできかねます。
- ・地図データがお客さまの特定の目的に適合しない場合があります。
- ・地図データの内容は予告なく変更される場合があります。
- ・地図データは誤字・脱字・位置ずれなどがある場合があります。
- ・ルート案内や右左折などの音声案内時、実際の標識や交通規制と異なる案内をする場合があります。必ず実際の標識や交通規制に従って走行してください。
- ・仕様および外観は改良のため予告なく変更されることがあります。そのため取扱説明書の内容と異なる場合がありますが返品・返金・交換・改造などはできかねますのであらかじめご了承ください。
- ・本取扱説明書では数種類の機種内容を共用で説明しています。機種によっては記載されていても使用できない機能や別売の機器が必要な場合がございます。あらかじめご了承ください。
- ・取扱説明書で使用している画像やイラストは開発中のもの、もしくは説明用に作成したもので、実際のものと異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。
- ・本製品に添付の保証書は当該製品をバス、タクシー、トラックなどの車両へ使用した場合、適用対象にはなりません。
- ・本製品に記憶されたお客さまの登録情報など、またすべての情報の変化、消失した場合の損害や不利益について、アフターサービスも含め、三菱電機は一切責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
- ・本製品は国内専用です。海外では使用できません。

ご使用上の注意

■ 共通

- 操作するために、エンジンをかけたまま車庫など周囲が囲まれた換気の悪い場所に停車しないでください。排気ガスにより、ガス中毒になる恐れがあります。
- 安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。また、運転者が画面を見るときは必要最小限の時間にとどめてください。画面に気を取られて思わぬ事故につながる恐れがあります。
- 運転中は車外の音が聞こえる程度の音量でお使いください。車外の音が聞こえない状態で運転すると思わぬ事故につながる恐れがあります。
- 分解や改造をしないでください。故障や発煙、発火の原因になります。
- 緊急を要する施設（病院・消防署・警察署など）の検索や施設までの案内については、本製品への依存を避け該当施設へ直接問い合わせてください。
- 操作するときは、駐停車禁止区域以外の安全な場所に停車してください。
- エンジンをかけずに本製品を使用し続けた場合、車両のバッテリーが消耗しエンジン始動ができない恐れがあります。
必ずエンジンをかけた状態で使用してください。
- 以下のようなときは、液晶画面特有の現象ですので故障ではありません。

- » 画面に小さな黒点、輝点（赤、青、緑）がある。
- » 寒冷時など、画面の動きが遅い。
- » 高温時など、画面が暗いときがある。
- » 画面を見る角度によって、色あいや明るさに違いがある。

- 液晶画面の性質上、見る角度によって画質が異なります。はじめてお使いのときは画質の調整を行ってください。
- 市販の液晶保護フィルムなどを画面に貼るとタッチパネル操作に支障がでる恐れがあります。
- 鋭利なもの（ペン先・つめの先など）でタッチパネル操作を行うと画面に傷が付く場合や損傷して誤動作する場合があります。

- 手袋などを着けたままタッチパネル操作を行うと誤動作の原因となります。
- 画面の汚れを取るときは、やわらかい布で拭き取ってください。ベンジン、シンナー、帯電防止剤、化学ぞうきんなどは使用しないでください。画面を傷つける恐れがあります。
- 本製品は、著作権保護技術を採用しており、Rovi Corporation およびその他の著作権者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、Rovi Corporation の許可が必要で、また、Rovi Corporation の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の鑑賞用以外には使用できません。分解や改造することも禁じられています。

■ テレビ機能

- 本製品は、BS デジタル放送、110 度 CS デジタル放送には対応しておりません。
- 本製品はデータ放送には対応しておりません。
- 走行状態により受信異常が発生したときや、移動中に電波の受信状態が悪くなったりしたときは、次のような現象が起きる場合があります。
» 映像や音声にノイズが発生する。
» 映像や音声が途切れる。
- パワーウィンドウ、ワイパー、電動ミラー、エアコンファンなどの車両電装品を作動させたときには、テレビの受信状態が悪くなることがあります。

■ iPod/iPhone再生機能(オプション)

- ・本機は、iPod/iPhoneの音楽や映像の再生に対応しておりますが、いかなるバージョンであっても動作を保証するものではありません。
- ・iPod/iPhoneの機種、バージョンによって動作が異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

OpenInfoについて

OpenInfoサービスとは、三菱電機株式会社が運営する会員制の交通情報システムです。OpenInfoサービスを利用すれば、リアルタイムで渋滞情報を取得することができ、より早くスマートな目的地案内を実現します。また、高速道路などの開通道路情報や最新の電気自動車用充電スタンド情報もダウンロード可能となり、快適ドライブをサポートします。OpenInfoでは、以下の機能がご利用になれます。

- ・スマートループ渋滞情報[®](→P216)
- ・開通道路情報更新(→P255)
- ・充電スタンド情報更新(→P255)

これらの機能をご利用になるには、あらかじめ登録が必要です。別紙「OpenInfoサービスユーザー登録手順書」に従って登録作業を行ってください。

走行中の操作制限について

走行中は一部操作が制限されます。走行中は運転者の操作はなるべく控え、安全な場所に車を停めて操作してください。

なお、道路交通法により運転者が走行中に画面を注視することは禁止されています。

お手入れのしかた

- ・本機が汚れたときはやわらかい布でから拭きしてください。
- ・汚れがひどいときは、中性洗剤をうすめた水にやわらかい布を浸し固く絞ってからご使用ください。ベンジンやシンナー、化学ぞうきんは使用しないでください。表面が変質します。

商標について

- ・「ナビ」、「NAVI」は商標です。
- ・NaviCon[®]は、株式会社デンソーの登録商標です。
- ・製品名などの固有名詞は各社の商標または登録商標です。
- ・なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。



「DIATONE」および「ダイヤトン」、「DIATONE」ロゴは、三菱電機の登録商標です。



「ミュージックフォルダ」は、三菱電機の登録商標です。



「PremiDIA」は、三菱電機の登録商標です。



「OpenInfo」および「openinfo」ロゴは、三菱電機の登録商標です。



「MilleSense」および「ミルセンス」は、三菱電機の登録商標です。



ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。「DOLBY」、「ドルビー」およびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。



SDHCはSD-3C,LLCの商標です。



VICSロゴは、財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。



Bluetoothワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG,Incが所有する商標であり「三菱電機株式会社」はこれら商標を使用する許可を受けています。他のトレードマークおよび商号は、各所有権者が所有する財産です。



ETCロゴは、財団法人道路システム高度化推進機構(ORSE)の登録商標です。



DSRCロゴは、一般社団法人ITSサービス推進機構(ISPA)の登録商標です。



マップコードは、株式会社デンソーの登録商標です。



本製品は、パイオニア(株)が運営・管理するスマートループ渋滞情報[®]を使用しています。スマートループ渋滞情報[®]はパイオニア(株)の登録商標です。

次のページにつづく

Made for
iPod iPhone

「Made for iPod」および「Made for iPhone」とは、iPodまたはiPhone専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。

iPodおよびiPhoneは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。

iPod



iPod
5th generation
(video)
60GB 80GB



iPod
5th generation
(video)
30GB

iPod classic



iPod classic
160GB (2009)



iPod classic
160GB (2007)



iPod classic
80GB

iPod nano



iPod nano
7th generation
16GB



iPod nano
6th generation
8GB 16GB



iPod nano
5th generation (video camera)
8GB 16GB



iPod nano
4th generation (video)
8GB 16GB



iPod nano
3rd generation
(video)
4GB 8GB



iPod nano
2nd generation
(aluminum)
2GB 4GB 8GB



iPod nano
1st generation
1GB 2GB 4GB

iPod touch



iPod touch
5th generation
32GB 64GB



iPod touch
4th generation
8GB 32GB 64GB



iPod touch
3rd generation
32GB 64GB



iPod touch
2nd generation
8GB 16GB 32GB



iPod touch
1st generation
8GB 16GB 32GB

iPhone



iPhone 5
16GB 32GB 64GB



iPhone 4S
16GB 32GB 64GB



iPhone 4
16GB 32GB



iPhone 3GS
8GB 16GB 32GB



iPhone 3G
8GB 16GB

※ 「iPod nano 1st generation」、「iPod nano 2nd generation (aluminum)」、「iPod nano 6th generation」、「iPod 5th generation (video) 30GB」、「iPod 5th generation (video) 60GB 80GB」は、ビデオ再生に対応しておりません。(音楽再生は可能。)

※ Genius機能には対応しておりません。

※ iPadには対応しておりません。

※ iPodおよびiTunesは、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。

お客さまへ安全上のご注意

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示とともに、取り扱い上の注意点を記載しています。絵表示は次のような意味を示しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。



このような絵表示は、注意(警告を含む)しなければならない内容です。



このような絵表示は、禁止(やってはいけないこと)の内容です。



この絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。



禁止

- 運転者は運転中に、画像を注視しない。前方不注意となり事故の原因となります。道路交通法により、運転者が走行中に画像を注視することは禁止されています。
- 運転者は走行中に複雑な操作をしない。
運転中に複雑な操作をすると、前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- カメラは周囲確認の補助装置です。カメラの画像だけを見て運転しない。
カメラ画像で表示できる範囲には限りがあるため、人や障害物に接触する恐れがあり、事故の原因になります。
- 画面が映らない、音がでないなどの故障状態で使用しない。
事故、火災、感電の原因となります。
- 本機はDC12Vマイナス⊖アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車での使用はしない。火災や故障の原因となります。
- 機器内部に水や異物を入れない。発煙、発火、感電、故障の原因となります。
- ディスク挿入口やカード挿入口に異物を入れない。
火災や感電、故障の原因となります。

警告



必ず行う

- ナビゲーションによるルート案内時も、実際の交通規制に従って走行する。
本機では交通規制の変更などにより実際の交通規制と異なる場合があります。
必ず実際の交通規制に従って走行してください。
- 運転者がテレビやビデオを見るときは必ず安全な場所に車を停車し、パーキングブレーキをかけて使用する。テレビやビデオは安全のため走行中は表示されません。
- カメラ使用時も目視による安全確認を必ず行う。
カメラの死角になっている人や障害物に接触する恐れがあり、事故の原因となります。
- バックする際はゆっくりした速度で運転する。
カメラの画像は目視と距離感が異なるため、人や障害物に接触する恐れがあり、事故の原因となります。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙ができる、変な臭いがするなど異常が起こったら、
ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談する。
そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用する。
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。



分解禁止

- 本機を分解したり、改造しない。故障、火災、感電の原因となります。



接触禁止

- 雷が鳴りだしたら、アンテナ線やフロントパネルに触れない。
落雷により感電の原因となります。

注意



禁止

- 本機の通風孔や放熱板をふさがないでください。
通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、発火や故障の原因となることがあります。
- カメラ本体に無理に力を加えたり、高圧洗車は行わないでください。
カメラが外れたり、角度がずれて故障や事故の原因となることがあります。



注意

- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用してください。
車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
- カメラ画像は車種や取り付け角度で見え方が異なります。注意してご使用ください。
事故の原因となることがあります。
- モニターパネルの開閉や角度調整時に、シフトレバー操作などの妨げになる場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。



必ず行う

⚠ 注意



- ディスク挿入口やカード挿入口に手や指を入れないでください。
けがの原因となることがあります。

指に注意 モニターパネルの開閉や角度調整時に、手や指を挟まれないようにご注意ください。
けがの原因となることがあります。

■ 取付・配線時などのご注意

⚠ 警告



禁止

- 本機を、前方の視界を妨げる場所や、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所などには絶対に取り付けない。交通事故やけがの原因となります。
- エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に本機の取り付けと配線をしない。エアバッグ動作を妨げる場所に取付・配線すると交通事故の際、エアバッグシステムが正常に動作しない原因となり危険です。
- 電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対に止める。電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。
- 車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しない。これらを使用しますと制動不能や発火、事故の原因となります。



注意

- 車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触しないよう注意して行う。
誤った穴開けをすると火災の原因となります。



必ず行う

- 取り付け作業前には、バッテリーのマイナス(⊖)端子を外す。
ショート事故による感電やけがの原因となります。
- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープなどでまとめておく。
ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。
- 取り付けと配線が終わったら、ブレーキやライト、ホーン、ウィンカーなどの電装品が元通り、正常に動作することを確かめる。
正常に動作しない状態で使用すると火災や感電、事故の原因となります。
- 必ず、パーキングブレーキ線を接続する。(安全機能)
走行中はテレビ、ビデオの画像が表示されず、音声のみとなります。また、画面を注視する必要がある複雑な機能は操作できないようになっています。

⚠ 注意



禁止

- 本機のシャーシ上部を強く押さないでください。

本機のシャーシ上部が変形すると、ディスクの挿入や排出ができなくなります。



注意

- 車体やねじ部分、シートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。

断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。

- コード類の配線は、高温部を避けて行ってください。

コード類が車体の高温部に接触すると被膜が破れショートし、火災、感電の原因となることがあります。



必ず行う

- 落下などによる、強い衝撃を与えないでください。

機器の故障、けがなどの原因になることがあります。付属のネジなどでしっかりと固定してください。

- 本機の取付・配線には、専門技術と経験が必要です。

安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。誤った配線をした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。

- 必ず付属の部品を指定通り使用してください。

指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。

- 取付要領書で指定された通りに接続してください。

正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。

- エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグが誤作動する原因となることがあります。

- 本機の取り付け場所変更時は安全のため必ずお買い上げの販売店へ依頼してください。取り外し、取り付けには専門技術が必要です。

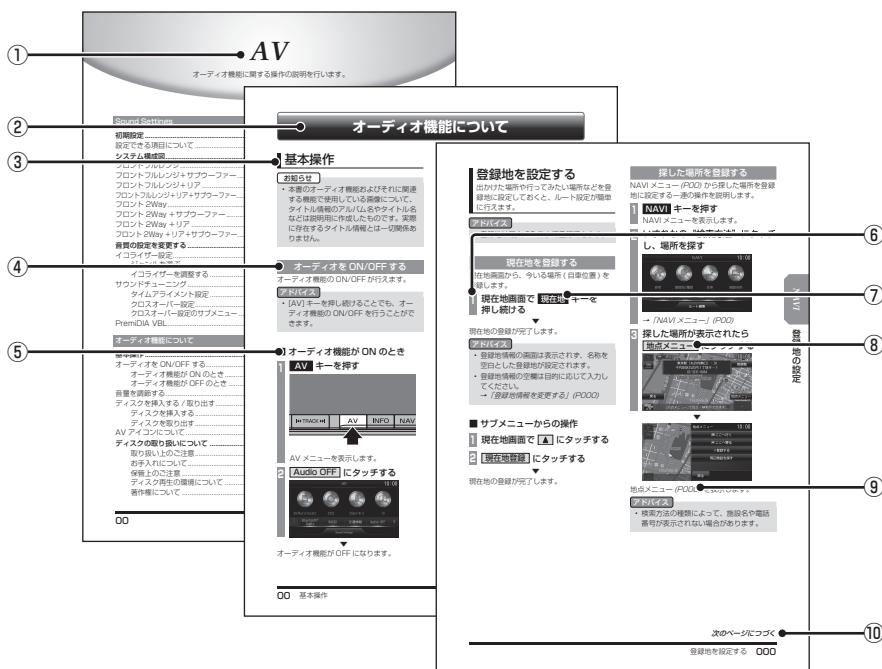
- 他の機器と接続する場合は、各機器の取扱説明書も併せてよくお読みの上、正しくお使いください。

- 携帯電話を使用する場合は、携帯電話を置く位置や向きによっては、雑音が生じることがあります。できるだけ本機から離してお使いください。

- 本製品を廃棄する場合は、最寄りの市町村窓口または販売店に正しい廃棄方法をお問い合わせください。

本書のみかた

本書で使用している表記と意味は以下のようになっています。



* このページは「本書のみかた」を説明するためのものです。

実際のページ、説明内容とは異なります。

① 編見出し

主な機能に分けて分類しています。

② 章見出し

編分類の中でさらに機能を分類し、各章の先頭に記載しています。

また、右端のインデックスでも確認できます。

③ 大見出し

章分類の中で主な操作や機能を分類しています。

④ 中見出し

大見出しの中で分けられた操作や機能をこまかく分類しています。

⑤ 小見出し

中見出しの中で分けられた操作や機能をさらにこまかく分類しています。

⑥ 操作手順

操作手順を示す番号です。この番号の順序に従い操作してください。

⑦ ○○○ キーまたは [○○○] キー

パネルでの操作キーを示します。

⑧ ○○○ または [○○○]

画面上に表示されるタッチスイッチを示します。

⑨ (PO00)

参照するページを示します。関連する説明などが記載されています。

⑩ 次のページにつづく

操作の説明に続きがある場合に記載しています。

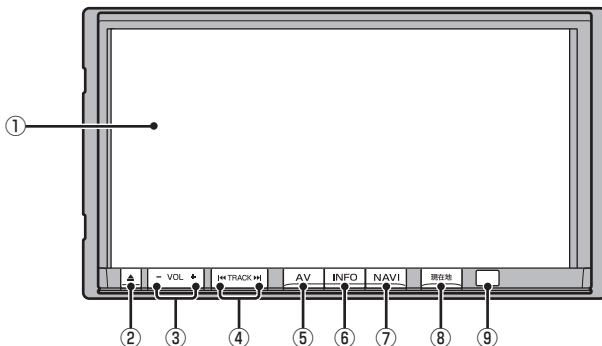
基本操作

本機について

本体パネルについて

本体パネルの各部の名称と働きについて説明します。

■ パネルが閉じているとき



① ディスプレイ

このディスプレイに表示されるタッチスイッチにタッチすることで、ほとんどの操作が行えます。

→「タッチ操作のしかた」(P20)

② △ キー

モニターパネルの開閉画面を表示します。パネルを開閉するときや、ディスクを出し入れ(P50)をするときに使います。

③ - VOL キー / VOL + キー

オーディオ機能の音量を調節できます。
→「音量を調節する」(P49)

④ KKTRACK キー / TRACK KK キー

CDなどのトラックやラジオの選局が行えます。また、DVDのチャプターの切り替えが行えます。

動作は、オーディオソースによって異なります。詳しくは「オーディオソース別の動作について」(P16)をご覧ください。

⑤ AV キー

AVメニューを表示します。
オーディオソースを選ぶときに使用します。→「AVメニュー」(P22)

⑥ INFO キー

INFOメニューを表示します。
情報確認や各種設定を行うときに使用します。→「INFOメニュー」(P24)

⑦ NAVI キー

NAVIメニューを表示します。
ナビゲーションの各機能をご利用になれます。→「NAVIメニュー」(P23)

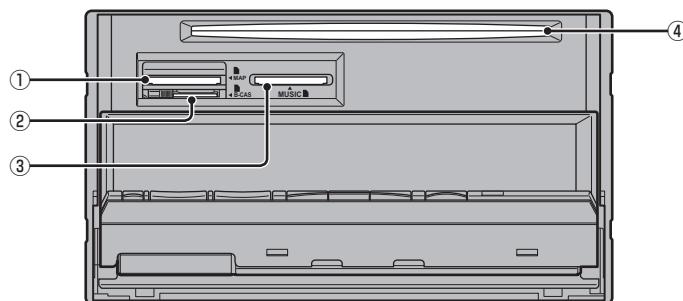
⑧ 現在地 キー

ナビゲーション画面の現在地画面(P155)を表示します。

⑨ リモコン受光部

別売のドライビングリモコンの信号を受光します。

■ パネルが開いているとき



① MAP スロット

ナビゲーション機能のための地図データが
納められた地図カードを挿入します。
別売の上位バージョンの地図カードと本体
の地図カードを交換することでナビ機能の
バージョンアップを行うことができます。
→「バージョンアップ方法」(P261)

② miniB-CAS カード挿入口

miniB-CAS カードを挿入します。
→「miniB-CAS カードを入れる」(P124)
※ 付属の miniB-CAS カード以外のものを
入れないでください。

お知らせ

- miniB-CAS カード挿入口にあるロック
を行っていなかった場合、パネルを閉じ
ることができません。

③ MUSIC スロット

音楽用 SD カードを挿入します。音楽用 SD
カードの再生 (P88) や MusicFolderへの
録音 (P93) が行えます。

④ ディスク挿入口

本機で再生可能なディスクを挿入すると、
再生を開始します。
→「ディスクを挿入する」(P50)

■ オーディオソース別の動作について

◀TRACK キーや TRACK▶ キーを押したときの動作はオーディオソースによって異なります。オーディオソースごとの動作は以下の通りです。

SD/MusicFolder	押すと前後の曲を選ぶことができます。押し続けると、早送り / 早戻しの操作が行えます。
DISC	
USB/iPod	
Bluetooth Audio	
DVD-Video	押すと前後のチャプターを選択することができます。押し続けると、早送り / 早戻し再生の操作が行えます。
DVD-VR	
TV	押すと前後のプリセットCH番号を選ぶことができます。押し続けると、受信可能な放送局の選局を行います。
ラジオ	押すと前後のプリセットCH番号を選ぶことができます。押し続けると、受信可能な放送局の選局を行います。
AUX	
Blu-ray/HDMI	操作できません。

起動する

本システムを起動します。

1 車のイグニッションキーを“ACC”または“ON”にする



オープニング画面が表示され、しばらくするとオーディオ画面やナビゲーション画面など、前回最後に使用した機能の画面（ラスト画面）に切り換わります。

お知らせ

- 車両点検などでバッテリーを外すと、セキュリティロック時は、パスワード入力画面を表示します。
パスワードを入力するまで本機をご使用になれませんので、「起動時セキュリティの設定」(P298)で設定したパスワードを入力してください。

アドバイス

- イグニッションキーを“ACC”または“ON”した直後は、ナビゲーション機能の場合、地図カードからのデータ読み込みのため、地図画面表示後すぐに使えない機能があります。読み込み完了までしばらくお待ちください。

SDカードについて

本機はナビゲーション機能で使用する地図カードおよびオーディオ機能で使用する音楽用SDカードに対応しております。

警告



必ず行う

- 事故防止のため、SDカードは乳幼児の手の届かないところに保管する。
万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師の治療を受けてください。

注意

- 地図カードは本機のMAPスロット以外に挿入しないでください。故障の原因となります。もしくはデータが破壊、できなくなる場合があります。
- SDカードの抜き差しは、駐停車禁止外の安全な場所に停車してから行ってください。
- SDカードでデータを読み書きしているときに、SDカードを取り出したり、電源を切ったりしないでください。
記録されたデータの消失または破損の恐れがあります。
- SDカード挿入口に異物を入れないでください。ケガや発煙、発火の原因になります。
- SDカードの挿入口は、MAPスロットおよびMUSICスロットの2種類がありますので、SDカードを挿入する際は間違わないようご注意ください。

お知らせ

- SDカードのデータ消失による損害について、当社は一切の責任を負いかねます。
- パソコンの標準機能を使用してフォーマットしたSDカードは正しく動作しない場合がありますので、本機でご使用になるSDカードは本機でフォーマットしてからご使用ください。
- 本機でのフォーマットは、「メモリ初期化」(P295)で[音楽用SDカードの初期化]を選ぶことで行えます。
- SDカードには寿命があり、書き込みを繰り返すと書き込みや消去などができる場合があります。

■取り扱い上のご注意

- SDカードの端子に指紋などの汚れが付着すると、読み取りにくくなることがあります。SDカードを持つときは、端子を触らずに持つようにしてください。
- SDカードに紙やシールを貼り付けたり、傷を付けたりしないでください。
- すでにSDカードが挿入された状態で他のSDカードを無理に挿入しないでください。故障の原因となります。
- SDカード以外のものを挿入しないでください。SDカード以外のものを挿入すると、破損もしくは取り出せなくなります。

■保管上のご注意

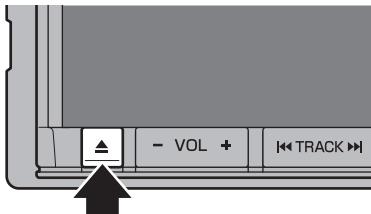
本機から取り出したときは、直射日光の当たらない場所に保管してください。

SDカードを挿入する

■ 地図カードの場合

ナビゲーション機能のための地図データが納められた地図カードを挿入します。
はじめてご使用になるときは、本体に地図カードを挿入する必要があります。

1 ▲キーを押す



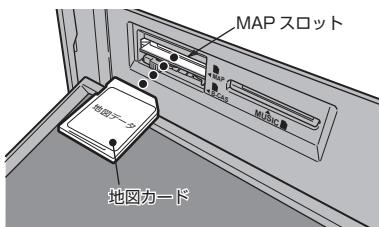
2 モニター OPEN にタッチする



▼
パネルが開きます。

3 MAPスロットに地図カードを差し込む

「カチッ」と音がするまで差し込みます。



注意

- MUSICスロット側に差し込まないでください。

4 ▲キーを押し、パネルを閉じる

▼
ナビゲーション機能の使用が可能となります。

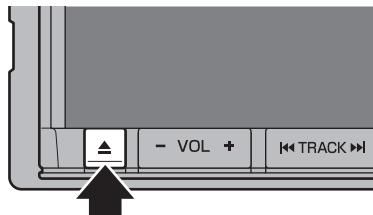
■ 音楽用SDカードの場合

オーディオ機能のために使用する音楽用SDカードを本機に挿入します。

お知らせ

- 音楽用SDカードは同梱しておりません。お客様にてご準備ください。

1 ▲キーを押す



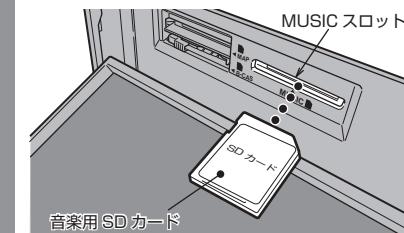
2 モニター OPEN にタッチする



▼
パネルが開きます。

3 MUSICスロットに音楽用SDカードを差し込む

「カチッ」と音がするまで差し込みます。



注意

- MAPスロット側に差し込まないでください。

4 ▲キーを押し、パネルを閉じる

▼
SDカードを利用したオーディオ機能が使用可能となります。

SDカードを取り出す

■ 地図カードの場合

地図データのバージョンアップを行う際に取り出します。別売の上位バージョンの地図カードと本体の地図カードを交換することでバージョンアップが行えます。
詳しくは、「バージョンアップ方法」(P261)をご覧ください。

■ 音楽用 SD カードの場合

オーディオ機能のために使用する音楽用 SD カードを本機から取り出します。

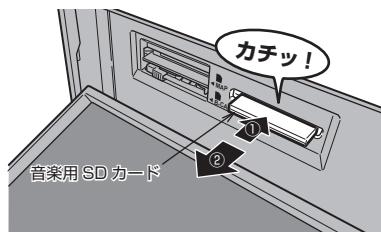
1 ▲ キーを押す

2 モニター OPEN にタッチする



パネルが開きます。

3 MUSICスロットの 音楽用 SD カードを「カチッ」と 音がするまで押す



音楽用 SD カードが飛び出し、抜き取れる状態になります。ゆっくりと抜いてください。

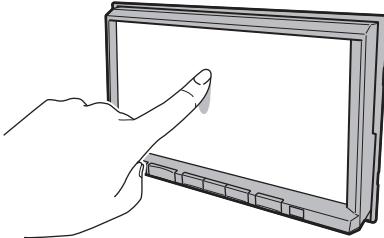
4 ▲ キーを押し、パネルを閉じる

タッチ操作のしかた

本システムでは、ディスプレイに直接タッチして操作するタッチパネルを採用しています。

～にタッチするとき

画面にタッチして“決定”する操作について、本書では「～にタッチする」と記載しています。



また、タッチして実行するメニューは「タッチスイッチ」と記載しています。

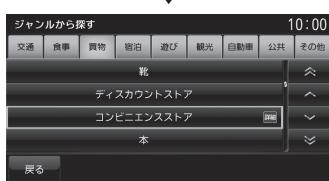
注意

- ディスプレイの表面は傷が付きやすいので、手で強く押さえたり、かたい布などでこすったりしないでください。
- 画面が汚れたときは、メガネ拭きなどの柔らかく乾いた布で軽く拭きとてください。

リストから項目を探すとき

□，□にタッチすると1つずつリストを選択することができます。

▽，△にタッチすると1ページごとに表示することができます。

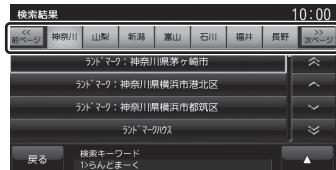


探している項目が表示されたら直接その項目にタッチします。

タブスイッチがあるとき

分類がタブスイッチで分かれている場合があります。

分類のタブスイッチに直接タッチすることで、分類の先頭までリストが移動します。



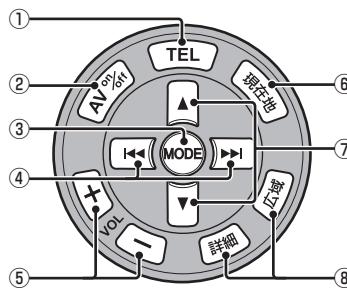
分類の数が多いときは、◀◀前ページ、▶▶次ページが表示されます。

◀◀前ページ、▶▶次ページにタッチすることで分類のタブスイッチを1ページずつ送ることができます。



ドライビングリモコンについて

本機は、別売のドライビングリモコン (RE-MZ50) での操作に対応しています。
ドライビングリモコンの各部の名称と働きについて説明します。



① TEL キー

着信があったとき、[TEL] キーを押すと、通話できます。通話中に [TEL] キーを押すと電話を切れます。

② AV on/off キー

オーディオ機能の ON/OFF が行えます。

③ MODE キー

[MODE] キーを押すたびに、オーディオのソースを切り換えることができます。
切り換え順は、以下の通りとなります。
接続されていない機器がある場合はスキップして次のソースに切り換わります。



④ ▶ キー、▶ キー

CDなどのトラックやラジオの放送局を選ぶことができます。また、DVDのチャプターを切り換えることができます。
押し続けると早送りや早戻しなどが行えます。
動作は、オーディオソースによって異なります。詳しくは「オーディオソース別の動作について」(P16)をご覧ください。

⑤ + キー、- キー

オーディオ機能の音量を調節できます。

⑥ 現在地 キー

ナビゲーション画面の現在地画面 (P155) を表示します。

⑦ ▲ キー、▼ キー

オーディオのアルバムやフォルダを選択できます。

⑧ 詳細 キー、広域 キー

地図のスケールを詳細 / 広域にします。

*1 別売のiPod接続ケーブルが必要です。

*2 別途市販されているBluetooth対応オーディオ機器が必要です。

*3 [MODE] キーで FM1/FM2/AM を切り換えることはできません。(最後に聴いていた状態に切り换わります。)

*4 別売の三菱電機製車載用ブルーレイディスクプレーヤーが必要です。

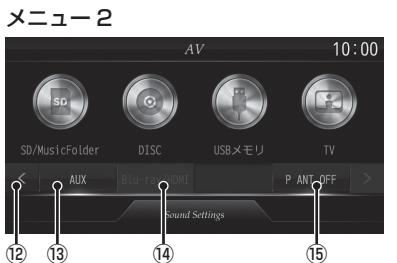
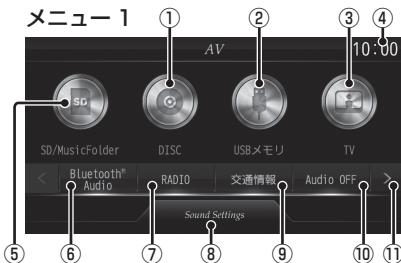
*5 別途市販されているHDMIケーブルとHDMI出力機器および別売のHDMI変換ケーブルが必要です。

各メニュー画面について

各キーを押すことで、さまざまな機能を使うことができます。

AVメニュー

[AV]キーを押して表示するAVメニューについて説明します。



① **DISC** (P66)

本機に挿入された各メディアの再生を行います。

② **USB** (P111)

iPodが本機に接続されていれば、

iPod *¹に変わり、タッチするとiPod画面を表示します。

USBデバイスが本機に接続されていれば、

USBメモリ *¹に変わり、タッチするとUSB画面を表示します。

③ **TV** (P123)

地上デジタルTV放送をご覧になることができます。

④ 時計

24時間制で現在時刻を表示します。

⑤ **SD/MusicFolder** (P88)

MUSICスロットに挿入された、音楽用SDカード内の音楽ファイルを再生できます。

また、MUSICスロットに挿入された、SDカードに音楽CDの曲を録音し、再生できます。

⑥ **Bluetooth® Audio** *¹ (P142)

Bluetooth対応オーディオ機器が本機に接続されていれば、Bluetooth Audio機能をご利用になれます。

⑦ **RADIO** (P61)

ラジオ機能をご利用になれます。

⑧ **Sound Settings** (P29)

オーディオの音質に関する設定が行えます。

⑨ **交通情報** (P65)

交通情報機能をご利用になれます。

⑩ **Audio OFF** / **Audio ON** (P49)

オーディオ機能のON/OFFが行えます。

⑪ >

メニュー2を表示します。

⑫ <

メニュー1を表示します。

⑬ **AUX** *^{1,*² (P146)}

外部入力機器が本機に接続されていれば、外部入力機器の映像を表示します。

⑭ **Blu-ray/HDMI** *¹

三菱電機製車載用ブルーレイディスクプレーヤーが接続されていれば**Blu-ray** (P147)と表示し、HDMI出力機器が接続されれば**HDMI** (P148)と表示します。

⑮ **P ANT OFF** *³

パワーアンテナ装着車でアンテナを格納したいとき（車庫入れ時など）にタッチするとアンテナを格納します。

⑯ **P ANT ON** *³

“ACC ON”時にアンテナ電源端子から電源を供給します。

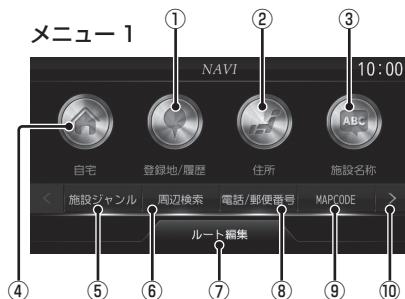
* 1 別売の部品または外部入力機器、ケーブルが必要です。

* 2 一部の機種で別売の外部入出力ケーブルおよびAUX機器を本機に接続していない場合でも[AUX]は表示されますが、タッチしても映像は表示されません。

* 3 表示するには、あらかじめ[システムの設定]→[パワーアンテナの設定]→[手動]にしておく必要があります。
→[パワーアンテナの設定] (P294)

NAVI メニュー

[NAVI] キーを押して表示する NAVI メニューについて説明します。



メニュー 2



① 登録地 / 履歴

登録地を呼び出すことができます。

→「登録地を呼び出す」(P183)

また検索機能を使用して周辺の地図を表示させたことがある地点などは、検索履歴として残り、再度周辺の地図を表示させることができます。

→「検索履歴を利用する」(P183)

② 住所 (P184)

住所から場所を探すことができます。

③ 施設名称 (P185)

施設の名称を入力し場所を探すことができます。

④ 自宅

自宅を登録できます。(P208) また、登録した自宅を目的地に設定できます。(P181)

⑤ 施設ジャンル (P187)

コンビニやガソリンスタンドなどの施設を分類および都道府県ごとに場所を探すことができます。

⑥ 周辺検索 (P191)

現在地や目的地、ルート周辺の施設を探すことができます。

⑦ ルート編集 (P200)

設定済みのルートを編集や削除するときに使用します。

⑧ 電話 / 郵便番号

電話番号(P192) や郵便番号(P192)を入力して施設を探すことができます。

⑨ MAPCODE (P193)

探している場所のマップコードが分かっている場合に使用します。

⑩ >

メニュー 2 を表示します。

⑪ <

メニュー 1 を表示します。

⑫ 観光ルート (P196)

観光コースを都道府県ごとに探し、ルートを設定できます。

INFOメニュー

[INFO]キーを押して表示するINFOメニューについて説明します。



① [エコ情報] (P231)

運転操作がどれくらい燃費に良いかの評価を確認できます。

② [電話] *¹ (P239)

携帯電話がBluetoothで本機に接続されている場合にハンズフリー機能をご利用になれます。

③ [カメラ] *² (P247)

フロントカメラやサイドカメラなどのサブカメラが接続されている場合、カメラの映像を表示します。

④ [メンテナンス情報] (P257)

お車の各パーツの交換時期を管理できます。

⑤ [FM文字情報] (P250)

FM多重放送による文字情報を確認できます。

⑥ [ETC] *³ (P235)

ETC車載器またはDSRC車載器が接続されている場合にETCを使用した履歴や料金を確認できます。

⑦ [設定] (P264)

本機の各種設定が行えます。

⑧ [地図データ更新] *⁴ (P255)

「開通道路情報」や「充電スタンド情報」の地図データを更新できます。

*¹ Bluetooth接続ができる携帯電話が必要です。

*² 別売のフロントカメラやサイドカメラなどのサブカメラが必要です。さらに別売の接続ケーブルも必要です。

*³ 別売のETC車載器またはDSRC車載器が必要です。さらに別売の接続ケーブルも必要です。

*⁴ 更新を行うには、OpenInfoサービスへのユーザー登録が必要です。

AV

オーディオ機能に関する操作方法を説明します。

Sound Settings	29
初期設定	29
設定できる項目について	30
システム構成図.....	31
フロントフルレンジ	32
フロントフルレンジ+サブウーファー	32
フロントフルレンジ+リア	33
フロントフルレンジ+リア+サブウーファー	34
フロント2Way	35
フロント2Way +サブウーファー	35
フロント2Way +リア	36
フロント2Way +リア+サブウーファー	37
音質の設定を変更する	38
設定できる項目について	38
サウンドチューニング	41
タイムアライメント設定	43
クロスオーバー設定	44
クロスオーバー設定のサブメニュー	47
イコライザー設定	47
ジャンルを選ぶ	48
イコライザーを調整する	48
PremiDIA VBL	48
オーディオ機能について	49
基本操作	49
オーディオをON/OFFする	49
オーディオ機能がONのとき	49
オーディオ機能がOFFのとき	49
音量を調節する	49
ディスクを挿入する/取り出す	50
ディスクを挿入する	50
ディスクを取り出す	50
AVアイコンについて	51
音声案内時のオーディオ音量について	51
ディスクの取り扱いについて	52
取り扱い上のご注意	52
お手入れについて	52
保管上のご注意	52
ディスク再生の環境について	52
著作権について	52
再生できるディスクの種類	53
再生できないディスク	53
CD規格外ディスクについて	54
DualDiscについて	54
DVDビデオに関して	54
DVDビデオに 表示されているマークの意味	54
音楽ファイル	55
(MP3/WMA/AAC/WAV)について	55
フォルダの構成について	56
MP3とは	57
再生できる MP3ファイルの規格について	57
WMAとは	58
再生できる WMAファイルの規格について	58
AACとは	59
再生できる AACファイルの規格について	59
WAVとは	60
再生できるWAVファイルの規格について	60
ラジオ / 交通情報	61
ラジオを聴く	61
好みの放送局を登録する	61
表示内容について	62
再生情報画面について	62
サブメニューについて	63
受信状態の良い放送局を探す	63
シークを開始する	63
スキャンを開始する	64
オートセレクトを開始する	64

交通情報を聞く	65	音声多重を切り換える	87
交通情報をOFFにする	65	タイトルリストを表示する	87
表示内容について	65		
DISC	66	SD/MusicFolder	88
音楽CDを聞く	66	SDカードの曲を聞く	88
リストを表示する	66	表示内容について	89
表示内容について	67	再生情報画面について	89
再生情報画面について	67	リストについて	90
リストについて	68	サブメニューについて	91
サブメニューについて	69	リストを表示する	91
再生モードを変更する	69	再生モードを変更する	92
再生モードについて	69	再生モードについて	92
タイトル情報を取得する	70	MusicFolderに録音する	93
取得できる情報について	70	MusicFolderへの録音について	93
Gracenoteについて	70	録音を開始/停止する	94
Gracenoteデータベースを			
SDカードで更新する	71	MusicFolderを聞く	95
手動で取得する	72	SD-Audioについて	95
ディスクの音楽ファイルを聞く	73	表示内容について	96
リストを表示する	73	再生情報画面について	96
表示内容について	74	プレイリスト選択画面	97
再生情報画面について	74	トラックリストについて	98
リストについて	75	プレイリスト選択画面を表示する	99
サブメニューについて	76	プレイリストを編集する	99
再生モードを変更する	76	プレイリストの	
再生モードについて	76	タイトルを変更する	99
DVDビデオを見る	77	プレイリストの	
DVDビデオの操作画面を表示する	78	再生順序を変更する	100
表示内容について	79	プレイリストを消去する	101
再生中の操作画面	79	トラックリストを表示する	102
停止中の操作画面	81	全曲再生の	
タイトル番号やチャプタ番号を選ぶ	82	トラックリストを表示する	102
停止画面からの操作	82	プレイリスト内の	
音声/字幕を切り換える	83	トラックリストを表示する	102
画面表示を切り換える	83	トラックを編集する	103
アングルを切り換える	84	トラックの情報を編集する	103
メニューを操作する	84	トラックの再生順序を変更する	103
タイトルメニューの場合	84	トラックを消去する	104
メインメニューの場合	85	再生モードを変更する	105
数字入力でメニューを選ぶ	85	再生モードについて	105
視聴制限のある		タイトル情報を取得する	106
DVDビデオを再生したとき	86	本機から取得する	106
静止画を送る	86	通信で取得する	106

NoTitle リストを管理する	107	テレビを見る	125
本機からタイトル情報を取得する....	107	はじめてテレビを見るとき	125
通信でタイトル情報を取得する	108	放送局を選ぶ	126
パソコンから		表示内容について	127
タイトル情報を取得する	109	操作パネルについて	127
NoTitle リストから消去する	110	ロングバナーについて	128
MusicFolder内の曲をすべて消す	110	走行制限の表示について	129
iPod/USB メモリ	111	CH モードを切り換える	129
接続する	111	番組の内容を見る	130
iPod を再生する	112	記号について	130
iPodのビデオを見る	112	放送局を探す	131
表示内容について	113	番組表で探す	131
ミュージック		現在放送中の番組から探す	131
再生情報画面について	113	番組表を取得するには	131
ミュージックメニューについて	114	番組表の内容を確認する	132
ビデオ再生情報画面について	114	チャンネルリストから探す	132
ビデオメニューについて	115	系列局を探す	133
再生モードを変更する	115	受信状態の良い放送局を探す	133
再生モードについて	116	好みの放送局を登録する	134
リストで探す	116	ホームCHスキャンを行う	134
再生情報の画面を表示する	117	初期ホームCHスキャン	134
チャプターリストを表示する	117	再ホームCHスキャン	134
USB デバイスの曲を聴く	118	ドライブCHスキャンを行う	135
表示内容について	119	初期ドライブCHスキャン	135
再生情報画面について	119	再ドライブCHスキャン	136
リストについて	120	情報を確認する	137
サブメニューについて	121	メールを確認する	137
リストを表示する	121	ICカードを確認する	137
再生モードを変更する	122	ソフトウェアバージョンを確認する	138
再生モードについて	122	その他の操作	139
TV	123	リモコン番号を変更する	139
テレビ機能について	123	フルセグとワンセグを切り換える	139
受信について	123	自動ワンセグ切り換えについて	140
miniB-CAS カードについて	123	映像や音声を切り換える	141
miniB-CAS カード		外部入力機器	142
取扱上の注意点	123	Bluetooth Audio を使う	142
miniB-CAS カードについて		対応プロファイルと	
のお問い合わせ先	123	対応機能について	142
miniB-CAS カードを入れる	124	Bluetooth 対応	
miniB-CAS カードを抜く	124	オーディオ機器を接続する	143

表示内容について	144
再生情報画面について	144
再生モードを変更する	145
再生モードについて	145
AUX を使う	146
表示するには	146
画面表示を切り換える	146
Blu-ray を見る	147
表示するには	147
HDMI の映像を見る	148
表示するには	148

Sound Settings

初期設定

音質調整を行う前の準備を行います。
接続しているスピーカーのシステムやリストングポジション、車の形状を設定します。

注意

- 初期設定が完了するまで音を出さないでください。スピーカー破損の原因となります。

1 AV キーを押す

AV メニューを表示します。

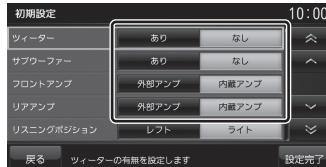
2 Sound Settings にタッチする

音質調整ができる Sound Settings 画面を表示します。

3 “初期設定” の [未設定] にタッチする

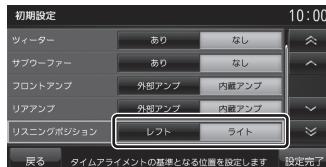
初期設定画面を表示します。

4 スピーカーのシステムにあった設定を行う



「システム構成図」(P31) を確認し、実際に取り付けているスピーカーシステム通りの設定を行ってください。

5 “リストングポジション” を設定する



最適な音を聴きたいシートを選択してください。(フロントシートの右または左)

6 “車種選択” の [-----] にタッチする

7 車の形状を選択する



本機を接続している車に最も近い形状にタッチします。

8 戻る にタッチする

9 設定完了 にタッチする

▼
初期設定が完了します。
以降はスピーカーのシステム構成が変わらなければ変更する必要はありません。

設定できる項目について



設定名	設定値	設定内容
ツィーター	あり	ツィーターの有無を設定します。
	なし	ツィーターを設置している場合は、[あり]を選択してください。
サブウーファー ^{※1}	あり	サブウーファーの有無を設定します。
	なし	サブウーファーを設置している場合は、[あり]を選択してください。
フロントアンプ	外部アンプ ^{※1}	フロントスピーカーのアンプ構成を設定します。 本機とフロントスピーカーの間に別売の外部アンプが設置されている場合は、[外部アンプ]を選択してください。
	内蔵アンプ	
リアアンプ	外部アンプ ^{※1}	リアスピーカーのアンプ構成を設定します。 本機とリアスピーカーの間に別売の外部アンプが設置されている場合は、[外部アンプ]を選択してください。
	内蔵アンプ	
リスニングポジション	レフト	最適な音を聴きたいシートを選択してください。 (フロントシートの右または左)
	ライト	
車種選抲	軽自動車・コンパクト	「タイムアライメント設定」(P43) の目安となる車の形状を設定します。
	セダン	
	ワゴン	
	ミニバン	
	SUV	
	1BOX	
	詳細車種選択	本機ではご使用になれません。
選択しない		車種形状の情報を使用しません。 Sound Settings画面では[―――]と表示します。

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

※1 外部アンプを接続するには、一部の機種で別売の外部入出力ケーブルが必要です。

お知らせ

- リアスピーカーを取り付けていない場合は、「リアアンプ」を[外部アンプ]にしてください。

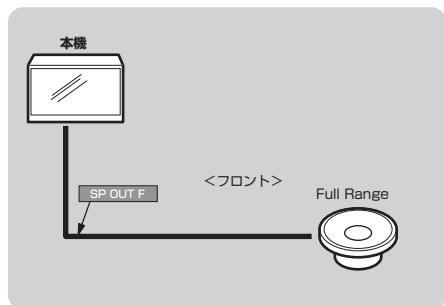
システム構成図

装着しているスピーカーのシステムを以下の表から探し、対象の構成図を確認してください。
「初期設定」(P29)で必要な設定値を確認できます。

システム	フロントスピーカー構成		サブウーファー有無	外部アンプ有無		構成図(ページ)	クロスオーバー設定(ページ)
	フルレンジ	2Way		フロント	リア		
フロントのみ	●	-	-	-	-	A-1 (P32)	(P44)
			●	-	-	A-2 (P32)	(P44)
	-	●	-	-	-	B-1 (P32)	(P44)
			●	-	-	B-2 (P32)	(P44)
			-	-	-	E-1 (P35)	(P45)
			●	-	-	E-2 (P35)	(P45)
フロント+リア	●	-	-	-	-	F-1 (P35)	(P45)
			●	-	-	F-2 (P35)	(P45)
			-	-	-	C-1 (P33)	(P44)
			●	-	-	C-2 (P33)	(P44)
			-	-	-	C-3 (P33)	(P44)
			●	-	-	D-1 (P34)	(P44)
	-	●	-	-	-	D-2 (P34)	(P44)
			●	-	-	D-3 (P34)	(P44)
			-	-	-	G-1 (P36)	(P45)
			●	-	-	G-2 (P36)	(P45)
			-	-	-	G-3 (P36)	(P45)
			●	-	-	H-1 (P37)	(P45)
			-	-	-	H-2 (P37)	(P45)
			●	-	-	H-3 (P37)	(P45)

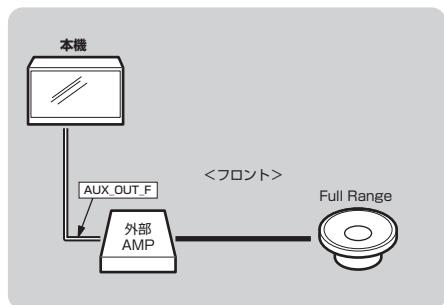
フロントフルレンジ

構成 A-1



ツィーター	なし
サブウーファー	なし
フロントアンプ	内蔵アンプ
リアアンプ	外部アンプ

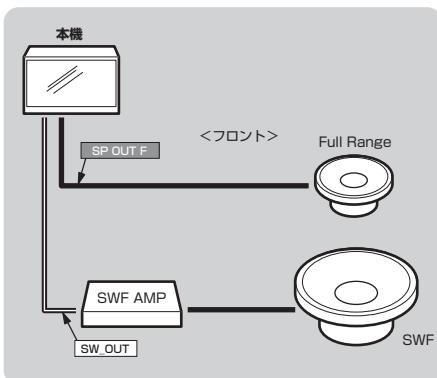
構成 A-2



ツィーター	なし
サブウーファー	なし
フロントアンプ	外部アンプ
リアアンプ	外部アンプ

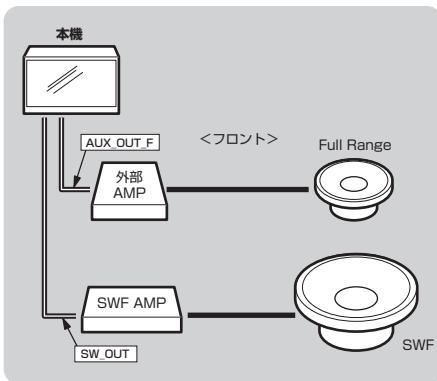
フロントフルレンジ+サブウーファー

構成 B-1



ツィーター	なし
サブウーファー	あり
フロントアンプ	内蔵アンプ
リアアンプ	外部アンプ

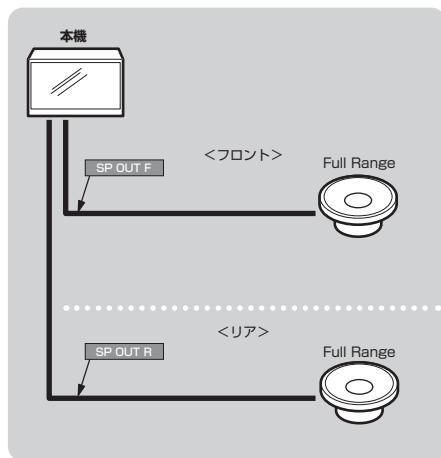
構成 B-2



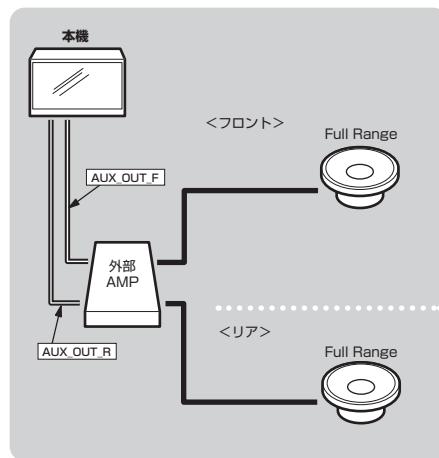
ツィーター	なし
サブウーファー	あり
フロントアンプ	外部アンプ
リアアンプ	外部アンプ

フロントフルレンジ+リア

構成 C-1



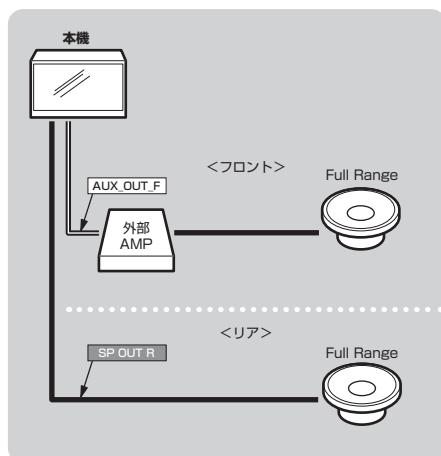
構成 C-3



ツイーター	なし
サブウーファー	なし
フロントアンプ	内蔵アンプ
リアアンプ	内蔵アンプ

ツイーター	なし
サブウーファー	なし
フロントアンプ	外部アンプ
リアアンプ	外部アンプ

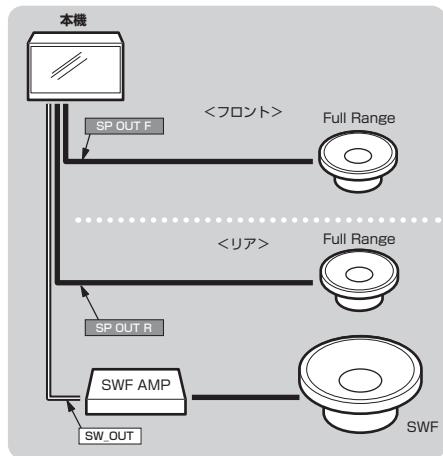
構成 C-2



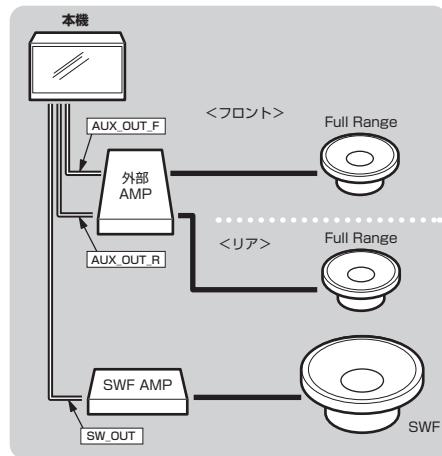
ツイーター	なし
サブウーファー	なし
フロントアンプ	外部アンプ
リアアンプ	内蔵アンプ

フロントフルレンジ+リア+サブウーファー

構成 D-1



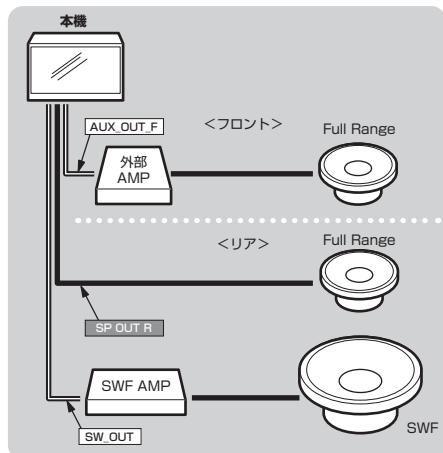
構成 D-3



ツイーター	なし
サブウーファー	あり
フロントアンプ	内蔵アンプ
リアアンプ	内蔵アンプ

ツイーター	なし
サブウーファー	あり
フロントアンプ	外部アンプ
リアアンプ	外部アンプ

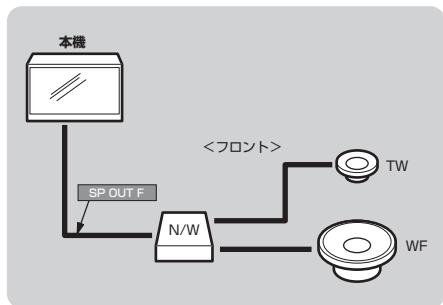
構成 D-2



ツイーター	なし
サブウーファー	あり
フロントアンプ	外部アンプ
リアアンプ	内蔵アンプ

フロント2Way

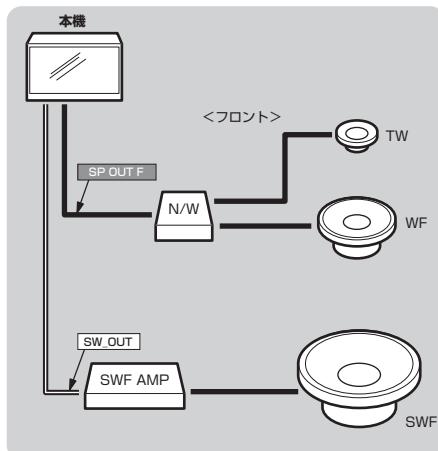
構成 E-1



ツィーター	あり
サブウーファー	なし
フロントアンプ	内蔵アンプ
リアアンプ	外部アンプ

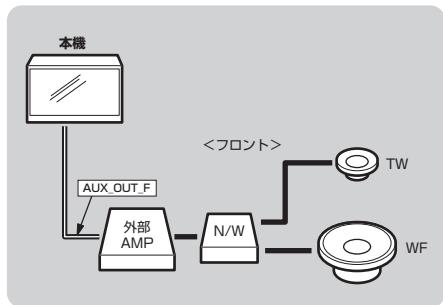
フロント2Way + サブウーファー

構成 F-1



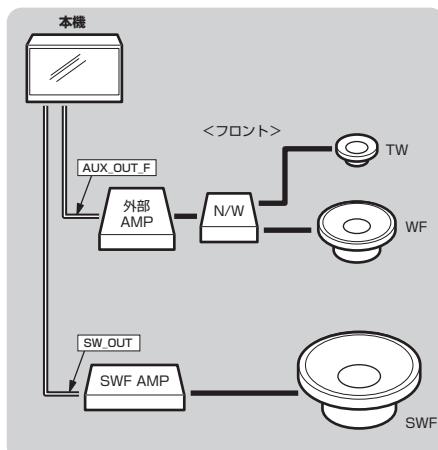
ツィーター	あり
サブウーファー	あり
フロントアンプ	内蔵アンプ
リアアンプ	外部アンプ

構成 E-2



ツィーター	あり
サブウーファー	なし
フロントアンプ	外部アンプ
リアアンプ	外部アンプ

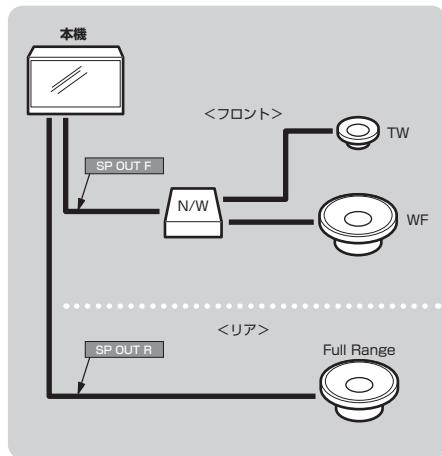
構成 F-2



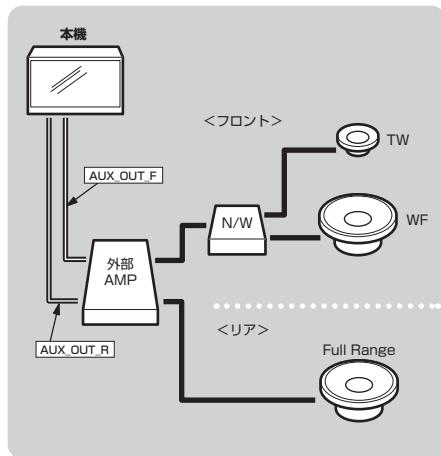
ツィーター	あり
サブウーファー	あり
フロントアンプ	外部アンプ
リアアンプ	外部アンプ

フロント2Way + リア

構成 G-1



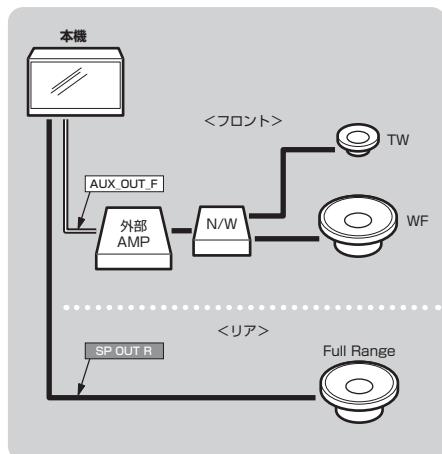
構成 G-3



ツイーター	あり
サブウーファー	なし
フロントアンプ	内蔵アンプ
リアアンプ	内蔵アンプ

ツイーター	あり
サブウーファー	なし
フロントアンプ	外部アンプ
リアアンプ	外部アンプ

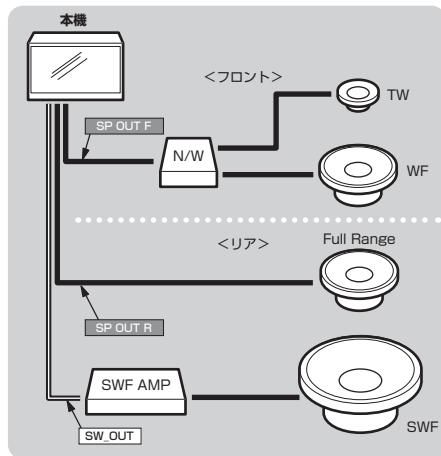
構成 G-2



ツイーター	あり
サブウーファー	なし
フロントアンプ	外部アンプ
リアアンプ	内蔵アンプ

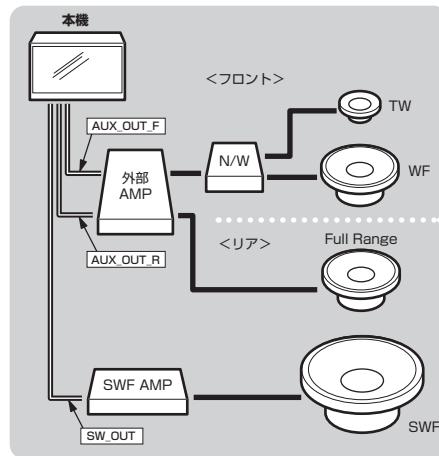
フロント2Way + リア+サブウーファー

構成 H-1



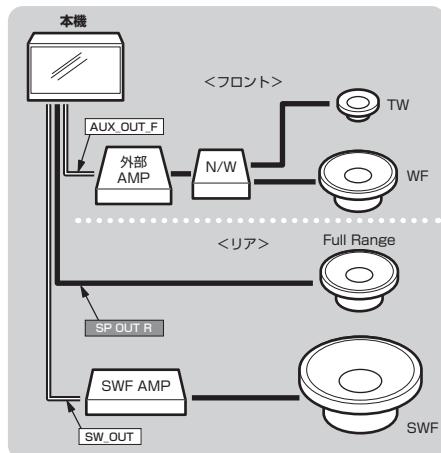
ツイーター	あり
サブウーファー	あり
フロントアンプ	内蔵アンプ
リアアンプ	内蔵アンプ

構成 H-3



ツイーター	あり
サブウーファー	あり
フロントアンプ	外部アンプ
リアアンプ	外部アンプ

構成 H-2



ツイーター	あり
サブウーファー	あり
フロントアンプ	外部アンプ
リアアンプ	内蔵アンプ

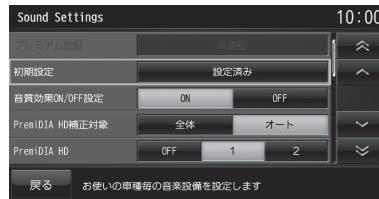
音質の設定を変更する

[AV] キー → [Sound Settings] にタッチすると表示する Sound Settings 画面で以下の設定が変更できます。

お知らせ

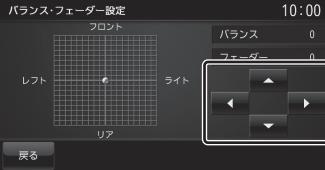
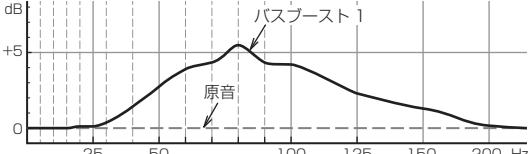
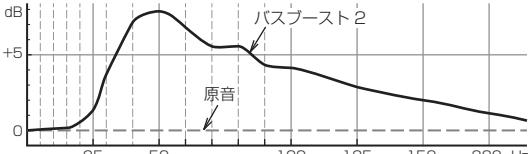
- Audio ON で「音質効果 ON/OFF 設定」が [ON] の状態で設定してください。
- [INFO] キー → [設定] → [Sound Settings] にタッチしても同様に音質設定が行えます。
- オーディオ再生時、Sound Settings 画面に入るときと抜けるときに音質設定の変更を準備するため、一時に音声が消音（ミュート）状態になります。
Sound Settings 画面に入った音質調整時は、40bit 演算精度ですが、抜けた時には 64bit 演算コアにより音質が向上します。

■ 設定できる項目について



設定名	設定値	設定内容
プレミアム認証	未認証	選択できません。
初期設定	未設定	オーディオの音質調整に必要な初期設定を行うことができます。 (→P29)
	設定済み	[未設定] になっている場合は必ず行ってください。
音質効果 ON/OFF 設定	ON	音質調整を行う前と後を比較したいときに使用します。[OFF] にすると初期設定を除く音質調整内容を一時に無効にします。 (調整した内容が消えることはありません。) このとき、初期設定以外の音質設定項目は選択できないようになります。
	OFF	
PremiDIA HD 補正対象	全体	すべてのオーディオソースを対象に PremiDIA HD の補正を行います。
	オート	補正対象： MusicFolder、音楽ファイル、iPod、TV、AUX、 Bluetooth Audio を対象に PremiDIA HD の補正を行います。 補正対象外： 音楽 CD、ラジオ (FM/AM)、交通情報、DVD-Video、 DVD-VR、Blu-ray® プレーヤー、HDMI 出力機器は本設定の対象外となります。
PremiDIA HD	OFF	音楽データの圧縮時に欠落した音声の高域情報を予測補完しオリジナル音声が持つ立体感、奥行き感を再現するための補正量を調節できます。
	1	
	2	

設定できる項目のつづき

設定名	設定値	設定内容
PremiDIA WIDE	OFF	ステレオスピーカーの位置よりも外へと広がるワイドな音像を実現するための補正量を調節できます。
	1	
	2	
バランス・フェーダー	バランス : L9～L1,0,R1～R9 (Left, Right)	各スピーカーから出力する左右・前後のレベルをカーソルスイッチで調節できます。
	フェーダー : F9～F1,0,R1～R9 (Front, Rear)	
ポジション	オール	最適な音を聴くシートを変更します。
	フロント	
	ライト	
	レフト	
ラウドネス	OFF	小音量時に不足しがちな低音・高音を増幅できます。
	1	
	2	
車速連動VOL調整	OFF	車の速度に応じて音量を自動的に調節できます。 数字が大きくなるほど調節幅が大きくなります。
	1	
	2	
	3	
バスブースト	OFF	バスブーストを使用しません。
	1	低音域を図のように強調補正します。 
	2	低音域を図のように強調補正します。 

次のページにつづく

設定できる項目のつづき

設定名	設定値	設定内容
トーンコントロール	バス : -6 ~ 6dB トレブル : -6 ~ 6dB	低音域(100Hz以下)や高音域(10kHz以上)の音量を1dBごとに強調/減衰することができます。 (工場出荷時:[0dB]) 
外部アンプ ON/OFF 時間 ^{*1}	ON : 1.0 ~ 3.0秒 OFF : 0.3 ~ 2.0秒	ACCをONにしたときやOFFにしたとき、外部アンプの電源がON/OFFになるまでの時間を0.1秒ごとに設定できます。 (工場出荷時:[1.5秒]) 本機と外部アンプを接続するとACCをON/OFFしたときに異音が出ることがあります。異音が出る場合は、時間を調整してください。 
イコライザー	ポップス	「ポップス」や「ジャズ」など各ジャンルの曲調に合わせた周波数の設定を選ぶことができます。
	ロック	また、10バンドの周波数に対しての調整が行えます。(→P47)
	ジャズ	
	R & B	
	フラット	
	カスタム	調整したイコライザー呼び出します。
	----	イコライザーリセットを行った後、「カスタム」に登録していない場合に表示します。
サウンドチューニング ^{*2}	サウンドを調整する	「タイムアライメント設定」や「クロスオーバー設定」が設定できます。(→P41)
音質設定の初期化	音質設定を初期化する	Sound Settingsの設定内容をすべて工場出荷時の状態に戻します。
PremiDIA VBL	OFF	自動で低音をカットする補正値を設定できます。(→P48)
	ON : -10 ~ +10	[ON]にすると大音量時の低音をカットし、大音量時特有の音の歪みを軽減することができます。また、小音量時でも低音感を増強させることができます。
DIATONE Volume	OFF	[1]または[2]に設定すると、オーディオソース間や楽曲内の音量の差を自動的に軽減できます。数字が大きいほど軽減する補正値が大きくなります。
	1	
	2	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

※1 「初期設定」(P29)で「フロントアンプ」および「リアアンプ」を「内蔵アンプ」に設定していた場合は選択できません。

※2 「ポジション」と「初期設定」(P29)の「リスニングポジション」が同じシートでなければ選択できません。

サウンドチューニング

「タイムアライメント設定」や「クロスオーバー設定」が設定できます。

お知らせ

- ・「初期設定」(P29)の「リスニングポジション」と「ポジション」が同じシートでなければ本機能は使用できません。

1 Sound Settings の画面で「サウンドチューニング」の [サウンドを調整する] にタッチする



タイムアライメント設定画面 (→P43)

2 ▲ → [クロスオーバー] にタッチする

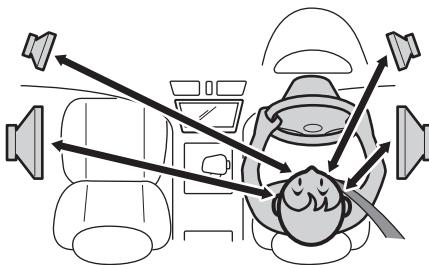


クロスオーバー設定画面 (→P44)

3 ▲ → [タイムアライメント] にタッチする

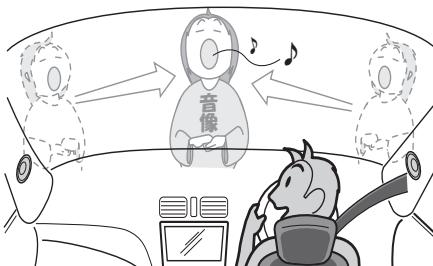
タイムアライメント設定画面に戻ります。

タイムアライメントについて



車の中では、各スピーカーからリスニングポジションまでの距離がそれぞれ違うため、楽曲が本来持つ音像や音場が再現できていません。

各スピーカーからリスニングポジションまでの距離を本機に入力することで、リスニングポジションまでの音の到達時間を補正できます。



その結果、音が同時にリスニングポジションへ到達するようになり、音像や音場がより再現できるようになります。

→「タイムアライメント設定」(P43)

マルチウェイ・タイムアライメント

タイムアライメントを行うには、スピーカーユニットごとにパワーアンプを装備したマルチチャンネルシステムにする必要がありました。当社が開発した独自の引き算型FIRデジタルネットワークアルゴリズムを搭載することにより、パッシブネットワークを使用したマルチウェイスピーカーシステムでも特性を乱さずに各スピーカーを独立かつ任意に時間補正することを実現しました。

2chのパワーアンプ1台でシステム構築ができるにより、高域から低域までの全ての音域を同一のパワーアンプがカバーするので、音色の統一感が図れます。

クロスオーバーについて

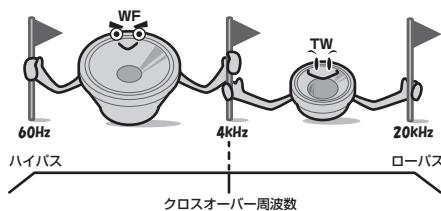


ツイーターやウーファーなどスピーカーには、それぞれ再生可能な周波数帯域というものが、あります。



しかし、再生可能な帯域であっても周波数が高すぎたり低すぎたりすると音の歪みや濁りが発生します。

クロスオーバー設定では、各スピーカーの特性（得意とする部分）を活かした再生周波数帯域に調整できます。



その結果、各スピーカーが余裕を持って動作するようになり、音の歪みや濁りを無くし、より音質を高めることができます。

→「クロスオーバー設定」(P44)

注意

- 各スピーカーの仕様（再生周波数帯域）を超えた設定を行うと、スピーカー破損の原因となります。必ず各スピーカーの仕様を確認した上で本設定を行ってください。



■ タイムアライメント設定

スピーカーユニットの中心から顔の中心までの直線距離をメジャーで直接測り、その距離を目安として入力してください。

お知らせ

- 「初期設定」(P29)の「車種選択」で選んだ形状の値があらかじめ目安として入力されています。「車種選択」が[— — —]の場合はすべての距離が「0.00cm」となります。



※ 画面例はフロント 2Way + リア + サブウーファー装着状態です。

※ 装着設定(P29)されていないスピーカーはマスク表示となり、選択できません。

① フロントツィーター

② フロントツィーター

③ リアスピーカー

④ サブウーファー

⑤ ▽ 距離設定 ▲

タッチすると、選択中のスピーカーの距離を変更できます。(0.77cm/1step)

⑥ ○.○○cm

リスニングポジションまでの距離を示します。タッチすると、スピーカーが選択状態になり距離を変更できます。

サブウーファー以外 : 0.00 ~ 192.5cm
 サブウーファーのみ : 0.00 ~ 338.8cm

⑦ カスタム

タッチすると、前回登録したタイムアライメント設定を呼び出します。タッチし続けると、現在の調整内容を登録します。

アドバイス

- 調整後、「カスタム」に登録することをお勧めいたします。

⑧ スピーカーイラスト

タッチするとミュートになり、再度タッチすると動作を再開します。

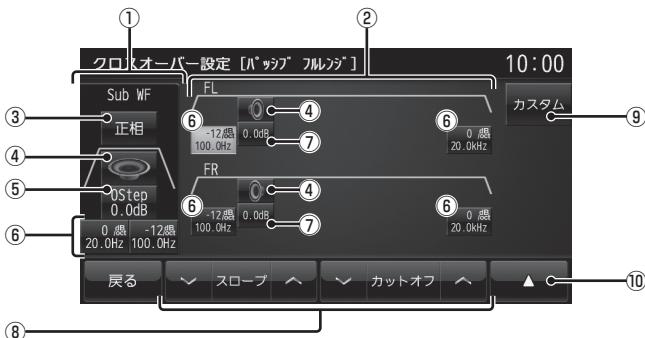
⑨ ▲ ▼

タッチすると、サブメニューを表示し「クロスオーバー」(P44)を選択できます。

■ クロスオーバー設定

アジャスタブルFIRクロスオーバーネットワークの設定を行います。
システム構成によって画面が異なります。

フロント (パッシブ フルレンジ)



※「システム構成図」(P31)のA-1, A-2, B-1, B-2, C-1, C-2, C-3, D-1, D-2, D-3のときに表示される画面です。

① サブウーファーの情報

② フルレンジの情報

③ [正相], [逆相]

タッチするたびに、サブウーファーの正相と逆相を切り換えることができます。

④ スピーカーイラスト

タッチするとミュートになり、再度タッチすると動作を再開します。

⑤ [○]Step [○.○dB]

選択すると、サブウーファーのローブースト (P322) とゲイン (0.5dB/1step) をファンクションスイッチで調整できます。
(上:ローブースト, 下:ゲイン)

⑥ [○]dB/oct [○.○Hz]

ハイパスフィルターとローパスフィルターを示します。選択すると、ファンクションスイッチでスロープおよびカットオフ周波数を調整できます。
(上:スロープ, 下:カットオフ周波数)

⑦ [○.○dB]

選択すると、そのスピーカーのゲインをファンクションスイッチで調整できます。
(0.2dB/1step)

⑧ ファンクションスイッチ

選択状態によって以下の調整が行えるよう切り換わります。

▽ゲイン△ : ゲインの調整

▽ローブースト△ : ローブーストの調整

▽スロープ△ : スロープの調整

▽カットオフ△ : カットオフ周波数の調整

⑨ [カスタム]

タッチすると、前回登録したクロスオーバー設定を呼び出します。タッチし続けると、現在の調整内容を登録します。

アドバイス

- 調整後、[カスタム]に登録することをお勧めいたします。

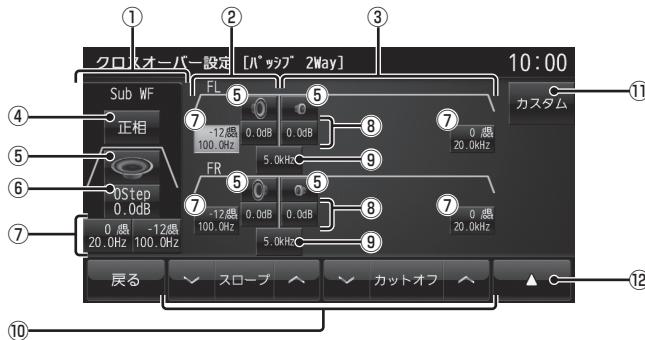
⑩ ▲

タッチすると、サブメニューを表示します。
→「クロスオーバー設定のサブメニュー」(P47)

注意

- 各スピーカーの仕様(再生周波数帯域)を超えた設定を行うと、スピーカー破損の原因となります。必ず各スピーカーの仕様を確認した上で本設定を行ってください。

フロント (パッシブ 2Way)



※「システム構成図」(P31)のE-1, E-2, F-1, F-2, G-1, G-2, G-3, H-1, H-2, H-3のときに表示される画面です。

① サブウーファーの情報

② ウーファーの情報

③ ツイーターの情報

④ [正相], [逆相]

タッチするたびに、サブウーファーの正相と逆相を切り換えることができます。

⑤ スピーカーイラスト

タッチするとミュートになり、再度タッチすると動作を再開します。

⑥ [○] Step [○.○dB]

選択すると、サブウーファーのローブースト (P322) とゲイン (0.5dB/1step) をファンクションスイッチで調整できます。
(上: ローブースト, 下: ゲイン)

⑦ [○] dB/oct [○.○Hz]

ハイパスフィルターとローパスフィルターを示します。選択すると、ファンクションスイッチでスロープおよびカットオフ周波数を調整できます。
(上: スロープ, 下: カットオフ周波数)

⑧ [○.○dB]

選択すると、そのスピーカーのゲインをファンクションスイッチで調整できます。(0.2dB/1step)

⑨ [○○.○Hz]

選択すると、各スピーカー間のクロスオーバー周波数をファンクションスイッチで調整できます。

⑩ ファンクションスイッチ

選択状態によって以下の調整が行えるよう切り換わります。

▽ゲイン ▲ : ゲインの調整

▽ローブースト ▲ : ローブーストの調整

▽スロープ ▲ : スロープの調整

▽カットオフ ▲ : カットオフ周波数の調整

▽クロス ▲ : クロスオーバー周波数の調整

⑪ [カスタム]

タッチすると、前回登録したクロスオーバー設定を呼び出します。タッチし続けると、現在の調整内容を登録します。

アドバイス

・ 調整後、「カスタム」に登録することをお勧めいたします。

⑫ ▲ □

タッチすると、サブメニューを表示します。
→「クロスオーバー設定のサブメニュー」(P47)

注意

・ 各スピーカーの仕様（再生周波数帯域）を超えた設定を行うと、スピーカー破損の原因となります。必ず各スピーカーの仕様を確認した上で本設定を行ってください。



※ 画面例はフロント2Way + リア + サブウーファー装着状態です。

① サブウーファーの情報

② [正相], [逆相]

タッチするたびに、正相と逆相を切り換えることができます。

③ スピーカーイラスト

タッチするとミュートになり、再度タッチすると動作を再開します。

④ [○Step ○.○dB]

選択すると、サブウーファーのローブースト (P322) とゲイン (0.5dB/1step) をファンクションスイッチで調整できます。
(上:ローブースト, 下:ゲイン)

⑤ [○.○dB]

選択すると、そのスピーカーのゲインをファンクションスイッチで調整できます。(0.2dB/1step)

⑥ [○dB/oct ○.○Hz]

ハイパスフィルターとローパスフィルターを示します。選択すると、ファンクションスイッチでスロープおよびカットオフ周波数を調整できます。
(上:スロープ, 下:カットオフ周波数)

⑦ ファンクションスイッチ

選択状態によって以下の調整が行えるようになります。

▽ゲイン ▲ : ゲインの調整

▽ローブースト ▲ : ローブーストの調整

▽スロープ ▲ : スロープの調整

▽カットオフ ▲ : カットオフ周波数の調整

⑧ [カスタム]

タッチすると、前回登録したクロスオーバー設定を呼び出します。タッチし続けると、現在の調整内容を登録します。

アドバイス

- ・調整後、[カスタム]に登録することをお勧めいたします。

⑨ [▲]

タッチすると、サブメニューを表示します。
→「クロスオーバー設定のサブメニュー」(P47)

■ クロスオーバー設定のサブメニュー

クロスオーバー設定画面で **▲** にタッチして表示するサブメニューについて説明します。

フロント



リア切換	リアスピーカー側の設定画面を表示します。
タイムアライメント	タイムアライメント設定画面 (P43) を表示します。
FLからFRにコピー	左側の設定内容を右側にコピーします。
FRからFLにコピー	右側の設定内容を左側にコピーします。
戻る	サブメニューを閉じます。

リア

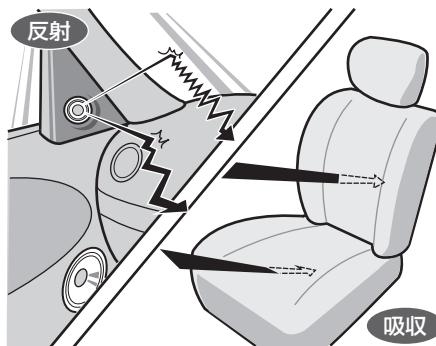


フロント切換	フロントスピーカー側の設定画面を表示します。
タイムアライメント	タイムアライメント設定画面 (P43) を表示します。
戻る	サブメニューを閉じます。

イコライザー設定

「ポップス」や「ジャズ」など各ジャンルの曲調に合わせた周波数の設定を選ぶことができます。また、音響特性の乱れやくせを調整し、補正できるアジャスタブルFIRグラフィックイコライザーの調整を行います。

イコライザー調整について



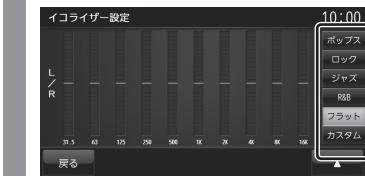
ガラスやダッシュボード、シートなどの影響で車の中は、音の反射や吸収が複雑に入り交じり音響特性が乱がります。



そんな乱れた音響特性をイコライザー調整することで補正できます。その結果、本機やスピーカーが本来持っているクオリティをさらに引き出すことができます。

■ ジャンルを選ぶ

- 1 Sound Settings の画面で「イコライザー」の項目にタッチする
- 2 好みの“ジャンル”にタッチする

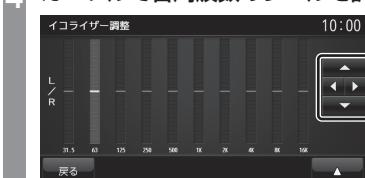


イコライザの選択が完了します。

■ イコライザを調整する

本調整はフロントスピーカーとリヤスピーカーを同時に調整します。

- 1 Sound Settings の画面で「イコライザー」の項目にタッチする
- 2 調整のためのベースにしたい“ジャンル”にタッチする
- 3 ▲ → [調整] にタッチする
- 4 カーソルで各周波数のレベルを調整する



- 5 ▲ → [カスタムに登録] にタッチする

[カスタム] に調整したイコライザ情報を登録します。

アドバイス

- 手順4で画面にタッチすることでも直接変更できます。
- 手順5で[カスタムに登録]を行わず[戻る]にタッチすると、Sound Settings 画面の「イコライザー」は[-----]と表示します。(調整した状態が設定されます。)

PremiDIA VBL

自動で低音をカットする補正値を設定できます。この設定を行うと、大音量時の低音をカットし、大音量時特有の音の歪みを軽減することができます。また、小音量時でも低音感を増強させることができます。

- 1 Sound Settings の画面で「PremiDIA VBL」の項目にタッチする
PremiDIA VBL 設定画面を表示します。
- 2 [ON] にタッチする
- 3 左右カーソルでレベルを調整する



プラス方向に補正するとより低音を抑えることができます。

- 4 [戻る] にタッチする

PremiDIA VBL の設定が完了します。

アドバイス

- PremiDIA VBL を使用しない場合は、手順2で[OFF] にタッチします。

オーディオ機能について

基本操作

お知らせ

- 本書のオーディオ機能およびそれに関連する機能で使用している画像について、タイトル情報のアルバム名やタイトル名などは説明用に作成したものです。実際に存在するタイトル情報とは一切関係ありません。

オーディオをON/OFFする

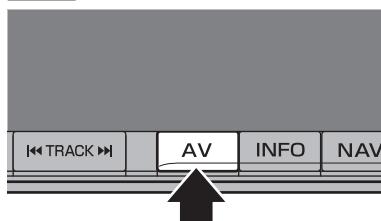
オーディオ機能のON/OFFが行えます。

アドバイス

- [AV]キーを押し続けることでも、オーディオ機能のON/OFFを行うことができます。

■ オーディオ機能がONのとき

1 AV キーを押す



AVメニューを表示します。

2 Audio OFF にタッチする



オーディオ機能がOFFになります。

■ オーディオ機能がOFFのとき

1 AV キーを押す

AVメニューを表示します。

2 Audio ON にタッチする

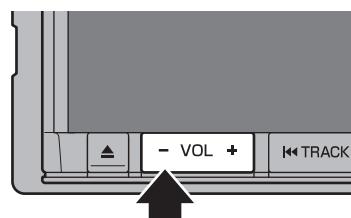


オーディオ機能がONになります。
直前に使用していたオーディオソースの画面に戻ります。

音量を調節する

オーディオ機能の音量を調節します。

1 オーディオ再生中に -VOL キーを押す



音量表示



音量が小さくなります。

2 VOL+ キーを押す

音量が大きくなります。

■ ディスクを挿入する/取り出す

本機にディスクを挿入する方法を説明します。

注意

- ・ディスク交換は、駐停車禁止区域以外の安全な場所に停車してから行ってください。
- ・ディスク挿入口に手や指、異物を入れないでください。ケガや発煙、発火の原因になります。
- ・パネル上に物（ジュースなど）を置かないでください。
- ・パネル開閉時に手や指をはさみ込まないよう注意してください。

■ ディスクを挿入する

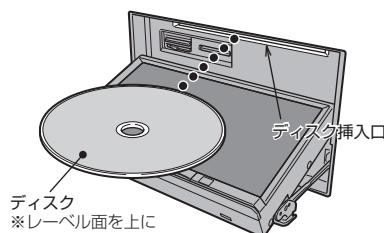
1 ▲キーを押す

2 モニター OPEN にタッチする



▼
パネルが開きます。

3 ディスク挿入口に、レーベル面を上にしてディスクを差し込む



ある程度差し込むと自動的に引き込まれます。

4 ▲キーを押す

▼
パネルが閉まり再生を開始します。

■ ディスクを取り出す

1 ▲キーを押す

2 [DISC Eject] にタッチする



▼
パネルが開き、本機からディスクが排出されますので、ディスクを抜き取ってください。

3 ▲キーを押す

▼
パネルが閉まります。

ディスクを強制的に取り出す

通常は、ディスクロードィングが正常に完了すれば、「ディスクを取り出す」の方法で挿入されているディスクを取り出すことができますが、万が一ディスクロードィングが失敗して、再生情報画面が表示できなかった場合は、次の方法でディスクを強制的に取り出すことができます。

1 本機を起動する(P16)際に

▲キーを押し続ける

▼
本機からディスクが強制的に排出されます。

AVアイコンについて

オーディオ再生中、ナビ画面では以下のように現在再生中のオーディオソースを示すアイコンを表示します。



アイコン	オーディオソース
	オーディオ OFF状態
	ラジオ (例:FM)
	交通情報
	ディスク (例:MP3)
	SDカードの音楽ファイル (例:MP3)
	MusicFolder
	iPod
	USB メモリーの音楽ファイル (例:MP3)
	TV
	Bluetooth Audio
	AUX
	Blu-ray [®] *1
	HDMI *2

*1 別売の三菱電機製車載用ブルーレイディスクプレーヤーが必要です。

*2 別途市販されているHDMIケーブルとHDMI出力機器および別売のHDMI変換ケーブルが必要です。

音声案内時のオーディオ音量について

ナビ機能などの音声案内が行われるとき、オーディオ音量が小さくなります。

(すべてのスピーカーが対象となります。)

この機能によって、音声案内を聞き取りやすくなります。

注意

- 運転中は車外の音が聞こえる程度の音量でお使いください。車外の音が聞こえない状態で運転すると思わぬ事故につながる恐れがあります。

アドバイス

- AVアイコンにタッチすると、現在再生中のオーディオソース画面を表示します。

■ ディスクの取り扱いについて

ディスクの取り扱いについてお守りいただきたいこと、注意していただきたいことを説明します。

■ 取り扱い上のご注意

- ・ディスクの信号面に指紋などの汚れが付着すると、読み取りにくくなることがあります。ディスクを持つときは、信号面を触らないように、両側を挟むように持つか中央の穴と端を挟んで持つようにしてください。
- ・ディスクに紙やシールを貼り付けたり、傷をつけたりしないでください。
- ・すでにディスクが挿入された状態で他のディスクを無理に挿入しないでください。ディスクの傷や故障の原因となります。

■ お手入れについて

- ・ディスクの信号面は定期的にクリーニングしてください。クリーニングする場合はやわらかい布で回転せずに内側から外側へ軽く拭いてください。
- ・新しいディスクにはディスクの外周や中心の穴にバリが残っている場合がありますので確認してください。バリが残っている状態で使用すると誤動作の原因となりますのでバリを取り除いてください。

■ 保管上のご注意

- ・使用しないときは必ずケースに入れ、直射日光の当たらない場所に保管してください。
- ・長時間使用しない場合は、必ず本機から取り出してください。

■ ディスク再生の環境について

真冬の車内など極度の低温状態でヒーターを入れてすぐご使用になると、ディスクや内部の光学部分に露（水滴）が付き正常に動作しない場合があります。

このような場合は、ディスクを取り出してしばらくお待ちになってからご使用ください。

■ 著作権について

私的使用以外の目的でディスクを無断で複製や放送、公開演奏やレンタルする行為は法律により禁じられています。

再生できるディスクの種類

以下のマークはディスクのレーベル面やパッケージ、ジャケットなどに記載されています。

種類	サイズ	最大再生時間	備考
DVDビデオ 	12cm/片面 12cm/両面	133分(1層) / 242分(2層) 266分(1層) / 484分(2層) (MPEG2方式)	<ul style="list-style-type: none"> リージョン番号に「2」を含むもの。または、「ALL」 NTSC方式で記録されたもの
DVD+R/RW DVD-R/RW	12cm/片面 12cm/両面	—	<ul style="list-style-type: none"> CPRM/2層ディスクを含む DVD VIDEO/DVD-VR フォーマット規格で記録されたディスク MP3/WMA/AAC/WAV ファイルが記録されたディスク
CD-DA 	12cm/片面	74分	—
CD-TEXT 	12cm/片面	74分	<ul style="list-style-type: none"> 日本語と英語以外の言語には対応しておりません。 また、「Àà」などのウムラウト記号付きの文字は対応しておりません。
CD-R/RW 	12cm/片面	—	<ul style="list-style-type: none"> MP3/WMA/AAC/WAV ファイルが記録されたディスク

■ 再生できないディスク

- 「再生できるディスクの種類」に記載のないディスクの再生は保証いたしかねます。
- 8cmディスクは使用できません。
- 異形のディスク(ハート形など)は故障の原因となるため、使用しないでください。
また、一部が透明なディスクは再生できません。
- ファイナライズしていないディスクは再生できません。
- レコーダーやPC(パソコン)によって正しいフォーマットで記録したディスクでも、アプリケーションソフトの設定や環境もしくはディスクの特性や傷、汚れ、または本機内部のレンズの汚れ、露などにより、本機で再生できない場合があります。
- ディスクによっては、一部機能が使用できない場合や再生できない場合があります。
- ヒビの入ったディスクや反ったディスクは使用しないでください。
- ディスクにシールを貼っている場合、はがれかかっているもの、のりあとが付着しているものは使用できません。
- ディスクに飾り用のラベルやシールを貼ったものは使用できません。

注意

- DTS CD(5.1ch Music Disc)は、録音/再生できません。本機に挿入してもノイズのみが再生されますので挿入しないでください。

■ CD規格外ディスクについて

本機では音楽CDをお楽しみいただけますが、CDの規格について以下の点にご注意ください。

- ・ディスクラベル面にの入ったものなどのJIS規格に合致したディスクをご使用ください。
- ・CD規格外ディスクを使用された場合には再生の保証をいたしかねます。また再生できた場合であっても音質の保証はいたしかねます。
- ・CD規格外ディスクを再生した場合、次の症状が発生することがあります。
 - 再生時に雑音が混入する。
 - 音飛びする。
 - ディスクを認識しない。
 - 1曲目を再生しない。
 - 頭出しの時間が通常より長い。
 - 曲の途中から再生する。
 - 部分的に再生できない箇所がある。
 - 再生の途中でフリーズする。
 - 誤表示する。

■ DualDiscについて

DualDiscは、片面にDVD規格準拠の映像やオーディオ、もう片面にCD再生機での再生を目的としたオーディオが収録されています。

注意

- ・DualDiscを挿入時や取り出し時に再生面の反対側の面に傷がつく恐れがあります。
- ・DualDiscの仕様や規格などの詳細は、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせください。

■ DVDビデオについて

DVDビデオによっては、一部の機能がご使用になれない場合や再生できない場合があります。

■ DVDビデオに表示されているマークの意味

DVDビデオディスクのラベル面やパッケージには、以下のようなマークが表示されています。それぞれのマークは、そのディスクに記録されている映像または言語のタイプ、使える機能を表しています。

マーク	意味
	音声言語の数
	字幕言語の数
	アングルの数
	画面サイズ(アスペクト比:横と縦の比率)の種別
 	再生可能な地域を限定する番号。本機で再生可能なリージョン番号(地域番号)は、「2」を含んだもの、または「ALL」です。
NTSC	日本で対応している映像方式です。この方式以外は再生できません。

音楽ファイル(MP3/WMA/AAC/WAV)について

本機ではCD-ROMやCD-R/RW、DVD-R/RW(DVD+R/RW)、USBデバイス、SDカード^{※1}に記録されたMP3/WMA/AAC/WAV形式の音楽ファイルを再生できます。

※1 MUSICスロットに挿入したSDカード

使用できるファイルやメディアについては制限がありますのでMP3/WMA/AAC/WAV形式の音楽ファイルをディスクに書き込む前に以下の内容をよくお読みください。

また、お手持ちのCD-R/RWドライブやDVD-R/RW(DVD+R/RW)ドライブ、ライティングソフトの取扱説明書もよくお読みになり、正しくご使用ください。

音楽ファイル内にタイトル情報などのデータが記録されている場合は、ディスプレイに表示できます。

アドバイス

- ディスク書き込みに使用したレコーダーやレコーディングソフトの状態によっては正しく再生できない場合があります。その場合はご使用になった機器・ソフトの取扱説明書をご覧ください。
- パソコンのOSの種類やバージョン、ソフト、設定によって拡張子が付かない場合があります。その場合はファイルの最後に拡張子「.mp3」「.wma」「.m4a」「.aac」「.wav」を付けてからディスクに書き込んでください。
- 2GBを超えるサイズのファイルは再生できません。
- MP3/WMA/AAC/WAV形式の音楽ファイルが混在したディスクも再生できます。

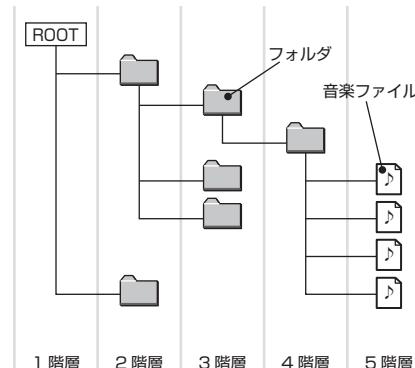
注意

- 音楽CDから書き込んだ(コピーした)ディスクやファイルを無償・有償にかかわらず他人に配るなどの行為、インターネットなどのサーバーへアップロードする行為は違法ですので決して行わないでください。
- 拡張子「.mp3」「.wma」「.m4a」「.aac」「.wav」を異なったファイル形式のファイルに付けないでください。そのようなファイルが書き込まれたディスクを再生すると誤認識して再生する可能性がある為、大きな雑音がでてスピーカーの破損や思わぬ事故につながる恐れがあります。

フォルダの構成について

フォルダは8階層まで認識できます。

ジャンル→アーティスト→アルバム→トラック (MP3/WMA/AAC/WAV形式の音楽ファイル)といった階層を作成して曲を管理できます。



名称	規格	説明	
フォーマット仕様	ISO9660	レベル1	最大8文字のファイル名と3文字の拡張子を持つ。 (半角英大文字と半角数字、“_”が使用可能)
	ISO9660 拡張	Joliet	最大64文字までをファイル名として使用可能。
マルチセッション	非対応(先頭のセッションのみ対象)		
最大階層数	8階層 (Rootを1階層目とした場合)		
最大フォルダ数	300 フォルダ (Rootを含む)		
最大ファイル数 ^{※1}	3000 ファイル(メディア内合計数。MP3、WMA、AAC、WAVファイル以外は含まず)		
ファイル名、 フォルダ名の制限	上限128バイト (Unicode 対応のため64文字となる) で、上限を超えるファイル名やフォルダ名の表示はできません。またそのファイルやフォルダの再生もできません。		
USB、SDカードの 対応フォーマット	USBデバイスの推奨ファイルシステムは、FAT32です。 SDカードは本機でフォーマット(P295)したものをご使用ください。 1パーティションのみ対応しております。 SDカードの対応容量は、最大32GB (SDHC規格対応)です。 SDカードの推奨クラスは、Class10以上です。		

※1 MP3/WMA/AAC/WAVファイル以外は含まず。但し、同じフォルダに多数の楽曲を格納している場合は最大曲数以下の場合でも認識しない場合があります。その場合は複数のフォルダに分けて格納してください。

お知らせ

- 本機で表示されるフォルダおよび音楽ファイルの順番はPCで表示される順番と異なる場合があります。

MP3とは

MP3とは「MPEG-1 Audio Layer3」の略称。MPEGとは「Motion Picture Experts Group」の略称でビデオCDなどに採用されている映像圧縮規格です。

MP3はMPEGの音声に関する規格に含まれる音声圧縮方式の1つで、人間の耳で聞こえない範囲の音や大きい音に埋もれて聞き取れない音を処理することにより、高音質で小さなデータ容量のファイルを作ることができます。

音楽CDの音質をほとんど損なうことなく約1/10のデータ容量に圧縮することができる為、約10枚分の音楽CDを1枚のCD-R/RWへ書き込むことが可能になります。

■再生できるMP3ファイルの規格について

再生できるMP3ファイルの仕様は以下のとおりです。

項目	内容
規格	MPEG-1 AUDIO LAYER3
	MPEG-2 AUDIO LAYER3
サンプリング周波数 [kHz]	MPEG-1 : 32/44.1/48
	MPEG-2 : 16/22.05/24
ビットレート [kbps]	MPEG-1 : 32 ~ 320
	MPEG-2 : 32 ~ 160
VBR(可変ビットレート)	対応
チャンネルモード	ステレオ/ジョイントステレオ/デュアルチャンネル/モノラル
拡張子	mp3
対応タグ情報	ID3タグ Ver.1.0, Ver.1.1, Ver.2.2, Ver.2.3, Ver.2.4 (ISO-8859-1 ^{※1} , UTF-16 (Unicode)) タイトル、アーティスト名、アルバム名、ジャケット写真、ジャンル
ソースプレートに表示できる 最大文字数	アルバム名 半角41文字(全角20文字) タイトル名 半角18文字(全角9文字)
リストに表示できる最大文字数	フォルダ名 : 半角46文字(全角23文字) ファイル名 : 半角34文字(全角17文字)
	フォルダリスト表示時 半角48文字(全角24文字) ※ 第2階層(Rootを第1階層とする)において。 ※ 階層の表示により、表示文字数は変化します。 1階層下がるごとに半角2文字(全角1文字) 減少します。
	トラックリスト表示時 ファイル名:半角49文字(全角24文字)

※1 「Ää」などのウムラウト記号付きの文字は対応しておりません。

注意

- 上記規格以外で書き込まれたMP3ファイルは正常に再生できない場合やファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

WMAとは

WMAとは、Windows Media Audioの略称で、Microsoft社の音声圧縮フォーマットです。MP3よりも高い圧縮率で音声データを圧縮する方式です。

※ Microsoft、Windows Media、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

注意

- WMAは著作権保護機能(DRM)をサポートしており、著作権で保護されたWMAファイルを本オーディオシステムでは再生できません。

■ 再生できるWMAファイルの規格について

再生できるWMAファイルの仕様は以下のとおりです。

項目	内容
規格	Windows Media Audio Version7.0
サンプリング周波数 [kHz]	16/22.05/32/44.1/48
ビットレート [kbps]	32～192
VBR(可変ビットレート)	対応
チャンネルモード	ステレオ/モノラル
拡張子	wma
対応タグ情報	WMAタグ タイトル、アーティスト名、アルバム名、ジャケット写真、ジャンル
ソースプレートに表示できる 最大文字数	アルバム名 半角41文字(全角20文字) タイトル名 半角18文字(全角9文字)
リストに表示できる最大文字数	フォルダ名 : 半角46文字(全角23文字) ファイル名 : 半角34文字(全角17文字)
	フォルダリスト表示時 半角48文字(全角24文字) ※ 第2階層(Rootを第1階層とする)において。 ※ 階層の表示により、表示文字数は変化します。 1階層下がるごとに半角2文字(全角1文字) 減少します。
	トラックリスト表示時 ファイル名:半角49文字(全角24文字)

注意

- 上記規格以外で書き込まれたWMAファイルは正常に再生できない場合やファイル名や
フォルダ名などが正しく表示されない場合があります。
- 「Pro」「Lossless」「Voice」には対応しておりません。

AACとは

AACとはAdvanced Audio Codingの略称で、映像の圧縮規格「MPEG-2」や「MPEG-4」で使われている音声圧縮方式です。MP3よりも約1.4倍圧縮効率が高く、音質はほぼ同じです。

注意

- AACは著作権保護機能(DRM)をサポートしており、著作権で保護されたAACファイルを本オーディオシステムでは再生できません。

■ 再生できるAACファイルの規格について

再生できるAACファイルの仕様は以下のとおりです。

項目	内容	
規格	Advanced Audio Coding MPEG4/AAC-LC MPEG2/AAC-LC	
サンプリング周波数[kHz]	MPEG4	8/11.025/12/16/22.05/24/32/44.1/48/64/88.2/96
	MPEG2	8/11.025/12/16/22.05/24/32/44.1/48/64
ビットレート[kbps]	MPEG4	16～576
	MPEG2	16～576
VBR(可変ビットレート)	対応	
チャンネルモード	ステレオ/モノラル	
拡張子	m4aおよびaac	
対応タグ情報	AACタグまたはID3タグ タイトル、アーティスト名、アルバム名、ジャケット写真、ジャンル	
ソースプレートに表示できる最大文字数	アルバム名 半角41文字(全角20文字) タイトル名 半角18文字(全角9文字)	
リストに表示できる最大文字数	フォルダ名	半角46文字(全角23文字)
	ファイル名	半角34文字(全角17文字)
	フォルダリスト表示時	半角48文字(全角24文字) ※第2階層(Rootを第1階層とする)において。 ※階層の表示により、表示文字数は変化します。 1階層下がるごとに半角2文字(全角1文字) 減少します。
トラックリスト表示時		ファイル名:半角49文字(全角24文字)

注意

- 上記規格以外で書き込まれたAACファイルは正常に再生できない場合やファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

WAVとは

WAVとは「RIFF wave form Audio Format」の略称で主にWindowsで使用されています。通常は非圧縮の音楽ファイルで、Microsoft社とIBM社で開発された音声データフォーマットです。

■ 再生できるWAVファイルの規格について

再生できるWAVファイルの仕様は以下のとおりです。

項目	内容	
規格	RIFF waveform Audio Format リニアPCM	
サンプリング周波数 [kHz]	8/11.025/16/22.05/32/44.1	
ビットレート [kbps]	128/176.4/256/352.8/512/705.6/1024/1411.2	
チャンネルモード	ステレオ(チャンネル数は2) / モノラル(チャンネル数は1)	
拡張子	wav	
対応タグ情報	対応しておりません。	
ソースプレートに表示できる 最大文字数	フォルダ名 半角41文字(全角20文字) ファイル名 半角18文字(全角9文字)	
リストに表示できる最大文字数	フォルダリスト表示時 トラックリスト表示時	半角48文字(全角24文字) ※ 第2階層(Rootを第1階層とする)において。 ※ 階層の表示により、表示文字数は変化します。 1階層下がるごとに半角2文字(全角1文字) 減少します。 ファイル名:半角49文字(全角24文字)

注意

- 上記規格以外で書き込まれたWAVファイルは正常に再生できない場合やファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

ラジオ／交通情報

ラジオを聴く

FM放送やAM放送のラジオの聴きかたについて説明します。

1 AV キーを押す

AVメニューを表示します。

2 [RADIO] にタッチする

ラジオの再生情報画面を表示します。

3 聴きたい“放送の種類”にタッチする



4 ▼ TUNE ▲ にタッチして選局する



▼ 選局した周波数の音声が流れます。

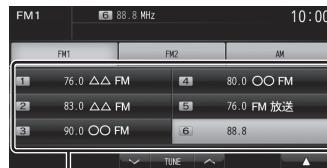
好みの放送局を登録する

お好みの放送局をFM1に6局、FM2に6局、AMに6局まで記憶できます。

1 ラジオ再生情報画面で

▼ TUNE ▲ にタッチし、
登録したい“放送局”を探す

2 登録したい“プリセットスイッチ” に「ピッ！」と鳴るまでタッチする



プリセットスイッチ

▼ タッチしたプリセットCH番号のスイッチに
選局した放送局を登録します。

■再生情報画面について



①ソースプレート

現在選ばれているソース名、プリセットCH番号、受信中の周波数を表示します。

②【FM1】、【FM2】、【AM】

FM放送、AM放送を切り換えるときに使用します。

それぞれ各6局までお好みの放送局を登録できます。

③プリセットスイッチ

お好みの放送局を登録できます。

希望のプリセットCH番号のスイッチを「ピッ！」と鳴るまでタッチし続けると、現在受信中の放送局を登録できます。

→「好みの放送局を登録する」(P61)

④【▼ TUNE ▲】

周波数を変更するときに使用します。

⑤【▲】

タッチすると、サブメニューを表示します。
→「サブメニューについて」(P63)
[スキャン]、[オートセレクト]が選べます。

■ サブメニューについて

ラジオの再生情報画面で [▲] にタッチすると表示するサブメニューについて説明します。



スキャン (スキャン解除)	受信できる放送局をまとめて探します。放送局を受信すると10秒間だけ音声を流し次の放送局を探します。 →「スキャンを開始する」(P64) また、スキャンをやめるときは再度サブメニューを表示し、[スキャン解除]にタッチします。 →「スキャンを解除する」(P64)
オートセレクト	受信できる放送局を探し、受信できた放送局は自動的にプリセットスイッチに登録します。 →「オートセレクトを開始する」(P64)
オートセレクト 解除	オートセレクトをやめるときに使用します。 →「オートセレクトを解除する」(P64)
戻る	サブメニューを閉じます。

受信状態の良い放送局を探す

旅行先など受信周波数の異なる地域に移動したときに受信できる放送局を探す場合に便利です。

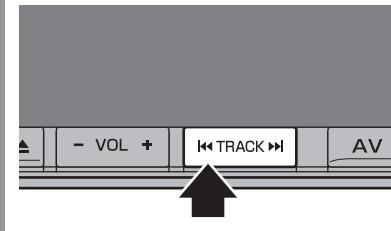
ここでは、ラジオの再生情報画面からの操作方法を説明します。

■ シークを開始する

受信できる放送局を1つずつ探しします。

1 ラジオの再生情報画面で「ピッ！」

と鳴るまで [◀TRACK▶] キーを押し続ける



受信できる放送局が見つかると、音声が流れます。

■ スキャンを開始する

受信できる放送局をまとめて探しします。

1 ラジオの再生情報画面で

▲にタッチする

サブメニューを表示します。

2 [スキャン]にタッチする



放送局を受信すると10秒間だけ音声を流し
次の放送局を探します。

スキャンを解除する

1 スキャン中に ▲にタッチする

再び、サブメニューを表示します。

2 [スキャン解除]にタッチする

▼
スキャンを解除します。

■ オートセレクトを開始する

受信できる放送局を探し、受信できた放送局は自動的にプリセットスイッチに登録します。

アドバイス

- 滞在する地域の放送局を一時的に登録するためあります。
(FM1、FM2の各6局とAMの6局)
- オートセレクトを解除すれば、元の状態に戻ります。

1 ラジオの再生情報画面で

▲にタッチする

サブメニューを表示します。

2 [オートセレクト]にタッチする



受信できる放送局を探し始めます。
受信できた放送局は自動的にプリセットスイッチに登録します。

オートセレクト終了後は一番受信状態がよかつたCHを選択します。

オートセレクトを解除する

オートセレクトを解除すると、登録したプリセットスイッチは元の状態に戻ります。

1 オートセレクト中に ▲にタッチする

再び、サブメニューを表示します。

2 [オートセレクト解除]にタッチする

▼
オートセレクトを解除します。
プリセットスイッチが元の状態に戻ります。

交通情報を聞く

交通情報の聴きかたについて説明します。

1 AV キーを押す

AVメニューを表示します。

2 [交通情報] にタッチする

交通情報の再生情報画面を表示します。

3 聴きたい“周波数”にタッチする



選んだ周波数の交通情報が流れます。

交通情報を OFF にする

1 交通情報の再生情報画面で

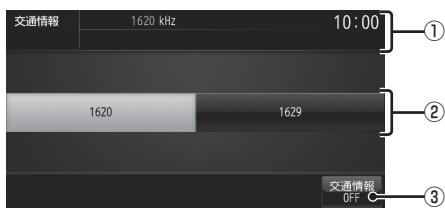
[交通情報 OFF] にタッチする

▼
交通情報を終了し、交通情報を聞く前のオーディオソースの再生を再開します。

アドバイス

- 交通情報を聞く前がオーディオ OFF だった場合は、オーディオ OFF となります。

表示内容について



① ソースプレート

現在選ばれているソース名、受信中の周波数を表示します。

② [1620], [1629]

交通情報の周波数、1620kHzもしくは1629kHzを選ぶときにタッチします。

③ [交通情報 OFF]

タッチすると、交通情報を終了し、交通情報を聞く前のオーディオソースの再生を再開します。

音楽CDを聴く

音楽CD(CD-DA/CD-TEXT)の聴きかたについて説明します。

本機にディスクを挿入すると、自動的に再生します。→「ディスクを挿入する」(P50)
また、工場出荷時の設定であれば本機に音楽CD挿入後、[録音する]にタッチすることでMusicFolderへの録音を開始します。

→「音楽CDの録音方法を変更する」(P274)

お知らせ

- 音楽CDを本機に挿入した状態で操作してください。

1 AV キーを押す

AVメニューを表示します。

2 DISC にタッチする

音楽CDの再生情報画面を表示します。

3 [◀◀TRACK▶▶] キーを押して曲を選ぶ



選んだ曲を再生します。

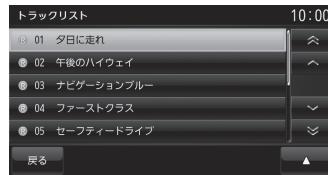
アドバイス

- [◀◀TRACK] キーまたは [TRACK▶▶] キーを押し続けると再生中の曲を早送り、早戻しすることができます。

リストを表示する

トラックリストを表示できます。
ここでは、音楽CDの再生情報画面からの操作方法を説明します。

1 音楽CDの再生情報画面でリスト表示にタッチする



トラックリストを表示します。

2 戻る にタッチする



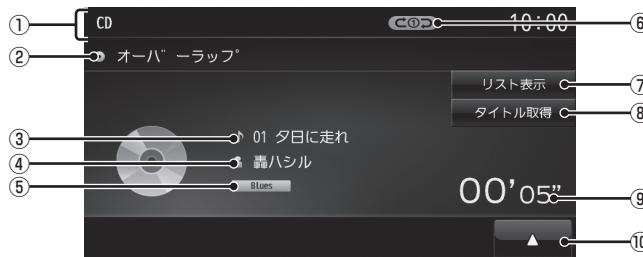
音楽CDの再生情報画面に戻ります。

アドバイス

- [▲] [▼] や [↑] [↓] にタッチしてトラックを選ぶことができます。

表示内容について

■ 再生情報画面について



① ソースプレート

現在選ばれているソース名や再生モードを表示します。

② アルバム名

タイトル情報があればアルバム名を表示します。タイトル情報がなければ「NO TITLE」と表示します。

③ トラック番号 / 曲名

タイトル情報があれば曲名を表示します。タイトル情報がなければ「NO TITLE」と表示します。

④ アーティスト名

タイトル情報があればアーティスト名を表示します。タイトル情報がなければ「NO NAME」と表示します。

⑤ ジャンル

再生しているトラックのジャンル名を表示します。タイトル情報にジャンル情報があれば表示します。

⑥ 再生モード表示

現在の再生モードを表示します。
→「再生モードを変更する」(P69)

: リピート再生中

: スキャン再生中

: ランダム再生中

⑦ リスト表示

トラックリストを表示します。
→「リストを表示する」(P66)

⑧ タイトル取得

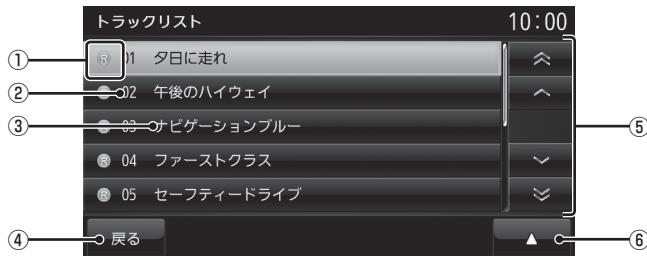
手動でタイトル情報を取得します。
→「タイトル情報を取得する」(P70)

⑨ 再生時間

⑩ ▲

サブメニューを表示します。再生モードの変更ができる[再生方法]が選べます。
→「再生モードを変更する」(P69)

■ リストについて



① 録音状態アイコン

Ⓐ (青) : 未録音

Ⓑ (赤) : 録音中

※ 録音済は表示されません。

② トラック番号

③ トラック名

トラック名を表示します。

トラック名の情報が空白だった場合は、
「NO TITLE」と表示します。

④ [戻る]

音楽CDの再生情報画面に戻ります。

⑤ カーソルスイッチ

トラックを選択できます。

⑥ [▲]

サブメニューを表示します。

→「サブメニューについて」(P69)

[再生方法]、[録音設定]、[録音開始]など
が選べます。

■ サブメニューについて

音楽CDの再生情報画面で [▲] にタッチすると表示するサブメニューについて説明します。再生方法についての変更や録音の設定、録音の開始 / 停止が行えます。



再生方法	再生モードを変更できます。 →「再生モードを変更する」(P69)
録音設定	録音方法の設定が行えます。 →「音楽CDの録音方法を変更する」(P274)
録音開始 (録音停止)	録音の開始や停止が行えます。 →「録音を開始/停止する」(P94)

再生モードを変更する

リピート再生、スキャン再生、ランダム再生が行えます。ここでは、音楽CDの再生情報画面からの操作方法を説明します。

1 音楽CDの再生情報画面で

[▲] にタッチする

サブメニューを表示します。

2 [再生方法] にタッチする

3 変更したい“モード”にタッチする



4 [戻る] にタッチする



選んだモードの再生を開始します。

■ 再生モードについて

リピート	再生中の曲を繰り返して再生します。
スキャン	ディスク内のすべての曲が対象で、始めの部分を約10秒間ずつ順番に再生します。
ランダム	ディスク内の曲を順不同に再生します。
解除	リピート、スキャン、ランダムのいずれかのモードが再生中の場合に、それらのモードを解除します。

タイトル情報を取得する

音楽CDを本機に挿入すると、自動的にタイトル情報を取得します。

お知らせ

- ・ タイトル情報は、地図カードに記録されている Gracenote データベースを利用してタイトル情報を取得します。
- ・ CD-TEXT の場合は CD 内から TEXT 情報を取得して表示します。TEXT 情報が無い場合は、地図カード内の Gracenote データベースからタイトル情報を取得して表示します。
- ・ タイトル情報が取得できない場合は、「NO TITLE」や「NO NAME」などと表示され、NoTitle リストに登録されます。
- ・ 本機の発売時期以降に発売された音楽 CD のタイトル情報は地図カードに記録された Gracenote データベースから取得できません。また、それ以前の音楽 CD でも情報を取得できない場合があります。
- ・ 複数の情報を表示する場合や異なった情報を表示する場合があります。
- ・ CD-TEXT は日本語と英語以外の言語には対応しておりません。また、「Ää」などのウムラウト記号付きの文字は対応しておりません。
- ・ タイトル情報の取得が完了するまでに時間がかかる場合があります。
- ・ 通信でタイトル情報の取得を行う場合は携帯電話の表示を待ち受け画面にしてください。

■ 取得できる情報について

- ・ アルバム名
- ・ アルバム名の読み
- ・ アルバムのアーティスト名
- ・ アルバムのアーティスト名の読み
- ・ トラック名
- ・ トラック名の読み
- ・ トラックのアーティスト名
- ・ ジャンル名

■ Gracenote について

音楽認識技術と関連情報は Gracenote® 社によって提供されています。

Gracenote は、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。

詳細は、Gracenote® 社のホームページ
www.gracenote.com をご覧ください。



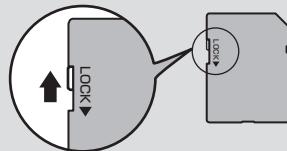
著作権、使用許諾について詳しくは「ソフトウェアについて」(P329)をご覧ください。

■ Gracenote データベースを SD カードで更新する

ご自宅のパソコンからインターネットを利用して Gracenote のデータベースを SD カードで取得できます。

お知らせ

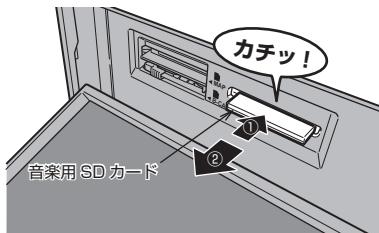
- あらかじめ音楽用 SD カードのロックを解除しておいてください。



- あらかじめ Gracenote データベース バージョンを確認しておいてください。
→「バージョンを確認する」(P261)

1 本機から音楽用 SD カードを取り出す

(音楽用 SD カードが挿入されている場合のみ)



→「SD カードを取り出す」(P19)

2 ご自宅のパソコンから Gracenote データベースを取得する

三菱電機ホームページから Gracenote データベースをダウンロードします。

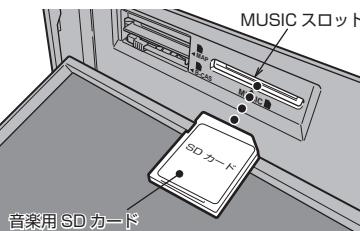
3 ダウンロードした圧縮ファイルを解凍する

ZIP 圧縮されているファイルは、解凍しておく必要があります。

4 解凍したファイルをすべて音楽用 SD カードにコピーする

解凍したファイルの容量を確認し、容量にあった SD カードを準備してください。

5 ファイルがコピーされた音楽用 SD カードを本機に挿入する



→「SD カードを挿入する」(P18)

6 「更新する」にタッチする

本機データベースのバージョンよりも新しいバージョンであれば、以下の画面を表示します



Gracenote データベースの更新が完了しました。

アドバイス

- CD-R に解凍済のファイルを書き込めば、本機に挿入することで手順 6 以降の操作で Gracenote データベースを更新できます。

■ 手動で取得する

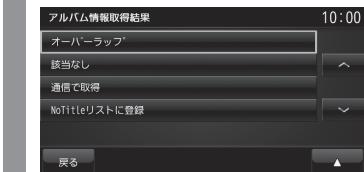
ここでは、音楽CDの再生情報画面からの操作方法を説明します。

1 音楽CDの再生情報画面で [タイトル取得] にタッチする



タイトル情報の検索を開始します。タイトル情報が取得できた場合、タイトル候補の選択画面を表示します。

2 いずれかにタッチする



アルバム名/ アーティスト名	タイトル情報が取得できた場合に表示します。タッチすることでそのタイトル情報を適用します。
該当なし	タイトル情報なしの状態となります。NoTitleリスト(P107)への登録も行いません。
通信で取得	携帯電話のデータ通信機能を使ってタイトル情報を取得します。但し、あらかじめ DUN プロファイルに対応した携帯電話と本機を Bluetooth 接続しておく必要があります。 →「Bluetoothの設定」(P282)
NoTitleリスト に登録	MusicFolderのNoTitleリストにこの音楽CDの情報を登録します。後でまとめてタイトル情報を取得できます。 →「NoTitleリストを管理する」(P107)
[▲]	サブメニューを表示します。選択しているタイトル候補のトラック情報を確認できます。

ディスクの音楽ファイルを聴く

ディスク内の音楽ファイルの聴きかたについて説明します。

本機にディスクを挿入すると、自動的に再生します。→「ディスクを挿入する」(P50)

お知らせ

- 音楽ファイルのディスクを本機に挿入した状態で操作してください。

1 AV キーを押す

AVメニューを表示します。

2 [DISC] にタッチする

音楽ファイルの再生情報画面を表示します。

3 ▼ FOLDER ▲ にタッチして フォルダを選ぶ



4 ▲TRACK▲ キーを押して 曲を選ぶ

選んだ曲を再生します。

アドバイス

- ▲TRACK▲ キーまたは TRACK キーを押し続けると再生中の曲を早送り、早戻しすることができます。

リストを表示する

リストを表示すると、フォルダの階層を確認しながら曲を探すことができます。

ここでは、音楽ファイルの再生情報画面からの操作方法を説明します。

1 音楽ファイルの再生情報画面で

リスト表示 にタッチする



リストを表示します。

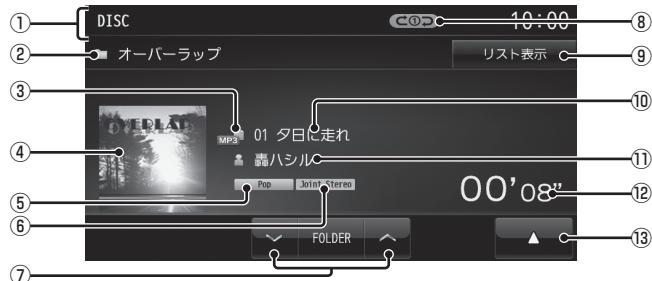
2 戻る にタッチする

音楽ファイルの再生情報画面に戻ります。

アドバイス

- [ROOT] にタッチすると、フォルダを開けます。
- ▲ ▼ や ▲ ▼ にタッチして フォルダやトラックを選ぶことができます。

■再生情報画面について



① ソースプレート

現在選ばれているソース名や再生モードを表示します。

② アルバム名

タイトル情報にアルバム名があれば表示します。WAV形式の場合はフォルダ名を表示します。

③ ファイル形式

再生中の音楽ファイルのファイル形式を表示します。

④ ジャケット

タイトル情報にジャケット写真があれば表示します。^{※1※2}

⑤ ジャンル

再生しているトラックのジャンル名を表示します。タイトル情報にジャンル情報があれば表示します。^{※2}

⑥ チャンネルモード

タイトル情報にチャンネルモードの情報があれば以下のアイコンを表示します。

Stereo : ステレオ

JointStereo : ジョイントステレオ

DualChannel : デュアルチャンネル

Monoral : モノラル

⑦ ▼ FOLDER ▲

フォルダを選ぶときに使用します。タッチすると、前後のフォルダへと切り換わり、最初の曲を再生します。

⑧ 再生モード表示

現在の再生モードを表示します。
→「再生モードを変更する」(P76)

C **○** : リピート再生中

C **□** : フォルダリピート再生中

SCAN : スキャン再生中

SCAN : フォルダスキャン再生中

△ **×** : ランダム再生中

ALL **△** **×** : オールランダム再生中

⑨ リスト表示

フォルダリストを表示します。
→「リストについて」(P75)

⑩ トラック番号 / 曲名

タイトル情報に曲名があれば表示します。
WAV形式の場合はファイル名を表示します。

⑪ アーティスト名

タイトル情報にアーティスト名があれば表示します。^{※2}

⑫ 再生時間

⑬ ▲

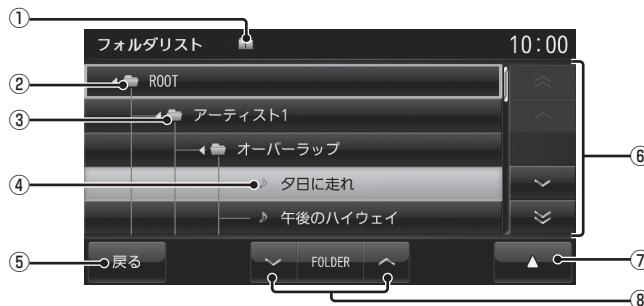
サブメニューを表示します。再生モードの変更ができる[再生方法]が選べます。

→「再生モードを変更する」(P76)

※1 画像データのサイズが大きいと表示されない場合があります。

※2 WAV形式は対応しておりません。

■ リストについて



① 階層位置表示アイコン

選択中のファイルまたはフォルダの階層位置を示します。

② ROOT

階層の最上位を示します。

③ フォルダ名

タッチすると、フォルダを展開します。

④ ファイル名

タッチすると、曲の再生を開始します。

⑤ 戻る

音楽ファイルの再生情報画面に戻ります。

⑥ カーソルスイッチ

フォルダやファイルを選択できます。

⑦ ▲

サブメニューを表示します。

→「サブメニューについて」(P76)

[再生方法]、[再生曲へ移動]、[ROOTへ移動]、[1階層上がる]が選べます。

⑧ ▼ FOLDER ▲

フォルダの階層を移動します。

■ サブメニューについて

リスト表示中に ▲ にタッチすると表示するサブメニューについて説明します。このサブメニューでは、再生モードの変更(P76)や各階層への移動などが行えます。



再生方法	リピート再生やスキャン再生、ランダム再生などの再生モードを変更する設定画面を表示します。 →「再生モードを変更する」(P76)
再生曲へ移動	リスト表示が再生曲の位置になるように移動します。
ROOTへ移動	リスト表示が最上位の階層に移動し、各フォルダの展開はすべて閉じられます。
1階層上がる	階層が1つ上がります。
戻る	サブメニューを消去します。

再生モードを変更する

リピート再生、スキャン再生、ランダム再生などが行えます。

1 音楽ファイルの再生情報画面またはリスト表示中に ▲ にタッチする

サブメニューを表示します。

2 「再生方法」にタッチする

3 変更したい“モード”にタッチする



4 戻るにタッチする



選んだモードの再生を開始します。

■ 再生モードについて

リピート	再生中の曲を繰り返して再生します。
フォルダリピート	再生中の曲があるフォルダを繰り返して再生します。
スキャン	再生中の曲があるフォルダ内のすべての曲が対象で、始めの部分を約10秒間ずつ順番に再生します。
フォルダスキャン	ディスク内の全フォルダの1曲目を約10秒間ずつ順番に再生します。
ランダム	再生中の曲があるフォルダ内の曲を順不同に再生します。
オールランダム	ディスク内の曲すべてを順不同に再生します。
解除	リピートやスキャン、ランダムなどいずれかのモードが再生中の場合にそれらのモードを解除します。

DVDビデオを見る

DVDビデオの見かたについて説明します。

注意

- DVDビデオの映像は安全上の配慮から、停車してパーキングブレーキをかけているときだけご覧になることができます。(但し、後席モニターなどのAUX出力機器は除く)
- DVDビデオをご覧になるときは、停車禁止区域以外の安全な場所に停車してください。
- エンジンが停止している状態で使用していると、バッテリーの充電状態によってはエンジンの始動ができなくなることがあります。

お知らせ

- DVDビデオによってはメニューがない場合や場面によって表示できない場合があります。また、DVDビデオ側の規制から早送りやチャプタースキップなどの操作ができない場合があります。そのようなときは、マークを表示します。
- 本機は「dts」(P323)には対応しておりませんので、「dts」を選んでいた場合は音声が outputされません。必ず「dts」以外の音声を選んでください。
- DOLBY DIGITAL や MPEG2 オーディオなどの多チャンネル方式で記録した音声は、本機ではステレオ 2ch で出力します。
- DVDビデオはディスクによって録音レベルが異なるため、他のメディアからDVDビデオに切り換えると、音量に差を感じられることがあります。

本機にディスクを挿入すると、自動的に再生します。→「ディスクを挿入する」(P50)

お知らせ

- DVDビデオを本機に挿入した状態で操作してください。

1 AV キーを押す

AVメニューを表示します。

2 DISC にタッチする

DVDビデオの再生画面を表示します。

3 ▶TRACK キーを押して

チャプターを選ぶ

選んだチャプターの再生を開始します。

アドバイス

- ▶TRACK キーまたは TRACK▶ キーを押し続けることで早送り、早戻しができます。

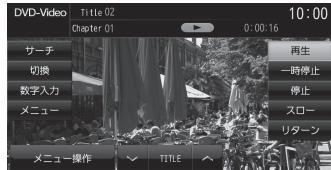
AV

DISC

DVDビデオの操作画面を表示する

DVDビデオを操作するためのメニューを表示します。

1 画面のいずれかにタッチする



操作画面を表示します。

お知らせ

- 本書ではDVDビデオの各モードを区別するために以下のように表記しています。

DVD VIDEO	ビデオモードで記録されたディスク
DVD-VR	VRモードで記録されたディスク

表示内容について

■再生中の操作画面

DVD VIDEO の場合

再生中、画面にタッチしたときに表示する操作画面について説明します。



① ソースプレート

現在選ばれているメディア名およびタイトル番号、チャプター番号、状態アイコン、再生経過時間を表示します。

状態アイコン

- ▶ : 再生中
- II : 一時停止中
- ▶▶ : 早送り中
- ◀◀ : 早戻し中
- 1/2 ▶ : スロー再生中

② サーチ

タイトル番号やチャプター番号を入力して選ぶことができます。

→「タイトル番号やチャプター番号を選ぶ」(P82)

③ 切換

音声の言語／種別や字幕情報の選択(P83)や画面表示の切り換え(P83)、アングルの切り換え(P84)が行えます。

④ 数字入力

DVDビデオのメニューに番号が設定されていれば、数字入力でメニューを選ぶことができます。

→「数字入力でメニューを選ぶ」(P85)

⑤ メニュー

記録されているタイトルメニューを表示し、メニュー操作パネルを表示します。

→「メニューを操作する」(P84)

⑥ メニュー操作

メニュー操作パネルを表示します。

⑦ ▼TITLE▲

前後のタイトルを選ぶときに使用します。

⑧ 再生

一時停止、スロー再生の状態を解除して通常の再生に戻ります。

⑨ 一時停止

映像が表示された状態で停止します。

⑩ 停止

再生を停止し、ブルーバック画面に切りわります。停止中は操作画面が変わります。(P81)

⑪ スロー

タッチするたびに
[1/2] → [1/8] → [1/32] → [1/2] . . .
と再生速度が変わります。(スロー再生)

⑫ リターン

あらかじめDVDビデオ側で決められた特定の範囲を再生します。(リターン再生)

DVD-VR の場合



① ソースプレート

現在選ばれているメディア名およびタイトル番号、チャプター番号、状態アイコン、再生経過時間を表示します。

状態アイコン

- ▶ : 再生中
- II : 一時停止中
- ▶▶ : 早送り中
- ◀◀ : 早戻し中
- 1/2 ▶ : スロー再生中

② サーチ

タイトル番号やチャプター番号を入力して選ぶことができます。

→「タイトル番号やチャプター番号を選ぶ」(P82)

③ 切換

音声の番号 / 種別や字幕 ON/OFF の選択 (P83) や画面表示の切り換え (P83) が行えます。

④ メニュー

記録されているタイトルリストを表示します。
→「タイトルリストを表示する」(P87)

⑤ 音声多重切換

二ヶ国語放送のような複数の音声が収録されていた場合、タッチするたびに [主音声] → [副音声] → [主+副] → [主音声] … のように音声を切り換えることができます。
→「音声多重を切り換える」(P87)

⑥ ▼TITLE▲

前後のタイトルを選ぶときに使用します。

⑦ 再生

一時停止、スロー再生の状態を解除して通常の再生に戻ります。

⑧ 一時停止

映像が表示された状態で停止します。

⑨ 停止

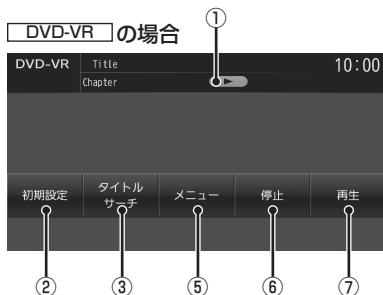
再生を停止し、ブルーバック画面に切り換わります。停止中は操作画面が変わります。(P81)

⑩ スロー

タッチするたびに [1/2] → [1/8] → [1/32] → [1/2] … と再生速度が変わります。(スロー再生)

■ 停止中の操作画面

停止中、画面にタッチしたときに表示する操作画面について説明します。



① 状態アイコン

- ▶ (点滅)：停止中（続き再生可能）
- ：停止中（続き再生不可）

② 初期設定

音声言語や字幕言語などの初期設定を行うことができます。毎回音声や字幕の言語を切り換えるなくてもよくなります。

→「DVDビデオの初期設定」(P276)

③ タイトルサーチ

タイトル番号を入力して選ぶことができます。
→「タイトル番号やチャプター番号を選ぶ」(P82)

④ メインメニュー

記録されているメインメニューを表示し、メニュー操作パネルを表示します。
→「メニューを操作する」(P84)

⑤ メニュー

記録されているタイトルリストを表示します。
→「タイトルリストを表示する」(P87)

⑥ 停止

再生中から停止にしたとき（状態アイコン▶が点滅状態）は続き再生（リピート再生）ができます。

再度[停止]にタッチすると状態アイコンが■になり続き再生ができなくなります。

⑦ 再生

状態アイコン▶が点滅状態であれば、続き再生ができます。

状態アイコンが■であれば、続き再生は行われず最初からの再生となります。

タイトル番号やチャプター番号を選ぶ

タイトル番号やチャプター番号を入力して選ぶことができます。

- 1 再生中、画面にタッチする
- 2 [サーチ] にタッチする
- 3 [タイトル] または [チャプター] にタッチする



- 4 再生したい“番号”を入力する



→「文字入力のしかた」(P160)

- 5 [決定] にタッチする

指定した番号のタイトルまたはチャプターから再生します。

アドバイス

- ・ タイトルの場合は最大で2桁、チャプターの場合は最大3桁まで入力できます。
- ・ 手順4で最大桁数まで入力した場合は、手順5の[決定]は必要ありません。

■ 停止画面からの操作

停止中では、タイトル番号の変更のみ行えます。

- 1 停止中、画面にタッチする
- 2 [タイトルサーチ] にタッチする
- 3 再生したい“番号”を入力する
→「文字入力のしかた」(P160)
- 4 [決定] にタッチする

▼
指定した番号のタイトルから再生します。

アドバイス

- ・ 手順3で最大桁数の2桁まで入力した場合は、手順4の[決定]は必要ありません。

DVD VIDEO DVD-VR

音声/字幕を切り換える

DVD VIDEO では音声の言語 / 種別や字幕情報の選択が行え、DVD-VR では音声の番号 / 種別や字幕 ON/OFF の選択が行えます。

- 1 再生中、画面にタッチする**
- 2 切換 にタッチする**
- 3 音声 または 字幕 にタッチする**



音声または字幕の切換メニューを表示します。

- 4 音声 または 字幕 にタッチする**



タッチするたびに、音声または字幕が切り換わります。

アドバイス

- 変更中には音声情報または字幕情報がソースプレートに表示されます。

DVD VIDEO DVD-VR

画面表示を切り換える

DVD ビデオでは 4 種類のモードが用意されており、表示方法を切り換えることができます。

- 1 再生中、画面にタッチする**
- 2 切換 にタッチする**
- 3 ワイド にタッチする**
モードの切換メニューを表示します。
- 4 いずれかの“モード”にタッチする**



モード



画面表示のモードが切り換わります。

お知らせ

- 通常画面は縦横比 4:3、ワイド画面は縦横比 16:9 です。
- ズームでは、画質が粗くなります。
- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り換え機能を利用すると（フル、ズームなどで画面の圧縮や引き伸ばしなどを行う）、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがあります。

DVD VIDEO**アングルを切り換える**

複数のアングルが収録されたDVDビデオであればアングルを切り換えることができます。

1 再生中、画面にタッチする**2 [切換] にタッチする****3 [アングル] にタッチする**

アングルの切換メニューを表示します。

4 [アングル] にタッチする

タッチするたびに、アングルが切り換わります。

アドバイス

- 変更中にはアングル番号がソースプレートに表示されます。

DVD VIDEO**メニューを操作する**

タイトルメニューやメインメニューを表示し、各メニューの選択および決定が行えます。

■ タイトルメニューの場合**1 再生中、画面にタッチする****2 [メニュー] にタッチする**

タイトルメニューを表示します。

3 カーソルスイッチにタッチしてメニューを選ぶ

カーソルスイッチ

4 [決定] にタッチする

選択したメニューの再生を開始します。

アドバイス

- メニュー操作パネルで[戻る]にタッチすると映像はタイトルメニューのまま操作画面を表示します。
- [左へ移動]または[右へ移動]にタッチすると、メニュー操作パネルを移動させることができます。

■ メインメニューの場合

- 1 停止中、画面にタッチする**
- 2 [メインメニュー] にタッチする**
メインメニューを表示します。
- 3 カーソルスイッチにタッチしてメニューを選ぶ**
- 4 [決定] にタッチする**



カーソルスイッチ



選択したメニューの再生を開始します。

アドバイス

- ・メニュー操作パネルで[戻る]にタッチすると映像はメインメニューのまま操作画面を表示します。
- ・[左へ移動]または[右へ移動]にタッチすると、メニュー操作パネルを移動させることができます。

DVD VIDEO

数字入力でメニューを選ぶ

DVDビデオのメニューに番号が設定されていれば、数字入力でメニューを選ぶことができます。

- 1 メニューを表示する**
→「メニューを操作する」(P84)
- 2 [戻る] にタッチする**



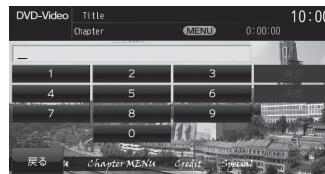
操作画面を表示します。

アドバイス

- ・再び、メニュー操作パネルを表示するときは、[メニュー操作]にタッチします。

- 3 [数字入力] にタッチする**

- 4 再生したい“メニュー番号”を入力する**



→「文字入力のしかた」(P160)

- 5 [決定] にタッチする**

指定したメニュー番号の項目を再生します。

DVD VIDEO

視聴制限のあるDVDビデオを再生したとき

「視聴制限のレベルを設定する」(P277)で再生できるシーンを限定していた場合に、視聴制限のあるDVDビデオを再生すると、視聴制限のあるシーンを飛ばして再生します。また、DVDビデオによっては、視聴制限のあるシーンに差し掛かるとパスワードを入力する画面を表示する場合があります。ここでは、パスワードを入力する画面が表示された場合の説明をします。

視聴制限のあるシーンに差し掛かり、
パスワードを入力する画面が表示されたら…

1 戻るにタッチする



視聴制限のあるシーンを飛ばして再生します。

お知らせ

- DVDビデオによっては、[戻る]にタッチしても継続して再生することができない場合があります。
- パスワードを入力すると視聴制限のあるシーンを飛ばすことなく再生できます。
パスワードは「視聴制限のレベルを設定する」(P277)で設定したパスワードとなります。

DVD-VR

静止画を送る

静止画表示中に、次の静止画を表示できます。

1 静止画表示中、画面にタッチする

2 次の静止画にタッチする



タッチするたびに、次の静止画の表示に切り換わります。

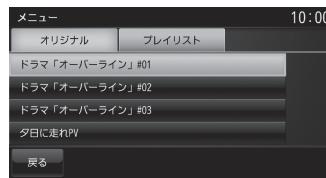
DVD-VR**音声多重を切り換える**

二ヶ国語放送のような複数の音声が収録されていた場合、[主音声]→[副音声]→[主+副]→[主音声]・・・のように音声を切り換えることができます。

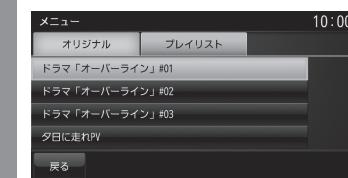
- 1 再生中、画面にタッチする**
- 2 音声多重切換** にタッチする

**DVD-VR****タイトルリストを表示する**

- 1 再生中または停止中、画面にタッチする**
- 2 メニュー** にタッチする
タイトルリストを表示します。
- 3 オリジナル** または
プレイリスト にタッチする



- 4 再生したい“メニュー”にタッチする**



タッチするたびに、[主音声]→[副音声]→[主+副]→[主音声]・・・と切り換わります。

選んだメニューの再生を開始します。

SD/MusicFolder

SD カードの曲を聴く

MUSICスロットに挿入された、音楽用SDカード(音楽ファイルが記録されたSDカード)を本機で再生できます。

お知らせ

- SDカードの種類によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。
- 本機でフォーマットした音楽用SDカードをご使用ください。→「メモリ初期化」(P295)
- SDカードの対応容量は、最大32GB(SDHG規格対応)です。
- 音楽ファイルが記録されたSDカードを本機のMUSICスロットに挿入した状態で操作してください。
- 本書では、MUSICスロットに挿入されたSDカードのことを“音楽用SDカード”と説明しています。

注意

- データ破損の恐れがあるためファイルのバックアップをお勧めします。
- 音楽用SDカードの破損、記録されたデータの消失または破損に対する一切の保証は致しかねます。

1 AVキーを押す

AVメニューを表示します。

2 SD/MusicFolderにタッチする

MusicFolderの再生情報画面を表示します。音楽ファイルのみ記録された音楽用SDカードを挿入していた場合は、SDカードの再生情報画面を表示します。(→手順4へ)

3 SD Cardにタッチする

SDカードの再生情報画面を表示します。

4 ▼FOLDER▲にタッチして フォルダを選ぶ



5 ▶TRACK◀キーを押して 曲を選ぶ

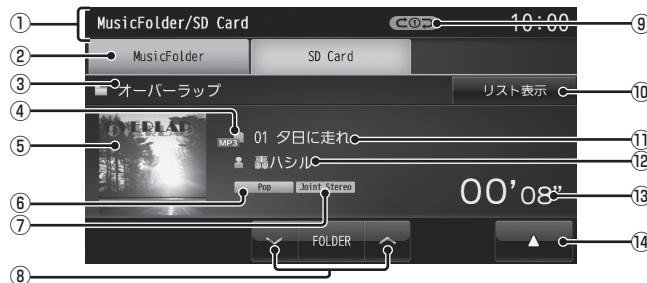
▼
選んだ曲を再生します。

アドバイス

- ▶TRACK◀キーまたは▶TRACK▶キーを押し続けると再生中の曲を早送り、早戻しすることができます。

表示内容について

■ 再生情報画面について



① ソースプレート

現在選ばれているソース名や再生モードを表示します。

② MusicFolder

再生情報画面をMusicFolderに切り換え、MusicFolderの再生を開始します。
→「MusicFolderを聞く」(P95)

③ アルバム名

タイトル情報にアルバム名があれば表示します。WAV形式の場合はフォルダ名を表示します。

④ ファイル形式

再生中の音楽ファイルのファイル形式を表示します。

⑤ ジャケット

タイトル情報にジャケット写真があれば表示します。※1※2

⑥ ジャンル

再生しているトラックのジャンル名を表示します。タイトル情報にジャンル情報があれば表示します。※2

⑦ チャンネルモード

タイトル情報にチャンネルモードの情報があれば以下のアイコンを表示します。

Stereo : ステレオ

JointStereo : ジョイントステレオ

DualChannel : デュアルチャンネル

Monoral : モノラル

⑧ ▼ FOLDER ▲

フォルダを選ぶときに使用します。タッチすると、前後のフォルダへと切り換わり、最初の曲を再生します。

⑨ 再生モード表示

現在の再生モードを表示します。

→「再生モードを変更する」(P92)

◀▶ : リピート再生中

◀▶▶ : フォルダリピート再生中

SCAN : スキャン再生中

SCAN : フォルダスキャン再生中

◻◆ : ランダム再生中

ALL ◻◆ : オールランダム再生中

⑩ リスト表示

フォルダリストを表示します。

→「リストについて」(P90)

⑪ トラック番号 / 曲名

タイトル情報に曲名があれば表示します。WAV形式の場合はファイル名を表示します。

⑫ アーティスト名

タイトル情報にアーティスト名があれば表示します。※2

⑬ 再生時間

⑭ ▲

サブメニューを表示します。再生モードの変更ができる[再生方法]が選べます。
→「再生モードを変更する」(P92)

※1 画像データのサイズが大きいと表示されない場合があります。

※2 WAV形式は対応しておりません。

■ リストについて



- ① 階層位置表示アイコン
選択中のファイルまたはフォルダの階層位置を示します。
- ② ROOT
階層の最上位を示します。
- ③ フォルダ名
タッチすると、フォルダを展開します。
- ④ ファイル名
タッチすると、曲の再生を開始します。
- ⑤ [戻る]
SDカードの再生情報画面に戻ります。
- ⑥ ▼ FOLDER ▲
フォルダの階層を移動します。
- ⑦ カーソルスイッチ
フォルダやファイルが選択できます。
- ⑧ ▲
サブメニューを表示します。
→「サブメニューについて」(P91)
[再生方法]、[再生曲へ移動]、[ROOTへ移動]、[↑ 階層上がる]が選べます。

■ サブメニューについて

リスト表示中に ▲ にタッチすると表示するサブメニューについて説明します。
このサブメニューでは、再生モードの変更 (P92) や各階層への移動などが行えます。



再生方法	リピート再生やスキャン再生、ランダム再生などの再生モードを変更する設定画面を表示します。 →「再生モードを変更する」(P92)
再生曲へ移動	リスト表示が再生曲の位置になるように移動します。
ROOTへ移動	リスト表示が最上位の階層に移動し、各フォルダの展開はすべて閉じられます。
1階層上がる	階層が1つ上がります。
戻る	サブメニューを消去します。

リストを表示する

リストを表示すると、フォルダの階層を確認しながら曲を探すことができます。
ここでは、SDカードの再生情報画面からの操作方法を説明します。

1 SDカードの再生情報画面で リスト表示にタッチする



リストを表示します。

2 戻るにタッチする

SDカードの再生情報画面に戻ります。

アドバイス

- [ROOT]にタッチすると、フォルダを開します。
- [▲] [▼] や [↑] [↓] にタッチして フォルダやトラックを選ぶことができます。

再生モードを変更する

リピート再生、スキャン再生、ランダム再生などが行えます。

1 SDカードの再生情報画面またはリスト表示中に ▲ にタッチする
サブメニューを表示します。

2 [再生方法] にタッチする

3 変更したい“モード”にタッチする



4 戻る にタッチする



選んだモードの再生を開始します。

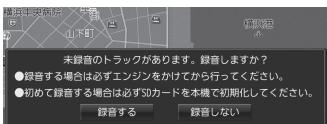
■ 再生モードについて

リピート	再生中の曲を繰り返して再生します。
フォルダリピート	再生中の曲があるフォルダを繰り返して再生します。
スキャン	再生中の曲があるフォルダ内のすべての曲が対象で、始めの部分を約10秒間ずつ順番に再生します。
フォルダスキャン	SDカード内の全フォルダの1曲目を約10秒間ずつ順番に再生します。
ランダム	再生中の曲があるフォルダ内の曲を順不同に再生します。
オールランダム	SDカード内の曲すべてを順不同に再生します。
解除	リピートやスキャン、ランダムなど、いずれかのモードが再生中の場合にそれらのモードを解除します。

MusicFolderに録音する

MusicFolderへの録音について

本機は、挿入した音楽CDの曲を等倍～約4倍速でMUSICスロットに挿入されたSDカード(音楽用SDカード)に録音できます。工場出荷時の設定であれば、本機に音楽CDを挿入後、[録音する]にタッチすることで音楽CD内の曲をすべてMusicFolderに録音します。

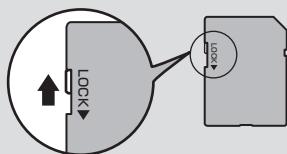


注意

- 録音したものを個人で楽しむなど以外の目的で使用することは、著作権法上禁止されています。
- MusicFolderに録音できるのは音楽CD(CD-DA)からのみです。MP3/WMA/AAC/WAVなどの音楽ファイルが記録されたディスクやその他のメディア(SDカードやUSBメモリーなど)からの録音はできません。
- 録音はエンジンがかかっている状態のときに行ってください。録音中にエンジンをかけると正しく録音できない場合があります。

お知らせ

- SDカードの対応容量は、最大32GB (SDHC規格対応)です。
- SDカードによっては、正常に録音できない場合があります。
- 読み書き可能なSDカードを本機のMUSICスロットに挿入した状態で操作してください。(SDカードのLockは解除しておいてください)



お知らせ

- SDカードの推奨クラスは、Class10以上です。
- 音楽用SDカードは、あらかじめ「メモリ初期化」(P295)の[音楽用SDカードの初期化]でSD-Audioフォーマットに初期化しておく必要があります。
- 1枚のSDカードに最大CD99枚まで録音できます。
- 録音ビットレートは高速録音、高音質録音ともに128kbpsです。
- 録音したものは原音とは音質が異なる場合やノイズが混入する可能性があります。
- MusicFolderに録音した曲を別のメディア(CD-R/RW、ハードディスク、USBメモリー、SDカードなど)には複製/移動できません。
- すでに録音した曲は同じ音楽CDから重複して録音できません。
- 録音中は本機の操作に時間がかかることがあります。
- 本機の処理負荷の状態や音楽CD側の状態により、録音速度が等倍速より遅くなる場合があります。
- 追いかけ再生準備のため、録音開始直後は再生に時間がかかることがあります。別のオーディオソースをお楽しみいただくことをお勧めいたします。
- 録音中、再生が録音している部分に追いつくと再生を一時中断します。
(録音は継続します。) 再生が一時中断すると、しばらく無音状態となりますので、別のオーディオソースをお楽しみいただくことをお勧めいたします。
- 音飛びなどのエラーがあった場合は、次の曲に進み録音を開始します。
- 曲と曲の間にブランクがない場合は、曲間に無音が録音されます。
- SCMS(孫コピー防止技術)の働きにより、音楽CDをデジタル録音したディスクからMusicFolderへは録音できません。

アドバイス

- 録音方法を変更できます。→「音楽CDの録音方法を変更する」(P274)

録音を開始/停止する

ここでは、音楽CDの再生情報画面からの操作方法を説明します。→「音楽CDを聞く」
(P66)

アドバイス

- 録音設定が「シングル録音」だった場合、1曲目以外は録音できません。

1 録音したい曲を再生する

2 音楽CDの再生情報画面で

▶ → [録音開始] にタッチする

3 [開始する] にタッチする



選んだ曲の録音を開始し、追いかけ再生を行います。

4 録音を停止するときは、

▶ → [録音停止] にタッチする



録音を停止します。

MusicFolderを聴く

MusicFolderとは、MUSICスロットに挿入されたSDカードに音楽CDの曲を録音し、再生する機能です。

注意

- 音楽用SDカードの破損、記録されたデータの消失または破損に対する一切の保証は致しかねます。

お知らせ

- 本製品を譲渡するときなどは、著作権法上すべての曲を消去してください。
→「メモリ初期化」(P295)
- SDカードの種類によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。
- 本書では、MUSICスロットに挿入されたSDカードのことを“音楽用SDカード”と説明しています。

1 AV キーを押す

AVメニューを表示します。

2 SD/MusicFolder にタッチする

MusicFolderの再生情報画面を表示します。

3 ▶◀TRACK▶▶ キーを押して曲を選ぶ



選んだ曲を再生します。

アドバイス

- ◀◀TRACK▶▶ キーまたは ▶▶TRACK▶▶ キーを押し続けると再生中の曲を早送り、早戻しすることができます。
- プレイリスト内の曲を再生している場合は、▽ PLAYLIST ▷にタッチすると、前後のプレイリストへと切り替わり、最初の曲を再生します。

■ SD-Audioについて

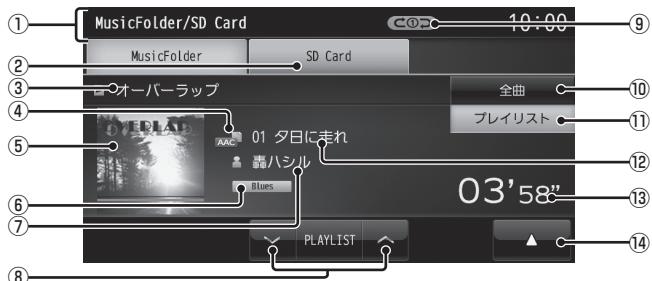
本機のMusicFolderはSD-Audio規格に対応しています。ご家庭のパソコンなどでSD-Audio規格で録音した音楽ファイルのSDカードを本機のMUSICスロットに挿入することで、MusicFolderとして再生できます。

他の機器で録音したプレイリストの情報について他の機器で録音したプレイリストの情報を本機で編集すると、以下のようにになります。

- プレイリスト名/トラック名/アルバム名/アーティスト名/ジャンル名以外の情報は消去されます。
- 各名称の31文字以降はカットされます。
- 半角文字(カタカナ、英数字)は全角文字になります。
- 規定外の文字コードで入力されている文字は“□”で表示されます。

表示内容について

■ 再生情報画面について



① ソースプレート

現在選ばれているソース名や再生モードを表示します。

② SD Card

再生情報画面をSD Cardに切り換え、SDカードの再生を開始します。

→「SDカードの曲を聴く」(P88)

③ 全曲 / プレイリスト名

全曲再生の場合は、「全曲」と表示します。プレイリスト内の曲を再生している場合は、再生中のプレイリスト名を表示します。

④ ファイル形式

再生中の音楽ファイルのファイル形式を表示します。

⑤ ジャケット

タイトル情報にジャケット写真があれば表示します。^{※1}

⑥ ジャンル

再生しているトラックのジャンル名を表示します。タイトル情報にジャンル情報があれば表示します。

⑦ アーティスト名

タイトル情報があればアーティスト名を表示します。タイトル情報がなければ「NO NAME」と表示します。

⑧ ▼ PLAYLIST ▲

プレイリストを選ぶときに使用します。(プレイリスト内の曲を再生しているときに選択できます。)
タッチすると、前後のプレイリストへと切り換わり、最初の曲を再生します。

⑨ 再生モード表示

現在の再生モードを表示します。

→「再生モードを変更する」(P105)

◀▶ : リピート再生中

◀◀▶▶ : プレイリストリピート再生中

◀▶SCAN : スキャン再生中

◀◀▶▶SCAN : プレイリストスキャン再生中

◀▶RANDOM : ランダム再生中

◀◀▶▶RANDOM : プレイリストランダム再生中

◀▶ALLRANDOM : オールランダム再生中

⑩ 全曲

全曲のトラックリストを表示します。

→「トラックリストについて」(P98)

⑪ プレイリスト

プレイリスト選択画面を表示します。

→「プレイリスト選択画面」(P97)

⑫ トラック番号 / 曲名

タイトル情報があれば曲名を表示します。タイトル情報がなければ「NO TITLE」と表示します。録音中であれば、「NOW RECORDING」と表示します。

⑬ 再生時間

⑭ ▲

サブメニューを表示します。再生モードの変更(P105)やNoTitleリストの表示(P107)、MusicFolderの全消去(P110)が行えます。

※1 画像データのサイズが大きいと表示されない場合があります。

■ プレイリスト選択画面



① プレイリスト名

タッチすると、そのプレイリスト内のトラックリストを表示します。
→「トラックリストについて」(P98)

② [戻る]

MusicFolderの再生情報画面(P96)に戻ります。

③ [▼ PLAYLIST ▲]

プレイリストを選ぶときに使用します。
タッチすると、前後のプレイリストへと切り換わり、最初の曲を再生します。

④ カーソルスイッチ

フォルダやファイルが選択できます。

⑤ ▲

サブメニューを表示します。再生モードの変更(P105)やプレイリストのタイトル変更(P99)、再生順序の変更(P100)、消去(P101)が行えます。

■ トラックリストについて



① 全曲 / プレイリスト名

全曲再生の場合は、「全曲」と表示します。
プレイリスト内の曲を再生している場合は、再生中のプレイリスト名を表示します。

② トラック番号 / 曲名

タイトル情報があれば曲名を表示します。タイトル情報がなければ「NO TITLE」と表示します。録音中であれば、「NOW RECORDING」と表示します。

タッチすると、選択した曲の再生を開始します。

③ 戻る

全曲再生の場合は、再生情報画面 (P96) を表示し、プレイリスト内の曲を再生している場合は、プレイリスト選択画面 (P97) を表示します。

④ ▼ PLAYLIST ▲

プレイリストを選ぶときに使用します。
タッチすると、前後のプレイリストへと切り換わり、最初の曲を再生します。

⑤ カーソルスイッチ

フォルダやファイルが選択できます。

⑥ ▲

サブメニューを表示します。再生モードの変更 (P105) やトラックの情報編集 (P103)、再生順序の変更 (P103)、消去 (P104) が行えます。

⑦ 再生画面

MusicFolder の再生情報画面 (P96) に戻ります。

プレイリスト選択画面を表示する

MusicFolderに音楽CDの曲を録音すると、自動的にアルバムごとのプレイリストが作成されます。このプレイリストをアルバムごとに選択できます。

ここでは、MusicFolderの再生情報画面からの操作方法を説明します。

お知らせ

- MusicFolderに1曲も録音されていない場合は、以下の操作ができません。

1 MusicFolderの再生情報画面で、

プレイリストにタッチする



プレイリスト選択画面を表示します。
各プレイリストにタッチすると、そのプレイリストのトラックリストを表示します。

2 戻るにタッチする

MusicFolderの再生情報画面に戻ります。

アドバイス

- △ ▽ や ▲ ▼ にタッチしてプレイリストを選ぶことができます。

プレイリストを編集する

プレイリストのタイトルや再生順序の変更、消去が行えます。

■ プレイリストのタイトルを変更する

プレイリスト名を変更できます。

ここでは、プレイリスト選択画面からの操作方法を説明します。

→「プレイリスト選択画面を表示する」(P99)

1 カーソルスイッチでタイトルを変更したい“プレイリスト”を選ぶ



2 ▲ → プレイリスト情報編集にタッチする

プレイリストの情報編集画面を表示します。

3 タイトルにタッチする



アドバイス

- ▲にタッチすると、選択しているプレイリストのタイトル情報を取得できます。→「タイトル情報を取得する」(P106)

次のページにつづく

4 変更したい“タイトル”を入力し、 【入力完了】にタッチする

→「文字入力のしかた」(P160)



プレイリストの情報編集画面に戻ります。

5 【決定】にタッチする



選択したプレイリストのタイトル変更が完了します。

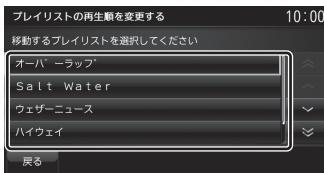
■ プレイリストの再生順序を変更する
MusicFolder内のプレイリストは録音順に格納され、通常その順序で再生されます。本機能は、プレイリストの再生順序を変更できます。ここでは、プレイリスト選択画面からの操作方法を説明します。

→「プレイリスト選択画面を表示する」(P99)

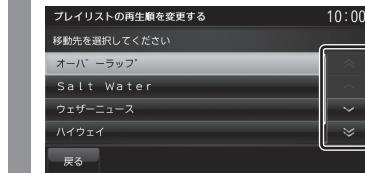
1 ▲ → プレイリスト再生順変更 にタッチする

再生順序を変更する画面を表示します。

2 再生順序を変更したい “プレイリスト”にタッチする

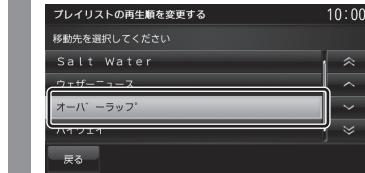


3 カーソルスイッチで “プレイリスト”を移動する



4 移動した“プレイリスト” にタッチする

手順2で選択したプレイリストにタッチします。



▼
再生順序の変更が完了しました。

アドバイス

- 手順3でプレイリストを直接タッチすることでタッチしたトラックの位置に移動します。

■ プレイリストを消去する

1件のみ消去する場合と選択して消去する場合の方法があります。

ここでは、プレイリスト選択画面からの操作方法を説明します。

→「プレイリスト選択画面を表示する」(P99)

アドバイス

- ・録音中にこの操作は行えません。

1 件を消去する場合

1 カーソルスイッチで消去したい“プレイリスト”を選ぶ



2 ▲ → プレイリスト消去にタッチする

3 [1件消去] にタッチする

4 [消去する] にタッチする

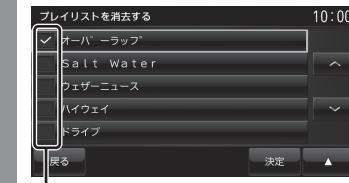
▼
選択したプレイリストの消去が完了します。

選択して消去する場合

1 ▲ → [プレイリスト消去] にタッチする

2 [選択消去] にタッチする

3 消去したいすべての“プレイリスト”にタッチする



消去されるプレイリストのチェックボックスが に変わります。

アドバイス

- ここで ▲ にタッチすると、すべてチェックする[全選択]とすべてのチェックを解除する[全解除]が選べます。

4 [決定] にタッチする

5 [消去する] にタッチする

▼
選択したすべてのプレイリストの消去が完了します。

トラックリストを表示する

お知らせ

- MusicFolderに1曲も録音されていない場合は、以下の操作ができません。

■ 全曲再生のトラックリストを表示する

MusicFolder内に録音されたすべてのトラックリストを表示します。

ここでは、MusicFolderの再生情報画面からの操作方法を説明します。

1 MusicFolderの再生情報画面で、 全曲にタッチする



全曲のトラックリストを表示します。
各トラックにタッチすると、そのトラック
の再生を開始します。

2 戻るにタッチする

MusicFolderの再生情報画面に戻ります。

アドバイス

- [▲] [▼] や [↑] [↓] にタッチしてト
ラックを選ぶことができます。

■ プレイリスト内のトラックリスト を表示する

アルバムごとに管理されたプレイリストを選択し、そのトラックリストを表示します。

1 MusicFolderの再生情報画面で、 プレイリストにタッチする

プレイリスト選択画面を表示します。

2 再生したい“プレイリスト”にタッチする



選択したプレイリストのトラックリスト
を表示し、1曲目の再生を開始します。
各トラックにタッチすると、そのトラック
の再生を開始します。

3 戻るにタッチする

プレイリスト選択画面に戻ります。

アドバイス

- [▲] [▼] や [↑] [↓] にタッチしてト
ラックを選ぶことができます。

トラックを編集する

トラックの情報や再生順序の変更、消去が行えます。

■ トラックの情報を編集する

トラックのタイトルやアルバム名などの情報を変更できます。ここでは、トラックリストからの操作方法を説明します。→「[トラックリストを表示する」(P102)

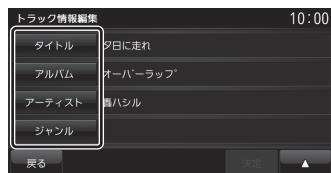
1 カーソルスイッチでタイトルを変更したい“トラック”を選ぶ



2 ▲ → [トラック情報編集]にタッチする

トラックの情報編集画面を表示します。

3 変更したいいずれかの“入力ボックス”にタッチし、入力する



→「文字入力のしかた」(P160)

アドバイス

- ▲にタッチすると、選択しているトラックのタイトル情報を取得できます。
→「[タイトル情報を取得する」(P106)

4 決定にタッチする

選択したトラック情報の変更が完了します。

■ トラックの再生順序を変更する

トラックの再生順序を変更できます。

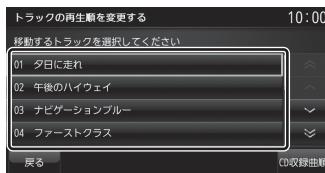
ここでは、トラックリストからの操作方法を説明します。

→「[トラックリストを表示する」(P102)

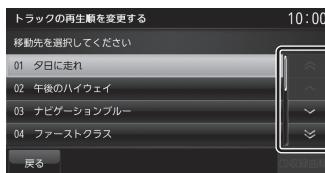
1 ▲ → [トラック再生順変更]にタッチする

再生順序を変更する画面を表示します。

2 再生順序を変更したい“トラック”にタッチする

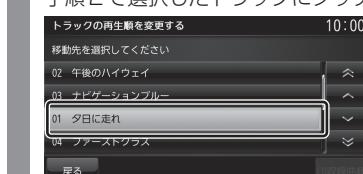


3 カーソルスイッチで“トラック”を移動する



4 移動した“トラック”にタッチする

手順2で選択したトラックにタッチします。



再生順序の変更が完了します。

アドバイス

- 手順3でトラックを直接タッチすることでタッチしたトラックの位置に移動します。

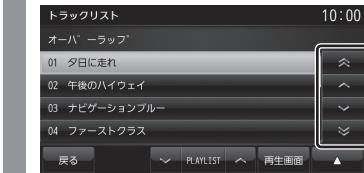
■ トラックを消去する

1件のみ消去する場合と選択して消去する場合の方法があります。ここでは、トラックリストからの操作方法を説明します。

→「トラックリストを表示する」(P102)

1 件を消去する場合

1 カーソルスイッチで消去したい“トラック”を選ぶ



2 ▲ → [トラック消去]にタッチする

3 [1件消去]にタッチする

4 [消去する]にタッチする



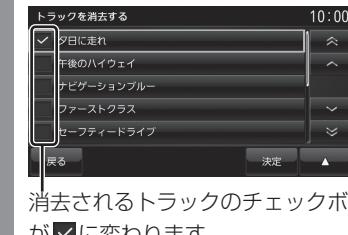
選択したトラックの消去が完了します。

選択して消去する場合

1 ▲ → [トラック消去]にタッチする

2 [選択消去]にタッチする

3 消去したいすべての“トラック”にタッチする



消去されるトラックのチェックボックスが✓に変わります。

アドバイス

- ここで ▲ にタッチすると、すべてチェックする[全選択]とすべてのチェックを解除する[全解除]が選べます。

4 [決定]にタッチする

5 [消去する]にタッチする



選択したすべてのトラックの消去が完了します。

再生モードを変更する

リピート再生、スキャン再生、ランダム再生などが行えます。

この操作は、MusicFolderの再生情報画面(P96)やプレイリスト選択画面(P97)、トランクリスト(P98)から行えます。

- 1 MusicFolderの再生情報画面などで、**[▲]**にタッチする
サブメニューを表示します。

- 2 **[再生方法]**にタッチする

- 3 変更したい“モード”にタッチする



選んだモードの再生を開始します。

■再生モードについて

リピート	再生中の曲を繰り返して再生します。
プレイリスト リピート	再生中の曲があるプレイリストを繰り返して再生します。
スキャン	再生中の曲があるプレイリスト内のすべての曲が対象で、始めの部分を約10秒間ずつ順番に再生します。
プレイリスト スキャン	MusicFolder内の全プレイリストの1曲目を約10秒間ずつ順番に再生します。
ランダム	再生中の曲があるプレイリスト内の曲を順不同に再生します。
プレイリスト ランダム	MusicFolder内の全プレイリストを選択し、プレイリスト内の曲を順番に再生します。
オールランダム	MusicFolder内の曲すべてを順不同に再生します。
解除	リピートやスキャン、ランダムなど、いずれかのモードが再生中の場合にそれらのモードを解除します。

タイトル情報を取得する

通常は、音楽CDを本機に挿入すると、自動的にタイトル情報を取得しますが、MusicFolderに録音した後の再取得について説明します。

MusicFolderからのタイトル情報の取得は、プレイリストの情報編集画面(P99)またはトラックの情報編集画面(P103)から行なうことができます。

お知らせ

- ・タイトル情報について詳しくは「タイトル情報を取得する」(P70)をご覧ください。
- ・本機のGracenoteデータベースを更新する場合は、「GracenoteデータベースをSDカードで更新する」(P71)をご覧ください。

■ 本機から取得する

地図カードに記録されているデータからタイトル情報を取得します。

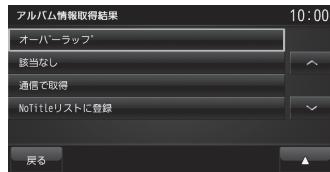
1 各情報編集画面で ▲ にタッチする

サブメニューを表示します。

2 [本機から取得] にタッチする

タイトル情報の検索を開始します。タイトル情報が取得できた場合、タイトル候補の選択画面を表示します。

3 いずれかにタッチする



→「タイトル候補の選択画面について」
(P107)

■ 通信で取得する

携帯電話のデータ通信機能を使ってタイトル情報を取得します。

お知らせ

- ・あらかじめDUNプロファイルに対応した携帯電話と本機をBluetooth接続しておくる必要があります。
→「Bluetoothの設定」(P282)
- ・本サービスの利用は無料ですが、通信費はお客様のご負担となります。

1 各情報編集画面で ▲ にタッチする

サブメニューを表示します。

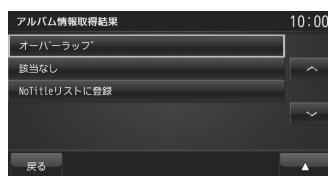
2 [通信で取得] にタッチする

3 [取得する] にタッチする

データ通信機能を使ったタイトル情報の検索を開始します。

タイトル情報が取得できた場合、タイトル候補の選択画面を表示します。

4 いずれかにタッチする



→「タイトル候補の選択画面について」
(P107)

■ タイトル候補の選択画面について

アルバム名/ アーティスト名	タイトル情報が取得できた場合 に表示します。タッチすることで そのタイトル情報を適用します。
該当なし	現在のタイトル情報から変更 を行いません。NoTitleリスト (P107)への登録も行いません。
通信で取得	携帯電話のデータ通信機能を 使ってタイトル情報を取得しま す。但し、あらかじめDUNプロ ファイルに対応した携帯電話と 本機をBluetooth接続しておく 必要があります。 →「Bluetoothの設定」(P282)
NoTitleリスト に登録	MusicFolderのNoTitleリスト にこの音楽CDの情報を登録しま す。別の方を使い、後でまとめて タイトル情報を取得できます。 →「NoTitleリストを管理する」 (P107)

NoTitleリストを管理する

タイトル情報が取得できなかったアルバムをあ
らかじめNoTitleリストに登録しておくと、さ
まざまな方法でタイトル情報を取得できます。

1 MusicFolderの再生情報画面で



サブメニューを表示します。

2 NoTitleリストにタッチする



NoTitleリストを表示します。

■ 本機からタイトル情報を取得する

Gracenoteデータベースを更新(P71)した
ときや本機のバージョンアップ(P261)を行
ったときは、以下の方法でタイトル情報を
取得できます。

ここでは、NoTitleリストからの操作方法を
説明します。

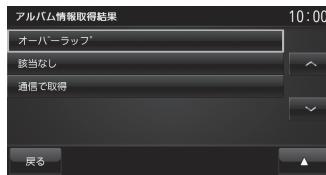
1 NoTitleリストで、タイトル情報を 取得したい“アルバム”に タッチする



タイトル情報の検索を開始します。

タイトル情報が取得できた場合、タイトル
候補の選択画面を表示します。

2 いずれかにタッチする



→「タイトル候補の選択画面について」
(P107)

■ 通信でタイトル情報を取得する

携帯電話のデータ通信機能を使って登録されている NoTitle リストすべてのタイトル情報を取得します。ここでは、NoTitle リストからの操作方法を説明します。

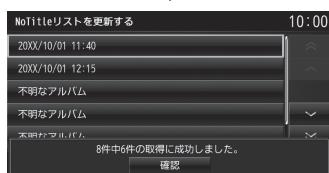
お知らせ

- あらかじめ DUN プロファイルに対応した携帯電話と本機を Bluetooth 接続しておく必要があります。
→「Bluetooth の設定」(P282)
- 本サービスの利用は無料ですが、通信費はお客様のご負担となります。

1 NoTitle リストで、 [通信で一括取得] にタッチする

2 [取得する] にタッチする

データ通信機能を使ったタイトル情報の検索を開始します。



NoTitle リストの中でタイトル情報が取得できたアルバムを表示し、それぞれ適用します。

3 [確認] にタッチする

タイトル情報が取得できたタイトルは、NoTitle リストから消去されます。

1 件のみ通信で取得する場合

NoTitle リストから個別にタイトル情報を取得します。

1 NoTitle リストで、タイトル情報を 取得したい“アルバム”を カーソルスイッチで選ぶ



2 ▲ → [通信で取得] にタッチする

3 [取得する] にタッチする

データ通信機能を使ったタイトル情報の検索を開始します。

タイトル情報が取得できた場合、タイトル候補の選択画面を表示します。

4 いずれかにタッチする



→「タイトル候補の選択画面について」
(P107)

■ パソコンからタイトル情報を取得する
ご自宅のパソコンからインターネットを利用して登録されているNoTitleリストすべてのタイトル情報を取得します。ここでは、NoTitleリストからの操作方法を説明します。

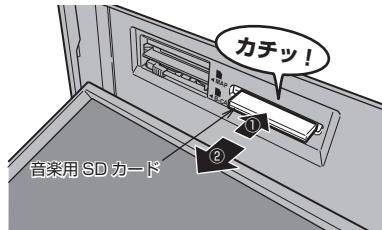
お知らせ

- あらかじめ三菱電機ホームページから専用ソフトをダウンロードし、ご自宅のパソコンにインストールしておく必要があります。
URL : <http://www.mitsubishielectric.co.jp/carele/>

- 1 NoTitleリストで、
[PCで一括取得]にタッチする
- 2 [書き出し]にタッチする

▼
音楽用SDカードにNoTitleリスト情報を書き出します。

- 3 本機から音楽用SDカードを取り出す



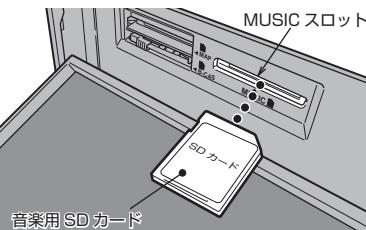
→「SDカードを取り出す」(P19)

- 4 ご自宅のパソコンからタイトル情報を取得する

音楽用SDカードを本機から取り出し、ご自宅のパソコンにインストールした専用のソフトを使ってタイトル情報を取得します。

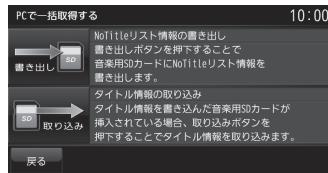
▼
音楽用SDカードにタイトル情報が保存されます。

- 5 “タイトル情報”が保存された音楽用SDカードを本機に挿入する



→「SDカードを挿入する」(P18)

- 6 NoTitleリストで、
[PCで一括取得]にタッチする
- 7 [取り込み]にタッチする



タイトル情報の取り込みを開始します。

▼
NoTitleリストの中でタイトル情報が取得できたタイトルを表示し、各タイトルへ適用します。

- 8 [確認]にタッチする

▼
タイトル情報が取得できたタイトルは、NoTitleリストから消去されます。

■ NoTitle リストから消去する

NoTitle リストの登録を解除したいアルバムがあつた場合、この機能を使って NoTitle リストから消去できます。ここでは、NoTitle リストからの操作方法を説明します。

アドバイス

- この操作を行うことで MusicFolder から曲が消去されるわけではありません。

1 件を消去する場合

1 カーソルスイッチで消去したい“アルバム”を選ぶ



2 ▲ → [NoTitle リストから消去] にタッチする

3 [1 件消去] にタッチする

4 [消去する] にタッチする

▼
選択したアルバムを NoTitle リストから消去します。

選択して消去する場合

1 NoTitle リストで ▲ → [NoTitle リストから消去] にタッチする

2 [選択消去] にタッチする

3 消去したいすべての“アルバム”にタッチする



4 [決定] にタッチする

5 [消去する] にタッチする

▼
選択したすべてのアルバムを NoTitle リストから消去します。

MusicFolder 内の曲をすべて消す

MusicFolder (挿入中の音楽用 SD カード) 内にあるすべての曲を消去します。

ここでは、MusicFolder の再生情報画面からの操作方法を説明します。

1 MusicFolder の再生情報画面で

▲ にタッチする

サブメニューを表示します。

2 [MusicFolder 全消去]

にタッチする

3 [消去する] にタッチする

4 再度、[消去する] にタッチする

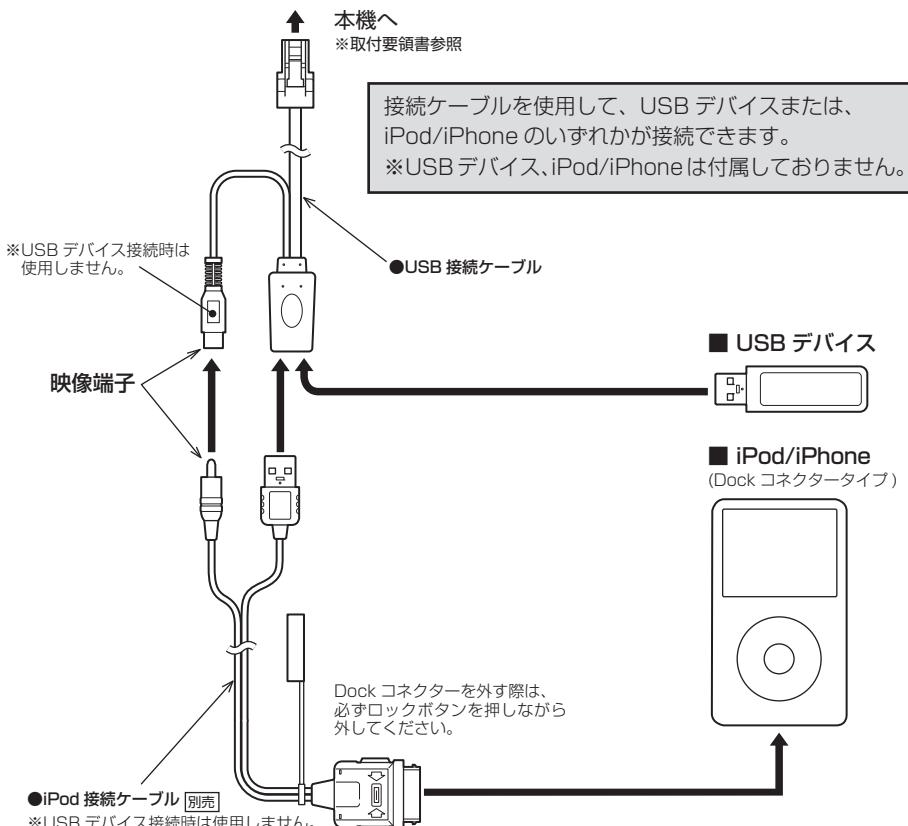


▼
MusicFolder 内にあるすべての曲の消去が完了しました。

iPod/USBメモリ

接続する

接続ケーブルと iPod/iPhone および USB デバイスの接続方法を説明します。



注意

- iPod/iPhone を接続する場合は、当社指定の iPod 接続ケーブルをお買い求めください。他社製 (Apple 純正を含む) を接続した場合は、動作保証致しかねますのでご了承ください。
- Lightning コネクタータイプの iPod/iPhone に接続する場合は、Dock コネクターに変換できる Apple 純正の Lightning-30 ピンアダプタ (0.2m 品は除く) をご使用ください。但し、動画再生には対応しておりません。
- 各コネクター方向に注意してください。コネクター方向を間違えた状態で無理に接続すると、接続ケーブルのコネクターや iPod/iPhone 本体、USB デバイスの破損の原因となります。
- 車内高温時の故障や盗難を避けるため、iPod/iPhone 本体や Apple 純正の Lightning-30 ピンアダプタ (0.2m 品は除く) を車内に放置しないでください。

iPodを再生する

USB接続ケーブルおよび別売のiPod接続ケーブル、市販されているiPodを本機に接続することで、iPodの映像や音声を本機で再生できます。

お知らせ

- iPod/iPhoneの世代や機種、ソフトウェアバージョンにより本機で再生できない場合があります。(→P8)また、本書で説明する操作方法通りに再生できない場合があります。詳しくは、三菱電機ホームページをご覧ください。
URL : <http://www.mitsubishielectric.co.jp/carele/>
- iPod/iPhoneを本機に接続した状態で操作してください。
- 正しく動作しないときは、iPod/iPhoneを本機から外してリセットし、再度接続してください。
- 車内高温時の故障や盗難を避けるため、iPod/iPhone本体を車内に放置しないでください。
- 本機と接続して使用しているときにiPod/iPhoneのデータが消失しても、その補償は致しかねます。

1 AV キーを押す

AVメニューを表示します。

2 iPodにタッチする

ミュージック再生情報画面を表示します。

3 [◀◀TRACK▶▶] キーを押して曲を選ぶ



選んだ曲を再生します。

アドバイス

- [◀◀TRACK] キーまたは [TRACK▶▶] キーを押し続けると再生中の曲を早送り、早戻しすることができます。

iPodのビデオを見る

iPod内のビデオの見かたについて説明します。

お知らせ

- ビデオ再生機能のないiPodでは本機能をご使用になれません。
- iPodビデオの映像は安全上の配慮から、停車してパーキングブレーキをかけているときだけご覧になることができます。(但し、後席モニターなどのAUX出力機器は除く)
- iPod側の出力設定は、「TV画面：ワイドスクリーン」「画面に合わせる：OFF」としておくことをおすすめします。詳細はiPodのユーザーガイドをご覧ください。

1 AV キーを押す

AVメニューを表示します。

2 iPodにタッチする

ミュージック再生情報画面を表示します。

3 iPodメニュー → ビデオにタッチする

4 “カテゴリー”にタッチする



5 再生したい“トラック”にタッチする



選んだトラックのビデオを再生します。

アドバイス

- 手順4で[ビデオプレイリスト]にタッチした場合は、再生したいプレイリストを選ぶ必要があります。
その後、手順5に続きます。

表示内容について

■ ミュージック再生情報画面について



① ソースプレート

現在選ばれているソース名や状態アイコン、再生モードを表示します。

② アルバム名

タイトル情報にアルバム名があれば表示します。

③ トラック番号/曲名

タイトル情報に曲名があれば表示します。

④ アートワーク

iPod内にアートワーク情報があれば、画像を表示します。

⑤ ジャンル

再生しているトラックのジャンル名を表示します。タイトル情報にジャンル情報があれば表示します。

⑥ iPodメニュー

ミュージックメニューを表示します。
→「ミュージックメニューについて」(P114)

⑦ 状態アイコン

- ▶ : 再生中 (再生速度: 普通)
- FAST ▶ : 再生中 (再生速度: 速い) ^{*1}
- SLOW ▶ : 再生中 (再生速度: 遅い) ^{*1}
- II : 一時停止中
- : 停止中
- ▶ : 早送り中
- ◀ : 早戻し中

*1 オーディオブック再生中のみ

⑧ 再生モード表示 (ミュージックのみ)

現在の再生モードを表示します。

→「再生モードを変更する」(P115)



: シングルリピート再生中



: シャッフル再生中



: アルバムシャッフル再生中



: シングルリピート / シャッフル再生中



: シングルリピート / アルバムシャッフル再生中



再生を開始します。



再生を一時停止します。

⑪ アーティスト名

タイトル情報にアーティスト名があれば表示します。

⑫ 再生時間 (ミュージックのみ)



サブメニューを表示します。再生モードの変更ができる[再生方法]が選べます。
→「再生モードを変更する」(P115)

※ チャプターリスト

(オーディオブック再生中のみ)

オーディオブックのチャプターリストを表示します。

→「チャプターリストを表示する」(P117)

■ ミュージックメニューについて
ミュージック再生情報画面で [iPod メニュー] にタッチすると表示します。
ミュージックメニューからさまざまなカテゴリーのリストを表示できます。

カテゴリーメニュー



カテゴリー メニュー	各カテゴリーのリストを表示します。 →「リストで探す」(P116)
戻る	再生情報画面に戻ります。 →「ミュージック再生情報画面について」(P113)
ビデオ	ビデオメニューを表示します。 →「ビデオメニューについて」(P115)
[▲]	サブメニューを表示します。 再生モードの変更ができる[再生方法]が選べます。 →「再生モードを変更する」(P115)

■ ビデオ再生情報画面について
ビデオ再生中に画面にタッチすると表示するビデオ再生情報画面について説明します。



iPod メニュー	ビデオメニューを表示します。 →「ビデオメニューについて」(P115)
[▲]	サブメニューを表示します。 再生モードの変更ができる[再生方法]が選べます。 →「再生モードを変更する」(P115)
チャプターリスト (オーディオブック再生中のみ)	オーディオブックのチャプターリストを表示します。 →「チャプターリストを表示する」(P117)
[▶]	再生を開始します。
[II]	再生を一時停止します。

■ ビデオメニューについて

ビデオ再生情報画面で[iPodメニュー]にタッチすると表示します。ビデオメニューからさまざまなカテゴリーのリストを表示できます。

お知らせ

- ビデオメニューのカテゴリーメニューはiPodから情報を取得しています。そのため、iPodの世代や機種、ソフトウェアバージョンにより表示内容が異なります。

カテゴリーメニュー



カテゴリー メニュー	各カテゴリーのリストを表示します。 →「リストで探す」(P116)
戻る	ビデオ再生情報画面に戻ります。 →「ビデオ再生情報画面について」(P114)
ミュージック	ミュージックメニューを表示します。 →「ミュージックメニューについて」(P114)
▲	サブメニューを表示します。再生モードの変更ができる[再生方法]が選べます。 →「再生モードを変更する」(P115)

再生モードを変更する

リピート再生やシャッフル再生、オーディオブックの再生スピードなどの設定が行えます。ここでは、ミュージック再生情報画面からの操作を説明します。

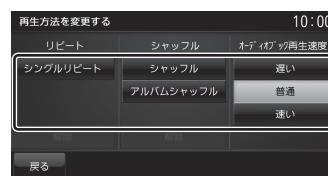
1 ミュージック再生情報画面で

▲にタッチする

サブメニューを表示します。

2 [再生方法]にタッチする

3 変更したい“モード”にタッチする



4 戻るにタッチする



選んだモードの再生を開始します。

アドバイス

- 再生モードの内容について、詳しくは「再生モードについて」(P116)をご覧ください。

■再生モードについて

リピート

シングルリピート	現在再生中の曲またはビデオを繰り返して再生します。(シングルリピート再生)
解除	シングルリピート再生を解除します。「リピート」が[解除]のとき、再生中の階層内にある曲を繰り返して再生します。

シャッフル

シャッフル	再生中の階層内にある曲を順不同に再生します。(シャッフル再生)
アルバム シャッフル	再生中の階層内にあるすべてのアルバムを順不同に再生します。(アルバムシャッフル再生) アルバム内の曲順は変わりません。
解除	各シャッフル再生を解除します。

オーディオブック再生速度

遅い	通常よりも遅い速度でオーディオブックを再生します。
普通	通常の速度でオーディオブックを再生します。
速い	通常よりも速い速度でオーディオブックを再生します。

アドバイス

- ・シングルリピート中は、シャッフル再生やアルバムシャッフル再生を行ってもシングルリピートを継続します。

リストで探す

ミュージックメニュー(P114)やビデオメニュー(P115)でカテゴリーにタッチするとそのカテゴリーのリストを表示します。リストにタッチしていくことで、アルバム名や曲名を確認しながら聴きたい曲やビデオのトラックを探すことができます。

ここでは、ミュージック再生情報画面(またはビデオ再生情報画面)からの操作を説明します。

1 iPodの再生情報画面で

iPodメニューにタッチする

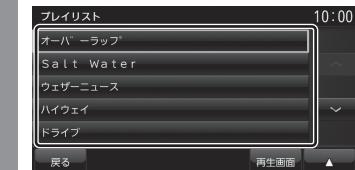
ミュージックメニューまたはビデオメニューを表示します。

2 “カテゴリー”にタッチする



選んだカテゴリーのリストを表示します。

3 リストから再生したい“項目”にタッチする



選んだ項目内のリストを表示します。

手順3の操作を繰り返し、曲(トラック)を探します。

リストから再生したい曲(トラック)にタッチすると、再生を開始します。

アドバイス

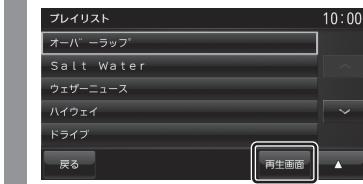
- ・手順2で選んだカテゴリーによって、手順3で操作する項目の階層が変わります。
- ・表示するリストには、iPodに記録されているタイトル情報を表示します。

■ 再生情報の画面を表示する

リスト表示しているとき、現在再生しているミュージック再生情報画面やビデオ再生情報画面を表示できます。

1 リスト表示画面で

再生画面 にタッチする



■ チャプターリストを表示する

iPod内にオーディオブックが収録されていれば、オーディオブックのチャプターリストを表示することができ、チャプターごとに再生できます。

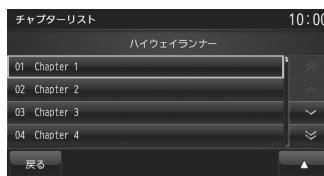
ここでは、ミュージック再生情報画面からの操作を説明します。

お知らせ

- オーディオブック再生機能のないiPodでは本機能はご利用になれません。
- iPodビデオのトラックにチャプターが存在している場合、ビデオ再生情報画面から同様に操作できます。

1 オーディオブック再生中、 ミュージック再生情報画面で

チャプターリスト にタッチする



USBデバイスの曲を聴く

USB接続ケーブルおよび市販されているUSBデバイスを本機に接続することで、USBメモリーなどのUSBデバイスに記録された音楽ファイルを本機で再生できます。

お知らせ

- USBデバイスの種類によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。
- USBメモリーの推奨ファイルシステムは、FAT32です。
- USBメモリーの対応容量は、最大32GBです。
- 音楽ファイルが記録されたUSBデバイスを本機に接続した状態で操作してください。

注意

- 車内高温時の故障や盗難を避けるため、USBデバイスを車内に放置しないでください。
- ハードディスクやカードリーダー、メモリーリーダーは機器およびデータが破損することがあるため、使用しないでください。誤って接続した場合は車のイグニッションキーを“OFF”にしてから取り外してください。
- データ破損の恐れがあるためファイルのバックアップをお勧めします。
- USBデバイスの破損、記録されたデータの消失または破損に対する一切の保証は致しかねます。

1 AVキーを押す

AVメニューを表示します。

2 USBメモリにタッチする

USBデバイスの再生情報画面を表示します。

3 ▼ FOLDER ▲ にタッチして フォルダを選ぶ



4 ◀◀TRACK▶▶ キーを押して 曲を選ぶ

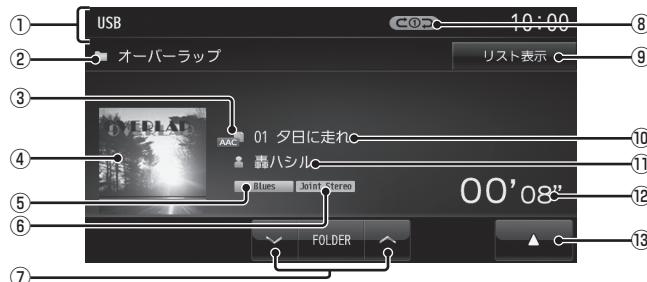
▼
選んだ曲を再生します。

アドバイス

- ◀◀TRACK▶▶ キーまたは TRACK◀▶ キーを押し続けると再生中の曲を早送り、早戻しすることができます。

表示内容について

■ 再生情報画面について



① ソースプレート

現在選ばれているソース名や再生モードを表示します。

② アルバム名

タイトル情報にアルバム名があれば表示します。WAV形式の場合はフォルダ名を表示します。

③ ファイル形式

再生中の音楽ファイルのファイル形式を表示します。

④ ジャケット

タイトル情報にジャケット写真があれば表示します。^{*1 *2}

⑤ ジャンル

再生しているトラックのジャンル名を表示します。タイトル情報にジャンル情報があれば表示します。^{*2}

⑥ チャンネルモード

タイトル情報にチャンネルモードの情報があれば以下の一覧を表示します。

Stereo : ステレオ

JointStereo : ジョイントステレオ

DualChannel : デュアルチャンネル

Monoral : モノラル

⑦ ▼FOLDER▲

フォルダを選ぶときに使用します。

タッチすると、前後のフォルダへと切り換わり、最初の曲を再生します。

⑧ 再生モード表示

現在の再生モードを表示します。

→「再生モードを変更する」(P122)

C1C : リピート再生中

C2C : フォルダリピート再生中

SCAN : スキャン再生中

DSCN : フォルダスキャン再生中

RND : ランダム再生中

ALLRND : オールランダム再生中

⑨ リスト表示

フルダリストを表示します。

→「リストについて」(P120)

⑩ トラック番号 / 曲名

タイトル情報に曲名があれば表示します。WAV形式の場合はファイル名を表示します。

⑪ アーティスト名

タイトル情報にアーティスト名があれば表示します。^{*2}

⑫ 再生時間

⑬ ▲

サブメニューを表示します。再生モードの変更ができる[再生方法]が選べます。

→「再生モードを変更する」(P122)

*1 画像データのサイズが大きいと表示されない場合があります。

*2 WAV形式は対応しておりません。

■ リストについて



① 階層位置表示アイコン

選択中のファイルまたはフォルダの階層位置を示します。

② ROOT

階層の最上位を示します。

③ フォルダ名

タッチすると、フォルダを展開します。

④ ファイル名

タッチすると、曲の再生を開始します。

⑤ 戻る

USBデバイスの再生情報画面に戻ります。

⑥ ▼ FOLDER ▲

フォルダの階層を移動します。

⑦ カーソルスイッチ

フォルダやファイルが選択できます。

⑧ ▲

サブメニューを表示します。

→「サブメニューについて」(P121)

[再生方法]、[再生曲へ移動]、[ROOTへ移動]、[↑ 階層上がる]が選べます。

■ サブメニューについて

リスト表示中に ▲ にタッチすると表示するサブメニューについて説明します。このサブメニューでは、再生モードの変更(P122)や各階層への移動などが行えます。



再生方法	リピート再生やスキャン再生、ランダム再生などの再生モードを変更する設定画面を表示します。 →「再生モードを変更する」(P122)
再生曲へ移動	リスト表示が再生曲の位置になるように移動します。
ROOTへ移動	リスト表示が最上位の階層に移動し、各フォルダの展開はすべて閉じられます。
1階層上がる	階層が1つ上がります。
戻る	サブメニューを消去します。

リストを表示する

リストを表示すると、フォルダの階層を確認しながら曲を探すことができます。ここでは、USBデバイスの再生情報画面からの操作方法を説明します。

1 USB デバイスの再生情報画面で [リスト表示] にタッチする



リストを表示します。

2 戻るにタッチする

USBデバイスの再生情報画面に戻ります。

アドバイス

- [ROOT] にタッチすると、フォルダを開けます。
- [▲] [▼] や [↑] [↓] にタッチして フォルダやトラックを選ぶことができます。

再生モードを変更する

リピート再生、スキャン再生、ランダム再生などが行えます。

- USBデバイスの再生情報画面またはリスト表示中に ▲ にタッチする

サブメニューを表示します。

- 再生方法 にタッチする

- 変更したい“モード”にタッチする



- 戻る にタッチする



選んだモードの再生を開始します。

■ 再生モードについて

リピート	再生中の曲を繰り返して再生します。
フルダリピート	再生中の曲があるフルダを繰り返して再生します。
スキャン	再生中の曲があるフルダ内のすべての曲が対象で、始めの部分を約10秒間ずつ順番に再生します。
フルダスキャン	USBデバイス内の全フルダの1曲目を約10秒間ずつ順番に再生します。
ランダム	再生中の曲があるフルダ内の曲を順不同に再生します。
オールランダム	USBデバイス内の曲すべてを順不同に再生します。
解除	リピートやランダムなど、いずれかのモードが再生中の場合にそれらのモードを解除します。

テレビ機能について

本機では、地上デジタルTVチューナーを使った地上デジタルTV放送をご覧になることができます。

受信について

走行にともない、受信状態が変わる場合や障害物などの影響により最良な受信状態を維持できない場合があります。

注意

- ・テレビの映像は安全上の配慮から、停車してパーキングブレーキをかけているときだけご覧ることができます。(但し、後席モニターなどのAUX出力機器は除く)
- ・テレビをご覧になるときは、停車禁止区域以外の安全な場所に停車してください。
- ・エンジンが停止している状態で使用していると、バッテリーの充電状態によってはエンジンの始動ができなくなることがあります。
- ・電車の架線や高压線、信号機やネオンなどの近くでは、画像が乱れることや雑音が入ることがあります。
- ・直進性の強い電波のため、建物や山などの障害物があると、受信状態が悪くなることがあります。
- ・ラジオ放送やアマチュア無線用の送信アンテナ・鉄塔の近くでは画像が乱れることや雑音が入ることがあります。
- ・放送局から遠いところでは、電波が弱くなり受信状態が悪くなります。
- ・PPV番組(有料番組)に対応していません。
- ・地上デジタルTV放送は放送方式の特性上、従来のアナログ放送に比べチャンネルの切り換え時間が長くなります。

miniB-CASカードについて

本機には、miniB-CASカードを付属しています。付属のminiB-CASカードは地上デジタルTV放送を視聴していただくためにお客様へ貸与された大切なカードです。番組の著作権保護のため、miniB-CASカードを本機に挿入しないと地上デジタルTV放送を見ることができません。

お知らせ

- ・別紙miniB-CASカードの使用許諾契約約款および裏面の注意や警告を必ずお読みください。
- ・破損や紛失などの場合はただちにB-CAS(株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ)のカスタマーセンターへご連絡ください。
- ・お客様の責任で破損・紛失した場合は、再発行費用が請求されます。

■ miniB-CASカード取扱上の注意点

- ・ダッシュボードの上など、高温になるところに放置しないでください。
- ・折り曲げたり、変形させたりしないでください。
- ・重いものをのせたり、踏みつけたりしないでください。
- ・カードのIC面には手を触れないでください。
- ・分解・加工はしないでください。

■ miniB-CASカードについてのお問い合わせ先

株式会社ビーエス・コンディショナル
アクセスシステムズ
カスタマーセンター

電 話 : 0570-000-250
045-680-2868
(IP電話からの場合)

受付時間 : 10:00 ~ 20:00
(年中無休)

ホームページアドレス :
<http://www.b-cas.co.jp>

AV

TV

■ miniB-CAS カードを入れる

1 ▲ キーを押す

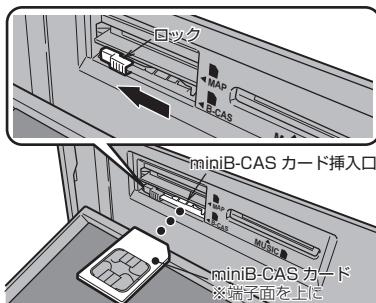
2 モニター OPEN にタッチする



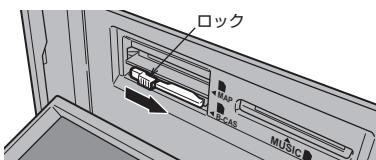
パネルが開きます。

3 miniB-CAS カードを挿入する

ロックを外し、miniB-CAS カードの端子面を上にして「カチッ」と音がするまでゆっくりと差し込んでください。



4 ロックする



5 ▲ キーを押し、パネルを閉じる

注意

- 本機専用の miniB-CAS カード以外のものを挿入しないでください。
故障や破損の原因になります。
- 挿入の向きを確認してください。挿入方向を間違えると miniB-CAS カードが機能しません。
- 画面に miniB-CAS カードに関するメッセージが表示されたとき以外は抜き差ししないでください。

■ miniB-CAS カードを抜く

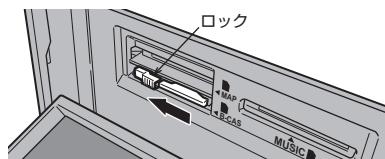
1 ▲ キーを押す

2 モニター OPEN にタッチする



パネルが開きます。

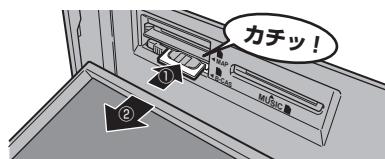
3 ロックを外す



注意

- ロックをスライドさせる際に手・指のけがに注意してください。

4 miniB-CAS カードを「カチッ」と音がするまで押す



カードが飛び出し抜き取れる状態になります。ゆっくりと抜いてください。

5 ロックする

ロックが外れているとパネルが閉まりません。

6 ▲ キーを押し、パネルを閉じる

注意

- 地上デジタルTV 使用中は miniB-CAS カードを抜き差ししないでください。
- カードには IC (集積回路) が組み込まれているため、画面に miniB-CAS カードに関するメッセージが表示されたとき以外は抜き差ししないでください。

テレビを見る

地上デジタルTVチューナーでは、フルセグ放送およびワンセグ放送をご覧になれます。

はじめてテレビを見るとき

(ホームCHスキャン)

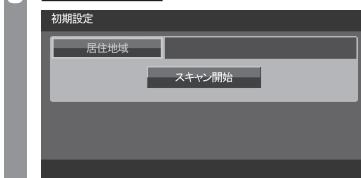
はじめてテレビを見るときは、最初に地域設定とホームCHスキャンを行う必要があります。設定した地域で受信できる放送局を調べ、ホームCHの“リモコン番号”に登録する操作です。

1 AV キーを押す

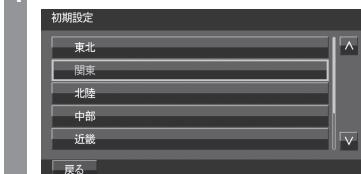
AVメニューを表示します。

2 TV にタッチする

3 居住地域 にタッチする



4 設定したい“地方”にタッチする



5 設定したい“都道府県”にタッチする



6 [スキャン開始] にタッチする



ホームCHスキャンを開始します。

お知らせ

- 受信状態によりしばらく時間がかかります。
- スキャン中に[中止]にタッチすると、中止します。
- スキャン中に中止した場合は、ホームCHへ登録される放送局が少なくなる場合があります。

7 完了 にタッチする

受信可能な放送局をリモコン番号に登録します。

お知らせ

- ホームCHには最大12局まで登録できます。
- [キャンセル]にタッチした場合はホームCHに登録されません。

放送局を選ぶ

初期設定のスキャンで登録した放送局を選びます。

1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 見たい放送局の“リモコン番号” にタッチする



リモコン番号

選んだ放送局の番組を表示します。

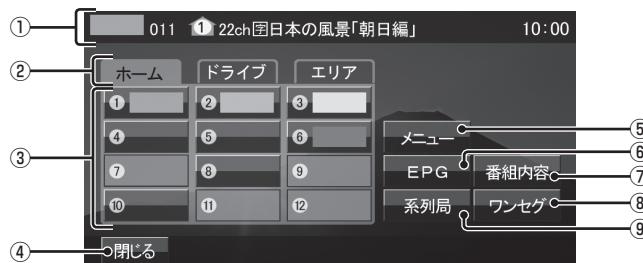
アドバイス

- **[◀TRACK** キーまたは **TRACK▶** キーを押すと、登録した放送局をリモコン番号の順に、または逆順に選局できます。
- CHモードが[ホーム]のとき、**[◀TRACK** キーまたは **TRACK▶** キーを押し続けると、受信可能な放送局の自動選局を開始します。
→「受信状態の良い放送局を探す」(P133)
- CHモードが[ライブ]のとき、**TRACK▶** キーを押し続けると、初期ライブCHスキャン(P135)を行い、**[◀TRACK** キーを押し続けると再ライブCHスキャン(P136)を行います。

表示内容について

画面にタッチして表示するテレビの操作画面について説明します。

■ 操作パネルについて



① ノーマルバー

受信中の3桁チャンネル番号、リモコン番号、物理チャンネル番号および番組名を表示します。

① マーク

マークでCHモードおよび選局中のリモコン番号を示します。

① : ホームCH

① : ドライブCH

① : エリアCH

(画面のリモコン番号は「1」)

② CHモード

【ホーム】にタッチすると、ホームCHスキャン(P134)で登録した放送局を選べます。

【ドライブ】にタッチすると、ドライブCHスキャン(P135)で登録した放送局を選べます。

【エリア】にタッチすると、現在地で見ることができる放送局を選べます。

③ リモコン番号 (P126, 139)

タッチすると、登録された放送局を表示します。タッチし続けることで“リモコン番号”的割り当てを変更できます。

④ 閉じる

操作パネルを消しテレビ映像のみにします。

⑤ メニュー (P137, 141, 300, 303)

各種設定を行います。

⑥ EPG (P131)

電子番組表(EPG)を表示します。

⑦ 番組内容 (P130)

現在選局中の番組の内容を表示します。

⑧ ワンセグ/フルセグ (P139)

フルセグとワンセグを切り替えます。

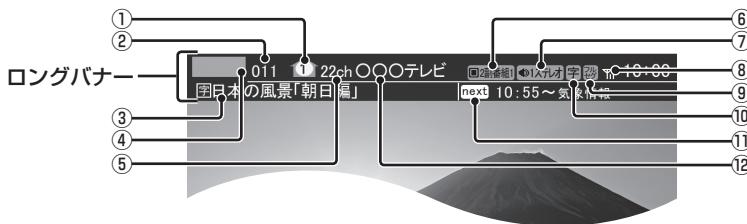
タッチし続けることで、自動ワンセグ切り換え(P140)の設定ができます。

⑨ 系列局 (P133)

系列局の放送局を表示します。タッチし続けることで系列局サーチを開始します。

■ ロングバナーについて

チャンネルリスト (P132) から選局した後などに表示するロングバナーについて説明します。ノーマルバナー (P127) よりも詳しい情報を表示します。



① マーク

マークでCHモードおよび選局中のリモコン番号を表示します。

① : ホーム CH

② : ドライブ CH

③ : エリア CH

(画面のリモコン番号は「1」)

② 3桁チャンネル番号

複数の番組が放送されているとき、それぞれの番組を区別するためにリモコン番号と組み合わされた番号を表示します。フルセグでは、011番から、ワンセグは611番から始まります。

③ 番組名

現在放送中の番組名を表示します。

④ ロゴマーク

放送局のロゴマークまたは放送局名(省略名)を表示します。

⑤ 物理チャンネル番号

リモコン番号とは異なる、実際に送信されているテレビのチャンネル番号(13ch～62chまで)です。

⑥ 映像情報

複数の映像があるときに表示します。

⑦ 音声モード

放送中の音声モードを表示します。

①ステレオ : ステレオ

②モノラル : モノラル

③サラウンド : サラウンド

※ サラウンド音声は、本機ではステレオ2chで出力します。

⑧ 受信強度

受信中の放送局の受信強度を表示します。

⑨ 放送モード

フルセグを見ているときは 、ワンセグを見ているときは を表示します。
放送モードは切り換えることができます。

⑩ 字幕情報

字幕放送中の番組で表示します。

「視聴設定」の[字幕/音声]で切り換えることができます。

→ 「TVの設定」(P300)

⑪ 次の番組名

次に放送される番組名を表示します。

⑫ 放送局名

放送局名を表示します。

■ 走行制限の表示について

走行中は操作が制限され、映像は表示されません。



① ソースプレート

現在選ばれている受信中の3桁チャンネル番号、リモコン番号、物理チャンネル番号、放送局名および番組名を表示します。

② CHモード

【ホームCH】にタッチすると、ホームCHスキャン(P134)で登録した放送局を選べます。

【ドライブCH】にタッチすると、ドライブCHスキャン(P135)で登録した放送局を選べます。

【エリアCH】にタッチすると、現在地で見ることができる放送局を選べます。

③ リモコン番号 (P126, 139)

タッチすると、登録された放送局を表示します。

④ 【ワンセグ/フルセグ】 (P139)

フルセグとワンセグを切り替えます。

⑤ 【系列局サーチ】 (P133)

系列局サーチを開始します。再度、タッチすると中止します。

⑥ 【ドライブCHスキャン】 (P135)

タッチすると、ドライブCHスキャンを行うことができます。

お知らせ

- 走行中は操作が制限され、映像は表示されません。
- 走行中はホームCHスキャンを行うことができません。

CHモードを切り換える

ホームCH、ドライブCH、エリアCHを切り替えます。

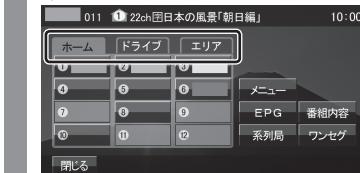
1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 切り替えたい“CHモード”

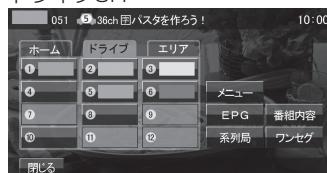
にタッチする

ホームCH



▼

ドライブCH



CHモードが切りわります。

CHモードについて

ホーム

お住まいの地域（長期的に滞在する地域）の放送局を登録しています。あらかじめ「ホームCHスキャン」を行う必要があります。
→「はじめてテレビを見るとき」(P125)

ドライブ

旅行先など（一時的に滞在する地域）で放送局を登録しています。あらかじめ「ドライブCHスキャン」を行う必要があります。
→「ドライブCHスキャンを行う」(P135)

エリア

位置情報を取得し、そのエリア内で見ることができる放送局を自動的に登録しています。必ずしも受信状態が良い放送局とは限りません。

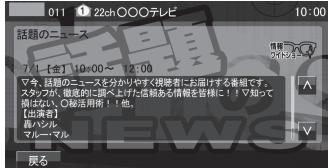
番組の内容を見る

現在選局中の番組の内容を表示します。

1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 [番組内容] にタッチする



選局中の番組の内容を表示します。

アドバイス

- 放送局の都合により、番組が変更になる場合があります。この場合実際の内容と番組内容が異なることがあります。
- [戻る]にタッチすることで閉じることができます。

■ 記号について

番組内容の画面では記号で番組情報を示しています。

番組属性例

	マルチ番組
	二重音声
	サラウンド ※ サラウンド音声は、本機ではステレオ 2ch で出力します。
	字幕あり

ジャンル

以下のマークを表示します。

放送局を探す

いろいろな方法で放送局・番組を探します。

番組表で探す

電子番組表(EPG)を表示し、見たい番組を探すことができます。

■ 現在放送中の番組から探す

現在放送中の番組をリストで確認できます。

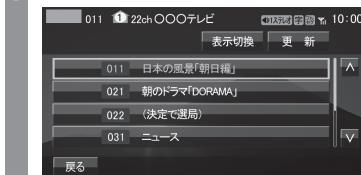
1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 EPGにタッチする

現在放送中の番組のリストを表示します。

3 見たい“番組”にタッチする



選択した番組の放送局を選局します。

アドバイス

- 本機が番組データを取得できていないときには取得できたものから順に表示するため、すべて表示するまでしばらく時間がかかることがあります。
- [戻る]にタッチすることで番組表を閉じ、選択した番組を表示します。

■ 番組表を取得するには

番組表を手動で取得できます。

1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 EPGにタッチする

3 更新にタッチする

▼
番組表の取得を開始します。

アドバイス

- 番組データをすべて取得するにはしばらく時間がかかります。
- 取得中に再度[更新中止]にタッチすると更新を中止します。

■ 番組表の内容を確認する

現在放送中の番組、または2日分の詳細な番組内容を確認できます。

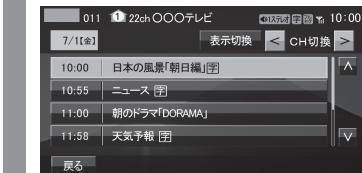
1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

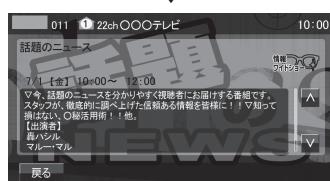
2 EPG にタッチする

3 表示切換 にタッチする

4 “CH切換” の [< , >] にタッチし、見たい“放送局”を選ぶ



5 見たい“番組”にタッチする



番組の詳細な内容を表示します。

チャンネルリストから探す

ホームCHスキャン(P134)やドライブCHスキャン(P135)、エリアCH(P129)で登録した放送局のリストを表示してリモコン番号の確認や選局が行えます。

1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 メニュー にタッチする

設定メニューを表示します。

3 情報確認 → CH一覧 にタッチする

現在見ているホームCHまたはドライブCHの一覧を表示します。

4 フルセグ または ワンセグ にタッチする



5 見たい“放送局”にタッチする

選択した放送局を選局します。

アドバイス

- データ取得中は空欄になります。
- 通常番組データは視聴中の放送局からしか取得できません。本機が番組データを取得できていないときには取得できたものから順に表示しますので、すべて表示するまでしばらくかかることがあります。

系列局を探す

移動中に受信ができなくなったとき、同じ系列局の放送局に切り換えて、引き続き見ることができます。

1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 [系列局] にタッチする



系列局の放送局に切り換わります。

アドバイス

- [系列局] にタッチし続けると系列局サーチを開始します。系列局が見つかると切り換わります。中止する場合は[中止]にタッチします。また、受信状態によりしばらく時間がかかる場合があります。
- 系列局がない場合や、サーチを行っても見つからない場合があります。また、系列局があった場合でも放送局の都合により同じ番組にならないことがあります。
- 現在見ている番組の放送局がチャンネルリストにない場合は切り換わりません。

受信状態の良い放送局を探す

現在受信可能な放送局を探します。

1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 [ホーム] にタッチする

3 [◀ TRACK ▶] キーを押し続ける



シークを開始し、受信できる放送局が見つかると表示します。

アドバイス

- 放送局が見つかるまでシークを行います。中止する場合は[中止]にタッチします。
- 電波状況によってはシークを行っても放送局が見つからない場合があります。
- ホームCHまたはエリアCHのときのみ操作が可能です。

好みの放送局を登録する

受信可能な放送局を探し、ホームCHやライブCHに放送局を登録します。

ホームCHスキャンを行う

お住まいの地域（長期的に滞在する地域）が変わったときや新しい放送局が開局されたときなどに行います。

■ 初期ホームCHスキャン

お住まいの地域（長期的に滞在する地域）が変わったときなどに行います。

1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 メニューにタッチする

3 初期設定 → ホームCHスキャンにタッチする

4 初期ホームCHスキャンにタッチする

5 居住地域にタッチする

6 “地方”にタッチする

7 “都道府県”にタッチする

8 スキャン開始にタッチする

初期ホームCHスキャンを開始し、受信可能な放送局一覧を表示します。

9 完了にタッチする



受信可能な放送局をリモコン番号に登録します。

アドバイス

- ・ホームCHには最大12局まで登録できます。
- ・[キャンセル]にタッチした場合はホームCHに登録されません。

■ 再ホームCHスキャン

新しい放送局が開局されたときなどに行います。

1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 メニューにタッチする

3 初期設定 → ホームCHスキャンにタッチする

4 再ホームCHスキャンにタッチする

5 スキャン開始にタッチする



再ホームCHスキャンを開始し、受信可能な放送局一覧を表示します。

6 表示された内容を確認し、

次へにタッチする

以降の操作は、「初期ホームCHスキャン」(P134)の手順9以降と同じです。

ドライブCHスキャンを行う

旅行先など（一時に滞在する地域）で受信可能な放送局を探し、ドライブCHのリモコン番号に登録します。

■ 初期ドライブCHスキャン

現在のドライブCHを消して、新たにドライブCHを登録しなおします。

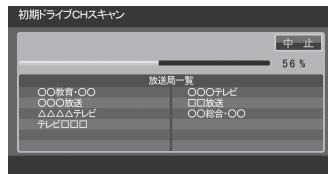
1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 [ドライブ] にタッチする

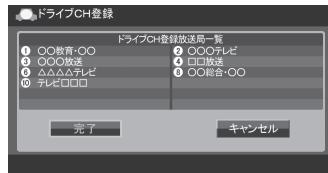
ドライブCHに切り換えます。

3 TRACK▶ キーを押し続ける



初期ドライブCHスキャンを開始し、受信可能な放送局一覧を表示します。

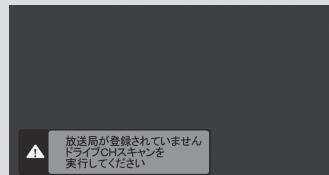
4 [完了] にタッチする



受信可能な放送局をリモコン番号に登録します。

アドバイス

- はじめてドライブCHスキャンを行う場合は、以下の画面を表示します。この画面のときに [TRACK▶] キーを押し続けてください。



- ドライブCHは最大12局まで登録できます。
- [キャンセル]にタッチした場合はドライブCHに登録されません。

■ 再ドライブCHスキャン

初期ドライブCHスキャンで登録したチャンネルを消さずに新たに受信できる放送局があったとき追加で登録をします。

アドバイス

- 再ドライブCHスキャンで登録する放送局の合計が13局以上になったときは、追加できない放送局があります。その場合は初期ドライブCHスキャンを行ってください。

→「初期ドライブCHスキャン」(P135)

1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 ドライブにタッチする

ドライブCHに切り替えます。

3 KKTRACKキーを押し続ける



再ドライブCHスキャンを開始し、受信可能な放送局一覧を表示します。

4 表示された内容を確認し、次へにタッチする

以降の操作は、「初期ドライブCHスキャン」(P135)の手順4以降と同じです。

情報を確認する

本機に関する各種情報を確認することができます。

メールを確認する

放送局から送られる放送メールや本機からお知らせする内部メールを確認できます。

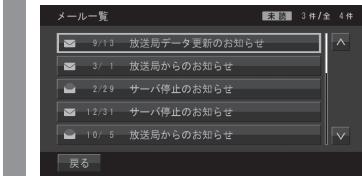
1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 メニューにタッチする

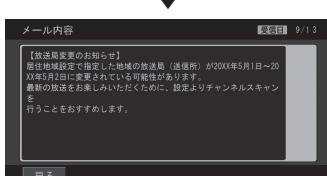
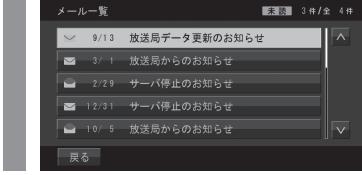
設定メニューを表示します。

3 情報確認 → メールにタッチする



メール一覧を表示します。

4 読みたい“メール”にタッチする



選んだメールの内容を表示します。

アドバイス

- ・[戻る]にタッチするとメール一覧に戻ります。
- ・メールの保存件数は放送メールと内部メールを合わせて14通までです。
14通を超えた場合、既読メールの受信日が古いものから削除されます。すべて未読だった場合でも受信日が古いものから削除されます。

ICカードを確認する

本機に入れられているminiB-CASカードの情報を確認できます。

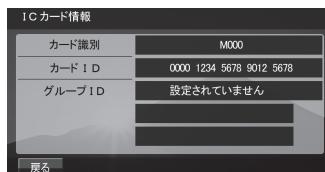
1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 メニューにタッチする

設定メニューを表示します。

3 情報確認 → ICカードにタッチする



miniB-CASカードの情報を表示します。

注意

- ・ICカード情報画面で「カードが抜けていますかロックが外れています」と表示されていた場合は、本機にminiB-CASカードが正しく挿入されていません。
正しくminiB-CASカードを挿入してください。→「miniB-CASカードを入れる」(P124)

ソフトウェアバージョンを確認する

本機のソフトウェアバージョンを確認できます。

1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 [メニュー] にタッチする

設定メニューを表示します。

3 [情報確認] → [S/Wバージョン] に タッチする



本機のソフトウェアバージョンを表示します。

他の操作

リモコン番号を変更する

登録しているリモコン番号 (P324) を変更できます。

1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 変更したい“リモコン番号” にタッチする

3 変更先の“リモコン番号” をタッチし続ける



変更先のリモコン番号への登録が完了します。

お知らせ

- 同じ放送局を複数の“リモコン番号”には登録できません。変更前のリモコン番号は登録が解除されます。

フルセグとワンセグを切り換える

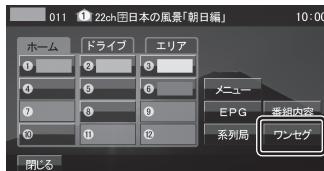
フルセグとワンセグの切り換えについて説明します。

1 画面にタッチする

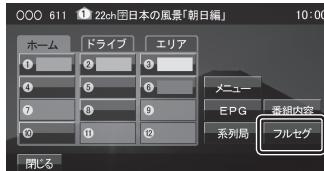
テレビの操作画面を表示します。

2 ワンセグ / フルセグ にタッチする

フルセグ



ワンセグ



[ワンセグ / フルセグ]をタッチするたびにフルセグ→ワンセグ→フルセグと切り換わります。

■ 自動ワンセグ切り換えについて

フルセグからワンセグへの自動切り換えの設定を変更します。

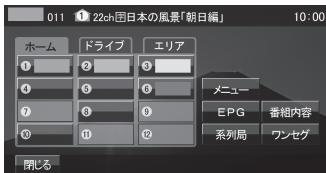
アドバイス

- 工場出荷時、フルセグを優先的に視聴する設定になっています。ワンセグ優先にしたい場合や、手動切り替えのみの設定にしたい場合にこの設定を行います。

1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 ワンセグ/フルセグにタッチし続ける



[ワンセグ/フルセグ]にタッチし続けるたびに「ON (フルセグ視聴優先)」→「ON (ワンセグ視聴優先)」→「OFF」と切り換わります。

アドバイス

- 「受信機設定」の「自動選局」でも設定を変更できます。

→「TVの設定」(P300)

- 地上デジタルTV放送では、1つの放送局が複数の番組を送信することが可能で、また一部の番組では、フルセグとは異なるワンセグ独自サービスを行っています。

このような場合、自動ワンセグ切換をON (フルセグ視聴優先 / ワンセグ視聴優先)に設定していると、ワンセグに切り換わったとき、番組内容が異なることがあります。同じ番組を続けて見たい場合は、自動ワンセグ切換をOFFに設定してお使いください。

ON (フルセグ 視聴優先)	フルセグの受信状態が著しく悪くなったときに自動でワンセグに切り換えます。可能な限り高画質な状態で視聴したい方にお勧めします。
ON (ワンセグ 視聴優先)	フルセグの受信状態が少しでも悪くなると自動でワンセグに切り換えます。安定した受信状態で視聴したい方にお勧めします。
OFF	自動切り換えを行いません。 [ワンセグ/フルセグ]にタッチする操作でのみ切り換えます。

映像や音声を切り換える

現在見ている番組で、複数の映像や音声の情報があるときに切り換えることができます。

1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 メニューにタッチする

設定メニューを表示します。

3 視聴設定 → 信号切換 にタッチする

4 映像 または 音声 にタッチする



5 切り換えたい“情報”にタッチする



選択した情報の設定に切り換わります。

映像について

1つのチャンネルでアングルの違う映像などが複数あるときに切り換えることができます。

音声について

1つのチャンネルで同時に「主音声」、「副音声」に分けた2種類の言語を放送しているとき(二ヶ国語放送)に切り換えることができます。また、二重音声放送の場合は、[視聴設定]→[字幕/音声]の「二重音声設定」で切り換えることができます。

→「TVの設定」(P300)

外部入力機器

Bluetooth Audio を使う

本機では、市販されている Bluetooth 対応オーディオ機器の曲を再生できます。

お知らせ

- Bluetooth 対応オーディオ機器の種類によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合、カタログスペック通りに動作しない場合があります。
- 市販されている Bluetooth 対応オーディオ機器の取扱説明書と合わせて確認してください。
- Bluetooth 対応オーディオ機器を本機に接続している状態で、別機器の Bluetooth 接続によるデータ通信機能を使用すると通信中に音飛びすることがあります。故障ではありません。
- Bluetooth 対応オーディオ機器の種類によっては、音量レベルが異なります。大音量になる恐れがありますので、ご使用前に音量を下げることをおすすめします。
→「音量を調節する」(P49)

■ 対応プロファイルと対応機能について
各プロファイルの対応機能について説明します。

機能	A2DP
再生中の音声出力	○

※サンプリングレート：16kHz、32kHz、44.1kHz、48kHz

機能	AVRCP		
	v1.0	v1.3	v1.4
再生／停止／一時停止の操作	○	○	○
早送り／早戻しの操作	○	○	○
トラックの選択操作	○	○	○
グループの選択操作	×	○	○
リピート／ランダム／スキャン再生の操作	×	○	○
再生状態の表示	×	○	○
バッテリー残量の表示	×	○	○
グループリストの表示	×	×	×
グループリストからの選曲	×	×	×

Bluetooth対応オーディオ機器を接続する

本機とBluetooth対応オーディオ機器は、Bluetooth機能を使用して接続します。接続のしかたについては「Bluetoothの設定」(P282)をご覧ください。以降の操作方法については、接続が完了している状態を説明しています。

Bluetooth対応オーディオ機器の曲を聴く

1 AV キーを押す

AVメニューを表示します。

2 [Bluetooth Audio] にタッチする

Bluetooth Audioの再生情報画面を表示します。

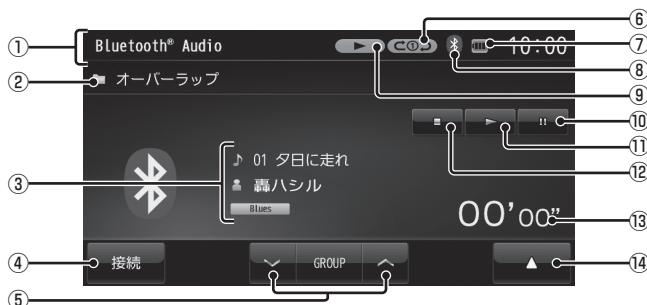
3 [◀◀TRACK▶▶] キーを押して曲を選ぶ



アドバイス

- [◀◀TRACK▶▶] キーまたは [TRACK▶▶] キーを押し続けると再生中の曲を早送り、早戻しすることができます。
- [▼GROUP▲▼] にタッチしてグループを選ぶことができます。(AVRCPがv1.3およびv1.4のとき)

■再生情報画面について



① ソースプレート

現在選ばれているソース名を表示します。

② グループ名*

③ トラック名/アーティスト名/ジャンル名*

④ [接続]

Bluetooth接続機器選択画面を表示します。(→P284)

⑤ ▼GROUP▲ *

グループを選ぶときに使用します。
タッチすると、前後のグループへと切り換わり、最初の曲を再生します。

⑥ 再生モード表示*

: リピート再生中

: グループリピート再生中

: オールリピート再生中

: スキャン再生中

: グループスキャン再生中

: ランダム再生中

: グループランダム再生中

: リピート+ランダム再生中

: リピート+グループランダム再生中

: グループリピート+ランダム再生中

: オールリピート+グループランダム再生中

⑦ バッテリー残量表示*

接続しているBluetooth対応オーディオ機器のバッテリー残量を表示します。

⑧ Bluetooth接続アイコン

⑨ 状態アイコン*

: 再生中

: 一時停止中

: 停止中

: 早送り中

: 早戻し中

⑩

一時停止にします。

⑪

一時停止、停止の状態を解除して通常の再生に戻ります。

⑫

再生を停止します。

⑬ 再生時間*

⑭ *

サブメニューを表示します。再生モードの変更ができる[再生方法]が選べます。

→「再生モードを変更する」(P145)

* AVRCPがv1.0のときや情報が取得できないときは表示しません。

再生モードを変更する

リピート再生、スキャン再生、ランダム再生などを行えます。

※ AVRCPがv1.0のときはこの機能をご利用になれません。

この操作は、Bluetooth Audioの再生情報画面(P144)から行えます。

- 1 Bluetooth Audioの再生情報画面などで、**▲**にタッチする
サブメニューを表示します。

- 2 **[再生方法]**にタッチする

- 3 変更したい“モード”にタッチする



再生モード表示



選んだモードの再生を開始します。

■ 再生モードについて

リピート

リピート	再生中の曲を繰り返して再生します。
グループリピート	再生中の曲があるグループを繰り返して再生します。
オールリピート	Bluetooth対応オーディオ機器内にあるすべての曲を繰り返して再生します。
解除	各リピート再生を解除します。

ランダム

ランダム	再生中の曲があるグループ内の曲を順不同に再生します。
グループランダム	Bluetooth対応オーディオ機器内にある全グループを順不同に選択し、グループ内の曲を順番に再生します。
解除	各ランダム再生を解除します。

スキャン

スキャン	再生中の曲があるグループ内のすべての曲が対象で、始めの部分を約10秒間ずつ順番に再生します。
グループスキャン	Bluetooth対応オーディオ機器内の全グループの1曲目を約10秒間ずつ順番に再生します。
解除	各スキャン再生を解除します。

AUXを使う

外部入出力ケーブル^{※1}およびAUX機器を本機に接続することで、映像や音声を本機に入力し、再生できます。

※1 一部の機種で別売となります。

注意

- AUX機器の映像は安全上の配慮から、停車してパーキングブレーキをかけているときだけご覧になることができます。(但し、後席モニターなどのAUX出力機器は除く)
- AUX機器の映像をご覧になるときは、停車禁止区域以外の安全な場所に停車してください。
- エンジンが停止している状態で使用していると、バッテリーの充電状態によってはエンジンの始動ができなくなることがあります。

アドバイス

- AUX機器の接続方法については、別紙の取付要領書をご覧ください。

表示するには

1 AVキーを押す

AVメニューを表示します。

2 ▶ → [AUX]にタッチする



AUX機器の映像を表示します。

お知らせ

- タッチスイッチの[AUX]は、外部入出力ケーブルおよびAUX機器を本機に接続していない場合でも表示されますが、タッチしても映像を表示できません。

画面表示を切り換える

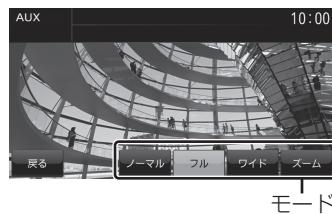
AUXでは4種類のモードが用意されており、表示方法を切り換えることができます。

1 AUX機器の映像を表示中、画面にタッチする

2 ワイド切換にタッチする

モードの切換メニューを表示します。

3 いずれかの“モード”にタッチする



画面表示のモードが切り換わります。

お知らせ

- 通常画面は縦横比4:3、ワイド画面は縦横比16:9です。
- ズームでは、画質が粗くなります。

Blu-rayを見る

別売の三菱電機製車載用ブルーレイディスクプレーヤー（BD-P100）を本機に接続することで、映像や音声を本機に入力し、再生できます。

お知らせ

- ・本書では、三菱電機製車載用ブルーレイディスクプレーヤーを「Blu-ray®プレーヤー」と表記し説明します。
- ・Blu-ray®プレーヤーの映像をAUXには出力できません。

注意

- ・Blu-ray®プレーヤーの映像は安全上の配慮から、停車してパーキングブレーキをかけているときだけご覧になることができます。
- ・走行中や停車していてもパーキングブレーキをかけていないときは、映像は映らず、音声だけがきこえます。
- ・Blu-ray®プレーヤーの映像をご覧になるときは、停車禁止区域以外の安全な場所に停車してください。
- ・エンジンが停止している状態で使用していると、バッテリーの充電状態によってはエンジンの始動ができなくなることがあります。

アドバイス

- ・Blu-ray®プレーヤーの接続方法については、別紙の取付要領書をご覧ください。

表示するには

1 AV キーを押す

AVメニューを表示します。

2 ▶ → [Blu-ray] にタッチする



Blu-ray®プレーヤーの映像を表示します。

お知らせ

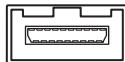
- ・Blu-ray®プレーヤーの操作方法については、Blu-ray®プレーヤー付属の取扱説明書をご覧ください。

HDMIの映像を見る

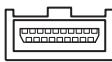
別売のHDMI変換ケーブルおよび別途市販されているHDMIケーブルとHDMI出力機器を本機に接続することで、映像や音声を本機に入力し、再生できます。

HDMI（Eタイプ）とは

本機側



ケーブル側



HDMIの車載用タイプコネクター。

本機は、HDMIのEタイプコネクターのため、家庭用で販売されているHDMIケーブルと接続できません。別売のHDMI変換ケーブルをお買い求めください。

お知らせ

- 対応する画像方式は480pのみです。
- HDMI出力機器の映像をAUXには出力できません。

注意

- HDMI出力機器の映像は安全上の配慮から、停車してパーキングブレーキをかけているときだけご覧になることができます。
- 走行中や停車していてもパーキングブレーキをかけていないときなどは、映像は映らず、音声だけがきこえます。
- HDMI出力機器の映像をご覧になるときは、停車禁止区域以外の安全な場所に停車してください。
- エンジンが停止している状態で使用していると、バッテリーの充電状態によってはエンジンの始動ができなくなることがあります。

アドバイス

- HDMI出力機器の接続方法については、別紙の取付要領書をご覧ください。

表示するには

1 AVキーを押す

AVメニューを表示します。

2 > → [HDMI]にタッチする



HDMI出力機器の映像を表示します。

お知らせ

- 接続したHDMI出力機器の操作方法については、各機器付属の取扱説明書をご覧ください。

NAVI

ナビゲーション機能に関する操作方法を説明します。

基本操作	152
ナビゲーション機能について	152
ナビゲーションとは	152
GPS (Global Positioning System)	152
マップマッチング	152
GPSアンテナについて	152
地図データについて	152
測位について	152
測位が正確にできない場合	152
誤差について	152
3次元測位について	153
2次元測位について	153
非測位について	153
ルートの探索方法について	153
ルートの案内について	154
ナビゲーションを操作するときの注意	154
ナビ画面について	155
地図表示内容について	155
現在地画面	155
スクロール画面	156
各アイコンについて	157
NAVIメニューを表示する	157
地点メニューを表示する	158
サブメニューを表示する	159
現在地画面を表示する	159
文字入力のしかた	160
文字入力用キーボード	160
変換候補のリストについて	161
入力できる文字の種類	161
数字入力用キーボード	161
施設名称入力用キーボード	162
繰り返しタッチについて	163
地図画面を選択する	164
画面分割について	164
スタンダード	164
スタンダード2画面	164
高速略図	165
PsideP	165
地図向きについて	165
自車基準	165
北基準	165
地図の種類について	166
2Dマップ	166
3Dビューマップ	166
シンプルマップ	166
案内表示について	167
交差点案内図	167
リアル交差点案内図	167
都市高速入口イラストマップ	167
料金所案内図	167
ETC 料金所案内	167
県境案内	168
レーン案内	168
3Dリアルジャンクション	168
カーブ案内	168
合流案内	168
踏切案内	168
レーンアシスト	169
地図を操作する	170
スケールの切り換え	170
市街地地図について	170
地図をスクロールする	171
スクロールの微調整	171
スクロール方面名称表示について	171
地点メニューからの操作	172
目的地に設定する	172
経由地に設定する	172
登録地に設定する	173
周辺の施設を探す	173
建物情報を見る	174
レーンアシストを使う	175
ご使用になるには	175

ご利用上の条件	176	観光ルートを設定する	196
車両・走行状態の影響	176	文字情報を表示する	196
リアカメラの問題	176	ルートの確認・変更	
明るさ、外乱光や影の影響	176	ルートの確認	197
道路上の白(黄)線や路面の状態 (カスレ、汚れ、隠れ)の影響	176	次に曲がる交差点を確認する	197
表示内容について	177	ルートを確認する	197
レーンアシスト機能を一時停止する	177	確認方法の種類	197
ブザー音について	177	全ルートを確認する	198
高速道路情報について	178	地図上のアイコン種類	198
表示内容について	178	目的地・経由地の位置を確認する	198
施設の情報について	179	詳細情報を確認する	199
表示するには	179	デモ走行を見る	199
各エリアの情報を確認する	180	終了するには	199
JCTを選択した場合	180	ルートの変更	
目的地の設定	181	探索条件を変更する	200
自宅を目的地に設定する	181	経由地がない場合	200
探した場所を目的地に設定する	182	経由地がある場合	200
場所を探す	183	探索条件の種類について	201
登録地を呼び出す	183	経由地の設定・変更	201
検索履歴を利用する	183	経由地を設定する	201
検索履歴を消去する	184	経由地を追加する	202
住所から探す	184	経由地を変更する	202
番地を直接入力する	185	検索方法選択画面について	203
施設名称を入力して探す	185	経由地を消去する	203
検索結果を絞り込む	186	経由地を並び替える	204
絞り込みを解除する	186	5つのルートから選ぶ	205
検索キーワードを変更する	186	迂回ルートを探索する	205
施設ジャンルから探す	187	サブメニューからの操作	205
検索結果を並び換える	188	別ルートを探索する	206
検索結果を絞り込む	189	サブメニューからの操作	206
絞り込みを解除する	189	ルートを消去する	206
施設の候補位置について	190	VICS 規制を回避する	206
文字情報のある施設について	190	スマート IC を回避する	207
周辺の施設を探す	191	長期通行規制を回避する	207
電話番号から探す	192	登録地の設定	
郵便番号から探す	192	自宅を登録する	208
MAPCODE を利用する	193	登録地を設定する	209
スマートフォンから探す	194	現在地を登録する	209
対応機能について	194	サブメニューからの操作	209
探索条件設定画面について	195	探した場所を登録する	209

登録地を変更する	211	VICS による自動処理	225
登録地情報を変更する	211	緊急情報の割り込み表示	225
登録地情報画面について	211	再表示するには	225
名称	211	ルート自動更新	225
読み仮名	212	図形 / 文字情報の割り込み表示	225
電話	212	VICS 局を選ぶ	226
場所	212	自動選局	226
地点マーク	213	県指定	226
リストの順序を変更する	213	周波数指定	226
順序の種類について	213		
登録地を消去する	214	DSRC 機能	227
1 件消去する	214	DSRC サービスとは	227
選択して消去する	214	DSRC の概要	227
全件消去する	215	DSRC サービスについて	227
VICS 機能	216	音声情報	227
VICS について	216	アップリンク機能	227
VICS のメディアと特徴	216	安全運転支援情報	228
FM 多重放送	216		
光ビーコン	216		
電波ビーコン	216		
DSRC	216		
オンライン受信	216		
VICS 情報のレベル	217		
レベル 1 (文字)	217		
レベル 2 (簡易図形)	217		
レベル 3 (地図)	217		
音声情報	217		
表示内容について	218		
VICS スイッチについて	218		
VICS メニューについて	219		
VICS 記号について	220		
VICS センターへのお問い合わせ	220		
(財) VICS センター	220		
交通情報を調べる	221		
現在地周辺を調べる	221		
スクロール地点周辺を調べる	222		
高速道路を調べる	222		
文字・図形情報を見る	223		
渋滞情報を切り換える	223		
オンラインの情報を受信する	224		

基本操作

ナビゲーション機能について

ナビゲーションとは

ナビゲーションとは、自車の位置を測定して、設定した目的地までのルートを案内するシステムのことです。地図上に表示される自車の位置は、「GPS」と「マップマッチング」という機能で測定されます。

■ GPS (Global Positioning System)

GPS衛星を利用して位置を検出するシステムを「GPS」といいます。このGPS衛星の電波を受信して約30～200mの誤差で自車の位置を測位します。

- ・自車の位置を測位するには、見晴らしのよい場所で2分程度かかります。本機を最初に使用するときや、長時間使用しなかったときは、自車の位置を測位するまでに5分程度かかります。
- ・GPS衛星はアメリカ合衆国の国防総省が管理しており、故意に位置精度を落とすことがあります。このとき、自車の位置が正しく表示されないことがあります。

■ マップマッチング

自車の走行軌跡データと地図データ上の道路形状を比較して、走行中の道を推測して地図に表示する機能を「マップマッチング」といいます。

注意

- ・ナビゲーションで表示される地図や交通規制は地図データ作成時の各種情報に基づいて作成されていますので、実際の道路や交通規制と異なる場合があります。実際の道路や交通規制に従って走行してください。

GPSアンテナについて

自車の位置は、GPS衛星からの微弱な電波を「GPSアンテナ」で受信して測位しています。

アドバイス

- GPS衛星からの電波がさえぎられると、自車の位置が正しく表示されないことがありますので以下のことをお守りください。
- ・ウインドウガラスに鏡面タイプやカーボン含有のフィルムを貼らないでください。
 - ・GPSアンテナの上や周辺にものを置いたり、ETCアンテナを取り付けたりしないでください。
 - ・携帯電話やPHS、パソコンなどをGPSアンテナの近くで使用しないでください。

地図データについて

地図データは誤字・脱字・位置ずれなどある場合があります。

測位について

■ 測位が正確にできない場合

トンネルの中やビル内の駐車場、高層ビルで囲まれているような場所、山や樹木で囲まれているような場所、高速道路や電車の高架下などはGPS衛星から電波を受信できないことがあります。この場合、測位はジャイロセンサーと車速センサーによる自立航法になりますので、正確な自車位置の測位ができなくなることがあります。

■ 誤差について

GPS衛星から電波を受信できないとき、誤差が生じやすくなり、自車位置が正しく表示されないことがあります。

しばらく走行してGPS衛星から電波を受信できるようになると、現在地のすれば自動的に修正されます。

自車位置が正しく表示されない原因

- ・高速道路と一般道路が近くにあるとき
- ・碁盤目状の道路を走行しているとき
- ・勾配の急な山岳路を走行しているとき
- ・直線路を長い間走行した後、右左折したとき
- ・エンジンスイッチON直後
- ・渋滞中や駐車場などの低速走行しているとき（車種によっては低速走行時に車速信号を出力していないため）
- ・タイヤチェーンを装着して走行しているとき
- ・ターンテーブルなどで旋回したとき
- ・角度が小さいY字路を走行しているとき
- ・フェリーなどで車両運搬移動した後
- ・立体駐車場やらせん状の道路を走行しているとき
- ・広い道路で蛇行運転しているとき
- ・応急用タイヤなどに交換したとき
- ・雪道や砂利道などの滑りやすい道路を走行しているとき

■ 3次元測位について

4個以上のGPS衛星から位置精度が期待できる有効な電波を受信できる場合、緯度、経度、標高の3次元の位置を計算します。

→「自車位置情報を確認する」(P271)

■ 2次元測位について

3個以上のGPS衛星から位置精度が期待できる有効な電波を受信できる状態で3次元測位に至らない場合、標高が前回と変わらないと想定して緯度、経度の2次元の位置を計算します。この場合3次元測位よりも位置精度は低下します。

→「自車位置情報を確認する」(P271)

■ 非測位について

GPS衛星から位置精度が期待できる有効な電波を受信できない場合非測位となります。

→「自車位置情報を確認する」(P271)

ルートの探索方法について

- ・ルート案内で表示されるルートは目的地までの参考ルートであって必ずしも最短ルートではありません。また渋滞情報を考慮したルート案内とはなっていません。
- ・すべての道路がルート案内の対象道路ではありません。
- ・探索条件で有料優先を選択した場合でも、一般道路を通ったほうがよいと判断される場合は、有料道路を通らないルートを表示することがあります。また、自車位置が有料道路上にある場合や目的地が有料道路上にある場合は、一般優先で探索を選択しても、有料道路を通るルートを表示することがあります。
- ・フェリーを使うルートは通常の道路より推奨しにくく設定してあります。このためフェリーを使ったほうが早く目的地に到着する場合でも、フェリーを使わないルートを表示することができます。
- ・有料道路のインターチェンジ、パーキングエリア、サービスエリアを目的地や経由地にする場合は施設検索および高速略図から選択し、地図をスクロールさせずに設定してください。
- ・同じ場所を目的地や経由地に設定した場合でも前回作成したルートと同じにならない場合があります。
- ・通行できない歩道や階段などを含むルートを表示する場合があります。
- ・目的地まで道がない場合や細い道しかない場合は目的地から離れた場所までのルートを表示する場合があります。
- ・道路形状によっては施設に横付けする探索を行うため遠回りのルートを表示する場合があります。
- ・長期通行規制などがあった場合、規制情報を考慮したルートを探索する場合があります。
- ・冬季通行止めなどは一部対応していないものや期間が実際と異なる場合があります。

ルートの案内について

- ルート探索をして自車がルート上のときは目的地または次に通過する経由地までの距離を表示します。
- ルート探索をして自車がルート外のときは目的地や経由地までの距離と到着予想時刻がグレーで表示され、ルートから外れた場所から目的地または経由地までのルートの距離を表示します。
- 目的地への到着予想時刻表示は、地図データに格納されている所要時間データを元に走行情報を学習して算出しています。
- 交差点で曲がるのに交差点名称の案内や音声案内されない場合があります。
- 右左折案内が実際の道路形状と異なる案内をする場合があります。
- 案内ルートを外れて手前の交差点などで曲がったときなどに、外れる前のルートに対する音声案内をする場合があります。
- 案内距離が多少ずれることがあります。

ナビゲーションを操作するときの注意

- ルート案内中は、必ず実際の交通規制に従ってください。交通事故の原因になる恐れがあります。
- ルートは地図カード内の地図データを使って探索します。実際の工事規制や一方通行などの通行規制と異なることがあります。必ず、実際の交通規制に従ってください。
- 時間規制などの交通情報はルート探索した時刻のものが反映されます。運転の際は必ず実際の交通規制に従ってください。
- 自車が移動した距離は、スピードセンサー(タイヤの回転数に比例)で測定しています。新品または規格外のタイヤを装着しているときやタイヤの空気圧が適正でないときは、誤差が生じやすくなり、自車の位置が正しく表示されないことがあります。
- ルートは、目的地周辺までの参考ルートです。最短ルート、渋滞していないルートではありません。
- 走行中は道路の表示量が制限され、表示されない道路があります。(細街路など)
- 目的地までの距離が極端に近い、または遠いときはルートが探索できないことがあります。
- ルートを外れて走行しても、自動的にルートを再探索します。
- 到着予想時刻は、道路状況や運転のしかたによって変化します。
- 走行中は一部操作に制限がかかります。走行中の操作はなるべく控え、安全な場所に車を停めて操作してください。

ナビ画面について

ナビの地図画面や各メニュー画面の表示内容について説明します。

お知らせ

- 各メニューの項目はナビの設定や走行状態により変化し、表示されない項目もあります。
- 本書のナビ画像は説明用に一部ランドマークを非表示にしています。

地図表示内容について

■ 現在地画面

[現在地]キーを押したときに表示される現在地画面の表示内容について説明します。



① 方位アイコン

タッチすると、地図切換画面を表示します。
(→P164)

② スケールアイコン

表示されている地図のスケールを示します。
タッチすると、スケールを変更します。
(→P170)

③ エコスコアアイコン

ルート案内中、燃費に良い運転方法の評価をドーナツグラフで表示します。ドーナツ量が大きいほど良い評価となります。
(→P234)

④ 交差点案内アイコン

次に曲がる交差点までの距離および曲がる方向を示します。タッチすると、交差点案内図を表示します。(→P197)

⑤ 自車位置マーク

矢印が車の位置を示し、矢印の向きが進行方向を示します。

⑥ (VICSスイッチ)

VICS の提供時刻および提供メディア名を表示します。タッチすると、VICS メニューを表示します。(→P219)

⑦ 目的地/経由地情報

目的地または経由地の到着予想時刻、方向および距離を示します。自車が経路から外れるときグレーで表示されます。

⑧ 各アイコン

カメラや電話、オーディオの現在の状態を表示します。(→P157)

⑨ 時計

24時間制で現在時刻を表示します。

⑩ レーン案内

走行中に前方の交差点にレーン情報が存在すると表示します。

⑪ 緑色の矢印

レーン情報を表示している交差点を示しています。

⑫ ルート

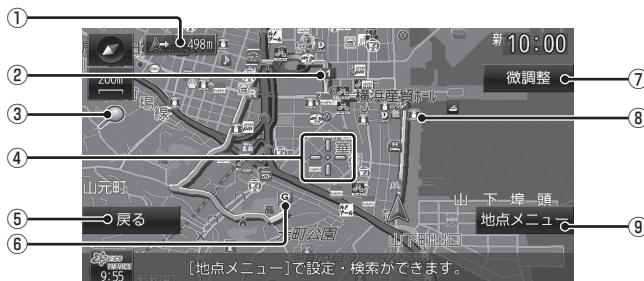
目的地までの道程を矢印または線で表示します。[表示の設定]の「探索ルート」で[矢印]または[線]を選択することができます。
→[NAVIの設定] (P265)

⑬

サブメニューを表示します。(→P159)

■スクロール画面

地図スクロール(P171)を行ったときや検索後に表示するスクロール画面の表示内容について説明します。



① 自車位置までの距離

マークから自車位置までの距離を表示します。

② ① マーク

設定された経由地(P201)を①マークで表示します。

経由地は5つまで設定でき、通過する順に①, ②, ③, ④, ⑤と表示します。

③ ●マーク

1kmスケール以下の地図を表示中、市街地地図(P170)が表示できる場合に表示します。「INFOの設定」の「エコ情報の設定」(P290)で、「エコスコア表示」を[表示する]に設定されていると表示できません。表示できるようにしたいときは、この設定を[表示しない]に設定してください。エコスコアアイコンに代わって表示できるようになります。

④ □マーク

スクロールした場所の中心地点に表示されます。地点メニュー(P158)が表示できるときはオレンジ色、表示できないときは白色で表示します。

⑤ 戻る

1つ前に戻ります。

⑥ ☐マーク

設定された目的地(P181)を⑥マークで表示します。

⑦ 微調整

マーク位置を微調整できます。
→「スクロールの微調整」(P171)

⑧ ランドマーク

商標や観光地などをマークで示します。

⑨ 地点メニュー

地点メニュー(P158)を表示します。
目的地や経由地、登録地の設定が行えます。

アドバイス

- 道幅の狭い一部の道路(細街路)は走行すると表示されなくなりますが故障ではありません。
- ⑧ランドマークは[表示の設定]の「ランドマーク」で[表示しない]に設定すると地図画面から表示を消すことができます。
→「NAVIの設定」(P265)
- ⑧ランドマークは種類ごとに表示有無を選ぶことができます。
→「ランドマークの表示を個別に設定する」(P273)

■ 各アイコンについて

現在地画面 (P155) に表示されるアイコンについて説明します。

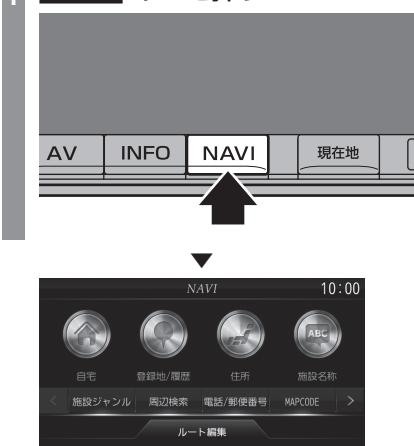
 *1	リアカメラのみが装着されている場合 シフトポジションを「R」になると、リアカメラ映像を表示します。 シフトポジションを「R」にしたまま現在地画面に戻ったときのみ  を表示します。  にタッチすると、リアカメラ映像を表示します。
	フロントカメラやサイドカメラなどのサブカメラのみが装着されている場合 現在地画面に常時表示されます。  にタッチすると、サブカメラ映像を表示します。
	すべてのカメラが装着されている場合 現在地画面に常時表示されます。  にタッチすると、シフトポジションが「R」ならリアカメラ映像を表示します。 それ以外のときに  にタッチすると、サブカメラ映像を表示します。
	Bluetooth接続されていると表示します。 →「Bluetoothの設定」(P282)
	電波の強度を表示します。
	電話を使用すると表示します。 電話操作パネル (P245) を再表示します。
AVアイコン	現在使用しているオーディオソースの状態を表示します。 タッチするとオーディオ画面に切り換えることができます。 詳しくは、「AVアイコンについて」(P51) をご覧ください。 [表示の設定] の「AVアイコン」で表示有無を選ぶことができます。 →「NAVIの設定」(P265)

*1 カメラ接続時のみ表示します。

NAVIメニューを表示する

目的地の設定やルート編集がこのメニュー画面から行えます。

1 NAVI キーを押す



NAVIメニューを表示します。

地点メニューを表示する

スクロール(P171)した[⇨] 地点を目的地に設定したり登録地に設定したりできます。

アドバイス

- 検索結果で表示される地図画面からも[地点メニュー]にタッチすることで、地点メニューを表示できます。

1 スクロール画面で、

[地点メニュー]にタッチする



地点メニューが表示され、[⇨]マークから[⇨]マークに変わります。

ここへ行く	地点を目的地に設定できます。 →「目的地に設定する」(P172)
ここへ寄る	地点を経由地に設定できます。 →「経由地に設定する」(P172)
登録する	地点を登録できます。 →「登録地に設定する」(P173)
周辺施設を探す	地点周辺の施設を探すことができます。 →「周辺の施設を探す」(P173)
建物の情報を見る	地点が [⇨] に変わるとその地点の建物情報を表示できます。 →「建物情報を見る」(P174)
戻る	1つ前の画面に戻ります。

アドバイス

目的地/登録地を設定する際、[⇨] 地点から約半径200m以内に有料道路や高速道路、トンネルがある場合、どの位置に設定するか選択します。([高速道路],[有料道路],[一般道路]または[トンネル]を選択する画面を表示します。)



サブメニューを表示する

ここでは、現在地画面 (P155) から表示するサブメニューの表示方法を説明します。

1 現在地画面で ▲ にタッチする



サブメニューを表示します。

アドバイス

- 本書ではサブメニューを表示するためのタッチスイッチを ▲ と記載しています。
- ▲ が表示されている画面であれば、タッチすることでその機能ごとのサブメニューを表示できます。

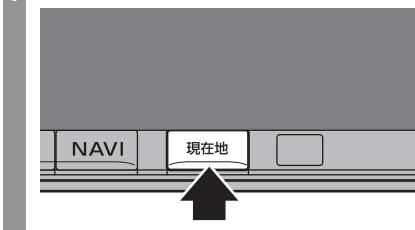
現在地画面を表示する

スクロール画面 (P156) や NAVI メニュー (P157)、地点メニュー (P158) などから現在地画面 (P155) を表示できます。

アドバイス

- AV 画面や INFO 画面などその他の機能からも現在地画面を表示できます。

1 現在地 キーを押す



ナビゲーション画面の現在地画面を表示します。

文字入力のしかた

文字入力キーの各メニューについて説明します。

文字入力用キーボード



① 入力文字表示部

入力した文字を表示します。

“オレンジ色の文字”は確定前の文字で[変換]で漢字に変換できます。

“黒色の文字”は、確定済みで変換はできません。

② カーソル

【】で表示され、【】の左側に文字が入力されます。

③ [小文字] / [大文字]

タッチで入力キーボードに表示される文字が小文字→大文字→小文字と切り換わります。

④ [半角] / [全角]

入力キーボードに表示される文字が半角→全角→半角と切り換わります。

⑤ [ひらがな]

入力キーボードに表示される文字が「ひらがな」に切り換わります。

⑥ [カタカナ]

入力キーボードに表示される文字が「カタカナ」に切り換わります。

⑦ [英数]

入力キーボードに表示される文字が「アルファベット」、「数字」および簡単な「記号」に切り換わります。

⑧ [記号]

入力キーボードに表示される文字が「数字」と「記号」に切り換わります。

⑨ [戻る]

1つ前の画面に戻ります。

⑩ [変換]

確定前の文字を変換するための変換候補リストを表示します。

→「変換候補のリストについて」(P161)

⑪ [無変換]

確定前の文字を変換せずに確定します。

⑫ [▲, ▼]

【】の位置を移動します。

⑬ [入力キーボード]

タッチで表示されている文字を入力できます。

⑭ [入力完了]

入力された文字をすべて確定し、文字入力モードを終了します。

⑮ [全消去]

入力中の文字をすべて削除します。

⑯ [1文字消去]

入力中の文字を一文字削除します。

アドバイス

- 機能や文字の種類によって、表示されないタッチスイッチや別のタッチスイッチになることがあります。詳しくは各機能の説明をご覧ください。

■ 変換候補のリストについて

文字入力キーボードで[変換]にタッチすると表示する変換候補リストについて説明します。



① ▶, ▶
変換範囲を変更できます。

② 変換候補
タッチした変換候補で確定します。

③ ▲, ▼
リストから変換候補を選びます。

■ 入力できる文字の種類

入力キーボードはさまざまな文字が入力できるように用意されています。

文字入力は、各機能の操作の途中で必要になったときに表示します。

但し、機能によって入力できる文字を制限することができます。

(例:「電話番号から探す」(P192)では数字のみ)

ひらがな



アルファベット/数字



記号/数字



アドバイス

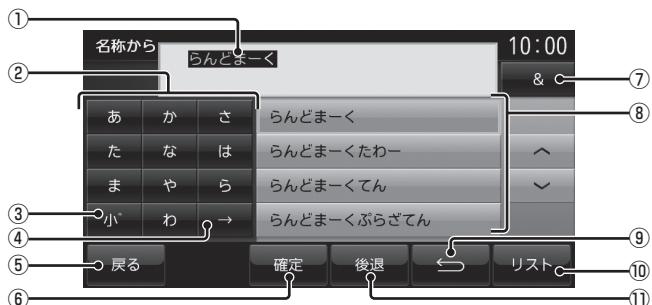
・「きごう」と入力して[変換]にタッチすることでも、一部の記号が入力できます。

数字入力用キーボード

電話番号や郵便番号など数字のみを入力できるように用意されています。



施設名称入力用キーボード



① 入力文字表示部

入力した文字を表示します。

“白色の文字”は現在入力中（繰り返しタッチ中）の文字です。

“オレンジ色の文字”は確定前の文字です。

“黒色の文字”は、確定済みの文字です。

② 入力キーボード

タッチで表示されている文字を入力できます。同じ文字を繰り返しタッチすることで、“あ→い→う→え→お→あ・・・”などのように入力できます。

→「繰り返しタッチについて」(P163)

③ [小]

繰り返しタッチ中の文字を拗音（ようおん）、促音→濁点→半濁点の順に変換します。

④ [→]

繰り返しタッチ中の状態を解除します。未確定の文字がある場合は、文字を確定します。

⑤ [戻る]

1つ前の画面に戻ります。

⑥ [確定]

未確定の文字を確定します。

⑦ [&]

①入力文字表示部に「&」が入力され別のキーワードを追加できます。

キーワードは最大3語まで指定できます。

⑧ [入力候補リスト]

入力した文字に続く文字や言葉を予測し候補を表示します。

タッチで入力文字表示部へ入力します。

⑨ [←]

繰り返しタッチ中の文字を1つ前の文字に戻します。

⑩ [リスト]

入力した文字の検索結果を表示します。

⑪ [後退]

未確定の文字を1文字削除します。未確定の文字列がない場合は、1つ前に確定した文字列を未確定の状態に戻します。

タッチし続けるとまとめて削除できます。

■ 繰り返しタッチについて

入力キーボードの同じ文字を繰り返しタッチすることで別の文字に切り換えることができます。

切り換わる文字は以下のようになります。

あ	あ▶い▶う▶え▶お▶あ▶い▶う▶え▶お▶あ▶
か	か▶き▶く▶け▶こ▶か▶
さ	さ▶し▶す▶せ▶そ▶さ▶
た	た▶ち▶つ▶て▶と▶っ▶た▶
な	な▶に▶ぬ▶ね▶の▶な▶
は	は▶ひ▶ふ▶へ▶ほ▶は▶
ま	ま▶み▶む▶め▶も▶ま▶
や	や▶ゆ▶よ▶や▶ゅ▶よ▶や▶
ら	ら▶り▶る▶れ▶ろ▶ら▶
わ	わ▶を▶ん▶わ▶ー▶わ▶

地図画面を選択する

地図の画面分割方法や向き、種類を切り換えることができます。

1 “方位アイコン”にタッチする

方位アイコン



2 “画面分割”または“地図向き”、“地図の種類”的いずれかにタッチする



地図の画面分割方法または向き、種類が切り換わります。

アドバイス

- 地図の画面分割方法と向き、種類は別々に選択できます。
- スタンダード2画面の右画面を変更する場合は、右画面側の方位アイコンにタッチします。



ただし、右画面に3Dビューマップは表示されません。

画面分割について

地図の画面分割方法について説明します。

■スタンダード

標準的な地図を1画面に表示します。



■スタンダード2画面

縮尺が違う2つの地図を同時に表示できます。



アドバイス

- 左画面には2Dマップ、3Dビューマップを表示できます。
- 右画面には、2Dマップのみ表示できます。
- スタンダード2画面とのときシンプルマップは左右どちらの画面にも表示されません。
- シンプルマップからスタンダード2画面に切り換えた場合、左画面は2Dマップとなります。

■ 高速略図

現在地を起点とした高速出入口やサービスエリアの一覧を表示します。



アドバイス

- ・高速略図では、さまざまな情報を確認できます。
→「高速道路情報について」(P178)
- ・高速略図を選択するには高速道路を走行している必要があります。
- ・1画面(全面)には、表示されません。
- ・各施設までの距離および情報を調べることができます。

■ PsidEP

地図とオーディオ画面を同時に表示します。



■ 地図向きについて

切り換えることのできる地図の向きについて説明します。

■ 自車基準

自車の進行方向を上とした地図を表示します。



■ 北基準

北を上とした地図を表示します。

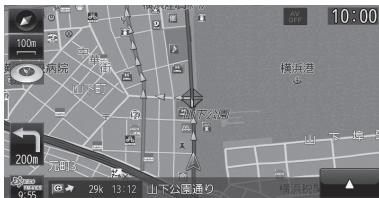


地図の種類について

切り換えることのできる地図の種類について説明します。

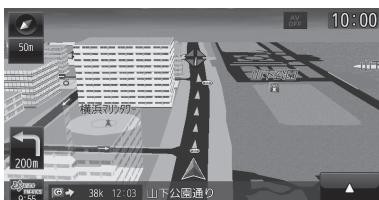
■ 2Dマップ

「自車基準」または「北基準」の地図向きが選べる一般的な地図を表示します。



■ 3Dビューマップ

上空から見下ろした地図を表示します。



アドバイス

- 3Dビューマップ表示中、 → [3D視点]にタッチすると、角度を切り換えることができます。

■ シンプルマップ

ルート案内中、案内交差点などをより見やすく表示します。



- ルート周辺の地図をグラデーション表示します。
- 次に曲がる案内交差点の信号や交差点名を大きなシンボルで表示します。
- 次に曲がる案内交差点の目印になる商標ランドマークを大きな吹き出しで表示します。
- ルート付近にある各交差点の信号や交差点名をシンボルで表示します。
- ルート付近にある商標ランドマークを吹き出しで表示します。

アドバイス

- 縮尺が200m以下のときに表示できます。
- グラデーション表示は、ルート案内時に走行しているときにのみ表示します。停車中は表示されません。
- 交差点案内図(P167)や高速略図(P178)、PsideP(P165)を表示しているとき、シンプルマップのグラデーションは表示されません。

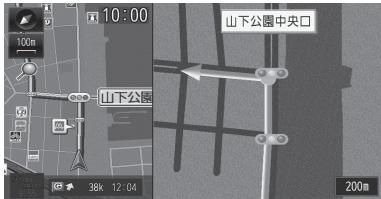
案内表示について

本機では状況に応じて、さまざまな案内を表示します。

交差点案内図

ルート走行中、案内ポイントに近づいたときに音声と共に表示します。

交差点までの距離や交差点名、方面名称を表示します。



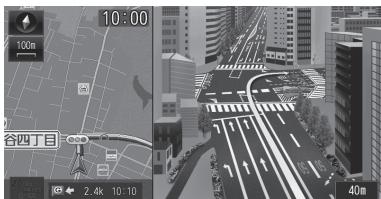
アドバイス

- [表示の設定]の「交差点案内図」で表示を3D、2Dと選ぶことができます。(画面は[2D表示])
- 手動で表示する場合は、「交差点案内アイコン」にタッチしてください。



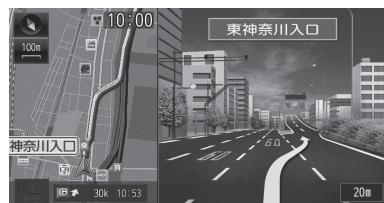
リアル交差点案内図

ルート走行中、案内ポイントに近づいたときに音声と共に表示します。(データがある交差点のみ) 曲がる方向や目印となる施設、交差点までの距離を表示します。



都市高速入口イラストマップ

ルート走行中、都市高速道路に進入する際に表示します。

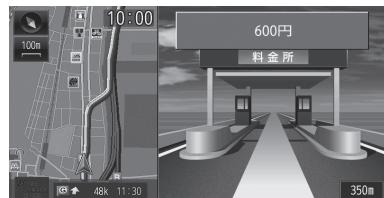


注意

- 自車位置マークは表示されません。
- 同じ入口でも進入方向によっては表示されない場合があります。

料金所案内図

走行中に料金所に近づくと表示します。

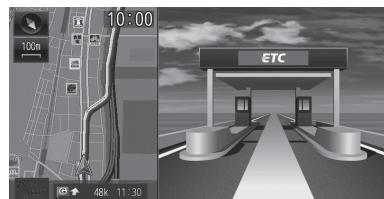


注意

- 自車位置マークは表示されません。
- すべての料金所を案内するわけではありません。
- 各種割り引き料金は計算されません。

■ ETC 料金所案内

別売の接続ケーブルで、本機にETC車載器またはDSRC車載器を接続している状態であれば、ETCレーンを表示します。



DSRC車載器については、「DSRC機能」(P227)をご覧ください。

県境案内

走行中、本機のシステムが県境を越えると判断したとき都道府県名の表示と音声で案内します。

[音声の設定]の「県境案内」で案内有無を選ぶことができます。

→「NAVIGATIONの設定」(P265)

県境案内



レーン案内

走行中に前方の交差点にレーン情報が存在すると表示します。

レーン情報



緑色の矢印はレーン情報を表示している交差点を示しています。

アドバイス

- 高速略図表示中は表示されません。
- ルート走行中の場合はおすすめレーンが黄色で表示され、ルートに沿って走行できるレーンは水色で表示します。
- 音声による案内を行うレーンもあります。
- すべてのレーンを案内するわけではありません。
- 実際のレーン状況と異なる場合があります。

3Dリアルジャンクション

高速道路の分岐点が近づくと、3Dの静止画面で実際の分岐のしかたや行き先、ジャンクション名などをリアルに表示します。



注意

- 自車位置マークは表示されません。
- 実際のジャンクションの形状と異なる場合があります。

カーブ案内

速い速度でカーブを走行しようとすると音声で警告します。

[音声の設定]の「カーブ案内」を[案内する]にしておく必要があります。

→「NAVIGATIONの設定」(P265)

合流案内

ルート走行中、500m 前方に合流地点が存在する場合、音声で案内します。

[音声の設定]の「探索ルート上の合流案内」を[案内する]にしておく必要があります。

→「NAVIGATIONの設定」(P265)

踏切案内

ルート走行中、100m 前方に踏切が存在する場合、音声で案内します。

[音声の設定]の「探索ルート上の踏切案内」を[案内する]にしておく必要があります。

→「NAVIGATIONの設定」(P265)

レーンアシスト

高速道路や都市高速道路を走行中、自車が
レーンからはみ出る、または、はみ出す危険性
がある場合にブザー音と表示で警告します。



レーンアシストの表示

詳しくは、「レーンアシストを使う」(P175)
をご覧ください。

お知らせ

- 別売のリアカメラの接続および本機の設
定が必要です。
- 意図した車線変更を行った場合でも検知
することがあります。

地図を操作する

スケールの切り換えや、地図スクロールなどの操作のしかたについて説明します。

スケールの切り換え

広い範囲や詳しい範囲を見るることができます。

1 “スケールアイコン”にタッチする

スケールアイコン



スケール変更バー



スケール変更バーを表示します。

2 [詳細]にタッチする

タッチするたびに詳細に表示します。

3 [広域]にタッチする

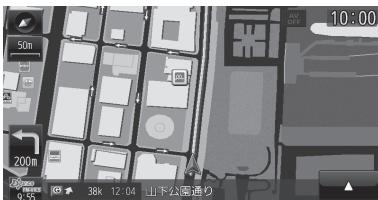
タッチするたびに広域に表示します。

アドバイス

- [詳細]または[広域]を押し続けることで連続的にスケールを切り換えることができます。

■ 市街地地図について

スケールを10/25/50mにするとビルや家の形まではっきりと見える市街地地図を表示できます。



アドバイス

- 50mスケールには“通常の地図表示”と“市街地地図表示”的2種類があります。
- 地域によっては市街地地図が表示されない場合があります。

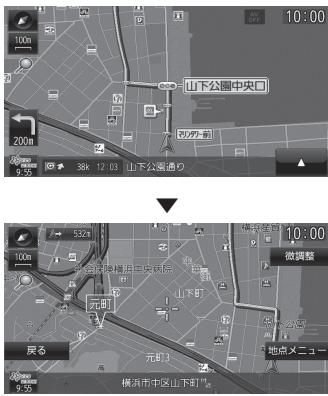
地図をスクロールする

現在地画面から別の場所に移動し、地図を確認したいときに使用します。

アドバイス

- ・スクロール中、地図の一部が表示されなくなる場合がありますが故障ではありません。
- ・スタンダード以外の地図をスクロールすると画面はスタンダードになります。

1 見たい場所にタッチする



+ マークを探している場所に合わせます。

アドバイス

- ・[戻る]にタッチすると現在地画面(P155)に戻ることができます。
- ・押し続けることで連続的にスクロールすることができます。
- ・[地点メニュー]にタッチすると地点メニューを表示し、目的地や経由地、登録地の設定ができます。

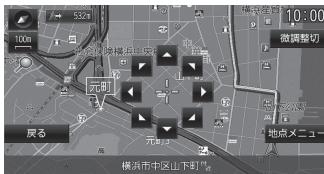
→「地点メニューからの操作」(P172)

■ スクロールの微調整

スクロール位置の微調整を行います。

1 スクロール後、微調整にタッチする

2 方向にタッチする



数回タッチし、微調整を行います。

3 微調整切にタッチする

▼
微調整を終了します。

■ スクロール方面名称表示について

スクロールすると4方向に隣接する行政区域名称を表示します。



表示される名称はスケールによって異なります。

1kmスケール以下	市区町村名
-----------	-------

2~10kmスケール	都道府県名
------------	-------

アドバイス

- ・[表示の設定]の「スクロール方面名称」で表示有無を選ぶことができます。
→「NAVIの設定」(P265)

地点メニューからの操作

地点メニューを表示すると目的地や経由地、登録地などの設定が行えます。

目的地に設定する

スクロール画面 (P156) の  地点を目的地に設定します。

アドバイス

- すでにルートが設定されている場合は、そのルートを消去して  地点を新しい目的地として設定します。

1 地点メニューを表示する (P158)

2 にタッチする



探索条件設定画面 (P195) を表示します。

3 にタッチする



目的地までのルート探索が完了し、ルート案内を開始します。

経由地に設定する

スクロール画面 (P156) の  地点を経由地に設定します。

アドバイス

- 目的地を設定している必要があります。

1 地点メニューを表示する (P158)

2 にタッチする



探索条件設定画面 (P195) を表示します。

3 にタッチする



目的地、経由地までのルート探索が完了し、ルート案内を開始します。

登録地に設定する

スクロール画面 (P156) の 地点を登録地に設定します。

1 地点メニューを表示する (P158)

2 [登録する] にタッチする



探した場所に マークが表示され、登録地情報画面 (P211) を表示します。

3 [終了] にタッチする

地点の登録が完了します。

アドバイス

- ここで表示される登録地情報を変更できます。
→「登録地情報を変更する」(P211)

周辺の施設を探す

スクロール画面 (P156) の 地点周辺の施設を探します。

ここでは、例として 地点周辺のコンビニを探します。

1 地点メニューを表示する (P158)

2 [周辺施設を探す] にタッチする

3 “ジャンル” の [買物] にタッチする

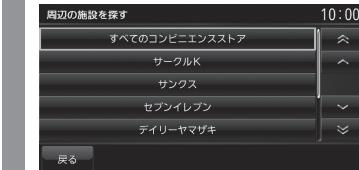


“分類” の [コンビニエンスストア] にタッチする



リストに [詳細] と表示されていない分類を選んだ場合は、手順 6 に進みます。

5 いずれかの “詳細な分類” にタッチする



6 探している “施設” にタッチする



選んだ施設を中心とした地図と情報を表示します。

建物情報を見る

スクロール画面(P156)の^① 地点が^② に
変わると建物情報を表示できます。

1 地点メニューを表示する (P158)

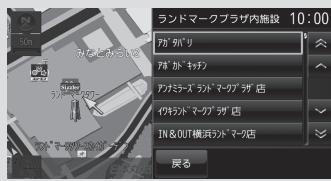
2 [建物の情報を見る] にタッチする



建物の情報を表示します。

アドバイス

- 建物内に複数の会社、店などがある場合は、建物内にある店舗リストを表示します。店舗にタッチしてください。

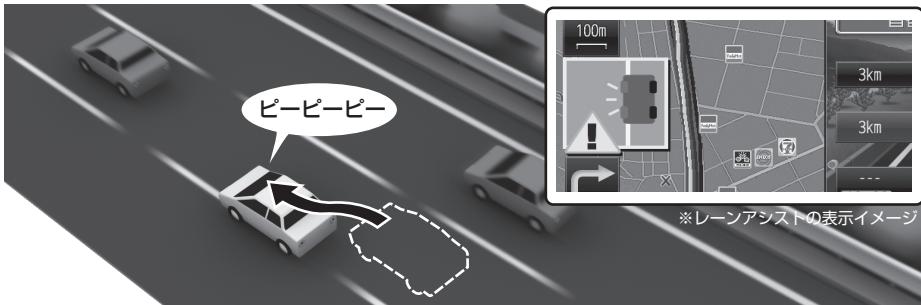


レーンアシストを使う

高速道路や都市高速道路を走行中、自車がレーンからはみ出す、または、はみ出す危険性がある場合にブザー音と表示で警告します。

⚠ 警告

- レーンアシスト機能は、注意義務を免除または軽減するものではありません。
本機能がない場合と同様に周囲の安全を自分の目で確認しながら運転してください。



お知らせ

- 本機とリアカメラが接続でき、リアカメラの映像を表示できた場合でも三菱電機ホームページで記載されていない指定外のカメラについてはレーンアシスト非対応となります。
- 意図した車線変更を行った場合でも検知することがあります。

アドバイス

- 警告は、ブザー音のみまたはブザー音と表示を選ぶことができます。
→「レーンアシストの設定」(P291)

ご使用になるには

レーンアシスト機能をご使用になるには、別売のリアカメラの接続および以下の操作が必要です。

1 「リアカメラの接続設定」を行う

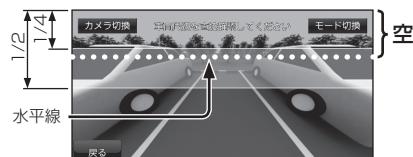
「リアカメラの接続設定」が[接続あり]になっている必要があります。

→「カメラの接続設定を行う」(P287)

※ 三菱電機製リアカメラ(BC-20M)を接続していた場合は、本操作の必要はありません。

2 別売リアカメラの取付角度を調整する

映像(画面)の中で1/4~1/2の範囲内に
空(水平線)が収まるようリアカメラをやや下
向きに調整し取り付けてください。



3 「レーンアシストの設定」を行う

「取付カメラ設定」の完了および「レーンアシスト」で[使用する]にしておく必要があります。
→「レーンアシストの設定」(P291)

ご利用上の条件

以下で示す状況下では、正しく動作しない場合や再設定が必要な場合があります。

注意

- ・リアカメラのレンズを汚したり、傷つけたりしないでください。また、水滴や結露がないことをご使用前に確認してください。
- ・リアカメラは取り付けを変更したり、取り外したりしないでください。
リアカメラの取り付けを変更した場合は、設定値を再設定する必要があります。
- ・リアカメラに強い衝撃や力を加えないでください。また、分解しないでください。

■ 車両・走行状態の影響

カメラ高さが変わった

以下の場合は、再設定が必要です。

- ・サイズの異なるタイヤに交換またはサスペンションを交換したことにより車高が著しく変わった。
- ・新しいタイヤに変更した直後。

車両が想定外の姿勢になった

以下の場合は、正しく動作しない場合があります。

- ・重い荷物を積載している。
- ・タイヤの空気圧が調整不良になっている。
- ・キャンピングカーなどを牽引(けんいん)している。
- ・車線規制や工事などによる仮設の車線を走行している。
- ・合流や分岐した道路を走行している。
- ・急カーブを走行している。
- ・急な車線変更を行った。
- ・状態が悪い、継ぎ目があるなどの道路を走行して車両に大きな上下運動が発生した。
- ・著しく速い速度で走行している。
- ・うねりのある道路や状態の悪い道路を走行している。
- ・凸凹のある路面の走行やジグザグ走行をしている。
- ・リアカメラの光軸がずれている。
- ・マフラーからの煙がリアカメラに入っている。
- ・道路上の白(黄)線が砂ぼこりなどで見えにくくなっている。または、見えない。
- ・雨、雪、霧などで道路上の白(黄)線が見えない。または、見えにくくなっている。

設定(P291)した条件に達していない

以下の場合は、レーンアシスト機能が自動的にOFFになります。

- ・高速道路などで走行車線や追い越し車線以外を走行している。
- ・車両が停止している。または、ゆっくり走行している。

■ リアカメラの問題

以下の場合は、レンズ面の洗浄を行ってください。

- ・リアカメラのレンズ面が汚れている。

■ 明るさ、外乱光や影の影響

以下の場合は、正しく動作しない場合があります。

- ・街灯などの光源がなく暗い道路を夜間走行している。
- ・車両後方が暗い。(ランプ不灯、バルブ切れ、汚れ、光学式ナンバーなど)
- ・夜間に後続車が接近している。
または、後続車のヘッドライトが上向きになっている。
- ・降雨時や雨上がりなどで、路面が濡れて光っている。
または、水溜まりがある。
- ・朝日や夕日など太陽の光がリアカメラに入る。
- ・トンネルの出入り口などを走行していて明るさが急激に変化した。
- ・照り返しなどにより明るくなった道路を走行している。

■ 道路上の白(黄)線や路面の状態

(カスレ、汚れ、隠れ)の影響

以下の場合は、正しく動作しない場合があります。

- ・路側物に道路上の白(黄)線と誤認識するような構造物や模様(ガードレール、縁石、反射ポールなど)がある。
- ・帯状に雪が残った雪道を走行している。
- ・道路上の白(黄)線と平行に近い影がある。
- ・道路上の白(黄)線が影の中にある。
- ・道路の修復などのアスファルト修復跡やペイント跡が残っている。
- ・道路上の白(黄)線が検札所や料金所手前などで途切れている。
- ・道路の白(黄)線が片側にのみある。
- ・極端に狭いまたは広い車線を走行している。
- ・道路上の白(黄)線が存在しない。
- ・道路上の白(黄)線周辺に積雪や融雪剤がある。
- ・道路上の白(黄)線を隠す障害物がある。
- ・路面の色や明るさが一様でない。
- ・カスレや汚れにより、はっきり見えない。
- ・コンクリート路のような明るい路面で、道路上の白(黄)線と路面のコントラスト差が少ない。
- ・キャップツアイやチャンターバー(道路上の白(黄)線に取り付けられた反射板)がある。
- ・路面補修痕、タイヤスリップ痕、道路のジョイントなどがある。
- ・道路上の白(黄)線の寸法や形状が規格外のとき。
- ・自車や他の車両、ガードレール、道路構造物(街路樹など)の影付近や影の中に白(黄)線がある。
- ・注意喚起のため以下のようないレーンになっているとき。



表示内容について

レーンアシストの表示は、状況に応じて変わります。各状況に応じた状態をあらかじめ理解した上でご使用ください。



レーンアシストの表示

表示内容	状態 / 内容
	レーンアシスト機能OFF 検知開始速度 (P291) で設定した速度未満で走行している。
	レーンキープ中
	レーン左側にはみ出した、または近づいた
	レーン右側にはみ出した、または近づいた
	レーンアシスト機能不能 設定変更後などによる学習中にになっている。 路面の積雪、リアカメラレンズの汚れ、逆光などが原因で道路上の白(黄)線が見えない状態になっている。

お知らせ

以下の場合は、レーンアシストの表示は行いません。

- ・高速道路や都市高速を走行していない。
- ・本機で表示されていない高速道路や都市高速を走行している。
- ・[レーンアシストの設定]の「警報の種類」が[ブザーのみ]になっている。
→「レーンアシストの設定」(P291)

レーンアシスト機能を一時停止する

レーンアシスト機能動作中に一時停止することができます。

1 レーンアシストスイッチにタッチする



レーンアシストスイッチ



レーンアシストスイッチの表示が「動作中」から「停止中」に変わり、一時停止状態となります。再度、動作させるときはもう一度レーンアシストスイッチにタッチします。

ブザー音について

- ・ブザー音はレーンからのはみ出し量に応じて3段階で変化します。(はみ出し量が大きいほどブザー音は大きくなります。)
- ・ブザー音は、レーン右側にはみ出したときは、右前のスピーカーが鳴り、レーン左側にはみ出したときは左前のスピーカーが鳴ります。
- ・ブザー音はレーンからはみ出している間、最長で約10秒間鳴り続けます。
10秒を過ぎてもレーンからはみ出している場合は、ブザー音が鳴り止みますのでご注意ください。

アドバイス

- ・レーンアシスト機能のブザー音の音量は [レーンアシストの設定] の「警報音量」で変更できます。
→「レーンアシストの設定」(P291)

高速道路情報について

高速道路を走行すると高速略図を表示します。サービスエリアやパーキングエリアの施設情報、ジャンクションの情報を確認できます。

アドバイス

本書で使用している高速道路の略語は以下の通りです。

- ・ SA : サービスエリア
- ・ PA : パーキングエリア
- ・ IC : インターチェンジ
- ・ JCT : ジャンクション

表示内容について



① 施設情報

入口情報や到着予想時刻、施設の情報を表示します。

SA,PAの場合

この場所にある施設のマークを表示します。

ICの場合

施設情報は表示しません。

JCTの場合

この場所より分岐している路線を選択できます。

② スマートICアイコン

スマートICがある施設に表示します。

③ 到着予想時刻

施設に到着する予想時刻を表示します。

④ 路線名

現在、高速略図に表示されている高速道路の路線名を表示します。

⑤ 施設名と残り距離表示

SA,PA,IC,JCTの名称と自車位置からの距離を表示します。

降りることができないインターチェンジは色が変わります。

1km未満は「——」と表示し、最大999kmまで表示します。

⑥ 自車表示

現在地から最も近い施設がリストに表示しているときに表示します。

⑦ 渋滞情報報

混雑(橙)、渋滞(赤)、通行止め(灰)の状況を色で表示します。

⑧ VICS記号表示

IC,JCTなどの施設を拠点とした規制は右側に表示します。

各区間中にある規制は左側に表示します。
→「VICS記号について」(P220)

施設の情報について

施設の情報が表示されます。
(最大20件表示できます)



アイコン	マークの説明
	ガソリンスタンド (例: JX日鉄日石エネルギー)
	コンビニエンスストア (例: ファミリーマート)
	レストラン
	スナックコーナー
	ショッピングコーナー
	ドラッグストア
	ハイウェイ情報ターミナル
	サービスエリア・コンシェルジュ
	休憩所
	身障者施設
	温泉 / お風呂
	コインシャワー
	コインランドリー
	洗車
	FAXサービス
	郵便ポスト
	ATM
	トイレ

表示するには

工場出荷時の設定では高速道路を走行すると自動で高速略図を表示するのでこの操作は必要ありません。

アドバイス

- 「表示の設定」の「高速略図自動表示」を「自動表示しない」にしていた場合にこの操作を行います。
→「NAVIの設定」(P265)
- 高速道路上に自車がない場合、高速略図は表示できません。

1 “方位アイコン”にタッチする

方位アイコン



2 高速略図にタッチする



高速略図を表示します。

各エリアの情報を確認する

SA,PA,IC,JCTの各エリアの情報および周辺の地図を確認できます。

1 ▼ または ▲ にタッチする



高速略図を前に進めたり戻したりできます。また、施設情報を表示します。

アドバイス

- ・自車より後方には戻せません。
- ・▼ または ▲ にタッチすると、SA や PA ごとに進めたり戻したりできます。

2 “確認したい施設”にタッチする



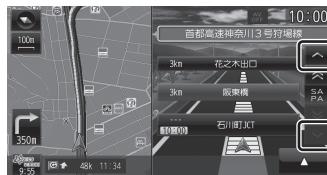
選んだ施設を中心とした地図を表示します。

アドバイス

- ・[地点メニュー]にタッチすると地点メニューを表示し、目的地や経由地、登録地の設定ができます。
→「[地点メニューからの操作】(P172)

■ JCTを選択した場合

1 ▼ または ▲ にタッチし、“JCT”を選ぶ



2 “確認したい路線”にタッチする



選んだ路線の高速略図を表示します。

目的地の設定

自宅を目的地に設定する

あらかじめ登録しておいた自宅 (P208) を目的地に設定します。

1 NAVI キーを押す

NAVI メニューを表示します。

2 [自宅] にタッチする



探索条件設定画面 (P195) を表示します。

アドバイス

- ・自宅を登録していない場合は登録をうながす画面が表示され設定画面を表示します。
→「自宅を登録する」(P208)

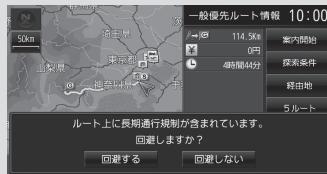
3 [案内開始] にタッチする



自宅を目的地としたルート探索が完了し、ルート案内を開始します。

お知らせ

- ・検索したルート中に長期的な規制区間があった場合、回避ルートの探索を [回避する] または [回避しない] をうながすテロップが表示されます。



- ・長期的な規制区間の期間は実際と異なる場合があります。

【探した場所を目的地に設定する】

「場所を探す」(P183)から探した場所を目的地に設定する一連の操作を説明します。

1 NAVI キーを押す

NAVIメニューを表示します。

2 いずれかの“検索方法”にタッチし、場所を探す



→「場所を探す」(P183～P194)

3 探した場所が表示されたら

【地点メニュー】にタッチする



アドバイス

- 検索方法の種類によって、施設名や電話番号が表示されない場合があります。

4 【ここへ行く】にタッチする



5 案内開始にタッチする



探した場所を目的地としたルートの探索が完了し、ルート案内を開始します。

お知らせ

- 検索したルート中に長期的な規制区間があった場合、回避ルートの探索を[回避する]または[回避しない]をうながすテロップが表示されます。



- 長期的な規制区間の期間は実際と異なる場合があります。

場所を探す

本機では、さまざまな方法で場所を探すことができます。

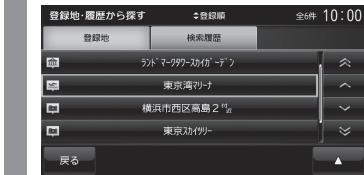
ここで探した場所は、目的地（P181）や経由地（P201）、登録地（P208）を設定するときに使用します。

ここでは、NAVIメニュー（P157）からの検索方法を説明します。

登録地を呼び出す

登録地を呼び出します。

- 1 NAVI キーを押し、
[登録地 / 履歴] にタッチする
登録地のリストを表示します。
- 2 呼び出したい“地点”にタッチする



呼び出した地点を中心とした地図と情報を表示します。

アドバイス

- 周辺の地図が表示されているとき、[地点メニュー]にタッチすると地点メニューが表示され、目的地や経由地、登録地の設定ができます。
→「[地点メニューからの操作」（P172）
- 周辺の地図が表示されているとき、[▲] → [1件消去]にタッチすると、この登録地を消去できます。
- 周辺の地図が表示されているとき、[▲] → [詳細情報]にタッチすると登録地情報画面を表示します。
→「[登録地情報画面について」（P211）

検索履歴を利用する

検索機能を使用して周辺の地図を表示させたことがある地点や地図スクロール操作から設定した目的地、登録した地点であれば、検索履歴として残り、再度周辺の地図を表示させることができます。

アドバイス

- 過去に検索機能を使用して周辺の地図を表示させたことがない場合はリスト表示されません。
- 検索履歴は新しいものから最大50件記録されます。

- 1 NAVI キーを押し、
[登録地 / 履歴] にタッチする
- 2 検索履歴 にタッチする
- 3 探している“場所”にタッチする

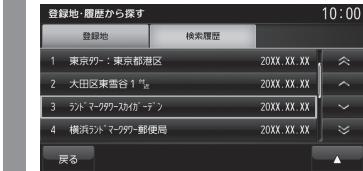


選んだ場所を中心とした地図と情報を表示します。

■検索履歴を消去する

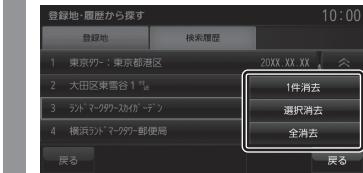
登録されている検索履歴を消去できます。

- 1 「検索履歴を利用する」(P183) の手順2まで操作する
- 2 □, △で消去したい“場所”にカーソルを合わせる



- 3 ▲にタッチする

- 4 いずれかの“消去方法”にタッチする



1件消去

現在選択している場所を履歴から消去します。

選択消去

複数の場所を選んで[消去]にタッチすると履歴から消去します。

全消去

登録されているすべての履歴を消去します。

- 5 [消去する]にタッチする

▼
検索履歴の消去が完了します。

住所から探す

住所から場所を探します。

- 1 NAVIキーを押し、[住所]にタッチする

- 2 いずれかの“都道府県”にタッチする



- 3 探している“住所”にタッチしていく



選んだ住所を中心とした地図と情報を表示します。

アドバイス

・[○○主要部]で主要部を表示することもできます。

・周辺の地図が表示されているとき、[地点メニュー]にタッチすると地点メニューが表示され、目的地や経由地、登録地の設定ができます。

→「地点メニューからの操作」(P172)

■ 番地を直接入力する

番地を直接入力できます。

1 「住所から探す」(P184) の手順 3まで操作する

2 番地のリストが表示されたら ▲にタッチする



3 [数字入力] にタッチする

4 探している“番地”や“号”を タッチして入力する



5 [決定] にタッチする

▼
入力した番地を中心とした地図を表示します。

アドバイス

- 主要部を表示することもできます。
- 地図データに収録されている番地情報の整備状況により番地・号を入力しても、その地域の代表地点が表示される場合があります。
- 周辺の地図が表示されているとき、[地点メニュー]にタッチすると地点メニューが表示され、目的地や経由地、登録地の設定ができます。
→「地点メニューからの操作」(P172)

施設名称を入力して探す

施設の名称を入力し場所を探します。

1 NAVI キーを押し、[施設名称] にタッチする

2 探している“施設名称”を入力する



→「施設名称入力用キーボード」(P162)
施設名称はすべて入力しなくとも検索は行えます。

3 [リスト] にタッチする

アドバイス

- ▲にタッチすると、検索結果の絞り込みが行える[絞り込み設定] (P186) や検索キーワードの変更が行える[キーワード変更] (P186) を選ぶことができます。

4 探している“施設”にタッチする



▼
選んだ施設を中心とした地図と情報を表示します。

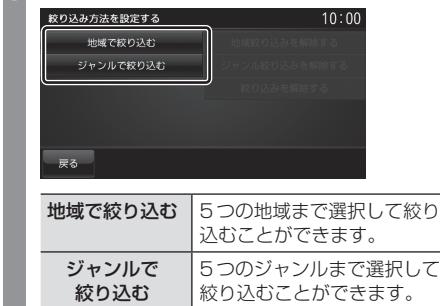
アドバイス

- 周辺の地図が表示されているとき、[地点メニュー]にタッチすると地点メニューが表示され、目的地や経由地、登録地の設定ができます。
→「地点メニューからの操作」(P172)
- 選んだ施設の入り口または駐車場が候補として最初に表示されます。この候補の位置を別の入り口や駐車場、施設の位置に切り換えることができます。
「施設の候補位置について」(P190)の手順2以降と同様の操作で切り換えることができます。

■ 検索結果を絞り込む

検索結果を更に条件を設定して絞り込むことができます。

- 1 「施設名称を入力して探す」(P185) の手順 3まで操作する
- 2 ▲にタッチし、絞り込み設定にタッチする
- 3 いずれかにタッチする



- 4 絞り込みたい“項目”にタッチしていく



- 5 [決定]にタッチする

▼
検索結果を表示します。

お知らせ

- [地域で絞り込む]を選択していた場合、検索結果で都道府県を変更すると自動的に[地域で絞り込む]を解除します。

■ 絞り込みを解除する

- 1 「施設名称を入力して探す」(P185) の手順 3まで操作する
- 2 ▲にタッチし、絞り込み設定にタッチする
- 3 いずれかにタッチする



○○絞り込みを解除する	選んだ絞り込み条件の設定を解除します。
絞り込みを解除する	すべての絞り込み条件の設定を解除します。

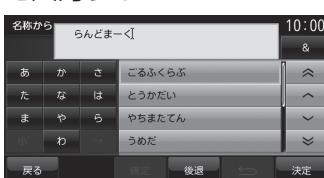
- 4 [解除する]にタッチする

▼
絞り込みの解除が完了します。

■ 検索キーワードを変更する

検索した後、別の検索キーワードに変更して検索しなおすことができます。

- 1 「施設名称を入力して探す」(P185) の手順 3まで操作する
- 2 ▲にタッチし、キーワード変更にタッチする
- 3 検索しなおしたい“キーワード”を入力する



→「施設名称入力用キーボード」(P162)

- 4 [決定]にタッチする

▼
検索結果を表示します。

施設ジャンルから探す

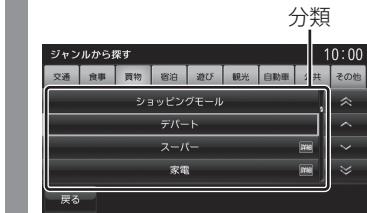
ジャンル別に施設を探します。

ここでは、例としてコンビニを探します。

- 1 NAVI キーを押し、**施設ジャンル** にタッチする
- 2 “ジャンル”の **買物** にタッチする



- 3 “分類”の **コンビニエンスストア** にタッチする



リストに [詳細] と表示されていない分類を選んだ場合は、手順 5 に進みます。

- 4 いすれかの “詳細な分類” にタッチする



いすれかの “都道府県” にタッチする



- 5 探している “施設” にタッチする



選んだ施設を中心とした地図と情報を表示します。

アドバイス

- 選んだ施設の入り口または駐車場が候補として最初に表示されます。この候補の位置を別の入り口や駐車場、施設の位置に切り換えることができます。
→「施設の候補位置について」(P190)
- 周辺の地図が表示されているとき、[地点メニュー] にタッチすると地点メニューが表示され、目的地や経由地、登録地の設定ができます。
→「地点メニューからの操作」(P172)

■ 検索結果を並び換える

検索結果を並び換えることができます。

1 「施設ジャンルから探す」 (P187) の手順 5まで操作する

2 ▲にタッチし、いずれかに タッチする

検索結果	
あ	か
あ	さ
あ	た
あ	な
あ	は
あ	ま
アーツ・クラ	アーバンアート
アーバンアート	アーバンアート
アイド専門	近隣施設-条件選択
アマトうめざわ	絞り込み設定
戻る	戻る

50音順	施設を50音順に並び替えます。
距離順	施設を距離順に並び替えます。
地域順	施設を地域順に並び替えます。
ジャンル順	<small>詳細</small> マークのあるジャンルで[すべての○○]を選んだとき、施設をジャンル順に並び換えることができます。但し、施設名称で検索している場合や <small>詳細</small> マークのないジャンルでは使用できません。また、 <small>詳細</small> マークのジャンルでも個別のジャンルを選んだ場合も使用できません。
距離順基準位置	検索結果を[距離順]で並び換えたときの基準を変更できます。 →「距離順並び換え時の基準位置を変える」(P188)
絞り込み設定	検索結果を更に条件を設定して絞り込むことができます。 →「検索結果を絞り込む」(P189)

距離順並び換える時の基準位置を変える

検索結果を[距離順]で並び換えたときの基準を変更できます。

アドバイス

- 距離順に並び換えていない場合は選べません。

1 「検索結果を並び換える」(P188) の手順 2で

距離順基準位置

にタッチする

2 いずれかにタッチする



自車位置

自車位置を基準に施設が距離順に表示されます。

地図位置指定

現在地周辺の地図が表示されますので、地図をスクロールし[決定]にタッチします。
その決めた地点を基準に、施設が距離順に表示されます。

■検索結果を絞り込む

検索結果を更に条件を設定して絞り込むことができます。

- 1 「施設ジャンルから探す」(P187) の手順5まで操作する
- 2 ▲にタッチし、絞り込み設定にタッチする
- 3 いずれかにタッチする

地域で絞り込む	5つの地域まで選択して絞り込むことができます。
ジャンルで絞り込む	5つのジャンルまで選択して絞り込むことができます。
キーワードで絞り込む	キーワード3語まで指定して絞り込むことができます。

- 4 絞り込みみたい“項目”にタッチしていく

- 5 [決定]にタッチする

▼
検索結果を表示します。

■絞り込みを解除する

- 1 「施設ジャンルから探す」(P187) の手順5まで操作する
- 2 ▲にタッチし、絞り込み設定にタッチする
- 3 いずれかにタッチする

- | | |
|-------------|----------------------|
| ○○絞り込みを解除する | 選んだ絞り込み条件の設定を解除します。 |
| 絞り込みを解除する | すべての絞り込み条件の設定を解除します。 |

- 4 [解除する]にタッチする

▼
絞り込みの解除が完了します。

■ 施設の候補位置について

施設を検索する際、選んだ施設の入り口または駐車場が候補として最初に表示されます。この候補の位置を別の入り口や駐車場、施設の位置に切り換えることができます。

- 1 「施設ジャンルから探す」(P187) の手順6まで操作する
- 2 ▲にタッチし、いずれかにタッチする



選んだ位置を中心とした地図と情報を表示します。

施設位置	施設を中心とした地図を表示します。
候補位置 ^{*1}	入口または駐車場を中心とした地図を表示します
次の候補位置 ^{*2}	次の入口または駐車場を中心とした地図を表示します
前の候補位置 ^{*2}	前の入口または駐車場を中心とした地図を表示します

※ 1 選択した施設に複数の入り口または駐車場がある場合は表示しません。

※ 2 選択した施設の入り口または駐車場が1件の場合は表示しません。

アドバイス

- 周辺の地図が表示されているとき、[地点メニュー] にタッチすると地点メニューが表示され、目的地や経由地、登録地の設定ができます。
→「地点メニューからの操作」(P172)

■ 文字情報のある施設について

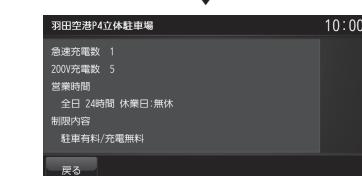
施設を中心とした地図に マークが表示されるとその施設に関する文字情報を確認できます。

- 1 「施設ジャンルから探す」(P187) の手順6まで操作する

- 2 ▲にタッチする



- 3 文字情報にタッチする



選んだ施設に関する文字情報を表示します。

周辺の施設を探す

現在地や目的地、ルート周辺の施設を探すことができます。

ここでは、例としてコンビニを探します。

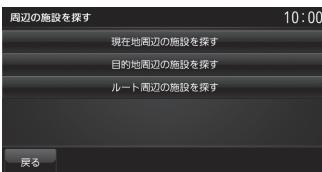
アドバイス

- 目的地を設定している場合は現在地周辺・目的地周辺・ルート周辺の施設（ガソリンスタンドやコンビニなど）を探します。
- 目的地を設定していない場合は現在地周辺の施設を探します。

1 NAVI キーを押し、[周辺検索]にタッチする

目的地を設定していない場合は、手順3に進みます。

2 検索したい“エリア”にタッチする



3 “ジャンル”の[買い物]にタッチする

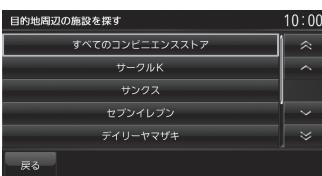


4 “分類”の[コンビニエンスストア]にタッチする



リストに[詳細]と表示されていない分類を選んだ場合は、手順6に進みます。

5 いずれかの“詳細な分類”にタッチする



6 探している“施設”にタッチする



選んだ施設を中心とした地図と情報を表示します。

アドバイス

- 地図スクロールからの地点メニューでも周辺検索を行うことができます。
→「地点メニューを表示する」(P158)
- 周辺の地図が表示されているとき、[地点メニュー]にタッチすると地点メニューが表示され、目的地や経由地、登録地の設定ができます。
→「地点メニューからの操作」(P172)
- 情報に マークがあった場合、
→[文字情報]にタッチすると文字情報を確認できます。
- 選んだ施設の入り口または駐車場が候補として最初に表示されます。この候補の位置を別の入り口や駐車場、施設の位置に切り換えることができます。
「施設の候補位置について」(P190)の手順2以降と同様の操作で切り換えることができます。

電話番号から探す

探している場所の電話番号が分かっている場合に使用します。

- 1 NAVI キーを押し、
[電話 / 郵便番号] にタッチする

2 “電話番号”を入力する

→「文字入力のしかた」(P160)



- 3 [決定] にタッチする

該当する周辺地図を表示します。

アドバイス

- ・電話番号は市外局番から入力する必要があります。
- ・個人宅は検索できません。
- ・タウンページに掲載の電話番号に一致した場合は、その施設を中心とした地図を表示します。
- ・市外局番だけ入力した場合や、途中までしか該当する電話番号がなかった場合は、代表地点の1kmスケールの地図を表示します。
- ・選んだ施設の入り口または駐車場が候補として最初に表示されます。この候補の位置を別の入り口や駐車場、施設の位置に切り換えることができます。
「施設の候補位置について」(P190)の手順②以降と同様の操作で切り換えることができます。
- ・周辺の地図が表示されているとき、[地点メニュー]にタッチすると地点メニューが表示され、目的地や経由地、登録地の設定ができます。
→「地点メニューからの操作」(P172)

郵便番号から探す

探している場所の郵便番号が分かっている場合に使用します。

- 1 NAVI キーを押し、
[電話 / 郵便番号] にタッチする

2 [郵便番号で検索] にタッチする

3 “郵便番号”を入力する



郵便番号をすべて入力すると該当する周辺地図を表示します。

アドバイス

- ・郵便番号は7桁すべて入力してください。
- ・該当する地点が複数ある場合は、地点のリストを表示します。探している地点にタッチしてください。



- ・周辺の地図が表示されているとき、[地点メニュー]にタッチすると地点メニューが表示され、目的地や経由地、登録地の設定ができます。
→「地点メニューからの操作」(P172)

MAPCODEを利用する

ガイドブックなどで記載されている1～12桁の番号（マップコード）を利用できます。

1 NAVIキーを押す

NAVIメニューを表示します。

2 MAPCODEにタッチする

3 “マップコード”を入力する



4 決定にタッチする

該当する周辺地図を表示します。

アドバイス

- “～ * ○○”までのマップコードを入力すると[決定]にタッチする操作は必要ありません。
- 周辺の地図が表示されているとき、[地点メニュー]にタッチすると地点メニューが表示され、目的地や経由地、登録地の設定ができます。
→「[地点メニューからの操作】(P172)

マップコードとは

特定の場所の位置データをコード化し、1～12桁の番号と「*」(アスタリスク)でその場所を特定することができるものです。

従来、住所などを使って、特定の場所を表現していましたが、住所では特定できないところも特定することができるようになります。

マップコードに関することは、下記へお問い合わせください。

株式会社デンソーコミュニケーションズ

電話番号 0566-61-4210

受付時間 10:00～12:00

13:00～16:00

(土・日、会社休日を除く)

ホームページ

<http://guide2.e-mapcode.com/>

スマートフォンから探す

スマートフォン(NaviConアプリが使用できる端末)から目的地を探し、本機に転送することができます。

転送後、本機からルートの探索を行います。



注意

- 運転中にスマートフォンを手に持って操作する行為はたいへん危険ですので絶対に行わないでください。
- 車内高温時の故障や盗難を避けるため、スマートフォンを車内に放置しないでください。

お知らせ

- 本機能をiPod/iPhoneでご使用になるときは、iPod/iPhoneをiPod接続ケーブルで本機に接続しないでください。iPod接続ケーブルとの同時接続を行うと本機能はご使用になれません。
- スマートフォンに「NaviCon」アプリを事前にダウンロードしておく必要があります。
詳しくは、NaviConサポートサイトをご覧ください。
<http://navicon.denso.co.jp/user/support/>



1 スマートフォンを本機に接続する

あらかじめBluetooth機能を使ってスマートフォンを本機に接続しておく必要があります。

詳しくは、「Bluetoothの設定」(P282)をご覧ください。

2 スマートフォンで目的地を探し、本機に転送する

本機にスマートフォンから転送した地点周辺の地図が表示されます。

アドバイス

- 周辺の地図が表示されているとき、[地点メニュー]にタッチすると地点メニューが表示され、目的地や経由地、登録地の設定ができます。
→「地点メニューからの操作」(P172)
- NaviConアプリでピンをドロップすると、マップコードが表示されます。このマップコードを利用すれば、スマートフォンを本機に接続することなく本機に地点を設定することができます。
→「MAPCODEを利用する」(P193)

■ 対応機能について

NaviConアプリとの連携機能は以下のとおりです。

NaviConとの連携	対応
地図スクロールの遠隔操作	○
地図縮尺変更の遠隔操作	○
目的地送信	○

お知らせ

- NaviConアプリが表示する地図の縮尺はスマートフォンによって異なります。また、NaviCon側の地図と本機側との地図の縮尺に差異を感じる場合があります。
- NaviConアプリを操作中、スマートフォンの操作音が本機を経由して車両のスピーカーから鳴る場合があります。この現象は、スマートフォン側の操作音をOFFすると改善します。

探索条件設定画面について

目的地にする場所が決まったときに表示される画面です。
この画面でできる操作について説明します。



① ルートの情報

現在探索されているルートの総距離、料金、所要時間を表示します。

② 利用するインターチェンジ

最初に利用する高速道路の入口と出口のインターチェンジを表示します。

③ ルート表示

現在探索されているルートの概略を表示します。

④ 探索条件表示

現在探索されているルートの探索条件を表示します。

⑤ 案内開始

現在探索されているルートの案内を開始します。

⑥ 探索条件

目的地までのルートの探索条件を変更できます。
→「探索条件を変更する」(P200)

⑦ 経由地

経由地の追加や変更が行えます。
→「経由地の設定・変更」(P201)

⑧ 5ルート

異なる条件で探索する5つのルートから好みのルートを選ぶことができます。
→「5つのルートから選ぶ」(P205)

⑨ 淀滞予測経路 *¹ / 通常経路

[淀滞予測経路]にタッチすると、過去の統計データに基づいて予測した淀滞情報（淀滞や混雑しやすいポイント、時間帯など）を考慮したルートを探索します。

[通常経路]にタッチすると、通常のルートを探索します。

⑩ 省エネ情報

推奨で探索したルートと比べてどのくらい燃費節約ができるかの度合いを確認できます。

度合い	葉っぱの状態
とても節約できる	
節約できる	
少々節約できる	
節約できない	

お知らせ

- ・[5ルート]→[省エネ]を選んだときに表示します。
- ・標準的なガソリン車を想定しています。
- ・ルートによっては、推奨とほぼ同じ消費燃費となる場合があります。
- ・実際の消費燃費は交通状況など様々な条件で変動することがあります。
- そのため、省エネ情報と異なる結果となる場合があります。

*¹ 淀滞予測経路の元となる道路交通情報データは、財団法人日本道路交通情報センター（JARTIC）から提供されています。また、道路交通情報データ作成には、財団法人道路交通情報通信システムセンター（VICSセンター）の技術が用いられています。

観光ルートを設定する

観光コースを都道府県ごとに探し、ルートを設定します。

1 NAVI キーを押す

NAVI メニューを表示します。

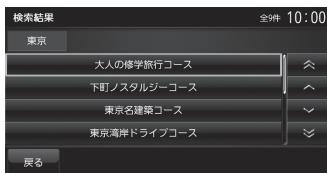
2 ▶ → [観光ルート] にタッチする

3 いずれかの“地方”にタッチする



4 いずれかの“都道府県”にタッチする

5 お好みの“コース”にタッチする



6 [案内開始] にタッチする



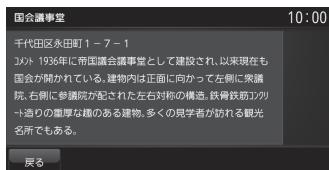
観光コースのルート案内を開始します。

■ 文字情報を表示する

[i] が表示されている地点は、地点の住所や電話番号などの情報を見ることができます。

1 「観光ルートを設定する」(P196) の手順5まで操作する

2 見たい地点の [i] にタッチする



選んだ地点の文字情報を表示します。

アドバイス

- 手順2で [i] マークのある地点にタッチすると、その地点を中心とした地図を表示します。このとき、[▲] → [文字情報] にタッチすることでも文字情報を表示できます。

ルートの確認・変更

ルートの確認

ルートを設定している場合に、設定したルートについて確認します。

次に曲がる交差点を確認する

走行中のルートで前方に右左折する必要がある交差点がある場合は、前もって音声案内と交差点案内図を表示させることができます。

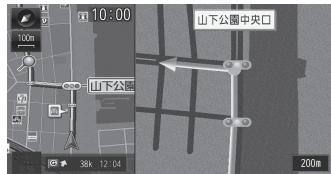
アドバイス

- ルートを走行している必要があります。
- 地図の状態によっては音声のみの案内となります。
- 直進を示すアイコンの場合は、タッチしても案内図を表示しません。

1 現在地画面で“交差点案内アイコン”にタッチする



交差点案内アイコン



次に曲がる交差点の拡大図を表示します。

ルートを確認する

確認するルート上をなぞるようにスクロールさせ周辺の地図を確認できます。

アドバイス

- 地図画面の種類がスタンダードのときのみこの操作が行えます。

1 現在地画面で ▲ にタッチする



2 ルート確認 にタッチする

3 ルートの“確認方法”にタッチする



選んだ確認方法によって地図が切り換わります。

■ 確認方法の種類

地図	現在地を中心とした地図を表示します。
後退	目的地→現在地に向けてスクロールします。
前進	現在地→目的地に向けてスクロールします。
地図	目的地を中心とした地図を表示します。
地図	経由地を中心とした地図を表示します。設定した経由地の数だけ選択できます。経由地がない場合は表示されません。
一時停止	後退または前進時のスクロールを停止します。
戻る	スクロールが終了します。

全ルートを確認する

現在地から目的地までのルートを画面上で確認できるスケールの地図を表示します。

1 現在地画面で ▲ にタッチする



2 全ルート にタッチする



ルート全体を表示した地図画面を表示します。

■ 地図上のアイコン種類

	出発地を表します。
	目的地を表します。
	設定された経由地を表します。
	高速道路の入口を表します。
	高速道路の出口を表します。

■ 目的地・経由地の位置を確認する

全ルート表示中に、目的地や経由地の周辺の地図を確認できます。

1 全ルート表示中、▲ にタッチする



2 目的地 または 経由地 ○ にタッチする



選んだ地点を中心とした地図を表示します。

アドバイス

- ・経由地を設定している場合は、[目的地]にタッチした後、[経由地○]を表示します。経由地がない場合は表示されません。
- ・経由地を複数設定している場合、[経由地 1]→[経由地 2]と押すたびに切りわります。
- ・[戻る]にタッチすると、全ルート表示に戻ります。

■ 詳細情報を確認する

全ルート表示中に、現在地から目的地までの距離や所要時間、料金や使用する高速道路の情報を確認できます。

お知らせ

- 一部の有料道路では、料金が計算に加わらない場合があります。また、新設された有料道路などの料金は対応しておりません。
- 装着車両に応じて車両区分を設定してください。普通車と軽自動車の料金データを収録しています。「NAVIの設定」(P265)で[探索の設定]の「車種」を変更できます。
- 高速料金の表示は状況(乗り継ぎ経路が異なる場合など)により正しく表示されない場合があります。

1 全ルート表示中、にタッチする



2 [詳細情報]にタッチする



詳細情報を表示します。

アドバイス

- [戻る]にタッチすると、全ルート表示に戻ります。

デモ走行を見る

作成したルートを仮想的に走行させ確認できます。

アドバイス

- 実際の走行時において1つ目の経由地を過ぎていた場合はデモ走行を行うことはできません。

1 NAVIキーを押す

NAVIメニューを表示します。

2 ルート編集 →

ルートのデモを開始する

にタッチする



「デモ中」と表示され、デモ走行を開始します。

■ 終了するには

1 デモ走行中、NAVIキーを押す

NAVIメニューを表示します。

2 ルート編集 →

ルートのデモを終了する

にタッチする

デモ走行を終了します。

アドバイス

この操作以外にも次のいずれかの条件が満たされたるとデモ走行は終了します。

- 実際に走行を開始した。
- 目的地や経由地の位置を変更した。
または、消去了した。
- イグニッションキーを“OFF”にした。
- 探索条件を変更した。

ルートの変更

設定したルートは迂回ルートや別ルートを設定できます。また、ルートの探索方法を変更できます。

1 NAVI キーを押す

NAVI メニューを表示します。

2 ルート編集 → ルートを編集するにタッチする



探索条件設定画面 (P195) を表示します。

探索条件を変更する

ルートの探索条件を変更できます。

■ 経由地がない場合

現在地から目的地までのルートで探索条件を変更できます。

1 探索条件設定画面で [探索条件] にタッチする

2 設定したい“探索条件”にタッチする



設定した条件の探索が完了し、探索条件設定画面 (P195) を表示します。

■ 経由地がある場合

現在地から目的地までのルート全区間や現在地から経由地、経由地から経由地、経由地から目的地などの区間ごとに探索条件を設定できます。

1 探索条件設定画面で [探索条件] にタッチする

2 [全区間] または [区間毎] にタッチする

[全区間] を選んだ場合は、手順 4 に進みます。

3 変更したい“区間”にタッチする



4 設定したい“探索条件”にタッチする



手順 2 で [区間毎] を選んだ場合は、手順 3 ~ 4 を繰り返し、すべての区間の条件を設定します。

5 決定 [決定] にタッチする



設定した条件の探索が完了し、探索条件設定画面 (P195) を表示します。

■ 探索条件の種類について

探索条件は以下のの中から選ぶことができます。

推奨	目的地（経由地）まで一般的と思われるルートを探索します。
省エネ	目的地（経由地）までなるべく燃費節約となるルートを探索します。
有料優先	目的地（経由地）の近くまでなるべく有料道路を使用するルートを探索します。
一般優先	目的地（経由地）までなるべく有料道路を使用しないルートを探索します。
距離優先	目的地（経由地）までできるだけ距離が短くなるルートを探索します。

経由地の設定・変更

アドバイス

- 目的地が設定されている状態で操作してください。
- 経由地は、最大5ヶ所まで設定できます。

■ 経由地を設定する

経由地が1件も設定されていない状態での設定方法を説明します。

アドバイス

- 地点メニュー（P158）からでも経由地を設定できます。

1 探索条件設定画面で **経由地** にタッチする

2 いずれかの“検索方法”にタッチし、場所を探す

検索方法選択画面



→「検索方法選択画面について」（P203）

3 探した場所が表示されたら **決定** にタッチする



経由地が設定され、探索条件設定画面（P195）を表示します。

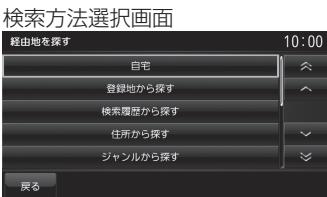
■ 経由地を追加する

すでに1つ以上の経由地が設定されている状態で、経由地の追加方法を説明します。

- 1 探索条件設定画面で [経由地] にタッチする
- 2 [追加] にタッチする
- 3 追加したい“区間”にタッチする



- 4 いずれかの“検索方法”にタッチし、場所を探す



→「検索方法選択画面について」(P203)

- 5 探した場所が表示されたら [決定] にタッチする



経由地が追加され、探索条件設定画面(P195)を表示します。

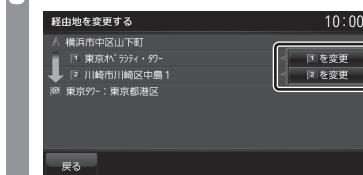
■ 経由地を変更する

設定済みの経由地の場所を変更します。

- 1 探索条件設定画面で [経由地] にタッチする

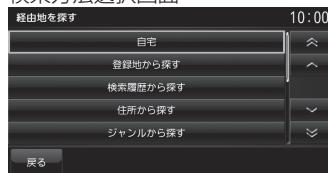
- 2 [変更] にタッチする

- 3 変更したい“経由地”にタッチする



- 4 いずれかの“検索方法”にタッチし、場所を探す

検索方法選択画面



→「検索方法選択画面について」(P203)

- 5 探した場所が表示されたら [決定] にタッチする



経由地が変更され、探索条件設定画面(P195)を表示します。

■検索方法選択画面について



自宅 ^{※1}	自宅を呼び出します。
登録地から探す ^{※2}	登録地を呼び出します。「登録地を呼び出す」(P183)の手順2以降と同じ操作となります。
検索履歴から探す	検索履歴を利用します。「検索履歴を利用する」(P183)の手順3以降と同じ操作となります。
住所から探す	住所から場所を探します。「住所から探す」(P184)の手順2以降と同じ操作となります。
ジャンルから探す	ジャンル別に施設を探します。「施設ジャンルから探す」(P187)の手順2以降と同じ操作となります。
名称から探す	施設の名称を入力し場所を探します。「施設名称を入力して探す」(P185)の手順2以降と同じ操作となります。
周辺施設から探す	現在地や目的地、ルート周辺の施設を探することができます。「周辺の施設を探す」(P191)の手順2以降と同じ操作となります。
電話番号から探す	探している場所の電話番号が分かっている場合に使用します。「電話番号から探す」(P192)の手順2以降と同じ操作となります。
郵便番号から探す	探している場所の郵便番号が分かっている場合に使用します。「郵便番号から探す」(P192)の手順3以降と同じ操作となります。
マップコードから探す	探している場所のマップコードが分かっている場合に使用します。「MAPCODEを利用する」(P193)の手順2以降と同じ操作となります。
地図から探す	地図スクロール(P171)した地点を設定できます。

※1 自宅を登録(P208)するとメニューに表示されます。

※2 登録地を設定(P209)するとメニューに表示されます。

■経由地を消去する

設定済みの経由地を消去します。

アドバイス

- すでに通過した経由地は消去できません。

1 探索条件設定画面で [経由地] にタッチする

2 [消去] にタッチする

3 消去したい“経由地”にタッチする



4 [消去する] にタッチする

▼
経由地が消去され、探索条件設定画面(P195)を表示します。

サブメニューからの操作

次に通過する予定の経由地を消去できます。

1 現在地画面で [▲] にタッチする

2 ルート変更 にタッチする

3 経由地削除 にタッチする



次に通過する予定の経由地を削除し、ルート探索を開始します。

アドバイス

- すべての経由地を通過すると[経由地削除]はグレー表示となり選択できません。

■ 経由地を並び替える

目的地や経由地の通過順を変更できます。

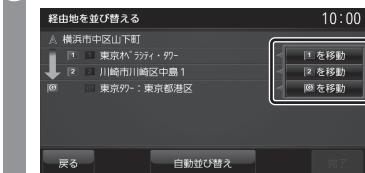
アドバイス

- すでに通過した経由地は並び替えできません。

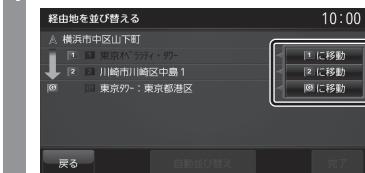
1 探索条件設定画面で [経由地] にタッチする

2 [並び替え] にタッチする

3 移動したい“地点”にタッチする



4 移動する“地点”にタッチする



5 [完了] にタッチする



経由地の並び替えが完了し、探索条件設定画面 (P195) を表示します。

経由地を自動で並び替える

経由地間の直線距離合計が短くなる順に自動で並び替えます。

アドバイス

- 目的地やすでに通過した経由地は並び替えできません。

1 「経由地を並び替える」(P204)
の手順2まで操作する

2 [自動並び替え] にタッチする

3 [完了] にタッチする



経由地の並び替えが完了し、探索条件設定画面 (P195) を表示します。

5つのルートから選ぶ

5つの探索条件のルートを一度に探し、選ぶことができます。

アドバイス

- 道路の状況により5つのルートすべてを探索できない場合があります。

1 探索条件設定画面で [5ルート] にタッチする

2 設定したい“探索条件”にタッチする



→「探索条件の種類について」(P201)

3 [決定] にタッチする



探索条件が変更された探索条件設定画面(P195)を表示します。

迂回ルートを探索する

距離を指定して前方を迂回するルートを探索できます。

アドバイス

- 現在地から目的地までの距離が1km未満の場合は操作できません。

1 NAVI キーを押す

NAVIメニューを表示します。

2 [ルート編集] → [迂回ルートを探索する]

3 にタッチする



設定した距離を迂回するルートの探索が完了し、ルート案内を開始します。

■ サブメニューからの操作

前方のある一定の距離を迂回するルートを探索できます。

1 現在地画面で [▲] にタッチする

2 [ルート変更] にタッチする

3 [迂回ルート] にタッチする

前方を迂回するルートの探索が完了し、ルート案内を開始します。

別ルートを探索する

現在のルートとは別のルートを探索します。

1 NAVI キーを押す

NAVI メニューを表示します。

2 ルート編集 →

別ルートを探索する

にタッチする



別ルートの探索が完了し、ルート案内を開始します。

■ サブメニューからの操作

1 現在地画面で ▲ にタッチする

2 ルート変更 にタッチする

3 別ルート にタッチする



別ルートの探索が完了し、ルート案内を開始します。

ルートを消去する

作成した目的地や経由地を削除し、ルートを消します。

1 NAVI キーを押す

NAVI メニューを表示します。

2 ルート編集 → ルートを消去する

にタッチする

3 消去する にタッチする



ルートの消去が完了し、現在地画面 (P155) を表示します。

VICS 規制を回避する

前方のVICS規制(オンライン規制やオフランプ規制、通行止め)を回避するルートを探索できます。

1 ルート走行中、前方にVICS規制があると・・・



「○○先、ルート上に○○があります。・・・」のメッセージを表示します。

2 ▲ にタッチする

3 ルート変更 にタッチする

4 VICS考慮 にタッチする



VICS規制を考慮したルートの探索が完了し、ルート案内を開始します。

スマートICを回避する

スマートICを回避するルートを探索できます。

お知らせ

- スマートICを通過するには、ETC車載器またはDSRC車載器が必要です。

アドバイス

- この機能をご使用いただくにはあらかじめ、[探索の設定]の「スマートIC」を[使う]にしておく必要があります。
永続的にスマートICを回避したい場合は、[使わない]にしてください。
→ [NAVIの設定] (P265)

1 スマートICを通るルートを走行すると…



「ルート上にスマートICがあります。…」のメッセージを表示します。

2 ▲にタッチする

3 ルート変更にタッチする

4 スマートIC回避にタッチする



スマートICを回避したルートの探索が完了し、ルート案内を開始します。

長期通行規制を回避する

長期通行規制を回避するルートを探索できます。

1 ルート走行中、長期通行規制があると…



「ルート上に長期通行規制があります。…」のメッセージを表示します。

2 ▲にタッチする

3 ルート変更にタッチする

4 長期通行規制回避にタッチする



長期通行規制を回避したルートの探索が完了し、ルート案内を開始します。

注意

- 長期通行規制を回避する場合は、事前に実際の規制を確認してください。

登録地の設定

自宅を登録する

自宅を登録しておくと、出かけた場所から自宅に帰るルートを簡単に設定できます。

アドバイス

- ・自宅に帰るルートを設定するときは、「**自宅を目的地に設定する**」(P181)をご覧ください。
- ・自宅を消去するときは、「**登録地を消去する**」(P214)をご覧ください。
- ・自宅は1件のみ登録できます。

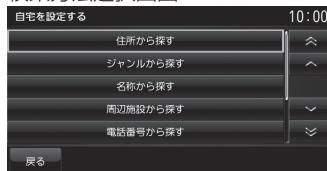
1 NAVI キーを押す

NAVIメニューを表示します。

2 [自宅] にタッチする

3 いずれかの“検索方法”にタッチし、場所を探す

検索方法選択画面



→「検索方法選択画面について」(P203)

アドバイス

- ・現在地が自宅の場合、[地図から探す]にタッチすると簡単に自宅を登録できます。

4 探した場所が表示されたら [決定] にタッチする



探した場所に マークが表示され、自宅の登録地情報を(P211)を表示します。

アドバイス

- ・ここで表示される登録地情報を変更できます。
「**登録地情報を変更する**」(P211)の手順6以降の操作を行ってください。

5 [終了] にタッチする

自宅の登録が完了します。

登録地を設定する

出かけた場所や行ってみたい場所などを登録地に設定しておくと、ルート設定が簡単に行えます。

アドバイス

- 登録地は最大99件まで登録できます。

現在地を登録する

現在地画面から、今いる場所（自車位置）を登録します。

1 現在地画面で [現在地] キーを押し続ける

▼
現在地の登録が完了します。

アドバイス

- 登録地情報の画面は表示されず、名称を空白とした登録地が設定されます。
 - 登録地情報の空欄は目的に応じて入力してください。
- 「登録地情報を変更する」(P211)

■ サブメニューからの操作

1 現在地画面で □ にタッチする

2 [現在地登録] にタッチする

▼
現在地の登録が完了します。

探した場所を登録する

NAVIメニュー(P23)から探した場所を登録地に設定する一連の操作を説明します。

1 NAVI キーを押す

NAVIメニューを表示します。

2 いずれかの“検索方法”にタッチし、場所を探す



→「NAVIメニュー」(P23)

3 探した場所が表示されたら [地点メニュー] にタッチする



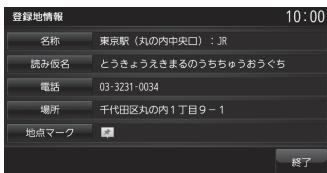
地点メニュー (P158) を表示します。

アドバイス

- 検索方法の種類によって、施設名や電話番号が表示されない場合があります。

次のページにつづく

4 [登録する] にタッチする



探した場所に マークが表示され、
登録地情報画面 (P211) を表示します。

アドバイス

- ここで表示される登録地情報を変更できます。
「登録地情報を変更する」(P211) の手順
6 以降の操作を行ってください。

5 [終了] にタッチする

探した場所の登録が完了します。

登録地を変更する

自宅や登録地の変更および消去が行えます。

アドバイス

- あらかじめ場所を登録しておく必要があります。

登録地情報を変更する

自宅や登録地の各情報を変更できます。

1 NAVI キーを押す

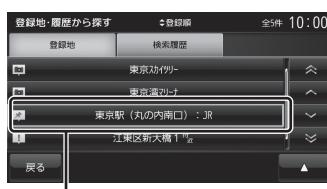
NAVIメニューを表示します。

2 登録地 / 履歴 にタッチする



自宅を変更したい場合でも、[登録地 / 履歴]にタッチします。

3 ▼ , ▶ で変更したい“登録地”にカーソルを合わせる



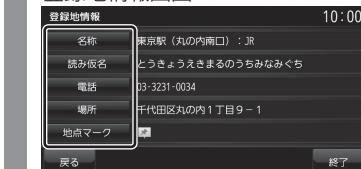
カーソル (オレンジ)

4 ▲ にタッチする

5 詳細情報 にタッチする

6 変更したい“情報”にタッチし、 変更する

登録地情報画面



登録地情報画面について

変更できる登録地情報をについて説明します。

■ 名称

地図画面で表示される地点マーク (P213) の名称を変更できます。

アドバイス

- 地図上に登録地の名称を表示するには [表示の設定] の「登録地名称」で表示有無を選ぶことができます。
→「NAVIの設定」(P265)

1 登録地情報画面で、名称 にタッチする

2 変更したい“名称”を入力し、 [入力完了] にタッチする



→「文字入力のしかた」(P160)

▼
名称の変更が完了しました。

■ 読み仮名

登録地名称の読み仮名を変更できます。

1 登録地情報画面で、[読み仮名]にタッチする

2 変更したい“読み仮名”を入力し、[入力完了]にタッチする



→「文字入力のしかた」(P160)

読み仮名の変更が完了します。

アドバイス

- 登録地の情報を電話帳に登録すると、ここで入力した読み仮名が電話帳の並び順に使用されます。

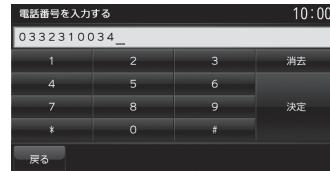
→「電話帳に登録する」(P239)

■ 電話

登録地に電話番号を登録しておくことができます。

1 登録地情報画面で、[電話]にタッチする

2 “番号”にタッチして電話番号を入力し、[決定]にタッチする



▼
電話番号の変更が完了します。

お知らせ

- 電話番号は24桁まで入力できます。
- “-”(ハイフン)は入力できません。

■ 場所

自宅や登録地の場所を変更できます。

1 登録地情報画面で、[場所]にタッチする

2 地図をスクロール(P171)し、変更したい“場所”にマーカーを合わせる



3 [決定]にタッチする

▼
場所の変更が完了します。

■ 地点マーク

地図画面に表示される登録地のマークを変更できます。

アドバイス

- ・自宅の地点マークは変更できません。

1 登録地情報画面で、**「地点マーク」**にタッチする

2 変更したい“マーク”にタッチする



地点マークの変更が完了します。

アドバイス

- ・地点マークは49種類から選べます。
- ・[マークなし]にタッチすると、地図画面にマークが表示されなくなります。

リストの順序を変更する

登録地のリストの並びを変更できます。

1 「登録地情報を変更する」(P211) の手順2まで操作する

自宅と登録地のリストを表示します。

2 ▲にタッチする

3 並べ替えにタッチする

4 変更したい“順序”にタッチする



選んだ順序にリストが切り替わります。

■ 順序の種類について

登録順	新規登録された順に表示されます。
マーク順	自宅を先頭にして、マーク一覧の左上からの順に並び替えます。
使用順	登録地を使っての検索やルート探索で最近使われたマークの順に並び替えます。

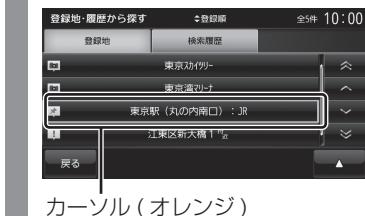
登録地を消去する

設定した登録地を消去します。

■ 1 件消去する

選んだ登録地を 1 件消去します。

- 1 「登録地情報を変更する」
(P211) の手順 2 まで操作する
自宅と登録地のリストを表示します。
- 2 □▽, □△ で消去したい “登録地”
にカーソルを合わせる



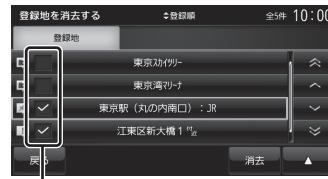
カーソル (オレンジ)

- 3 □▲ にタッチする
- 4 消去 □ にタッチする
- 5 1 件消去 □ にタッチする
- ▼
- 選んだ登録地を中心とした地図を表示します。
- 6 消去する □ にタッチする
- ▼
- 選んだ登録地の消去が完了します。

■ 選択して消去する

複数の登録地を選び、消去します。

- 1 「登録地情報を変更する」
(P211) の手順 2 まで操作する
自宅と登録地のリストを表示します。
- 2 □▲ にタッチする
- 3 消去 □ にタッチする
- 4 選択消去 □ にタッチする
- 5 消去したいすべての “登録地” に
タッチする



消去される登録地のチェックボックスが
✓ に変わります。

アドバイス

- ここで □▲ にタッチすると、すべて
チェックする [全選択] とすべてのチェック
を解除する [全解除] が選べます。

- 6 消去 □ にタッチする
- 7 消去する □ にタッチする
- ▼
- 選んだ登録地の消去が完了します。

■ 全件消去する

リスト内のすべての登録地を消去します。

- 1 「登録地情報を変更する」
(P211) の手順 2 まで操作する

自宅と登録地のリストを表示します。

- 2 ▲ にタッチする
- 3 [消去] にタッチする
- 4 [全消去] にタッチする
- 5 [消去する] にタッチする



すべての登録地の消去が完了します。

VICS機能

VICSについて

VICSセンターに集められた交通情報を利用できます。

VICSのメディアと特徴

- VICSのメディアには、FM多重放送、光ビーコン、電波ビーコン、DSRC、オンライン受信があります。

お知らせ

- 本章では、各メディアで対応できる機能について、以下のマークで表記します。

マーク	メディア
FM	FM多重放送
光	光ビーコン
電波	電波ビーコン
DSRC	DSRC
オンライン	オンライン受信

■ FM多重放送

FM放送波を利用して、広いエリアに道路交通情報を提供するもので、各地のFM放送局から放送されています。

■ 光ビーコン

光を媒体として、ビーコンが設置された場所に必要な道路交通情報を提供するもので、主に主要幹線道路に設置されておりサービス範囲は狭くなります。
(光ビーコン設置場所通過時)

※別売の光/電波ビーコン受信機が必要です。

■ 電波ビーコン

電波を媒体として、ビーコンが設置された場所に必要な道路交通情報を提供するもので、主に高速道路に設置されておりサービス範囲は狭くなります。
(電波ビーコン設置場所通過時)

※別売の光/電波ビーコン受信機が必要です。

■ DSRC

専用狭域(きょういき)通信を用い、画像・文字情報に加え音声情報などを提供しています。サービスエリアは限定されますが高速大容量通信が可能なためタイムリーで広範囲の情報を送信しています。DSRC機能については、「DSRC機能」(P227)をご覧ください。

※別売の接続ケーブルおよびDSRC車載器が必要です。

■ オンライン受信

携帯電話の通信機能を利用して渋滞情報などを受信する機能です。

オンライン受信は、以下の2種類があります。また、あらかじめ登録作業が必要です。

詳しくは「オンラインの情報を受信する」(P224)をご覧ください。

※Bluetooth接続ができるDUNプロファイルに対応した携帯電話が必要です。

オンデマンドVICS

携帯電話の通信機能を利用して、全国の渋滞情報、駐車場情報、規制情報などのVICS情報を取得できます。この機能を利用することで出発地から遠く離れた目的地までの情報を取得できます。

※オンデマンドVICSの情報は、インクリメントP株式会社が運営する「インクリメントP交通情報サービス」からの提供です。

※本サービスで使用するVICS交通情報は財団法人日本道路交通情報センターから提供されるデータを利用して作成しています。また、道路交通情報データの作成には財団法人道路交通情報通信システムセンターの技術が用いられています。

※本サービスの利用は無料ですが、通信費はお客様のご負担となります。

スマートループ渋滞情報[®]

本製品のスマートループ渋滞情報[®]は、パイオニアカロッツェリアカーナビゲーションと三菱電機カーナビゲーションのリアルタイムプロープデータを共有し、リアルタイムの渋滞情報を提供します。VICS渋滞情報と合わせて全国約70万kmにおよぶ道路状況に対応。渋滞している道路を回避しながら、より早く目的地に到着できます。

※本製品はパイオニア(株)が運営・管理するスマートループ渋滞情報[®]を使用しています。

スマートループ渋滞情報[®]はパイオニア(株)の登録商標です。

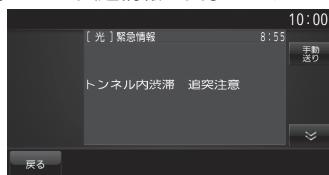
※ユーザー登録および本サービスの利用は無料ですが、通信費はお客様のご負担となります。

VICS情報のレベル

VICS情報にはレベル1～レベル3までの3種類の表示レベルがあります。
DSRCでは、表示に加えて音声情報が提供されています。

■ レベル1(文字)

文字による交通情報を表示します。



■ レベル2(簡易図形)

簡略化された図形・地図などで交通情報を表示します。



■ レベル3(地図)

地図上に渋滞情報や規制情報などの交通情報を直接表示します。



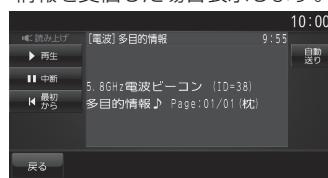
アドバイス

- 50m～1kmスケールのときに表示します。

DSRC

音声情報

音声情報を受信した場合表示します。



各タッチスイッチのタッチしたときの動作は以下の通りです。

再生	先頭から音声を読み上げます。 一時停止中にタッチすると、一時停止した部分から読み上げます。
中断	音声を一時停止します。
最初から	音声を先頭から読み上げます。
自動送り / 手動送り	1ページ以上の情報がある場合、自動送りまたは手動送りを切り替えます。

表示内容について

地図上に表示されるVICS情報について説明します。



① 駐車場情報

VICS情報で表示される駐車場情報では、空車または満車などの状況をVICS記号で確認できます。

② (VICSスイッチ)

VICS情報の提供時刻および提供メディア名を表示します。

(受信した時刻ではありません。)

タッチでVICSメニューを表示します。

→「VICSメニューについて」(P219)

③ 渋滞情報

渋滞・混雑の状況を線で表示し確認できます。

④ 規制情報

通行止めや車線規制などの交通規制を

VICS記号で確認できます。

アドバイス

- 本機のVICS機能では、VICS記号を見やすく強調するための機能が用意されています。
一部の地図色を変更し、VICS記号が強調されます。
- 工場出荷時は[VICSの設定]の「VICS受信時地図色」が[変えない]に設定されていますので、VICS記号が見にくい場合は[変える]に設定してください。
→「NAVIの設定」(P265)

■ VICSスイッチについて

受信した最新の提供メディア名が表示されます。

	FM多重放送
	光ビーコン
	電波ビーコン
	DSRC
	オンライン受信

■ VICSメニューについて



① 提供時刻

各メディアのVICS情報提供時刻を表示します。

② オンラインで受信する

携帯電話の通信機能を利用して、オンラインでVICS情報およびスマートループ渋滞情報を取得できます。

→「オンラインの情報を受信する」(P224)

③ 駐車場情報

現在地周辺の駐車場情報を確認できます。

→「現在地周辺を調べる」(P221)

④ 規制情報

現在地周辺の規制情報を確認できます。

→「現在地周辺を調べる」(P221)

⑤ FM多重情報

文字または図形によるVICS情報を確認できます。

→「文字・図形情報を見る」(P223)

⑥ ピーコン情報

DSRCの安全運転支援情報(P228)、光ピーコン、電波ピーコンから取得した文字または図形によるVICS情報を確認できます。

→「文字・図形情報を見る」(P223)

⑦ 緊急注意情報

割り込んだ緊急情報を再度表示して確認できます。

→「緊急情報の割り込み表示」(P225)

⑧ VICS渋滞情報表示 / 予測渋滞情報表示

地図上にVICS渋滞情報または予測渋滞情報を表示します。

→「渋滞情報を切り換える」(P223)

■ VICS 記号について

地図上に以下のマークで各交通情報を案内します。

駐車場情報

-  空車 (青色)
-  満車 (赤色)
-  混雑 (オレンジ色)
-  不明 (黒色)
-  閉鎖

渋滞情報

黒色 (実線)	通行止め
赤色 (実線)	一般道路渋滞
赤色 (点線)	高速道路渋滞
橙色 (実線)	一般道路混雑
橙色 (点線)	高速道路混雑
紫色 (実線)	一般道路渋滞 (予測)
紫色 (点線)	高速道路渋滞 (予測)
桃色 (実線)	一般道路混雑 (予測)
桃色 (点線)	高速道路混雑 (予測)

アドバイス

- ・通行止めは高速略図(P165)で表示します。
- ・スマートループ渋滞情報[®]では、渋滞線の両側に縁取りがあります。

規制情報

- | | |
|--|---|
|  事故 |  工事 |
|  路上障害 |  通行止め |
|  作業 |  速度規制 (例 60km) |
|  進入禁止 |  車線規制 |
|  徐行 |  対面通行 |
|  片側交互通行 |  入口閉鎖 |
|  チェーン規制 |  冬期通行止め |
|  入口制限 |  その他の規制情報 |
|  故障車 | |

VICSセンターへのお問い合わせ

VICSの状況や機能によって問い合わせ先が異なります。問い合わせが必要になったときは、以下の内容を参考にし、「三菱電機カーアイソメーションセンター」までご連絡ください。

- ・VICS車載器の調子や使用方法
- ・VICS車載器の受信可否に関して
- ・地図表示(レベル3)の内容に関して
- ・VICS情報の受信エリアについて
- ・VICS情報の内容の概略に関して

以下の内容は、「VICSセンター」までご連絡ください。

- ・文字表示(レベル1)の内容に関して
- ・簡易図形表示(レベル2)の内容に関して
- ・VICSの概念
- ・サービス提供エリアに関して

■ (財)VICSセンター

お問い合わせ窓口: サービスサポートセンター

受付番号	0570-00-8831 全国から市内通話料金でご利用になれます PHS、IP電話などからはご利用できません
電話受付時間	9:30 ~ 17:45 (土曜、日曜、祝日、年末年始休暇を除く)
受付FAX番号	03-3562-1719
FAX受付時間	24時間
ホームページアドレス	http://www.vics.or.jp/ VICSの最新情報やFM多重放送局の周波数の情報などをご覧いただけます。

なお、お問い合わせ先の判断に迷うような場合には、まずお買い求めの販売店または、別紙に記載の「三菱電機カーアイソメーションセンター」にご連絡いただくことをお勧めします。

交通情報を調べる

VICSを利用することで、さまざまな放送で交通情報を確認できます。

アドバイス

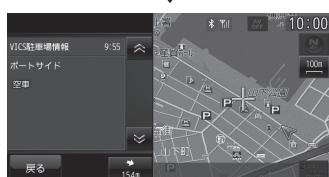
- 駐車場情報は200mスケールまでの地図で表示できます。但し、200mスケールより広域の場合は該当する駐車場マーク1件のみを表示します。
- 規制情報は1kmスケールまでの地図で表示できます。

FM **光** **電波** **DSRC**

現在地周辺を調べる

現在地周辺の駐車場情報や規制情報を調べます。

- 現在地画面で **VICS** にタッチする
- 駐車場情報 または 規制情報 にタッチする



VICS記号の枠が点滅するとともに文字情報を表示します。

アドバイス

- [駐車場情報]は周辺の駐車場情報が表示され、[規制情報]または[規制/SA情報]は周辺の交通規制や道路工事の情報を表示します。
- [FM多重情報]にタッチすると、文字または图形によるVICS情報を確認できます。
→「文字・图形情報を見る」(P223)

3

▲ または ▼ にタッチする

4

“位置確認アイコン”にタッチする



選んだ交通情報を中心とした地図と情報を表示します。

アドバイス

- “位置確認アイコン”は、駐車場情報のときはのみ表示します。規制情報のときは表示しません。
- [地点メニュー]にタッチすると地点メニューを表示し、目的地や経由地、登録地の設定ができます。
→「地点メニューからの操作」(P172)

FM 光 電波 DSRC

スクロール地点周辺を調べる

地図をスクロールして、 地点周辺の駐車場情報や規制情報を調べることができます。

1 地図をスクロール (P171) し、調べたい地点に を合わせる



2 にタッチする

以降の操作は、「現在地周辺を調べる」(P221) の手順2以降と同じです。

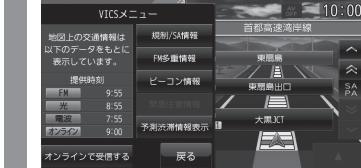
FM 光 電波 DSRC

高速道路を調べる

走行中の高速道路（高速略図表示中）の駐車場情報や規制情報を調べることができます。

1 高速略図 (P165) 表示中で にタッチする

2 規制 / SA 情報 にタッチする



以降の操作は、「現在地周辺を調べる」(P221) の手順3以降と同じです。

アドバイス

- 高速道路を走行している必要があります。
- 高速略図の規制情報をを探す場合、選択するメニューは「規制情報」ではなく「規制 / SA 情報」になります。
- 位置確認を行った場合、高速略図中の位置を表示します。
- [FM 多重情報] にタッチすると、文字または図形による VICS 情報を確認できます。
→ 「文字・図形情報を見る」(P223)

[FM] [光] [電波] [DSRC]

文字・図形情報を見る

文字または図形によるVICS情報を確認できます。

お知らせ

- ここでは、現在地画面からの操作を説明しますが、スクロール画面(P171)や高速略図(P165)からも同じ操作となります。

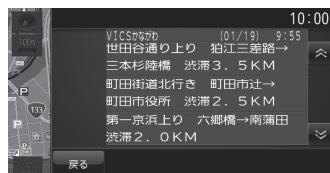
1 現在地画面で [DEVICe SERVICES 9:55] にタッチする

2 [FM多重情報] または [ビーコン情報] にタッチする

3 知りたい情報の“番号”にタッチする



4 知りたい情報の“番号”にタッチする



選んだ情報を表示します。

[FM]

渋滞情報を切り換える

渋滞情報を現在の情報または予測情報に切り換えることができます。

1 現在地画面で [DEVICe SERVICES 9:55] にタッチする

2 [VICS渋滞情報表示] または [予測渋滞情報表示] にタッチする



アドバイス

- [VICS渋滞情報表示] または [予測渋滞情報表示] を押すたびに切り換わります。

オンライン

オンラインの情報を受信する

携帯電話の通信機能を利用して、オンデマンドVICS情報およびスマートループ渋滞情報[®]を受信します。

お知らせ

- あらかじめDUNプロファイルに対応した携帯電話と本機をBluetooth接続しておく必要があります。→「Bluetoothの設定」(P282)
- ユーザー登録および本サービスの利用は無料ですが、通信費はお客様のご負担となります。
- オンラインの情報を受信するには登録が必要となります。別紙「OpenInfoサービス ユーザー登録手順書」に従って登録作業を行ってください。さらに、[VICSの設定]の「走行情報(オンライン)」を[送信する]にしておく必要があります。未登録の場合や[送信しない]に設定されていると、オンラインVICS情報(P216)のみを受信します。
→「NAVIの設定」(P265)

ユーザー登録	[VICSの設定] →「走行情報(オンライン)」	オンデマンドVICS	スマートループ 渋滞情報 [®]
未登録	送信しない	<input type="radio"/>	×
	送信する	<input type="radio"/>	×
登録済み	送信しない	<input type="radio"/>	×
	送信する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

1 現在地画面で [Saves 9:55] にタッチする

2 オンラインで受信する に
タッチする

3 はい にタッチする
渋滞情報の取得を開始します。



アドバイス

- 「走行情報(オンライン)」の送信では、より充実した道路交通情報の提供に役立てるために、お客様の走行情報などをサービス事業者に提供します。
- オンライン受信の受信方法は、[VICSの設定]の「オンライン受信」で自動または手動を選ぶことができます。
→「NAVIの設定」(P265)

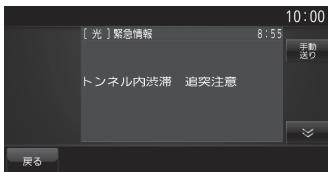
VICSによる自動処理

VICSには、安全で快適な運転をしていただくため、自動で処理される機能があります。

[FM 光 電波 DSRC]

緊急情報の割り込み表示

走行中、緊急情報を受信すると、受信音とともに自動的に表示します。



[戻る]にタッチすると元の画面に戻ります。

アドバイス

- 1ページ以上ある場合、[自動送り]/[手動送り]にタッチすると自動送り、または手動送りに切り換えることができます。
- 表示できる情報が複数ページある場合は [▼] にタッチしてページを送ることができます。

[FM 光 電波 DSRC]

ルート自動更新

ルート走行中、ルート前方に通行止めやその他の規制が発生した場合、回避するためのルートが自動的に再探索され、新しいルート案内を開始します。



アドバイス

- [探索の設定]の「ルート自動更新」を[自動更新する]に設定しておく必要があります。→「[NAVIの設定] (P265)

[光 電波 DSRC]

図形/文字情報の割り込み表示

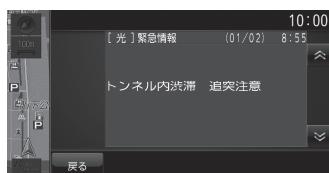
走行中、光ビーコンまたは電波ビーコンの情報を受信すると、受信音とともに図形情報または文字情報が自動的に表示されます。



[戻る]にタッチすると元の画面に戻ります。

1 現在地画面で にタッチする

2 緊急注意情報 にタッチする



緊急情報を表示します。

アドバイス

- 操作をしなければ約10秒間で元の画面に戻ります。
- 図形情報または文字情報を自動で表示させたくない場合は、[VICSの設定]の「受信情報割り込み」を[割込表示しない]に設定してください。→「[NAVIの設定] (P265)

FM

VICS局を選ぶ

工場出荷時は、自車位置の都道府県の放送局を優先的に選局する[自動選局]に設定されていますが、都道府県を指定する方法、周波数を入力して指定する方法を選択することもできます。

1 INFO キーを押す

INFO メニューを表示します。

2 設定 → Navi の設定

にタッチする

3 VICSの設定 にタッチする

4 「VICS受信局周波数設定」の項目にタッチする



VICS受信局周波数設定画面を表示します。

自動選局

自車位置の都道府県のVICS局を優先的に選局します。

1 VICS受信局周波数設定画面で

自動選局 にタッチする

VICS局を自動選局に変更します。

県指定

選択した都道府県をVICS局に指定できます。

1 VICS受信局周波数設定画面で

県指定 にタッチする

2 変更したい“都道府県”にタッチする



選んだ都道府県にVICS局を変更します。

周波数指定

入力した周波数をVICS局に指定できます。

1 VICS受信局周波数設定画面で

周波数指定 にタッチする

2 変更したい“周波数”を入力する



3 決定 にタッチする

入力した周波数にVICS局を変更します。

DSRC 機能

DSRC サービスとは

別売の接続ケーブルおよびDSRC車載器を本機に接続すると、さまざまな機能がご利用になります。

DSRC の概要

Dedicated Short Range Communication の略で、専用狭域（きょういき）通信による情報提供や料金決済などのサービスのことです。今後幅広いサービスが提供される予定です。本機に別売の三菱電機製 DSRC 車載器を接続すると、交通情報などの表示や音声情報の案内が行われます。

お知らせ

- ・本機能をご利用いただくには、別売の三菱電機製 DSRC 車載器と ETC カードおよび接続ケーブルが必要です。詳しくは、販売店にお問い合わせください。
- ・ETC カード未挿入や DSRC 車載器の故障によるエラーが表示される場合がありますが、本機の故障ではありません。エラー内容を確認し、DSRC 車載器の取扱説明書に従って処置してください。
- ・料金所は名称で表示する場合と番号で表示する場合があります。
- ・本機側で ETC 利用料金や利用履歴を表示できますが、必ずクレジットカード会社から発行される利用明細、または ETC マイレージサービスのユーザー登録時に受けることのできる照会サービスで確認してください。
- ・DSRC 車載器本体の詳細については、DSRC 車載器の取扱説明書をご覧ください。

DSRC サービスについて

今後、さまざまなサービスが始まる予定です。

お知らせ

- ・DSRC サービスは、一部開始されていない場合があります。
- ・本機は情報接続サービス（道の駅における情報接続、SA・PAにおける情報接続など）には対応していません。

■ 音声情報

音声情報を受信すると音声で読み上げを行います。→「音声情報」(P217)

受信した音声情報を、自動で読み上げないよう設定する場合は[VICSの設定]で「受信情報読み上げ」を[手動]に設定します。
→「VICSの設定」(P270)

■ アップリンク機能

走行情報などをサービス事業者に提供し、より充実した道路交通情報や、安全運転支援情報の提供に役立てます。

走行情報を提供しない場合は、[VICSの設定]で「走行情報 (DSRC)」を[送信しない]に設定します。

→「VICSの設定」(P270)

■ 安全運転支援情報

以下のような情報がリアルタイムに提供されます。

注意

- 安全運転支援情報は参考情報で、実際の交通状況とは異なる場合があります。
- 必ず実際の交通状況を確認し、安全運転を心がけて走行してください。

お知らせ

- 状況によってはその他の情報が表示される場合があります。

前方の障害物情報



合流支援情報



事故多発地点情報



INFO

主に情報確認や各種設定が行えます。

各種情報を確認する	231
エコ情報を確認する	231
表示内容について	231
表示するには	232
eスタートスコアについて	232
エコ運転評価を消去する	232
エコ情報履歴を表示する	233
エコ情報履歴を消去する	233
お知らせ表示について	234
エコスコアアイコン	234
エコアドバイス	234
目的地到着後のお知らせ	234
ETC情報を確認する	235
ETCとは	235
案内表示について	235
ACC ONにしたとき	235
均一料金所を通過したとき	235
入口料金所を通過したとき	235
出口料金所を通過したとき	236
予告アンテナを通過したとき	236
ETCの履歴を確認する	236
累積料金を表示する	237
累積料金を消去する	237
月別料金表を表示する	237
日別料金表を表示する	238
ETC車載器の情報を表示する	238
電話を使う	239
携帯電話を接続する	239
電話帳に登録する	239
携帯電話から登録する	240
履歴から登録する	241
登録地から登録する	241
電話帳を編集する	242
電話帳を消去する	242
電話をかける	243
電話帳からかける	243
履歴からかける	244
地図に登録された	
電話番号にかける	245
電話がかかってくると	245
かかってきた電話でるには	245
音量を調整する	245
保留にする	246
電話を終了する	246
電話操作パネルを閉じる	246
カメラを使う	247
表示内容について	247
表示するには	248
リアカメラの映像を表示する	248
サブカメラの映像を表示する	248
リアカメラのモードを切り換える	249
FM文字情報を見る	250
表示するには	250
プリセット済の場合	251
番組を表示する	251
緊急情報の受信について	252
放送局を変更する	252
プリセット選局で変更する	252
サーチで変更する	253
マニュアルで変更する	253
放送局を登録する	254
地図データを更新する	255
地図データを通信で更新する	255
地図データをSDカードで更新する	256
メンテナンス情報を確認する	257
メンテナンス情報を表示する	257
メンテナンス情報を設定する	258
メンテナンス情報を追加する	259
メンテナンス情報の種類について	259
メンテナンス情報を更新する	260
メンテナンス情報の案内を設定する	260
案内するに設定した場合	260
バージョンを確認する	261
表示するには	261
バージョンアップ方法	261
ディスクでバージョンアップする	261
地図カードでバージョンアップする	263

本機の設定	264
設定を変更する	264
設定できる種別について	264
NAVIの設定	265
設定できる項目について	265
表示の設定	266
音声の設定	268
探索の設定	269
VICSの設定	270
自車位置の補正	271
自車位置情報を確認する	271
センサー学習情報を消去する	271
現在地を補正する	272
ランドマークの表示を個別に設定する	273
AVの設定	274
設定できる項目について	274
音楽CDの録音方法を変更する	274
自動録音について	275
手動録音について	275
シングル録音について	275
録音速度を設定する	275
DVDビデオの初期設定	276
視聴制限のレベルを設定する	277
優先させる言語を変更する	278
INFOの設定	280
設定できる項目について	280
ETCの設定	281
ハンズフリーの設定	281
Bluetoothの設定	282
Bluetooth機器を登録する	283
Bluetooth機器を選択する	284
パスキーを設定する	285
本機のアドレスを表示する/編集する	285
インターネットの設定	286
簡単設定で接続する	286
詳細設定で接続する	286
デバイスIDを表示する	287
リアカメラの設定	287
カメラの接続設定を行う	287
カメラモードの設定をする	287
ガイド線を表示する	288
ガイド線を調整する	288
サブカメラの設定	290
エコ情報の設定	290
レーンアシストの設定	291
取付カメラの設定をする	292
システムの設定	293
設定できる項目について	293
システム音の設定	294
パワーアンテナの設定	294
メモリ初期化	295
車両取付確認	296
車両信号チェック	296
センサチェック	296
外部機器接続確認	297
マイク接続チェック	297
GPS時刻表示・設定	298
起動時セキュリティの設定	298
セキュリティを解除する	299
パスワードを変更する	299
TVの設定	300
設定項目について	300
視聴設定	301
字幕/音声	301
受信機設定	301
自動選局	301
緊急放送	302
表示設定	302
番組CH	302
初期設定を行う	303
ホームCHスキャンを行う	303
設定情報を初期化する	303
その他の設定	304
モニターの角度を調整する	304
画質を調整する	304
RGB画面の調整	304
映像画面の調整	305
リアカメラ映像の調整	305
サブカメラ映像の調整	305
画面の表示を消す	306

各種情報を確認する

エコ情報を確認する

アクセルペダルやブレーキの使いかた(加速度情報)を元に判断し、運転操作がどれくらい燃費に良いかの評価(エコ運転評価)を確認できます。

お知らせ

- エコ情報は省エネを保証するものではありません。あくまで参考情報としてご使用ください。また、道路交通法に従い、実際の交通規制や道路状況に合わせて走行してください。

表示内容について



① エコ運転評価

エコ運転評価を表示します。

② eスタートマスターレベル

アクセルペダルやブレーキの踏みかたから採点し、採点した得点量によってバーが増減します。バーが満タンになれば、レベルがアップします。(最大レベル5まで)

③ 今回のeスタートスコア

車のエンジンをかけてから現在までのeスタートスコアを表示します。
→「eスタートスコアについて」(P232)

④ 前回のeスタートスコア

前回車を利用したとき(エンジンをかけてエンジンをきるまで)のeスタートスコアを表示します。

→「eスタートスコアについて」(P232)

⑤ エコ情報履歴

走行アドバイスが必要な地点を表示します。
→「エコ情報履歴を表示する」(P233)

⑥ ▲

eスタートマスターレベル、eスタートスコアを消去できます。
→「エコ運転評価を消去する」(P232)

表示するには

1 INFO キーを押す

INFO メニューを表示します。

2 エコ情報にタッチする



エコ情報を表示します。

■ eスタートスコアについて

急発進をしないでアクセルをゆっくり踏むことが、どのくらいできたかの評価を葉っぱの数で確認できます。

状態	葉っぱの状態				
良い	♣♣♣♣♣				
⋮	♣♣♣♣♣				
やや良い	♣♣♣♣♣				
⋮	♣♣♣♣♣				
普通	♣♣♣♣♣				
⋮	♣♣♣♣♣				
やや悪い	♣♣♣♣♣				
⋮	♣♣♣♣♣				
悪い	♣♣♣♣♣				
⋮	♣♣♣♣♣				

お知らせ

- eスタートスコアは、車のイグニッショングキーを“ACC”または“ON”にした後の「停止→発進」回数により評価を分析し結果を表示します。
- 高速道路などのように「停止→発進」の頻度が少ない場合は、結果が更新されない場合があります。

■ エコ運転評価を消去する

eスタートマスターレベルおよびeスタートスコアを消去できます。

1 エコ情報表示中、

▲にタッチする

2 消去したい“対象”にタッチする



eスタートマスター消去

eスタートマスターのレベルとバーを消去します。

eスタートスコア消去

前回および今回のeスタートスコアを消去します。

全消去

eスタートマスターおよびeスタートスコアの両方を消去します。

3 消去するにタッチする

エコ運転評価の消去が完了します。

エコ情報履歴を表示する

急発進、急加速、急減速と判断された地点を記憶しリスト（最大100件）表示します。

1 INFO キーを押す

INFOメニューを表示します。

2 エコ情報にタッチする

3 エコ情報履歴にタッチする

4 見たい“履歴”にタッチする



地点とアドバイスを表示します。

アドバイス

- または ▶にタッチすると、前の履歴、次の履歴を確認できます。
- 各アイコンは、以下の地点を示します。
 - 発**：発進した地点
 - 加**：加速した地点
 - 減**：減速した地点

エコ情報履歴を消去する

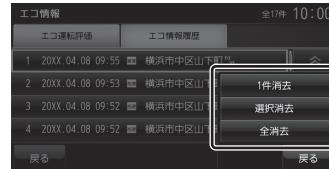
履歴を消去できます。

1 「エコ情報履歴を表示する」(P233)手順3まで操作する

2 消去したい“履歴”を選び、

▲にタッチする

3 いずれかの“消去方法”にタッチする



4 消去するにタッチする

エコ情報履歴の消去が完了します。

お知らせ表示について

走行中や目的地到着後に表示されるお知らせ表示について説明します。

■ エコスコアアイコン

ルート案内中、燃費に良い運転方法の評価をドナツグラフで表示します。



	渋滞などが原因による低速走行が続いたとき、エコスコアが計算できなくなったときに表示します。
	よい状態です。
	やや良い状態です。
	普通の状態です。
	やや悪い状態です。
	悪い状態です。

エコスコアアイコンに表示されているドナツ量が大きいほど、燃費に良い運転ができるています。(5段階で表示します。)

アドバイス

- エコスコアアイコンを表示させたくない場合は、[エコ情報の設定]の「エコスコア表示」で[表示しない]にします。
→「エコ情報の設定」(P290)

■ エコアドバイス

走行中、良い燃費に必要な運転方法のアドバイスを表示し、アナウンスを行います。



エコアドバイスは次のとき案内します。

- 燃料消費が少ない運転
- eスタート発進
- 急発進、急加速、急減速

アドバイス

- エコアドバイスを使用したい場合は、[エコ情報の設定]の「エコアドバイス」で[使用する]にします。
→「エコ情報の設定」(P290)

■ 目的地到着後のお知らせ

目的地の手前に近づくと、ルート走行中の評価をeスタートスコアおよびエコスコアでお知らせします。

eスタートスコア表示



エコスコア表示



アドバイス

- 目的地到着後のお知らせを表示させたくない場合は、[エコ情報の設定]の「エコ情報お知らせ表示」で[表示しない]にします。
→「エコ情報の設定」(P290)

ETC情報を確認する

ETCの使いかたについて説明します。

ETCとは

ETCとは、有料道路等におけるノンストップ自動料金収受システム(Electronic Toll Collection System)のことです。

本機に別売の接続ケーブルおよびETC車載器またはDSRC車載器を取り付けることで本機能をご利用になれます。

- ・有料道路等の料金所を通過する際に、一旦停止することなく自動的に通行料金の支払い手続きが可能になります。
- ・料金所の出入り口で通行料金を音声と画面のテロップで案内します。
- ・ETCの通行履歴を表示できます。

お知らせ

- ・本機能をご利用いただくには、別売の三菱電機製ETC車載器またはDSRC車載器とETCカードおよび接続ケーブルが必要です。但し、モデルによっては接続できない場合がありますので、詳しくは販売店にお問い合わせください。
- ・ETCカード未挿入やETC車載器またはDSRC車載器の故障によるエラーが表示される場合がありますが、本機の故障ではありません。エラー内容を確認し車載器の取扱説明書に従って処置してください。
- ・ETCゲート、ETCカード未挿入お知らせアンテナもしくは予告アンテナを通過した場合に、料金案内図やお知らせ等を表示する場合があります。
- ・料金所は名称で表示される場合と番号で表示される場合があります。
- ・本機側でETC利用料金や利用履歴を表示できますが、必ずクレジットカード会社から発行される利用明細、またはETCマイレージサービスのユーザー登録時に受けることのできる照会サービスで確認してください。
- ・ETC車載器またはDSRC車載器本体の詳細については、車載器の取扱説明書をご覧ください。

案内表示について

ETCカードの挿入案内や料金所を通過したときなどの案内表示について説明します。

■ ACC ON したとき

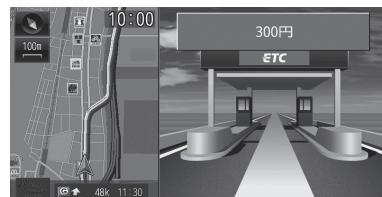
ACC ONにすると、ETCカードの使用可否を表示と音声でお知らせします。

アドバイス

- ・カード使用可否の案内は、[ETCの設定] の「ETCカード案内」で案内有無を選ぶことができます。
→「INFOの設定」(P280)
- ・画面OFFの状態でも、ETC車載器からお知らせがあると画面をONにし表示と音声案内が行われます。
- ・ETCカードの有効期限案内機能は、有効期限案内対応のETC車載器またはDSRC車載器に限ります。

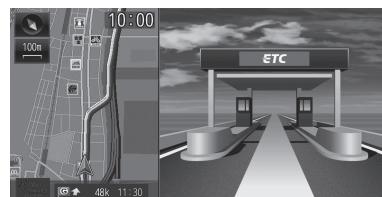
■ 均一料金所を通過したとき

料金所案内図と料金が表示され、音声で料金案内を行います。



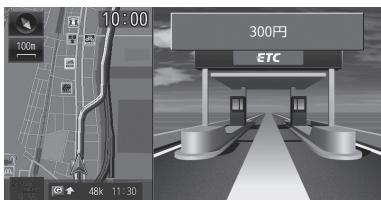
■ 入口料金所を通過したとき

料金所案内図が表示され、音声案内はありません。



■ 出口料金所を通過したとき

料金所案内図と料金が表示され、音声で料金案内を行います。



お知らせ

- 入口料金所でETCゲートを通過していなかった場合は、ETCの料金案内は行われず通常の料金案内図が表示されます。

アドバイス

- [ETCの設定]の「ETC通過音」で[鳴らす]に設定するとETCゲート通過時に、通過音を鳴らすことができます。
→「INFOの設定」(P280)

■ 予告アンテナを通過したとき

予告アンテナを通過したことを告げるテロップが表示されます。

予告アンテナ受信内容が表示され、音声でも案内が行われます。

ETCの履歴を確認する

全履歴情報画面を表示して確認できます。

注意

- 履歴読み込み中にETCカードを抜かないでください。通信エラーなどが発生します。

お知らせ

- ETCに関するエラー表示があった場合、ETCカードを正しくETC車載器に挿入するまでETC履歴の画面を表示できません。
- 2002年度以前に発売されたETC車載器をご使用の場合は、履歴に時刻が表示されません。

アドバイス

- 履歴は最大100件まで新しいものから順に表示します。
- 料金は、-99,999円～999,999円まで表示できます。

1 INFO キーを押す

INFOメニューを表示します。

2 ETC にタッチする

ETC料金履歴		
		全履歴表示
全100件 10:00		
20XX年07月28日	17:51	150円
○○		
20XX年07月28日	17:50	700円
○○○○○	~ □□□	
20XX年07月28日	10:13	1000円
□□□	~ △△△△△	
戻る		

全履歴情報画面を表示します。

累積料金を表示する

累積料金を確認できます。

- 1 全履歴情報画面表示中、
[▲] にタッチする
- 2 [累積料金] にタッチする



累積料金を表示します。

アドバイス

- [▲] → [全履歴情報] にタッチすると、全履歴情報画面 (P236) に戻ります。
- 料金は、- 99,999円～ 999,999円まで表示できます。

■ 累積料金を消去する

累積料金を消去(クリア)することができます。

- 1 「累積料金を表示する」(P237) を操作する
- 2 [累積料金クリア] にタッチする
- 3 クリアする にタッチする



累積料金を消去します。

月別料金表を表示する

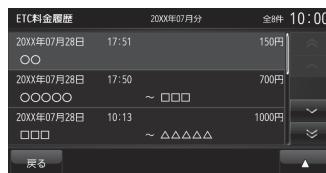
月別に料金を確認できます。

- 1 全履歴情報画面表示中、
[▲] にタッチする
- 2 [月別料金表] にタッチする

アドバイス

- 各月に表示されている料金は、その月での累積料金です。

- 3 見たい“月のリスト”にタッチする



選んだ月の詳細な履歴を表示します。

アドバイス

- [▲] → [全履歴情報] にタッチすると、全履歴情報画面 (P236) に戻ります。
- 料金は、- 99,999円～ 999,999円まで表示できます。

日別料金表を表示する

日別の料金を確認できます。

1 全履歴情報画面表示中、 [▲] にタッチする

2 [日別料金表] にタッチする

アドバイス

- 各日に表示されている料金は、その日の累積料金です。

3 見たい“日にちのリスト”に タッチする

ETC料金履歴		20XX年07月28日	全4件	10:00
20XX年07月28日	17:51		150円	▲
○○				▼
20XX年07月28日	17:50		700円	▲
○○○○○	~ □□□			▼
20XX年07月28日	10:13		1000円	▲
□□□	~ △△△△△			▼
戻る				▲

選んだ日の詳細な履歴を表示します。

アドバイス

- [▲] → [全履歴情報] にタッチすると、全履歴情報画面 (P236) に戻ります。
- 料金は、- 99,999円～ 999,999円まで表示できます。

ETC車載器の情報を表示する

本機に接続されている ETC 車載器または DSRC 車載器の型名、型式登録番号、車載器管理番号を確認できます。

お知らせ

- 2002年度以前に発売された ETC 車載器の場合は ETC 登録情報が表示されません。

1 全履歴情報画面表示中、 [▲] にタッチする

2 [ETC登録情報] にタッチする

ETC車載器登録情報		10:00
型式名	0000000	
型式登録番号	0000	
車載器管理番号	0000X-000XX0XX-000XXX	
戻る		▲

登録情報を表示します。

アドバイス

- [▲] → [全履歴情報] にタッチすると、全履歴情報画面 (P236) に戻ります。

電話を使う

電話の使いかたについて説明します。



禁止

警告

- 運転者は運転中に携帯電話を手にもって使用しない。
走行中に携帯電話を手にもって使用することは法律で禁止されています。また、事故の原因になります。
- 携帯電話を放置しない。
停車したときやカーブを曲がるときに携帯電話が足下に転がりブレーキペダルなどの下に入り込むと運転の妨げとなり交通事故の原因となります。



必ず行う

- ご使用になる前に、安全な場所に車を止めた状態で、着信音量、受話音量、送話音量の確認を行ってください。
事故の原因となることがあります。
[ハンズフリーの設定]の「○○音量」で適度な音量に設定してご使用ください。
→「INFOの設定」(P280)
音量が大きすぎたり、小さすぎたりすると運転中の意識がそれ、事故の原因となり危険です。

携帯電話を接続する

本機と携帯電話は、Bluetooth機能を使用して接続します。

接続のしかたについては「Bluetoothの設定」(P282)をご覧ください。

以降の操作方法については、接続が完了している状態を説明しています。

お知らせ

- Bluetooth接続ができる携帯電話が必要です。
- 携帯電話の「ダイヤルロック」などの機能を解除し、待ち受け画面の状態で接続してください。
- 機器によっては接続できないものがあります。詳しくは当社ホームページをご覧ください。

電話帳に登録する

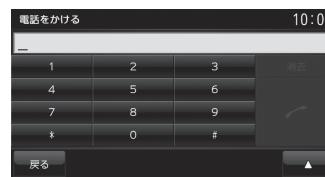
名前および読み仮名、電話番号の登録が行えます。

1 INFO キーを押す

INFOメニューを表示します。

2 電話にタッチする

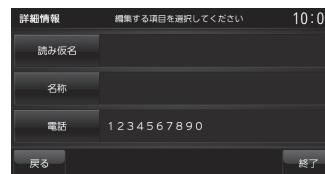
3 登録したい“電話番号”を入力する



4 ▲にタッチする

5 電話帳登録にタッチする

6 各情報を入力する



7 終了にタッチする

▼
電話帳の登録が完了します。

■ 携帯電話から登録する

携帯電話の電話帳から本機の電話帳へ読み込むことができます。

お知らせ

- ・携帯電話の機種によっては転送が正常に行われない場合があります。
- ・転送されるメモリーは電話番号と名称と読み仮名のみです。
- ・転送が終了するまで3分程度かかります。但し、携帯電話の電話帳登録件数によって変化します。

アドバイス

- ・電話帳の最大登録件数は1000件です。

1 INFO キーを押す

INFOメニューを表示します。

2 電話 にタッチする

3 ▲ にタッチする

4 電話帳 にタッチする

5 ▲ → 登録 にタッチする

6 携帯電話から登録する にタッチする

7 いすれかの“登録方法”に タッチする



全件追加	携帯電話の電話帳(全件)を本機の電話帳へ追加登録します。
選択追加	携帯電話の電話帳から選択して本機の電話帳へ追加登録します。
全件上書き	携帯電話の電話帳(全件)を本機の電話帳へ上書き登録します。

8 実行する にタッチする

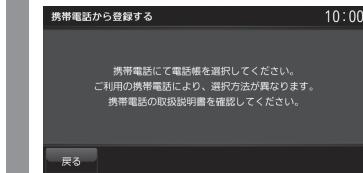
[全件追加]または[全件上書き]にタッチした場合は、転送完了後、本機の電話帳の登録が完了します。

[選択追加]にタッチした場合は、手順9へ進みます。

お知らせ

- ・Bluetooth対応オーディオ機器を接続している場合は、再度[実行する]にタッチする必要があります。

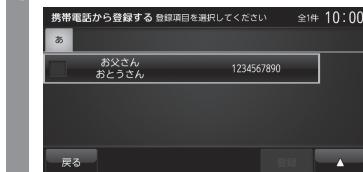
9 携帯電話にて転送する電話帳を 選択する



アドバイス

- ・メモリー転送中、[中止]にタッチするとメモリー転送を中止します。

10 登録したい“電話帳”を選択する



アドバイス

- ・ここで ▲ にタッチすると、すべてチェックする[全選択]とすべてのチェックを解除する[全解除]が選べます。

11 登録 にタッチする

携帯電話の電話帳からの登録が完了します。

■履歴から登録する

発信履歴または着信履歴から本機の電話帳に登録できます。

1 INFO キーを押す

INFOメニューを表示します。

2 電話にタッチする

3 ▲にタッチする

4 電話帳にタッチする

5 ▲→登録にタッチする

6 着信履歴から登録する または 発信履歴から登録する にタッチする

7 登録したい“履歴”にタッチする



アドバイス

- ここで ▲にタッチすると、すべてチェックする[全選択]とすべてのチェックを解除する[全解除]が選べます。

8 登録にタッチする

9 登録するにタッチする

▼
履歴からの登録が完了します。

■登録地から登録する

1 INFO キーを押す

INFOメニューを表示します。

2 電話にタッチする

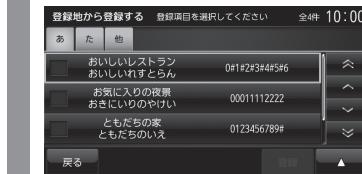
3 ▲にタッチする

4 電話帳にタッチする

5 ▲→登録にタッチする

6 登録地から登録するにタッチする

7 登録したい“登録地”にタッチする



アドバイス

- ここで ▲にタッチすると、すべてチェックする[全選択]とすべてのチェックを解除する[全解除]が選べます。

8 登録にタッチする

9 登録するにタッチする

▼
登録地からの登録が完了します。

電話帳を編集する

電話帳を編集できます。

1 INFO キーを押す

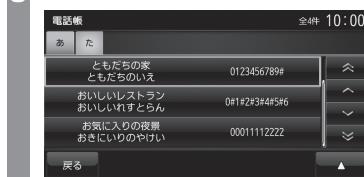
INFO メニューを表示します。

2 電話にタッチする

3 ▲にタッチする

4 電話帳にタッチする

5 編集したい“電話帳”を選ぶ



6 ▲ → 編集にタッチする

7 各情報を編集する

8 終了にタッチする

▼
編集が完了します。

■ 電話帳を消去する

登録している電話帳を消去できます。

1 INFO キーを押す

INFO メニューを表示します。

2 電話にタッチする

3 ▲にタッチする

4 電話帳にタッチする

5 消去したい“電話帳”を選び、▲にタッチする

6 消去にタッチする

7 いずれかの“消去方法”にタッチする



1件消去

現在選ばれている電話帳を消去します。

選択消去

複数の電話帳を選んで[消去]にタッチすると消去します。

全消去

登録されているすべての電話帳を消去します。

8 消去するにタッチする

▼
電話帳の消去が完了します。

電話をかける

電話番号を入力して電話をかけます。

注意

- なるべく走行中の通話は控え、安全な場所に停車してから使用してください。

お知らせ

- 同じ相手に電話をかける場合は携帯電話の制約により3分間に4回以上かけることができない場合があります。

1 INFO キーを押す

INFOメニューを表示します。

2 電話 にタッチする

3 “電話番号” を入力する



オフフックキー

アドバイス

- 誤入力した場合は、[消去]にタッチして修正します。

4 “オフフックキー” にタッチする

▼
電話がかかります。

■ 電話帳からかける

電話帳を使用して電話をかけることができます。

1 INFO キーを押す

INFOメニューを表示します。

2 電話 にタッチする

3 ▲ にタッチする

4 電話帳 にタッチする

5 かけたい“相手”にタッチする



6 かける にタッチする

▼
電話がかかります。

■履歴からかける

発信・着信履歴を使用して電話をかけることができます。

お知らせ

- 非通知設定の場合は着信履歴から電話をかけられません。
- 本機で記憶している着信・発信履歴を使用します。

アドバイス

- 発信・着信履歴は最大30件です。

1 INFO キーを押す

INFOメニューを表示します。

2 電話にタッチする

3 ▲にタッチする

4 発信履歴または着信履歴にタッチする

5かけたい“相手”にタッチする



6 [かける]にタッチする

▼
電話がかかります。

履歴を消去する

1 INFO キーを押す

INFOメニューを表示します。

2 電話にタッチする

3 ▲にタッチする

4 発信履歴または着信履歴にタッチする

5 消去したい“履歴”を選び、▲にタッチする

6 消去にタッチする

7 いずれかの“消去方法”にタッチする



1件消去

現在選ばれている履歴を消去します。

選択消去

複数の履歴を選んで[消去]にタッチすると消去します。

全消去

登録されているすべての履歴を消去します。

8 消去するにタッチする

▼
履歴の消去が完了します。

■ 地図に登録された電話番号にかける
地図上に登録された施設に電話番号の情報がある場合は、その電話番号に電話をかけることができます。

お知らせ

- 検索した施設などに電話番号の情報がない場合は、電話をかけることはできません。

1 電話をかけたい“場所”を探す

→「場所を探す」(P183)

2 ▲にタッチする



3 ダイヤルにタッチする

電話がかかります。

電話がかかってくると

着信音があり、着信中の画面が表示されます。



電話操作パネル

お知らせ

- 着信時、最初は本機が用意した着信音が鳴り、その後、携帯電話の着信音が鳴ります。(いずれも車両のスピーカーから鳴ります。)

■ かかってきた電話に応答するには

1 電話操作パネルの [通話] にタッチする



通話することができます。

音量を調整する

通話時などに、車両スピーカーから聞こえる受話音量を調整できます。

1 電話操作パネルの [+] または [-] にタッチし調整する



受話音量を調整します。

アドバイス

- 着信時にこの操作を行うと着信音量の変更が行えます。
- 着信音量、受話音量、送話音量は[ハンズフリーの設定]の「○○音量」であらかじめ設定できます。
→「INFOの設定」(P280)

■ 保留にする

運転中などの場合、安全な場所に停車するまで保留しておくことができます。

1 電話操作パネルの [保留] にタッチする



電話を保留中にします。

■ 電話を終了する

通話を終了します。

1 電話操作パネルの [終了] にタッチする



通話が終了します。

■ 電話操作パネルを閉じる

電話操作パネルを非表示にすることができます。

1 電話操作パネルの [閉じる] にタッチする



電話操作パネルを閉じます。

アドバイス

- 再度電話操作パネルを表示したい場合は、[TEL] にタッチします。

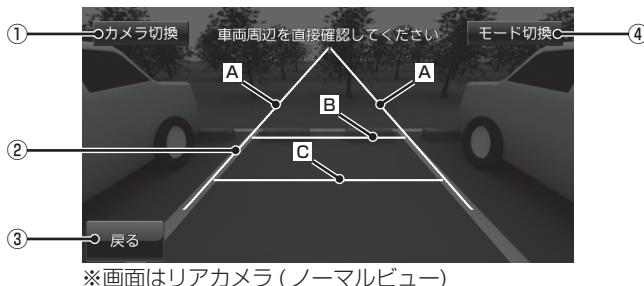
カメラを使う

別売のリアカメラまたはフロントカメラやサイドカメラなどのサブカメラが接続されている場合、ディスプレイに各カメラの映像を表示できます。

お知らせ

- 接続するカメラによっては、本書で記載する内容で動作しない場合があります。
三菱電機製のリアカメラBC-20M以外のリアカメラを取り付けた場合はあらかじめ[リアカメラの設定]の[リアカメラの接続設定]で[接続あり]を選択する必要があります。→「カメラの接続設定を行う」(P287)
- フロントカメラやサイドカメラなどのサブカメラを本機に接続した場合はサブカメラの設定をあらかじめ行う必要があります。→「サブカメラの設定」(P290)

表示内容について



※画面はリアカメラ（ノーマルビュー）

① カメラ切換

接続されているカメラの状況によってカメラ映像を切り換えることができます。
詳しくは「表示するには」(P248)をご覧ください。

② ガイド線（目安線）

車両の幅や距離の目安となる線。

[A] : 車幅 + 約 20cm の目安

[B] : 車両最後尾から約 2m の目安

[C] : 車両最後尾から約 50cm の目安

③ 戻る

カメラ映像を消して直前の画面に戻ります。
[INFO]キーを押し続けると元のカメラ映像を表示します。

④ モード切換

(リアカメラ (BC-20M 接続時のみ))

カメラ映像のモードを切り換えることができます。

→「リアカメラのモードを切り換える」
(P249)

お知らせ

- ガイド線は、[リアカメラの設定]の[カメラガイド線の設定]で[ガイド線表示]にタッチして表示しておく必要があります。
→「ガイド線を表示する」(P288)
- [リアカメラの設定]の[カメラガイド線の設定]でガイド線をあらかじめ調整しておく必要があります。
→「ガイド線を調整する」(P288)
- フロントカメラやサイドカメラなどのサブカメラにガイド線は表示されません。

次のページにつづく

警告

- カメラの映像は、注意義務を免除または軽減するものではありません。
カメラが装着されていない場合と同様に周囲の安全を自分の目で確認しながら運転してください。

注意

- 泥や雪などが付着して固まったときは、堅い棒などでたたかず水または、ぬるま湯をかけ、柔らかい布で拭き取ってください。
- 乗車人数や積載状態によっては、カメラ映像とガイド線が一致しない場合があります。
- 坂道や車両が傾いている場合は、カメラ映像とガイド線が一致しない場合があります。

表示するには

■ リアカメラの映像を表示する

1 シフトポジションを「R」にする



リアカメラの映像を表示します。

アドバイス

- シフトポジションを「R」にしたまま[現在地]キーを押して現在地画面を表示すると、現在地画面に が表示されます。
 にタッチするとリアカメラの映像に戻ることができます。
- リアカメラとサイドカメラ（サブカメラ2）の両方が本機に接続されている場合、[カメラ切換]にタッチするとリアカメラとサイドカメラ（サブカメラ2）の映像を切り換えることができます。

■ サブカメラの映像を表示する

お知らせ

- フロントカメラやサイドカメラなどのサブカメラが本機に接続されている必要があります。

1 現在地画面で、 にタッチする



※フロントカメラ映像のイメージです。

サブカメラの映像を表示します。

アドバイス

- [INFO]キーにタッチし続けることでも表示させることができます。
- [INFO]キー→[カメラ]にタッチしても表示させることができます。
- 「サブカメラの設定」(P290)で「サブカメラ1」と「サブカメラ2」の両方が本機に接続されている場合、[カメラ切換]にタッチするとサブカメラの映像を切り換えることができます。

リアカメラのモードを切り換える

用途に応じてリアカメラの映像を切り換えることができます。

お知らせ

- ・三菱電機製のリアカメラBC-20M以外のリアカメラを接続している場合は本機能はご利用になれません。
([モード切換]が表示されません。)

1 リアカメラの映像を表示する



ワイドビュー



ノーマルビューよりも広い範囲を確認するときに便利です。

2 モード切換 にタッチする



ノーマルビュー



駐車スペース進入のときに便利です。

3 モード切換 にタッチする



トップビュー



停車位置を確認するときに便利です。



[モード切換]にタッチするたびに映像を切り換えます。

FM文字情報を見る

FM多重放送による文字情報(FM文字多重放送)を確認できます。

FM文字多重放送とは

FM放送電波のすき間を利用して音声と一緒に文字情報を送信するサービスです。FM文字多重放送は、本機に接続しているFMアンテナから受信して以下の情報を見ることができます。

番組情報FM	ラジオ番組と連携した今流れている曲のタイトルやアーティスト名、リクエストの宛先などの情報。
独立情報	ラジオ番組とは関係なく、いつも見られるニュースや天気、交通などの情報。
緊急情報	放送局が「緊急情報番組」を放送したときのみ表示させる情報。 →「緊急情報の受信について」(P252)

表示するには

初期の状態では、放送局は登録されていませんので、マニュアル操作による放送局の選局が必要になります。

1 INFO キーを押す

INFOメニューを表示します。

2 [FM文字情報] にタッチする

マニュアル選局画面を表示します。

アドバイス

- すでに放送局がプリセット(P254)されている場合は、プリセット選局画面を表示します。
→「プリセット済の場合」(P251)

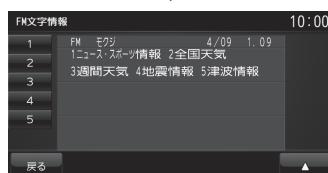
3

▽周波数 ▷ にタッチし、“受信したい放送局の周波数”を選ぶ



4

[受信] にタッチする

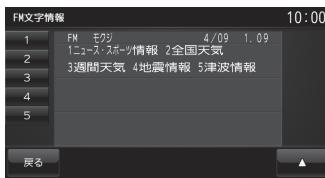


受信できた放送局のジャンル一覧を表示します。以降の操作は「番組を表示する」(P251)と同じです。

■ プリセット済の場合

「表示するには」(P250) の手順2の後、プリセット済の場合、プリセット選局画面を表示します。その場合は、以下の操作を行います。

1 “受信したい放送局の番号”にタッチする



選んだ放送局のジャンル一覧を表示します。
以降の操作は「番組を表示する」(P251) と同じです。

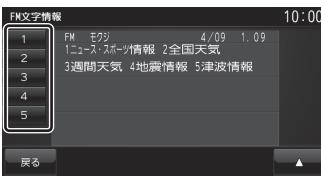
番組を表示する

選んだ放送局の番組情報を見ます。

1 ジャンル一覧を表示する

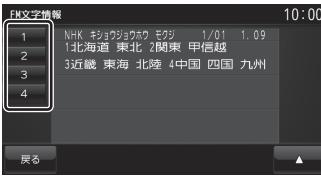
→「表示するには」(P250)

2 “見たいジャンルの番号”にタッチする



番組一覧を表示します。

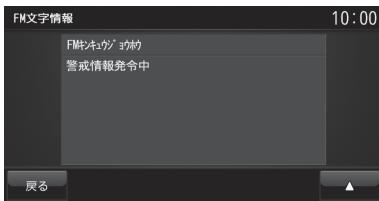
3 “見たい番組の番号”にタッチする



番組を表示します。

緊急情報の受信について

番組表示中などに緊急情報を受けると受信音とともに文字情報を自動的に表示します。



放送局を変更する

番組表示中やジャンル一覧、番組一覧、プリセット選局画面から、別の放送局に変更できます。

ここでは、番組表示中 (P251) からの操作を説明します。

アドバイス

- 変更した放送局を登録（プリセット）することができます。登録した放送局はプリセット選局画面で表示されます。
→「放送局を登録する」(P254)

■ プリセット選局で変更する

あらかじめ登録された放送局の中から選ぶことができます。

お知らせ

- あらかじめ放送局を登録しておく必要があります。
→「放送局を登録する」(P254)

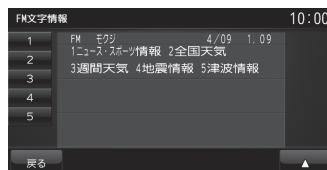
1 番組表示中、**[▲]** にタッチする

2 プリセット選局 **[▲]** にタッチする



プリセット選局画面を表示します。

3 “受信したい放送局の番号” にタッチする



選んだ放送局のジャンル一覧を表示します。
以降の操作は「番組を表示する」(P251) と同じです。

■ サーチで変更する

電波の強い受信可能な放送局を自動で探し、一覧表示します。

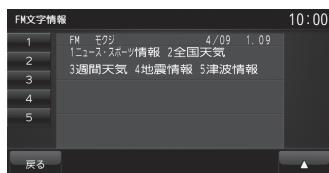
1 番組表示中、**▲**にタッチする

2 [サーチ]にタッチする



受信可能な放送局の一覧を表示します。

3 “受信したい放送局の番号”にタッチする



選んだ放送局のジャンル一覧を表示します。
以降の操作は「番組を表示する」(P251)と同じです。

アドバイス

- 再度、サーチを行う場合は **▲** → [再サーチ]にタッチします。

■ マニュアルで変更する

直接周波数を指定して放送局を変更します。

1 番組表示中、**▲**にタッチする

2 [マニュアル選局]にタッチする

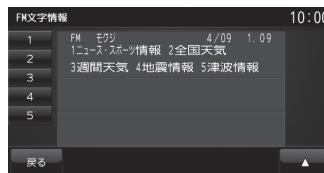


マニュアル選局画面を表示します。

3 ▼周波数 **▲**にタッチし、“受信したい放送局の周波数”を選ぶ



4 [受信]にタッチする



受信できた放送局のジャンル一覧を表示します。
以降の操作は「番組を表示する」(P251)と同じです。

シークによる選局

マニュアル選局中でも、シークを行うことで、放送局のある周波数をはやすく探し出すことができます。

1 番組表示中、▲にタッチする

2 マニュアル選局にタッチする



マニュアル選局画面を表示します。

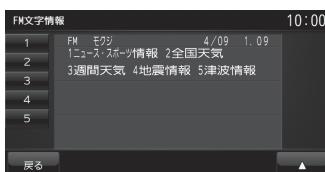
3 ▽周波数 ▲にタッチし続ける



受信可能な放送局が見つかればシークが止まります。

この操作を繰り返し、受信したい放送局を探します。

4 受信にタッチする



受信できた放送局のジャンル一覧を表示します。以降の操作は「番組を表示する」(P251)と同じです。

放送局を登録する

受信中の放送局を登録(プリセット)します。放送局を登録しておくことで、プリセット選局画面から放送局を選択できるようになります。

1 放送局(周波数)を選ぶ

→「放送局を変更する」(P252)

2 ▲にタッチする

3 プリセット登録にタッチする

4 “登録したい番号”にタッチする



放送局(周波数)を選んだ番号に登録します。

地図データを更新する

通信またはSDカードによる地図データ更新の概要を説明します。

地図データを通信で更新する

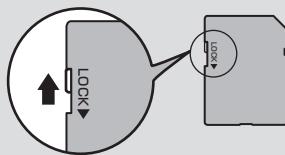
更新できるデータは開通道路情報および充電スタンド情報です。

「開通道路情報更新」では、高速道路と主要な国道の開通道路情報がダウンロードでき、新しい道路で快適に目的地までナビゲーションします。

「充電スタンド情報更新」では、電気自動車(EV)の充電スタンド情報がダウンロードでき、ドライブ前に最新情報をチェックできます。

お知らせ

- 地図データを通信で取得するにはユーザー登録が必要となります。別紙「OpenInfo サービス ユーザー登録手順書」に従って登録作業を行ってください。
- ユーザー登録および本サービスの利用は無料ですが、通信費はお客様のご負担となります。
- 地図データを取得するには、あらかじめDUN プロファイルに対応した携帯電話と本機をBluetooth接続しておく必要があります。「Bluetoothの設定」(P282)をご覧ください。
- あらかじめ地図カードのロックを解除しておいてください。



1 INFO キーを押す

INFOメニューを表示します。

2 地図データ更新 にタッチする

3 開通道路情報更新 または 充電スタンド情報更新 にタッチする

アドバイス

- 通信中の場合、「開通道路情報更新」または「充電スタンド情報更新」にタッチした後、地図データのダウンロードを開始します。

4 接続する にタッチする

▼
データを更新するための認証が行われます。認証後、地図データのダウンロードが行われます。

▼
ダウンロード完了後、地図データを更新します。

注意

- 地図更新中に“ACC OFF”にしないでください。

開通道路情報更新について

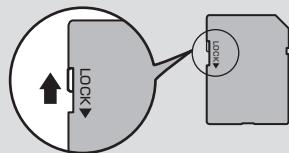
- 開通道路情報更新はお使いの地図データバージョンから1年間の開通予定道路のみ対象となります。
- 開通道路を通る経路では実際と異なる料金が表示/案内される場合があります。
- 開通道路は市街地地図表示には反映されません。
- 開通道路では高速略図の表示ができません。
- 開通道路ではVICS情報に対応しておりません。
- 開通道路では都市高速入口イラストマップや3Dリアルジャンクションに対応しておりません。
- 実際の道路形状と異なる場合があります。

地図データをSDカードで更新する

ご自宅のパソコンからインターネットを利用して地図データを取得します。

お知らせ

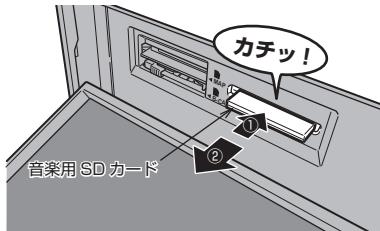
- 地図データを更新するには、あらかじめユーザー登録が必要です。別紙「OpenInfo サービス ユーザー登録手順書」に従って登録作業を行ってください。
- ユーザー登録および本サービスの利用は無料ですが、通信費はお客様のご負担となります。
- 本機でフォーマットした音楽用 SD カードをご使用ください。→「メモリ初期化」(P295)
- あらかじめ地図カードおよび音楽用 SD カードのロックを解除しておいてください。



- あらかじめ地図データバージョンを確認しておいてください。
→「バージョンを確認する」(P261)

1 本機から音楽用 SD カードを取り出す

(音楽用 SD カードが挿入されている場合のみ)



→「SDカードを取り出す」(P19)

2 ご自宅のパソコンから対象の地図データを取得する

三菱電機ホームページから地図データをダウンロードします。

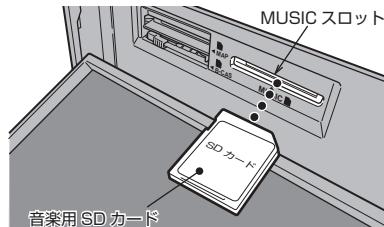
3 ダウンロードした圧縮ファイルを解凍する

ZIP 圧縮されているファイルは、解凍しておく必要があります。

4 解凍したファイルをすべて音楽用 SD カードにコピーする

解凍したファイルの容量を確認し、容量にあつた SD カードを準備してください。

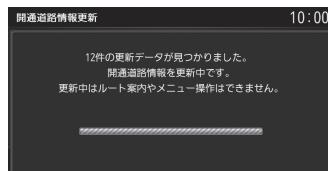
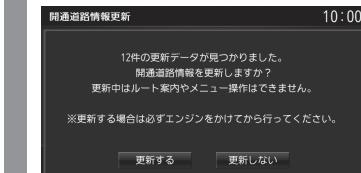
5 ファイルがコピーされた音楽用 SD カードを本機に挿入する



→「SDカードを挿入する」(P18)

6 「更新する」にタッチする

音楽用 SD カードから更新データが見つかると以下の画面を表示します。



更新が完了しました。

メンテナンス情報を確認する

お車の各パーツの交換時期を管理できます。

メンテナンス情報を表示する

エンジンオイルやオイルフィルタなどの交換時期を確認できます。

お知らせ

- メンテナンス情報で使用する走行距離は本機で計算したものであり、車両の距離計と必ずしも一致しません。
- 地図更新中、プログラム更新中などは走行距離の計算ができないため、この間に走行した距離はメンテナンス情報に反映されません。

1 INFO キーを押す

INFO メニューを表示します。

2 メンテナンス情報にタッチする

メンテナンス情報を表示します。

アドバイス

- 各パーツの交換予定日または交換後の走行距離が近づくと黄色、過ぎると赤色で表示されます。
- 交換時期の通知は交換予定日の 10 日前もしくは交換後の走行距離が残り 200km 以下となります。

3 見たい各“パーツ”にタッチする



詳細情報を表示します。

アドバイス

- 「前回交換日」は、メンテナンスを実施した日付を表示します。
- 「次回交換予定日」はメンテナンス実施日を表示します。
- 「交換後走行距離」はメンテナンス実施日までの残走行距離を表示します。

メンテナンス情報を設定する

メンテナンス期日およびメンテナンス距離を設定できます。

1 INFO キーを押す

INFO メニューを表示します。

2 メンテナンス情報にタッチする

3 設定したい“パート”にタッチする



4 “前回交換日”にタッチする



5 “前回交換した日”を入力し、決定にタッチする



→「文字入力のしかた」(P160)

アドバイス

- すでに入力されている場合は、[消去]にタッチします。

6 “メンテナンス期日”にタッチする



7 ▼または▲にタッチして期日を入力し、決定にタッチする



8 “メンテナンス距離”にタッチする



9 “距離”を入力し、決定にタッチする



→「文字入力のしかた」(P160)

10 戻るにタッチする

▼
メンテナンス情報の設定が完了しました。

お知らせ

- 初期値の距離・期日は目安です。必ず車に付属するメンテナンス情報に従って値を入力してください。

■メンテナンス情報を追加する

お客さまが追加したいメンテナンス項目を登録できます。

1 INFO キーを押す

INFO メニューを表示します。

2 メンテナンス情報にタッチする

3 ユーザー項目○にタッチする

アドバイス

- 「ユーザー項目 1」～「ユーザー項目 3」までの項目に追加できます。

4 名称編集にタッチする

→「文字入力のしかた」(P160)

5 追加する“パート名”を入力し、

入力完了にタッチする



以降は、「メンテナンス情報を設定する」(P258)手順4と同じです。

「前回交換日」および「メンテナンス期日」、「メンテナンス距離」を設定してください。

■メンテナンス情報の種類について

お知らせ

- 以下、あらかじめ用意しているパートのメンテナンス期日およびメンテナンス距離は、工場出荷時の値を示しています。
- 工場出荷時の値については、お車のメンテナンスブックなどを参考に変更しておくことをおすすめいたします。

名称	メンテナンス期日	メンテナンス距離(km)
エンジンオイル	1年	15,000
オイルフィルタ	1年	15,000
AT/MT オイル	4年	40,000
ブレーキオイル	4年	40,000
デフォイル	8年	80,000
タイヤ交換	1年	10,000
タイヤローテーション	6ヶ月	5,000
ブレーキパッド(F)	1年	5,000
ブレーキパッド(R)	1年	5,000
空気圧チェック	1ヶ月	1,000
ワイパー刃	1ヶ月	1,000
ラジエタークーラント	4年	40,000
バッテリー	1ヶ月	1,000
エアフィルタ	5年	50,000
ウォッシャー液	1ヶ月	1,000
ユーザー項目1	—	—
ユーザー項目2	—	—
ユーザー項目3	—	—

メンテナンス情報を更新する

パーツの交換を実施したときに、メンテナンス情報を更新します。

1 INFO キーを押す

INFO メニューを表示します。

2 メンテナンス情報 にタッチする

3 交換を実施した“パーツ”的 交換 にタッチする



4 更新する にタッチする

▼
メンテナンス情報を更新します。

アドバイス

- 情報を更新すると「前回交換日」は現在の日付が設定されます。交換日の修正を行いたい場合は、“前回交換日”にタッチして変更してください。

メンテナンス情報の案内を設定する

メンテナンス情報の案内を設定すると、本機起動後にパーツの交換日が近づいたり、過ぎたりすると案内表示をします。

1 INFO キーを押す

INFO メニューを表示します。

2 メンテナンス情報 にタッチする

3 案内したいパーツの“案内”に タッチする



▼
「案内」が設定されます。

: 案内する

: 案内しない

■ 案内するに設定した場合

パーツの交換日が近づいたり、過ぎたりした場合に本機起動後、以下のようなメッセージを表示します。



各タッチスイッチにタッチするとメッセージが消えます。次回起動後の動作は以下のようにになります。

次回から表示しない	次回起動後からメッセージを表示しません。
消去する	次回起動後もメッセージを表示します。

バージョンを確認する

地図データバージョンの確認ができます。また、バージョンアップ方法についても説明します。

表示するには

1 [INFO] キーを押す

INFOメニューを表示します。

2 [設定] → [バージョン情報] にタッチする



地図データバージョンを表示します。

アドバイス

- 地図データを更新する場合は、「地図データを更新する」(P255)をご覧ください。
- 本機のGracenoteデータベースを更新する場合は、「GracenoteデータベースをSDカードで更新する」(P71)をご覧ください。

バージョンアップ方法

本機のバージョンアップには、バージョンアップ用ディスクを使う方法と別売の地図カードを使う方法の2通りがあります。

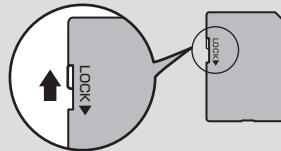
注意

- バージョンアップは、駐停車禁止外の安全な場所に停車してから行ってください。

■ ディスクでバージョンアップする
バージョンアップ用ディスクを使って本機のナビ機能をバージョンアップします。

お知らせ

- バージョンアップ用ディスクを使ってバージョンアップを行うには、あらかじめ認証コードが必要です。「ディスクの入手について」(P262)を確認し、取得しておいてください。
- あらかじめ地図カードのロックを解除しておいてください。

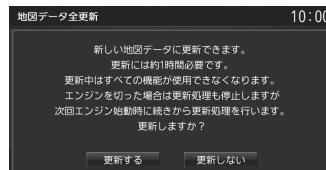


- あらかじめ地図データバージョンを確認しておいてください。
→「バージョンを確認する」(P261)

1 バージョンアップ用ディスクを挿入する

→「ディスクを挿入する」(P50)

2 [更新する] にタッチする



3 “認証コード”を入力し、 [入力完了] にタッチする



自動的に読み込みを開始します。
読み込み完了後、再起動しバージョンアップが完了します。

ディスクの入手について

- ・バージョンアップ用ディスクは、無償です。
- ・バージョンアップ用ディスクを使ったバージョンアップには、“申請コード”および“認証コード”が必要です。
- ・“認証コード”は発送されてくるディスクに付属しております。
- ・ディスクの入手方法について詳しくは、三菱電機ホームページをご覧ください。
URL : <http://www.mitsubishielectric.co.jp/carele/>

お知らせ

- ・バージョンアップ用ディスクを使ったバージョンアップには、あらかじめユーザー登録が必要です。別紙「OpenInfoサービス ユーザー登録手順書」に従って登録作業を行ってください。
- ・ユーザー登録および本サービスの利用は無料ですが、通信費はお客様のご負担となります。

申請コードを取得する

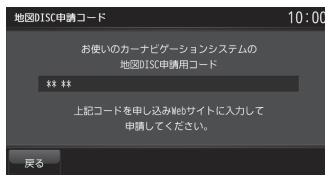
バージョンアップ用ディスクを使ったバージョンアップに必要な申請コードの取得方法について説明します。

1 INFO キーを押す

INFOメニューを表示します。

2 地図データ更新 にタッチする

3 地図DISC申請コード にタッチする



この後、三菱電機ホームページから申請を行ってください。

■ 地図カードでバージョンアップする
別売の上位バージョンの地図カードと本体の地図カードを交換することでナビ機能のバージョンアップが行えます。

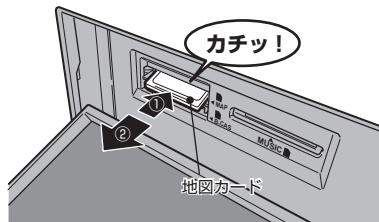
1 ▲ キーを押す

2 モニター OPEN にタッチする



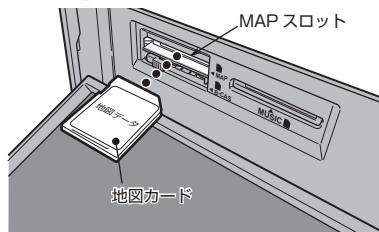
▼
パネルが開きます。

3 地図カードを「カチッ」と音がするまで押す



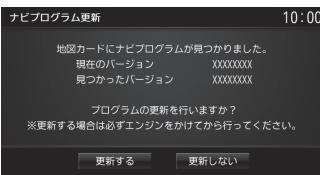
地図カードが飛び出し、抜き取れる状態になります。ゆっくりと抜いてください。

4 別売の上位バージョンの地図カードを本体に差し込む 「カチッ」と音がするまで差し込みます。



5 ▲ キーを押し、パネルを閉じる

6 更新する にタッチする



▼
自動的に読み込みを開始します。
読み込み完了後、再起動しバージョンアップが完了します。

お知らせ

- ・バージョンアップ完了後、バージョンの確認を行ってください。

本機の設定

設定を変更する

本機の設定を変更します。

1 INFO キーを押す

INFO メニューを表示します。

2 設定にタッチする

3 変更したい“種別”にタッチする



4 変更したい“項目”にタッチする



5 設定を変更する



▼
設定の変更が完了します。

■ 設定できる種別について

Naviの設定	ナビゲーション機能に関する各設定が行えます。 →「NAVIの設定」(P265)
AVの設定	AV機能に関する各設定が行えます。→「AVの設定」(P274)
Info の設定	ハンズフリーやBluetooth接続、カメラなどに関する設定が行えます。(P280)
システムの設定	操作音やセキュリティ、パワーアンテナなどの設定が行えます。 →「システムの設定」(P293)
モニター角度の調整	モニターの角度調整が行えます。 →「モニターの角度を調整する」(P304)
画質調整	映像に関する調整が行えます。 →「画質を調整する」(P304)
Sound Settings	オーディオの音質に関する設定が行えます。 →「音質の設定を変更する」(P38)
バージョン情報	地図やGracenoteデータベースのバージョン確認が行えます。 →「バージョンを確認する」(P261)
画面 OFF	画面の表示を消します。 →「画面の表示を消す」(P306)

NAVIの設定

ナビゲーション機能に関する各設定を変更します。

1 INFO キーを押す

INFOメニューを表示します。

2 設定にタッチする

3 Naviの設定にタッチする

4 変更したい“項目”にタッチする



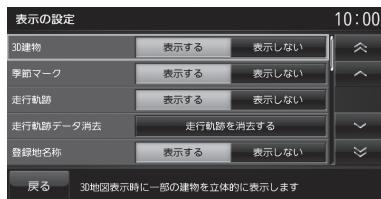
選んだ項目の設定画面を表示します。

■ 設定できる項目について

表示の設定	表示に関する設定の変更が行えます。 →「表示の設定」(P266)
音声の設定	音声案内に関する設定の変更が行えます。 →「音声の設定」(P268) (操作音などの設定については、「システム音の設定」(P294)をご覧ください。)
探索の設定	ルート探索に関する設定の変更が行えます。 →「探索の設定」(P269)
VICSの設定	VICSに関する設定の変更が行えます。 →「VICSの設定」(P270)
自車位置の補正	センサー学習情報の消去や現在地の補正が行えます。 →「自車位置の補正」(P271)

表示の設定

表示に関する設定の変更が行えます。



設定名	設定値	設定内容
3D建物	表示する	3Dビューマップ表示中の建物について、表示有無を設定できます。
	表示しない	
季節マーク	表示する	地図に表示する季節マークについて、表示有無を設定できます。
	表示しない	
走行軌跡	表示する	地図に表示する走行軌跡について、表示有無を設定できます。 (表示しない)に設定している場合でも蓄積は行われています。
	表示しない	
走行軌跡データ消去	走行軌跡を消去する	蓄積されている自車の走行軌跡情報をクリアします。
登録地名称	表示する	地図に表示する登録地名称について、表示有無を設定できます。
	表示しない	
道路縁取り	幅付き	地図の道路線について、縁取り表示を変更できます。
	しない	
レーン情報	表示する	地図画面で表示するレーン情報について、表示有無を設定できます。
	表示しない	
ランドマーク	表示する	地図に表示するランドマークについて、表示有無を設定できます。
	表示しない	
ランドマーク選択	ランドマークを選択する	ランドマークの種類ごとに表示有無を設定できます。 →「ランドマークの表示を個別に設定する」(P273)
スクロール方面名称	表示する	スクロール中に表示する方面名称について、表示有無を設定できます。 →「スクロール方面名称表示について」(P171)
	表示しない	
交差点案内図	3D表示	地図画面で表示する交差点案内図の種類を設定できます。
	2D表示	
昼夜色	自動切換	地図画面の色を車両のILL(ヘッドライトおよびポジションランプ)点灯に連動して変更します。 ILL ON時：暗い色になります。 ILL OFF時：明るい色になります。
	昼固定	常に明るい色になります。
	夜固定	常に暗い色になります。
地図色	地図色1	地図を通常の色合いにします。
	地図色2	地図をユニバーサルデザインの色合いにします。
	地図色3	地図をパステル調の色合いにします。
	地図色4	地図を道路優先の色合いにします。

「表示の設定」のつづき

設定名	設定値	設定内容
地図表示言語	日本語	地図に表示する地名や施設名などの言語について、設定できます。
	英語	
高速略図自動表示	自動表示する	高速道路走行時、高速略図を自動で表示するかしないかを設定できます。
	自動表示しない	
AVアイコン	表示する	地図画面で表示するAVアイコン（オーディオの状態アイコン）について、表示有無を設定できます。
	表示しない	
ルート残距離	目的地まで	ルート設定時の現在地画面（P155）で表示する“目的地／経由地情報”での距離の基準を変更できます。
	次の経由地まで	
探索ルート	矢印	ルート（P155）の表示方法を変更できます。 全ルート表示（P198）や5ルート表示（P205）、シンプルマップ（P166）では線のみで矢印には変更できません。
	線	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

音声の設定

音声案内に関する設定の変更が行えます。

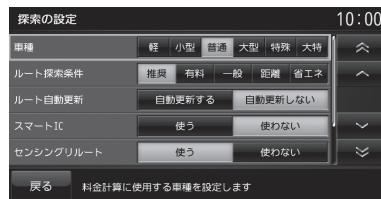


設定名	設定値	設定内容
県境案内	案内する	県境通過時の県境表示 (P168) および音声案内の有無を設定できます。
	案内しない	
カーブ案内	案内する	カーブ案内の音声案内有無を設定できます。
	案内しない	
レーン案内	案内する	レーン案内の音声案内有無を設定できます。
	案内しない	
探索ルート上の 合流案内	案内する	合流案内 (ルート上) の音声案内有無を設定できます。
	案内しない	
探索ルート上の 踏切案内	案内する	踏切案内 (ルート上) の音声案内有無を設定できます。
	案内しない	
交差点名称読み上げ	読み上げる	交差点名称の読み上げ有無を設定できます。
	読み上げない	
方面名称読み上げ	読み上げる	方面名称の読み上げ有無を設定できます。
	読み上げない	
案内言語	日本語	案内音声の言語を設定できます。
	英語	
	韓国語	
	中国語 (北京語)	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

探索の設定

ルート探索に関する設定の変更が行えます。

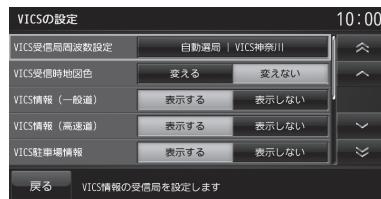


設定名	設定値	設定内容
車種	軽	本機を装着している車種を選択してください。ルート計算などで必要な情報となります。
	小型	ただし、高速道路などの料金計算時は、「小型」は「軽」として、「大型」「特殊」「大特」は「普通」として計算されます。
	普通	また、「ルート探索条件」の「省エネ」設定時は、「大型」「特殊」「大特」は「普通」として計算されます。
	大型	
	特殊	
	大特	
ルート探索条件	推奨	ルート探索時の初期値を“推奨ルート”に変更します。 目的地（経由地）まで一般的と思われるルートを探索します。
	有料	ルート探索時の初期値を“有料優先”に変更します。 目的地（経由地）の近くまでなるべく有料道路を使用するルートを探索します。
	一般	ルート探索時の初期値を“一般優先”に変更します。 目的地（経由地）までなるべく有料道路を使用しないルートを探索します。
	距離	ルート探索時の初期値を“距離優先”に変更します。 目的地（経由地）までできるだけ距離が短くなるルートを探索します。
	省エネ	ルート探索時の初期値を“省エネ”に変更します。 目的地（経由地）までできるだけ燃費を節約したルートを探索します。
ルート自動更新	自動更新する	[自動更新する]に設定されていると、ルート走行中、ルート前方に通行止めやその他の規制が発生した場合、回避するためのルートが自動的に再探索され、新しいルート案内を開始します。
	自動更新しない	
スマートIC	使う	スマートIC (P318) の使用有無を設定できます。
	使わない	
センシングリルート	使う	センシングリルート (P318) の使用有無を設定できます。
	使わない	
渋滞予測	使う	渋滞予測の使用有無を設定できます。
	使わない	
到着予想時刻学習リセット	学習データをリセットする	到着予想時刻の計算で使用する学習データを消去します。

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

VICSの設定

VICSに関する設定の変更が行えます。



設定名	設定値	設定内容
VICS受信局 周波数設定	自動選局	VICS局の指定方法を選択できます。 →「VICS局を選ぶ」(P226)
	県指定	
	周波数指定	
VICS受信時地図色	変える	[変える]に設定すると、VICS情報（レベル3）受信時、VICS情報を見やすくするために地図色を変更します。
	変えない	
VICS情報 (一般道)	表示する	地図に表示するVICS情報（一般道）の有無を設定できます。
	表示しない	
VICS情報 (高速道)	表示する	地図に表示するVICS情報（高速道）の有無を設定できます。
	表示しない	
VICS駐車場情報	表示する	地図に表示するVICS駐車場情報の有無を設定できます。
	表示しない	
受信情報割り込み	割込表示する	情報受信時の割り込み表示をするかしないかを設定できます。
	割込表示しない	
受信情報読み上げ	自動	受信した音声情報の読み上げ方法を設定できます。
	手動	
走行情報(DSRC)	送信する	DSRC車載器接続時、走行情報を送信するかしないかを設定できます。
	送信しない	
オンライン受信 ^{※1}	10分ごと	自動接続の周期を設定できます。 ^{※2}
	20分ごと	
	手動1	手動で受信します。
	手動2	本機起動後、初回のみ自動受信を行い以降は手動で受信します。
走行情報(オンライン)	送信する	通信接続時、走行情報を送信するかしないかを設定できます。
	送信しない	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

※1 あらかじめ登録作業および設定が必要です。詳しくは「オンラインの情報を受信する」(P224)をご覧ください。

※2 サーバーの状況によって設定した周期よりも受信間隔が長くなることがあります。

自車位置の補正

自車位置の確認やセンサー学習情報の消去、現在地の補正が行えます。

■ 自車位置情報を確認する

GPS衛星の受信数、緯度・経度などの現在地の情報を確認できます。

1 INFO キーを押す

INFOメニューを表示します。

2 設定 → Naviの設定にタッチする

3 [自車位置の補正] にタッチする

4 [自車位置情報] にタッチする



自車位置の情報を表示します。

■ センサー学習情報を消去する

車速センサー・ジャイロセンサーは自動学習によりレベルがあがります。タイヤを交換したときなどは車速の学習データを消去し、学習をやり直す必要があります。

1 INFO キーを押す

INFOメニューを表示します。

2 設定 → Naviの設定にタッチする

3 [自車位置の補正] にタッチする

4 [センサー補正状況] にタッチする



センサー補正状況の画面を表示します。

5 “車速”または“ジャイロ”的 [消去] にタッチする

6 [消去する] にタッチする

センサー学習データの消去が完了します。

この後、「自車位置精度と自動補正について」(P272)を確認して、補正を行ってください。

注意

- ・消去したデータの復旧はできません。

自車位置精度と自動補正について

- センサー学習情報を消去した場合は、見晴らしの良い場所をしばらく一定速度で走行し、交差点で右左折を行うことで車速やジャイロの自動学習を早めることができます。
- GPSの受信状態の良いときに直線道を一定速度で走行すると車速自動補正が働き、交差点の右左折を繰り返すことでジャイロの自動補正が働きます。車速とジャイロの自動補正が働くことで、自車位置精度は徐々に向上していきます。

アドバイス

- 自車位置精度が安定するまで、場合によっては数時間の走行が必要な場合があります。見晴らしの良い高速道路のような場所を走行しますと自動補正が働きやすくなります。

■ 現在地を補正する

実際の車の位置と地図に表示されている自車の位置がずれていた場合などに、この操作を行い補正できます。

アドバイス

- 通常はGPS衛星からの情報を元に自動補正しています。

1 INFO キーを押す

INFOメニューを表示します。

2 設定 → Naviの設定 にタッチする

3 自車位置の補正 にタッチする

4 現在地補正 にタッチする

5 地図スクロールして“実際の車の位置”にマークを合わせる



6 決定 にタッチする

7 ← または → にタッチして 自車の向きを合わせる



8 決定 にタッチする

現在地の補正が完了します。

アドバイス

- 高速道路付近に合わせた場合、以下の画面を表示しますので、いずれかにタッチしてください。



ランドマークの表示を個別に設定する

ランドマークの種類ごとに表示有無を設定できます。

1 INFO キーを押す

INFO メニューを表示します。

2 [設定] → [Navi の設定]

にタッチする

3 [表示の設定] にタッチする

4 「ランドマーク選択」の

[ランドマークを選択する]

にタッチする



5 種類ごとに [表示する] または [表示しない] をタッチしていく



▼
表示するランドマークの選択が完了します。

AVの設定

AV機能に関する各設定を変更します。

1 INFO キーを押す

INFOメニューを表示します。

2 設定にタッチする

3 AVの設定にタッチする

4 変更したい“項目”にタッチする



選んだ項目の設定画面を表示します。

■ 設定できる項目について

CD録音設定	CDの録音に関する設定の変更ができます。 →「音楽CDの録音方法を変更する」(P274)
DVD初期設定	DVDの初期設定の変更ができます。→「DVDビデオの初期設定」(P276)
録音速度設定	「高速録音」と「高音質録音」を選択することができます。→「録音速度を設定する」(P275)

音楽CDの録音方法を変更する

自動録音や手動録音などの録音方法を変更できます。

お知らせ

- ・録音中にこの操作を行うと、現在の録音を停止します。

1 INFO キーを押す

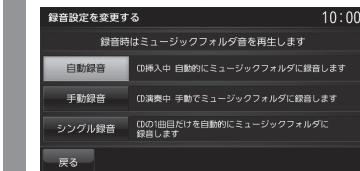
INFOメニューを表示します。

2 設定にタッチする

3 AVの設定にタッチする

4 CD録音設定にタッチする

5 変更したい“録音方法”にタッチする



▼
録音方法の変更が完了しました。

アドバイス

- ・音楽CDの再生情報画面で [▲] → [録音設定] にタッチしても、録音方法の変更が行えます。

■自動録音について

工場出荷時の設定で、音楽CDを本機に挿入し、[録音する]にタッチすることで録音する設定です。

お知らせ

- ・録音中に録音済の曲を選ぶと、現在の録音は継続したまま選んだ曲の再生を開始します。
- ・録音中に録音していない曲を選ぶと、現在の録音を停止し選んだ曲の録音と再生(追いかけ再生)を開始します。
- ・[録音しない]にタッチした場合は、サブメニューの[録音開始]→[開始する](P94)にタッチすることで録音できます。

■手動録音について

再生中の音楽CDの曲をサブメニューの[録音開始](P94)にタッチすることで録音する設定です。

お知らせ

- ・録音中に別の曲を選ぶと現在の録音を中止し、選んだ曲の再生を開始します。

■シングル録音について

音楽CDを本機に挿入し、[録音する]にタッチすることで1曲目だけを録音する設定です。

お知らせ

- ・[録音しない]にタッチした場合、1曲目再生中にサブメニューの[録音開始]→[開始する](P94)にタッチすることで録音できます。
- ・録音中に別の曲を選ぶと1曲目の録音を中止し、選んだ曲の再生を開始します。再度1曲目の録音を開始するには、1曲目再生中にサブメニューの[録音開始]→[開始する](P94)にタッチします。
- ・この設定のとき、1曲目以外の曲を再生中にサブメニューの[録音開始](P94)にタッチしても録音はできません。

録音速度を設定する

録音する方法として、録音速度優先の「高速録音」、音質優先の「高音質録音」を選ぶことができます。

お知らせ

- ・工場出荷時は、「高速録音」に設定されています。
- ・録音中にこの操作を行うと、現在の録音を停止します。

1 INFO キーを押す

INFOメニューを表示します。

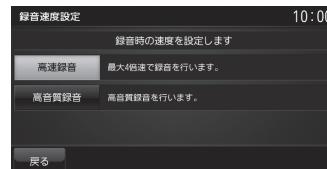
2 設定 にタッチする

3 AVの設定 にタッチする

4 録音速度設定 にタッチする

録音速度設定画面を表示します。

5 優先したい“録音方法”にタッチする

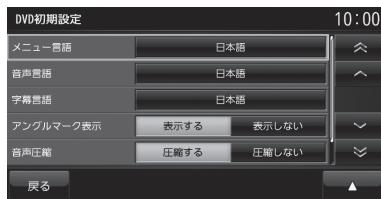


▼
録音速度の設定が完了しました。

高速録音	最大で4倍速での録音を行います。
高音質録音	「高速録音」に比べ録音速度は落ちますが、できるだけ音質を損なうことなく録音できます。

DVDビデオの初期設定

字幕や音声の言語の設定、視聴制限のレベル設定の変更が行えます。



設定名	設定値	設定内容
メニュー言語		ディスクに記録されているメニュー画面の言語について、優先して表示させたい言語が設定できます。(工場出荷時は、[日本語])
音声言語		ディスクに記録されている音声について、優先してききたい言語の設定ができます。 (工場出荷時は、[日本語])
字幕言語		ディスクに記録されている字幕について、優先して表示させたい言語の設定ができます。 (工場出荷時は、[日本語])
アングルマーク表示	表示する	複数のアングルが収録されている場面を再生しているときにアングルマークを表示するかしないかの設定ができます。
	表示しない	
音声圧縮	圧縮する	ダイナミックレンジ圧縮を利用するかしないかの設定ができます。 ダイナミックレンジ圧縮とは DVDビデオ再生時に小音量と大音量の音の幅を一定に制御(ダイナミックレンジコントロール)し、小さな音でも聴きやすくする機能です。音声圧縮の効果が得られるのは、ドルビーデジタル音声のみです。
	圧縮しない	
視聴制限	レベル 1 ~ 8	視聴制限のパスワードとレベルの設定ができます。 (工場出荷時は、[8]) → 「視聴制限のレベルを設定する」(P277)
	▲	サブメニューを表示します。 [初期値]にタッチすると、DVDビデオの初期設定内容を工場出荷時の状態に戻します。

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

■ 視聴制限のレベルを設定する

成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場合に視聴制限をかけることができます。(パレンタルロック)

お知らせ

- 最初にご使用になるとときはパスワードを設定してください。視聴制限はパスワードが設定されないと操作できません。
- ディスクのパッケージに視聴制限レベルが記載されていないディスクは、レベル設定しても視聴制限はかけられません。
- 視聴レベルはディスクに記憶されています。ディスクのパッケージなどをご確認ください。
- ディスクによっては、視聴制限されたシーンのみ飛ばして再生するものがあります。詳しくはディスクの説明書をご覧ください。
- ディスクによっては、視聴制限のレベルを変更すると再生できないものがあります。視聴制限のレベルを変更後、このようなディスクを再生した場合は、一旦ディスクを取り出して視聴制限のないディスクを挿入し、再生可能なレベルに変更してください。

1 INFO キーを押す

INFO メニューを表示します。

2 設定 にタッチする

3 AVの設定 にタッチする

4 DVD 初期設定 にタッチする

5 「視聴制限」の レベル○ にタッチする

6 任意の“4桁のパスワード”を入力し、決定 にタッチする



7 確認のため再度、

“4桁のパスワード”を入力し、

決定 にタッチする

8 “レベル”を入力し、

決定 にタッチする



レベル1	子供向けディスクのみ再生します。
レベル2～7	成人向けディスクの再生を禁止します。(子供向けや一般向けディスクを再生する)
レベル8	ディスクをすべて再生します。

▼
視聴制限レベルの設定が完了しました。

レベルを変更する

1 INFO キーを押す

INFO メニューを表示します。

2 設定 → AVの設定 にタッチする

3 DVD 初期設定 にタッチする

4 「視聴制限」の レベル○ にタッチする

5 設定した“パスワード”を入力し、決定 にタッチする

6 “レベル”を入力し、決定 にタッチする



▼
視聴制限レベルの変更が完了しました。

パスワードを変更する

設定したパスワードを変更できます。

1 INFO キーを押す

INFOメニューを表示します。

2 設定 → AVの設定 にタッチする

3 DVD初期設定 にタッチする

4 「視聴制限」の レベル○ にタッチする

5 ▲ → パスワード変更 にタッチする

6 “現在のパスワード” を入力し、決定 にタッチする

7 “新しいパスワード” を入力し、決定 にタッチする

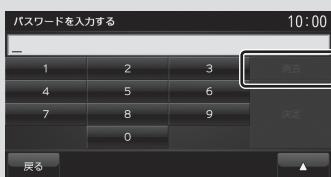
8 確認のため再度、“パスワード” を入力し、決定 にタッチする



パスワードの変更が完了します。

お知らせ

- ・パスワードを忘れたときは、いったんパスワードをクリアし、必要に応じて設定し直してください。
- ・クリアするには、パスワード入力画面(文字未入力の状態)で[消去]に5回連続でタッチします。



■ 優先させる言語を変更する

ディスクに記録されている言語(メニュー言語、音声言語、字幕言語)について、優先させたい言語の設定を行います。

1 INFO キーを押す

INFOメニューを表示します。

2 設定 → AVの設定 にタッチする

3 DVD初期設定 にタッチする

4 変更したい ○○語 にタッチする



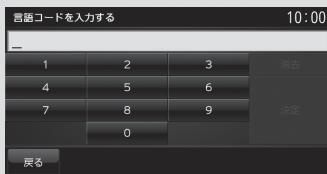
5 変更したい “言語” にタッチする



優先させる言語の変更が完了します。

アドバイス

- ・▲ → [その他]にタッチすると手順5の画面にない言語を設定できます。



「言語コード一覧表」(P279)のコードを入力し、[決定]にタッチします。

言語コード一覧表

コード	言語
6565	アファル語
6566	アブバジア語
6570	アフリカーンス語
6577	アムハラ語
6582	アラビア語
6583	アッサム語
6589	アイマラ語
6590	アゼルバイジャン語
6665	バキール語
6669	白ロシア語
6671	ブルガリア語
6672	ビハーリー語
6673	ビスマラク語
6678	ベンガル語
6679	チベット語
6682	ブルトン語
6765	カタロニア語
6779	コルシカ語
6783	チエコ語
6789	ウェルシュ語
6865	デンマーク語
6869	ドイツ語
6890	ブータン語
6976	ギリシア語
6978	英語
6979	エスペラント語
6983	スペイン語
6984	エストニア語
6985	バスク語
7065	ペルシャ語
7073	フィンランド語
7074	フィジー語
7079	フェロー語
7082	フランス語
7089	フリジア語
7165	アイルランド語
7168	スコットランド語
	ガール語
7176	ガルシア語
7178	グラナーニー語
7185	グジャラート語
7265	ハウサ語
7269	ヘブライ語
7273	ヒンディー語
7282	クロアティア語
7285	ハンガリー語

コード	言語
7289	アルメニア語
7365	国際語
7368	インドネシア語
7369	インターリング
7375	イヌピア語
7383	アイスランド語
7384	イタリア語
7465	日本語
7487	ジャワ語
7565	グルジア語
7575	カザフ語
7576	グリーンランド語
7577	カンボジア語
7578	カンナダ語
7579	韓国語
7583	カシミール語
7585	クルド語
7589	キルギス語
7665	ラテン語
7678	リンガラ語
7679	ラオス語
7684	リトアニア語
7686	ラトビア語
7771	マダガスカル語
7773	マオリ語
7775	マケドニア語
7776	マラヤーラム語
7778	モンゴル語
7779	モルダビア語
7782	マーター語
7783	マレー語
7784	マルタ語
7789	ビルマ語
7865	ナウル語
7869	ネパール語
7876	オランダ語
7879	ノルウェー語
7967	オキタン語
7977	オロモ語
7982	オリヤー語
8065	パンジャブ語
8076	ポーランド語
8083	パシトー語
8084	ポルトガル語
8185	ケチュア語
8277	レトロアンス語

コード	言語
8278	キルンディ語
8279	ルーマニア語
8285	ロシア語
8287	キヤーワンダ語
8365	サンスクリット語
8368	シンド語
8371	サンゴ語
8372	セルボクロアティア語
8373	シンハリー語
8375	スロバキア語
8376	スロベニア語
8377	サモア語
8378	ショナ語
8379	ソマリア語
8381	アルバニア語
8382	セルビア語
8383	シスフティ語
8384	セストゥ語
8385	スンダ語
8386	スウェーデン語
8387	スワヒリ語
8465	タミル語
8469	テルグ語
8471	タジク語
8472	タイ語
8473	ティグリニヤ語
8475	トルクメン語
8476	タガログ語
8478	セツワナ語
8479	トンガ語
8482	トルコ語
8483	ツォンガ語
8484	タタール語
8487	トイ語
8575	ウクライナ語
8582	ウルドゥー語
8590	ウズベク語
8673	ベトナム語
8679	ヴォラピュック語
8779	ウォロフ語
8872	コーダ語
8973	イディッシュ語
8979	ヨルバ語
9072	中国語
9085	ズールー語

INFOの設定

ハンズフリーやBluetooth接続、カメラなどに関する設定が行えます。

1 INFO キーを押す

INFOメニューを表示します。

2 設定にタッチする

3 Infoの設定にタッチする

4 変更したい“項目”にタッチする



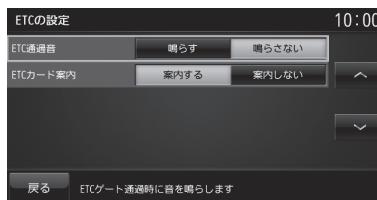
選んだ項目の設定画面を表示します。

■ 設定できる項目について

ETCの設定	別売の接続ケーブルおよびETC車載器またはDSRC車載器を接続すると、ETCに関する設定が行えます。 →「ETCの設定」(P281)
ハンズフリーの設定	着信や受話／送話音量の設定や自動着信の設定が行えます。 →「ハンズフリーの設定」(P281)
Bluetoothの設定	市販されているBluetooth機器をBluetooth機能を使って本機に接続できます。 →「Bluetoothの設定」(P282)
インターネットの設定	使用する携帯電話に応じた接続先を設定できます。 →「インターネットの設定」(P286)
デバイスIDの表示	デバイスIDの確認ができます。 →「デバイスIDを表示する」(P287)
リアカメラの設定	リアカメラに関する設定が行えます。 →「リアカメラの設定」(P287)
サブカメラの設定	フロントカメラまたはサイドカメラの接続設定が行えます。 →「サブカメラの設定」(P290)
レーンアシストの設定	レーンアシスト機能に関する設定が行えます。 →「レーンアシストの設定」(P291)
エコ情報の設定	エコ情報に関する設定が行えます。 →「エコ情報の設定」(P290)

ETCの設定

別売の接続ケーブルおよびETC車載器またはDSRC車載器を接続すると、ETCに関する設定が行えます。



設定名	設定値	設定内容
ETC通過音	鳴らす	ETCゲート通過時に音を鳴らすか鳴らさないかの設定が行えます。
	鳴らない	
ETCカード案内	案内する	ETCカードの挿入、未挿入の案内をするかしないかの設定が行えます。
	案内しない	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

ハンズフリーの設定

着信や受話／送話音量の設定や自動着信の設定が行えます。



設定名	設定値	設定内容
着信音量	1 ~ 7	電話の着信音量を設定できます。(工場出荷時は[4])
受話音量	1 ~ 7	電話の受話音量を設定できます。(工場出荷時は[4])
送話音量	1 ~ 7	電話の送話音量を設定できます。(工場出荷時は[4])
自動着信	自動着信する	[自動着信する]に設定すると、かかってきた電話を自動的に受け取ることができます。
	自動着信しない	[自動着信する]にタッチした後、自動着信するまでの応答時間(1 ~ 30秒)を設定する必要があります。 (工場出荷時は「5」秒)

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

Bluetoothの設定

市販されているBluetooth機器をBluetooth機能を使って本機に接続できます。

Bluetooth(ブルートゥース)とは

Bluetoothは近距離(数メートル以内)での機器接続に特化した無線通信規格です。電波を使用しているため指向性を持ちません。その特性により遮蔽物があつても通信可能となり、たとえば胸ポケットやカバンの中に携帯電話を入れたままで接続するような使い方が可能になります。

お知らせ

- ・本機はVer.2.1+EDRに対応しています。

対応プロファイル

Bluetooth Audio	A2DP AVRCP(v.1.0,v.1.3,v.1.4)
ハンズフリー	HFP
ダイヤルアップ接続	DUN
電話帳転送	OPP
シリアル通信	SPP

お知らせ

- ・本機はBluetoothレシーバーを内蔵しています。
- ・携帯電話の「ダイヤルロック」などの機能を解除し、待ち受け画面の状態で接続してください。
- ・接続中にBluetooth機器での操作(受話操作など)を行うと正しく動作しない場合があります。
- ・Bluetooth機器におけるパスキーの入力方法についてはBluetooth機器の取扱説明書をご確認ください。
- ・接続に失敗することがあります。再度、登録してください。
- ・本機とBluetooth機器の距離、車内の状況、遮蔽物の種類によっては通信速度が落ちる場合や接続できない場合があります。この場合本機にできるだけ近い位置にBluetooth機器を置いてください。
- ・Bluetooth対応機器であっても特性や仕様により正常に動作しない場合があります。
- ・お使いのBluetooth機器によっては、接続できない場合があります。
詳しくは三菱電機ホームページの記載内容をご覧ください。
URL:<http://www.mitsubishielectric.co.jp/carele/>
- ・Bluetooth機器は、最大5台まで登録できます。
- ・Bluetooth Audioで使用するプロファイルは、オーディオソースがBluetooth Audioの時のみ接続されます。

■ Bluetooth機器を登録する

Bluetooth機器を本機に登録します。

1 [INFO] キーを押す

[INFO] メニューを表示します。

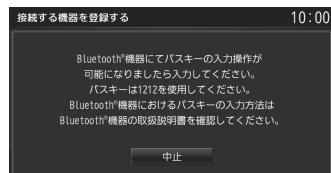
2 [設定] にタッチする

3 [Infoの設定] にタッチする

4 [Bluetooth®の設定] にタッチする

5 [機器を登録する] にタッチする

6 画面に表示されたパスキーを Bluetooth機器に入力する



▼
以降の操作は、お使いの携帯電話によって 異なります。

7 タイプ別の操作を行う

表示される画面のタイプ別の操作を行ってください。

タイプ A



自動的に接続が完了します。

タイプ B

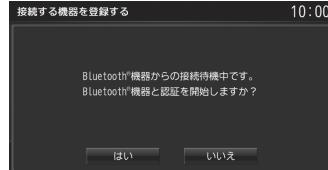


Bluetooth機器に表示されているパスキーと本機の画面に表示されているパスキーが同じであれば、[はい]にタッチします。

※ パスキーがもし違う場合は、

Bluetooth機器側の操作を最初からやり直してください。

タイプ C



本機側が準備状態ですので、[はい]に タッチします。

▼
接続が完了すると、現在地画面に Bluetooth と電波強度のアイコンが表示されます。

■ Bluetooth機器を選択する

複数台のBluetooth機器を登録した場合、接続するBluetooth機器を選択する必要があります。(以降は本機能で設定したBluetooth機器を車内に持ち込むだけで接続できるようになります。)

1 INFOキーを押す

INFOメニューを表示します。

2 [設定] → [Infoの設定] にタッチする

3 [Bluetooth®の設定] にタッチする

4 [接続する機器を選択する] にタッチする

5 接続したい“機器名”にタッチする



6 [電話機] または [オーディオ] にタッチする

接続したいBluetooth機器をハンズフリー用に使用する場合は[電話機]に、Bluetooth Audio用に使用する場合は[オーディオ]を選択します。

7 [はい] にタッチする

Bluetooth機器の選択が完了します。

アドバイス

- ハンズフリー、Bluetooth Audio両方に対応したBluetooth機器の場合は、選択を1台できます。
- Bluetooth Audio機能が使用できる機器名の横に以下のアイコンを表示します。

	接続中を示します。
	非接続中を示します。
	接続/切断の処理を行っているときに表示します。

アドバイス

- ハンズフリー機能が使用できる機器名の横に以下のアイコンを表示します。

	接続中を示します。
	非接続中を示します。
	接続/切断の処理を行っているときに表示します。

- シリアル通信機能が使用できる機器名の横に以下のアイコンを表示します。

	接続中を示します。
	非接続中を示します。
	接続/切断の処理を行っているときに表示します。

Bluetooth機器を消去する

登録されているBluetooth機器を消去します。

お知らせ

- あらかじめBluetooth機器側の操作でBluetooth接続を解除しておいてください。接続中の機器は消去できません。

1 「Bluetooth機器を選択する」(P284)の手順4まで操作する

2 ▲ → [消去] にタッチする

3 消去したい“機器名”にタッチする



4 [消去] にタッチする

5 [消去する] にタッチする

▼
選択した機器の消去が完了します。

■ パスキーを設定する

パスキーを固定（工場出荷時「1212」）にするか、登録するたびに、違うパスキーにするかを設定します。

1 INFO キーを押す

INFO メニューを表示します。

2 設定 → Info の設定 にタッチする

3 Bluetooth® の設定 にタッチする

4 パスキーを設定する にタッチする

5 固定 または ランダム にタッチする

アドバイス

- ランダムを選択した場合パスキー入力画面は表示しません。

6 任意の“4桁のパスキー”を入力し、決定 にタッチする

パスキーの設定が完了します。

アドバイス

- すでにパスキーを設定している場合は、[消去]にタッチしてパスキーを消去してから入力してください。

■ 本機のアドレスを表示する/編集する

本機の機器名および機器アドレスを確認します。また、機器名称のみ変更できます。

1 INFO キーを押す

INFO メニューを表示します。

2 設定 → Info の設定 にタッチする

3 Bluetooth® の設定 にタッチする

4 自機アドレスを表示/編集する にタッチする

▼ 機器名称および機器アドレスが確認できます。

5 “機器名称”にタッチする

6 任意の“機器名称”を入力し、 [入力完了] にタッチする



→「文字入力のしかた」(P160)

アドバイス

- 機器名称は最大半角12文字（全角6文字）まで入力できます。

7 [編集完了] にタッチする

▼ 機器名称の変更が完了します。

インターネットの設定

通信機能をご利用になるには、通信機能の設定を行う必要があります。接続先の設定は、使う携帯電話に応じた接続先を選ぶだけで簡単に行うことができます。

→「簡単設定で接続する」(P286)

また、あらたな接続先を追加するときや、設定内容を変更するときは「詳細設定で接続する」(P286)をご覧ください。

■ 簡単設定で接続する

使う携帯電話に応じた接続先を選択します。

1 INFO キーを押す

INFOメニューを表示します。

2 設定 → Infoの設定 にタッチする

3 インターネットの設定 にタッチする

4 接続する“プロバイダ” にタッチする



▼
プロバイダの設定が完了します。

接続先について

あらかじめ4社のプロバイダを用意しております。

キャリア名称	接続先名称
NTT docomo	mopera U ^{※1}
au	au.NET
SoftBank	アクセスインターネット
EMOBILE	emb

※1 ご使用になるには、あらかじめ使用契約を行っておく必要があります。

■ 詳細設定で接続する

あらかじめ用意されている4社以外のプロバイダを使用する場合に設定します。

1 INFO キーを押す

INFOメニューを表示します。

2 設定 → Infoの設定 にタッチする

3 インターネットの設定 にタッチする

4 いずれかの プロバイダ設定 に タッチする



5 詳細設定 にタッチする

6 “設定する項目” にタッチする

接続先名称	プロバイダの名称を設定・変更できます。
アクセスポイント電話番号	アクセスポイントの電話番号を入力します。
ログインID	プロバイダ入会時に発行されたログインIDを入力します。
ログインパスワード	プロバイダ入会時に発行されたパスワードを入力します。
DNSサーバアドレス1/2	DNS(IPアドレス)を入力します。
プロキシサーバ	プロキシサーバーを[使用する]または[使用しない]を設定します。
プロキシサーバアドレス	プロキシサーバーアドレスを入力します。
ポート番号	ポート番号を入力します。

デバイスIDを表示する

デバイスIDとは、オンラインの情報を取得するために必要となるID番号です。登録手続きで使用します。登録方法については、別紙「OpenInfoサービスユーザー登録手順書」に従って登録作業を行ってください。

1 INFO キーを押す

INFOメニューを表示します。

2 設定 → Infoの設定 にタッチする

3 デバイスIDの表示 にタッチする

▼
デバイスIDを表示します。

リアカメラの設定

リアカメラに関する設定が行えます。

■ カメラの接続設定を行う

三菱電機製のリアカメラBC-20M以外を取り付けた場合は、以下の操作を行う必要があります。

1 INFO キーを押す

INFOメニューを表示します。

2 設定 → Infoの設定 にタッチする

3 リアカメラの設定 にタッチする

4 リアカメラの接続設定

にタッチする

5 接続あり にタッチする



▼
リアカメラの使用が可能となります。

■ カメラモードの設定をする

リアカメラ映像を表示したときの初期モードを設定できます。

お知らせ

- ・三菱電機製のリアカメラBC-20M以外のリアカメラを接続している場合は本機能はご利用になれません。

1 INFO キーを押す

INFOメニューを表示します。

2 設定 → Infoの設定 にタッチする

3 リアカメラの設定 にタッチする

4 カメラモードの設定

にタッチする

5 ワイドビュー、ノーマルビュー

または トップビュー

にタッチする



▼
初期モードの設定が完了します。

アドバイス

- ・工場出荷時は、「ワイドビュー」となります。

■ ガイド線を表示する

リアカメラで使用するガイド線を表示します。

お知らせ

- 工場出荷時は、ガイド線を表示しない設定になっています。

1 INFO キーを押す

INFOメニューを表示します。

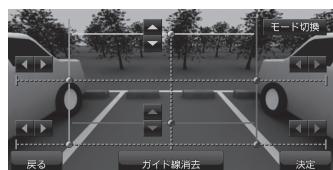
2 設定 → Infoの設定 にタッチする

3 リアカメラの設定 にタッチする

4 カメラガイド線の設定

にタッチする

5 ガイド線表示 にタッチする



リアカメラ映像にガイド線を表示します。
再度消去する場合は、[ガイド線消去]にタッチします。

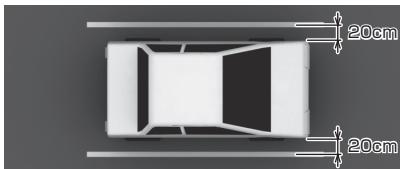
■ ガイド線を調整する

リアカメラ使用時に表示するガイド線の位置を調整できます。

注意

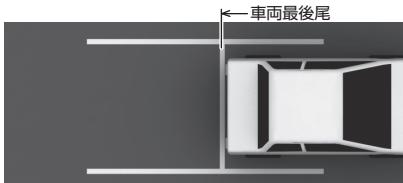
- 調整する際は、駐停車禁止区域外の安全な場所で行ってください。
- できるだけ、水平な場所で行ってください。
- 目印付けるときは、必ずエンジンを切ってパーキングブレーキをかけて行ってください。

1 車幅 + 両側約20cmの位置(地面)に直線の目印を付ける

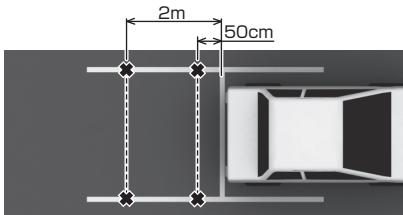


目印は粘着テープなどで行い、車両の全長よりも少し長めに付けてください。

2 車両を約2.5m前進させ、車両最後尾に直線の目印を付ける



3 手順2の目印から約50cmおよび約2mの位置に目印を付ける



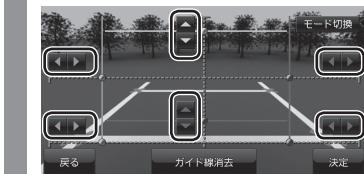
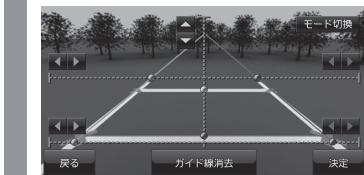
リアカメラの映像でも認識しやすいように少し大きめの「×」印を付けることをおすすめします。

4 INFO キーを押す

INFOメニューを表示します。

5 設定 → Infoの設定 にタッチする**6 リアカメラの設定 にタッチする****7 カメラガイド線の設定**

にタッチする

**8 カーソルスイッチにタッチし
ガイド線を調整する****9 決定 にタッチする**

ガイド線の調整が完了しました。

三菱電機製のリアカメラBC-20Mの場合

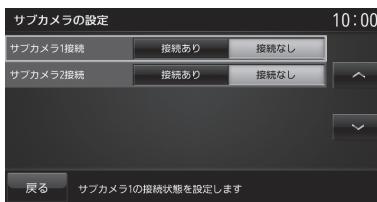
この後、[モード切換]にタッチしてカメラモードを切り換え、手順4～手順9を繰り返し、各モードのガイド線を調整してください。

アドバイス

- ・ガイド線が表示されていない場合は、[ガイド線表示]にタッチしてください。
- ・左右のオレンジ線と緑線は、手順1の目印を目安に位置や角度を調整してください。
- ・画面下の青線は、手順3の目印の車両最後尾から50cm離れた位置を目安に調整してください。
- ・画面上の黄緑線は、手順3の目印の車両最後尾から2m離れた位置を目安に調整してください。

サブカメラの設定

フロントカメラやサイドカメラなどのサブカメラの接続設定が行えます。
別紙「取付要領書」と合わせてご確認ください。

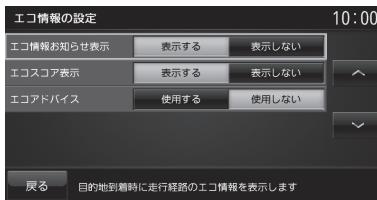


設定名	設定値	設定内容
サブカメラ1	接続あり	[接続あり]に設定するとカメラ接続ケーブルの「サブカメラ1」に接続したカメラの映像を表示します。
	接続なし	カメラ映像を表示しません。
サブカメラ2	接続あり	[接続あり]に設定するとカメラ接続ケーブルの「サブカメラ2」に接続したカメラの映像を表示します。
	接続なし	カメラ映像を表示しません。

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

エコ情報の設定

「お知らせ表示について」(P234)で説明しているルート案内中や目的地到着後のお知らせなどに
関する設定ができます。



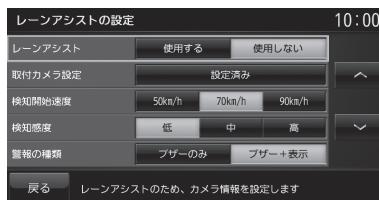
設定名	設定値	設定内容
エコ情報お知らせ表示	表示する	ルート案内中のエコスコアによるお知らせおよび目的地到着後のeスタートスコアによるお知らせを表示します。
	表示しない	ルート案内中および目的地到着後のお知らせを表示しません。
エコスコア表示	表示する	ルート案内中にエコスコアアイコンを表示します。この設定時、マーク(P156)は表示できません。
	表示しない	エコスコアアイコンを表示しません。
エコアドバイス	使用する	ルート案内中のエコアドバイスを使用します。
	使用しない	エコアドバイスを使用しません。

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

レーンアシストの設定

レーンアシスト機能に関する設定が行えます。

レーンアシストについて、詳しくは「レーンアシストを使う」(P175)をご覧ください。



設定名	設定値	設定内容
レーンアシスト	使用する	レーンアシストをお使いになるには、あらかじめ「取付カメラ設定」を行う必要があります。 →「取付カメラの設定をする」(P292) [使用する]に設定すると、「レーンアシスト」が使用できます。
	使用しない	
取付カメラ設定		リアカメラの取り付け位置やメーカー、型番ごとのカメラバラメータなどの入力を行います。→「取付カメラの設定をする」(P292)
検知開始速度	50km/h	レーンアシストを開始する速度を設定できます。
	70km/h	設定した速度以上の状態でレーンアシストがご使用になります。
	90km/h	レーンアシストの検知開始後、設定した速度より約5km/h遅くなったとき、検知終了となります。
検知感度	低	自車のタイヤが道路上の白（黄）線を越えたときから警告します。 ^{※1}
	中	自車のタイヤが道路上の白（黄）線に乗ったときから警告します。 ^{※1}
	高	自車のタイヤが道路上の白（黄）線に近づいたときから警告します。 ^{※1}
警報の種類	ブザーのみ	レーンアシストの警告方法が変更できます。
	ブザー+表示	
警報音量	1	レーンアシストのブザー音量の設定が行えます。
	2	数字が大きくなるほど音量が大きくなります。
	3	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

※1 自車のタイヤと道路上の白（黄）線との位置関係については目安としてください。

■ 取付カメラの設定をする

カメラの取付環境の入力や映像などの補正が行えます。

1 [INFO] キーを押す

INFO メニューを表示します。

2 [設定] → [Info の設定] にタッチする

3 [レーンアシストの設定] にタッチする

4 「取付カメラ設定」の [未実施] にタッチする

※ 2回目以降の設定では [設定済み] にタッチしてください。

5 “設定する項目” にタッチする

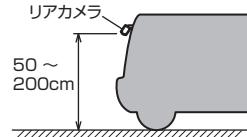


6 [決定] にタッチする

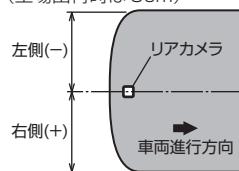
▼
カメラの設定が完了し、[未実施]から [設定済み] に変わります。

設定内容について

カメラ設置位置 : 高さ^{*1} 地面からカメラレンズの中央までの高さを入力します。50～200cmの範囲で入力できます。(工場出荷時は 100cm)



カメラ設置位置 : 左右位置^{*1} 車両幅の中心を 0 としたカメラの中心までの距離(ズレ)を設定します。-125～125cmの範囲で入力できます。車両進行方向に向かって "+" が右側 "-" が左側になります。(工場出荷時は 0cm)



カメラパラメータA 各値は、三菱電機ホームページで公開しています。

カメラパラメータB

カメラパラメータC

カメラパラメータD

車幅 自車の車幅(車検証の値)を設定します。100～250cmの範囲で入力できます。(工場出荷時は 169cm)

* 1 以下の設定範囲でレーンアシストを動作させることを推奨します。

高さ : 70cm 以上、左右位置 : ± 30cm 以内

実際のカメラ設置位置が上記の推奨設定範囲内に收まらない場合は、レーンアシストが正常に動作しない恐れがあります。

システムの設定

本機の操作音やパワーアンテナの設定、車両取付確認などが行えます。

1 INFO キーを押す

INFO メニューを表示します。

2 設定 にタッチする

3 システムの設定 にタッチする

4 変更したい“項目”にタッチする



選んだ項目の設定画面を表示します。

■ 設定できる項目について

システム音の設定	操作音量の設定が行えます。 →「システム音の設定」(P294)
パワーアンテナの設定	パワーアンテナに関する設定が行えます。 →「パワーアンテナの設定」(P294)
メモリ初期化	本機の各設定を工場出荷時の状態に戻します。 →「メモリ初期化」(P295)
車両取付確認	取付業者様用の機能です。車両に取り付けた後の信号チェックが行えます。 →「車両取付確認」(P296)
起動時セキュリティの設定	盗難時などに第三者が使用できないようパスワードロックの設定が行えます。 →「起動時セキュリティの設定」(P298)

システム音の設定

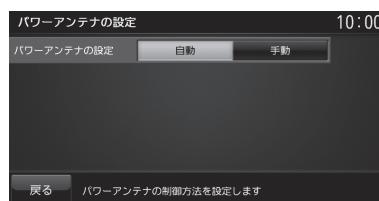
操作音量の設定が行えます。



設定名	設定値	設定内容
操作音量	消	操作音量の設定が行えます。(工場出荷時は [2])
	1 ~ 3	数字が大きくなるほど音量が大きくなり、[消]で無音になります。
システム音量	消	音声案内など音量について設定が行えます。(工場出荷時は [4])
	1 ~ 7	数字が大きくなるほど音量が大きくなり、[消]で無音になります。
時報	鳴らす	時報を鳴らすか鳴らさないかの設定が行えます。
	鳴らさない	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

パワーアンテナの設定



設定名	設定値	設定内容
パワーアンテナの設定	自動	"ACC ON" 時にアンテナ電源端子から自動的に電源を供給します。
	手動	AVメニュー (P22) に[P ANT OFF]/[P ANT ON]が表示されるようになり、アンテナ電源端子への電源供給を手動で行えるようになります。

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

メモリ初期化

本機の各設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。
また、登録した自宅や登録地などを一括で消すことができます。

注意

- 故障の原因となりますので初期化中は、イグニッションキーの“ACC”を“OFF”にしないでください。

お知らせ

- メモリ初期化は、CDやDVDの再生中およびMusicFolderへの録音中に操作できません。

1 INFO キーを押す

INFOメニューを表示します。

2 設定 → システムの設定 にタッチする

3 メモリ初期化 にタッチする

4 いずれかにタッチする



5 初期化する にタッチする

6 再度、初期化する にタッチする

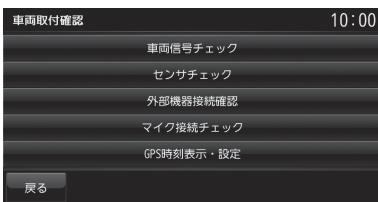
▼
選んだ項目の初期化が完了します。

初期化の種類

設定の初期化	本機の各設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。この操作では、登録した自宅や登録地は消えません。
MusicFolder の初期化	MusicFolderに関するデータをすべて消去します。MusicFolderで録音した曲や、取得したタイトル情報を消去します。
音楽用SDカードの初期化	SDカードの音楽ファイルやMusicFolderを本機で再生するために必要なフォーマットを行います。また、SDカードの音楽ファイルやMusicFolderで録音した曲を含む音楽用SDカード内にあるすべてのデータを消去します。
本機の初期化	すべての設定、記録データを消去して工場出荷時の状態に戻すことができます。また、登録した自宅や登録地などを一括で消すことができます。

車両取付確認

取付作業者様用の機能です。車両に取り付けた後の信号チェックが行えます。



注意

- 手順通りに確認していない場合は、正しい判定結果がでない場合があります。

■ 車両信号チェック

車両信号が正しく入力されているかをチェックできます。

1 INFO キーを押す

INFOメニューを表示します。

2 設定 → システムの設定 にタッチする

3 車両取付確認 にタッチする

4 車両信号チェック にタッチする

5 車両を操作して各信号のチェックを行う



車速	車を走行させたとき、「ON」と表示すれば正常です。
ILL	車の車幅灯を点灯させたとき、「ON」と表示すれば正常です。
シフトポジションR	車のシフトポジションを「R」にしたとき、「ON」と表示すれば正常です。
サイドブレーキ	車のサイドブレーキを降ろしたとき、「OFF」と表示すれば正常です。

■ センサチェック

車速パルスやジャイロセンサーの状態をチェックできます。

1 INFO キーを押す

INFOメニューを表示します。

2 設定 → システムの設定 にタッチする

3 車両取付確認 にタッチする

4 センサチェック にタッチする

5 開始 にタッチする

▼
センサチェックを開始します。

以降は、画面の指示にしたがって車両を操作してください。

注意

- 画面に表示された手順通りチェックを行わないと正常な結果が得られません。

■ 外部機器接続確認

本機に接続されている外部機器の接続状態を確認できます。

1 INFO キーを押す

INFO メニューを表示します。

2 設定 → システムの設定 にタッチする

3 車両取付確認 にタッチする

4 外部機器接続確認 にタッチする

外部機器接続確認結果		10:00	
GPSアンテナ	OK	DSRCユニット	なし
DTVアンテナ	1: OK 2: OK		
	3: OK 4: OK		
ピーコン受信機	なし		
ETCユニット	OK	Blu-rayユニット	なし
戻る			

本機に接続されている外部機器の接続状態を表示します。

接続した機器に「OK」と表示されていれば正常です。

アドバイス

- 「NG」と表示されたときは、[NGコード]にタッチしてNGコードを確認してください。

外部機器接続確認結果		10:00	
GPSアンテナ	OK	DSRCユニット	なし
DTVアンテナ	1: OK 2: OK		
	3: OK 4: OK		
ピーコン受信機	なし		
ETCユニット	NG	Blu-rayユニット	なし
戻る		[NGコード]	

■ マイク接続チェック

ハンズフリー用マイクの接続をチェックできます。マイクに向かって発話した内容をスピーカーから出力します。

注意

- このチェックを行うときは、駐停車禁止区域以外の安全な場所に停車してから行ってください。

1 INFO キーを押す

INFO メニューを表示します。

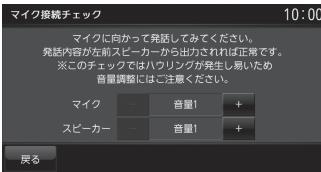
2 設定 → システムの設定 にタッチする

3 車両取付確認 にタッチする

4 マイク接続チェック にタッチする

マイク接続チェック画面を表示します。

5 マイクに向かって発話する



メッセージが消えてから発話してください。

発話した内容がどのスピーカーからも出力されない、他のスピーカーから出力されるといった場合は接続状態を確認してください。

お知らせ

- Bluetooth 機器が登録されている状態では、手順4の[マイク接続チェック]を選択できません。チェックを行う場合は、登録されている Bluetooth 機器を消去してください。→ [Bluetooth 機器を消去する] (P284)
- このチェックではハウリングが発生しやすいので、音量には十分注意してください。音量を調節する場合は画面に表示されている[+]または[-]にタッチして行います。今回のチェック中のみ調節できます。

■ GPS 時刻表示・設定

日時の確認と変更が行えます。

通常は GPS から日時を受信していますので設定は不要です。

1 INFO キーを押す

INFO メニューを表示します。

2 設定 → システムの設定 にタッチする

3 車両取付確認 にタッチする

4 GPS 時刻表示・設定 にタッチする

▼

現在の日時の確認が行えます。

5 設定する にタッチする

6 それぞれの ▲ または ▼ にタッチし、日時を変更する



7 決定 にタッチする

▼

日時の変更が完了します。

起動時セキュリティの設定

盗難対策などに第三者が使用できないようパスワードロックの設定が行えます。

お知らせ

- 設定が完了すると車両点検などでバッテリーを外すと、起動時にパスワードを入力するまで使用できなくなります。
- 起動時のパスワード入力を3回失敗するとカーナビ機能がロックされます。このときは、ACC OFF→ONを行い再度パスワードを入力してください。

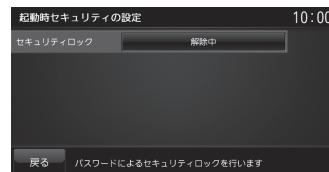
1 INFO キーを押す

INFO メニューを表示します。

2 設定 → システムの設定 にタッチする

3 起動時セキュリティの設定 にタッチする

▼



起動時セキュリティの設定画面を表示します。

4 解除中 にタッチする

5 任意の4桁～10桁の“パスワード”を入力し、決定 にタッチする



6 確認のため再度“パスワード”を入力し、決定 にタッチする

▼

セキュリティロックが設定されます。

■ セキュリティを解除する

- 1 起動時セキュリティ設定画面で、
[設定中] にタッチする
- 2 “パスワード” を入力する
- 3 [セキュリティロック解除] にタッチする



セキュリティのロックを解除します。

■ パスワードを変更する

- 1 起動時セキュリティ設定画面で、
[設定中] にタッチする
- 2 現在の“パスワード”を入力する
- 3 [パスワードの変更] にタッチする
- 4 新しい“パスワード”を入力し、
[決定] にタッチする



- 5 確認のため再度新しい
“パスワード”を入力し、[決定] に
タッチする



パスワードの変更が完了します。

注意

- ・パスワードは、忘れないようメモして保管しておくことをお勧めします。
- ・万が一、パスワードを忘れた場合は、お買い上げ店か弊社代理店もしくは三菱カーアンフォメーションセンターにお問い合わせください。

TVの設定

テレビ機能に関する各種設定が行えます。

1 AV キーを押す

AVメニューを表示します。

2 TV にタッチする

3 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

4 メニュー にタッチする

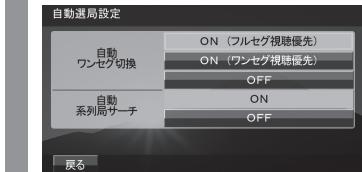
5 設定したい“項目”にタッチする



6 設定したい“内容”にタッチする



7 “設定”にタッチする



▼
設定内容を変更します。

■ 設定項目について

視聴設定 字幕や音声の設定が行えます。
→「視聴設定」(P301)

情報確認 チャンネル一覧や各種情報を確認できます。
→「情報を確認する」(P137)

受信機設定 自動ワンセグ切り替えの設定の他、表示に関する設定が行えます。
→「受信機設定」(P301)

初期設定 ホームCHスキャンのやり直しや、地上デジタルTVチューナーの各設定を工場出荷時の状態に戻す場合に行います。
→「初期設定を行う」(P303)

視聴設定

字幕や音声に関する設定が行えます。

■ 字幕 / 音声

字幕放送や複数の音声放送がある場合に設定が行えます。



設定名	設定値	設定内容
字幕設定	字幕なし	字幕の非表示や言語の選択が行えます。
	第1言語	
	第2言語	
二重音声設定	主音声	出力される音声の選択が行えます。
	副音声	
	主／副	

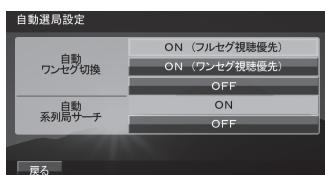
※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

受信機設定

受信に関する各種設定が行えます。

■ 自動選局

電波が弱くなったとき、自動でワンセグに切り換えることや自動で系列局を探す設定が行えます。



設定名	設定値	設定内容
自動ワンセグ切換	ON (フルセグ視聴優先)	フルセグからワンセグへの自動切り替えの設定が行えます。 →「フルセグとワンセグを切り替える」(P139)
	ON (ワンセグ視聴優先)	
	OFF	
自動系列局サーチ	ON	受信ができなくなったとき、自動で系列局を探すことができます。 自動で系列局を探しません。手動で行います。 →「系列局を探す」(P133)
	OFF	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

■ 緊急放送

緊急放送の設定が行えます。



設定名	設定値	設定内容
緊急放送自動切換	ON	緊急放送を受信すると自動で緊急放送の画面に切り換わります。
	OFF	緊急放送を受信しても、画面の切り換えは行いません。

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

■ 表示設定

ショートバナーの設定ができます。

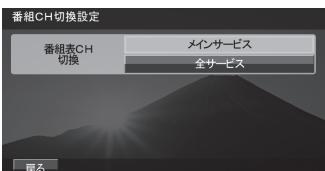


設定名	設定値	設定内容
ショートバナー 常時表示	表示する	常時画面の右上にショートバナー（チャンネル番号や放送局名などの情報）を表示します。
	表示しない	ショートバナーを表示しません。

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

■ 番組CH

番組表をマルチ編成に対応した表示に切り換えます。



設定名	設定値	設定内容
番組表 CH 切換	メインサービス	[全サービス]に設定するとマルチ編成に対応したすべての番組を表示した番組表に切り換わります。
	全サービス	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

初期設定を行う

ホームCHスキャンのやり直しや地上デジタルTVチューナーの各設定を工場出荷時の状態に戻す場合に行います。

■ ホームCHスキャンを行う

ホームCHスキャンのやり直しや更新を行います。

詳しくは「ホームCHスキャンを行う」(P134)をご覧ください。

■ 設定情報を初期化する

地上デジタルTVチューナーの設定情報を工場出荷時の状態に戻します。

1 AV キーを押す

AVメニューを表示します。

2 TV にタッチする

3 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

4 メニュー にタッチする

5 初期設定 にタッチする

6 設定情報初期化 にタッチする

7 初期化開始 にタッチする

8 はい にタッチする



初期化が完了すると自動的に再起動します。

注意

- 再起動が完了するまでイグニッションキーの“ACC”を“OFF”にしないでください。

その他の設定

モニターの角度や画質、音質などの設定が行えます。

モニターの角度を調整する

モニターの角度を5段階で調整できます。

1 INFO キーを押す

INFOメニューを表示します。

2 設定にタッチする

3 モニター角度の調整にタッチする

モニター角度の調整画面を表示します。

4 いずれかにタッチし角度を調整する



モニターの角度が変わります。

アドバイス

- “ACC OFF”で自動的に閉じ、“ACC ON”で調整した位置に戻ります。
- モニターの角度を調整した場合は、画質の調整を行ってください。液晶画面の性質上、見る角度によって画質が異なります。

画質を調整する

メニュー画面やテレビ、リアカメラ映像の色合いや明るさなどの調整が行えます。

1 INFO キーを押す

INFOメニューを表示します。

2 設定にタッチする

3 画質調整にタッチする



画質調整の画面を表示します。

■ RGB画面の調整

「画質調整」で[RGB画面の調整]にタッチすると表示します。

メニュー画面やナビ画面などの明るさ、コントラストなどを調整します。



設定名	設定内容
明るさ	明るさの調整を行います。 [+]にタッチすると明るくなり、 [-]にタッチすると、暗くなります。タッチし続けると、連続で調整できます。
コントラスト	コントラスト(メリハリ)の調整を行います。 [+]にタッチするとコントラストが強くなり、 [-]にタッチすると、弱くなります。タッチし続けると、連続で調整できます。
黒の濃さ	黒の濃さの調整を行います。 [灰]にタッチすると黒の濃さが弱くなり、 [黒]にタッチすると濃くなります。タッチし続けると、連続で調整できます。

■ 映像画面の調整

「画質調整」で[映像画面の調整]にタッチすると表示します。テレビ画面やDVD画面、AUX画面などの明るさや色合いなどを調整します。



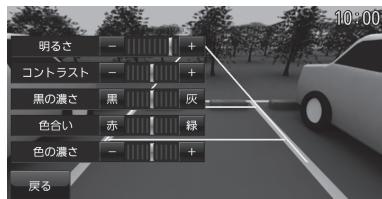
お知らせ

- 選択している映像ソースに対して調整を行います。
- 映像ソースごとに設定ができます。
- 映像ソースを選択していないときや走行中は設定操作ができません。

設定名	設定内容
明るさ	明るさの調整を行います。 [+]にタッチすると明るくなり、 [-]にタッチすると、暗くなります。タッチし続けると、連続で調整できます。
コントラスト	コントラスト(メリハリ)の調整を行います。[+]にタッチするとコントラストが強くなり、[-]にタッチすると、弱くなります。タッチし続けると、連続で調整できます。
黒の濃さ	黒の濃さの調整を行います。 [灰]にタッチすると黒の濃さが弱くなり、[黒]にタッチすると濃くなります。タッチし続けると、連続で調整できます。
色合い	色合いの調整を行います。 [緑]にタッチすると緑っぽくなり、[赤]にタッチすると赤っぽくなります。タッチし続けると、連続で調整できます。
色の濃さ	色の濃さの調整を行います。 [+]にタッチすると色が濃くなり、[-]にタッチすると薄くなります。タッチし続けると、連続で調整できます。

■ リアカメラ映像の調整

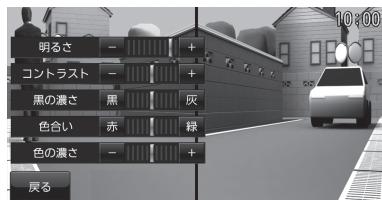
「画質調整」で[リアカメラ映像の調整]にタッチすると表示します。リアカメラ映像の色合いや明るさを調整します。



設定内容は、「映像画面の調整」(P305)と同じです。

■ サブカメラ映像の調整

「画質調整」で[サブカメラ映像の調整]にタッチすると表示します。サブカメラ映像の色合いや明るさを調整します。



設定内容は、「映像画面の調整」(P305)と同じです。

画面の表示を消す

画面の表示を消します。

1 [INFO] キーを押す

[INFO] メニューを表示します。

2 [設定] にタッチする

3 [画面OFF] にタッチする



画面の表示を消します。

アドバイス

- 再度表示するときは、画面にタッチするか[NAVIGATION]または[INFO]、[AV]、[現在地]のいずれかのキーを押します。

Other

困ったときは

画面にメッセージが表示されたときや「故障かな?」と思ったときに確認してください。

こんなメッセージがでたら

本機では、状況に合わせ画面にメッセージを表示します。

■ ナビゲーション機能

メッセージ	原因	処置
走行中は操作できません。	走行中、操作してはいけないボタンを操作した。	安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけて操作してください。
地図データがありません。	地図データがないエリアに地図スクロールした。	地図スクロール先を変更してください。
縮尺を変更します。	自車、カーソルの中心が設定中のスケールがあるところからないところに移動した。 または、再びあるところに移動した。	-
該当する施設の情報がありません。	施設ジャンル検索で都道府県を指定したが当該都道府県の施設情報が本機に登録されていない。	別の都道府県を選択するか、ジャンルを変更してください。
周辺に情報がありません。	周辺施設の情報が本機に登録されていない。	位置を移動して検索してください。
入力された局番はデータにありません。	電話番号検索をしたが該当番号が本機に登録されていない。	住所、施設など別の検索手段で検索してください。
入力された番号はデータにありません。 代表地点を表示します。	電話番号検索をしたが該当番号が本機に登録されていない。	住所、施設など別の検索手段で検索してください。
該当するデータがありません。 周辺の地図を表示します。	住所検索をしたが該当番号が本機に登録されていない。	電話番号、施設など別の検索手段で検索してください。
キーワードに該当する施設がありません。	キーワード絞り込みで入力したキーワードに該当する施設が本機に登録されていない。	キーワードを変更し、再度絞り込みを実施してください。
現在の検索結果に、この絞り込み方法は選択できません。	何らかの原因で絞り込みが実行できない。	絞り込み方法を変更するか、設定済みの絞り込み条件を解除してから再度絞り込みを実行してください。

次のページにつづく

「ナビゲーション機能」のつづき

メッセージ	原因	処置
上限に達したため、これ以上指定できません。	地域またはジャンルで絞り込む際に上限の数を超える絞り込み候補を指定しようとした。	絞り込み候補の件数は5件以内で指定してください。
絞り込み条件はこれ以上設定できません。	キーワード絞り込みを3回実行した後で、さらにキーワード絞り込みを実行しようとした。	キーワード絞り込みは3回以内となるように実行してください。
ルートを探索できませんでした。	何らかの原因で、探索に失敗した。	探索条件などを再度確認し探索してください。
経由地を設定できません。	目的地に到着している状態で、経由地を設定した。	目的地を再度設定してから、経由地を再度設定してください。
経由地を消去できません。	通過済みの経由地を消去しようとしました。	通過した経由地は再度案内することはできませんので、そのままご使用いただいても問題ありません。 それでも経由地を消去したい場合は、目的地を再度設定してから、立ち寄らない経由地を除いた経由地を再度設定してください。 (経由地の消去は、当該経由地を通過する前に行ってください。)
MAPスロットの地図カードが読みません。 地図カードを確認してください。	地図カードから地図データが読み込めない。	数分たっても復旧しない場合は、お車を安全な場所に停車し、SDカードの挿入状態を確認してください。 →「SDカードについて」(P17) それでも復旧しない場合は、販売店にご相談ください。
	MAPスロットに地図カードが挿入されていない。	地図カードを挿入してください。 →「SDカードを挿入する」(P18)
	何らかの原因で地図カードに異常が発生した。	販売店にご相談ください。
入力されたマップコードはデータにありません。	入力したMAPCODEの該当地点が見当たらなかった。	MAPCODEを再度確認してください。
入力されたマップコードはデータにありません。付近の地点を表示します。	MAPCODEの末尾の「*□□」が該当しなかった。	詳細な地点を表示させたい場合は、MAPCODEを再度確認してください。

■ オーディオ機能

メッセージ	原因	処置
メカエラーのため再生できません。	何らかの原因でドライブに異常が発生した。	ディスクに異常がないことを確認して再度挿入してください。それでも問題が解決しない場合は販売店にご相談ください。
	ディスクに傷やそりがある。	傷やそりがあるディスクを挿入しないでください。
バッテリー電圧が低いため再生できません。	車のバッテリー電圧が低くなっている。	バッテリーを確認してください。
再生できません。 ディスクを確認してください。	再生できないディスクを挿入している。	再生できるディスクを挿入してください。 →「再生できるディスクの種類」(P53)
	ディスクを裏面にして挿入している。	レーベル面を上にして挿入してください。
	ディスクの表面が結露している。	しばらくしてから再度、挿入してください。
	ディスクが汚れている。	ディスクをクリーニングしてください。
高温のため再生できません。	本機の内部温度が高い。	ディスクを取り出し、内部温度が正常に戻るまでお待ちください。
このiPodは再生できません。	認証に失敗した。	iPodを接続しなおしてください。
	認識できない末対応フォーマットのiPodが接続されている。	本機に対応しているiPodを使用してください。 →「iPodを再生する」(P112)
	iPodのソフトウェアバージョンが正しくない。	最新のソフトウェアバージョンを使用してください。
このUSB機器は再生できません。	認証に失敗した。	USBデバイスを接続しなおしてください。
再生可能なデータがありません。	再生可能な音楽ファイルが入っていない。	再生できる音楽ファイルを入れてください。 →「音楽ファイル(MP3/WMA/AAC/WAV)について」(P55)
	曲が入っていないiPod/USBデバイスを接続した。	曲が入ったiPod/USBデバイスを接続してください。
再生できませんでした。	対応していない音楽ファイルを再生した。	再生できる音楽ファイルを確認してください。
	著作権保護のファイルを再生した。	著作権保護付きのファイルは再生できません。 著作権保護が付いていないものにしてください。
	音楽ファイルが破損している。	正しい音楽ファイルを入れてください。
リージョンコードが違います。 ディスクを確認してください。	本機のリージョン番号と異なるDVDビデオを挿入した。	リージョンコード[2]を含むDVDビデオに交換してください。
このディスクの映像方式(PAL)には対応していません。	PAL方式で記録されたDVDビデオを使用している。	NTSC方式で記録されたDVDビデオを使用してください。
このディスクは再生できません。	DVD-VRの読み込みに失敗した。	ディスクを取り出し、再度挿入してください。 数回試して正常に動作しない場合は、ディスクに何らかの異常がある可能性があります。

次のページにつづく

「オーディオ機能」のつづき

メッセージ	原因	処置
MUSICスロットのSDカードを認識できません。	音楽用SDカードの読み込みに失敗した。	音楽用SDカードを挿入しなおしてください。
	本機に対応していないSDカードを挿入した。	本機に対応しているSDカードを挿入してください。MUSICスロットに挿入してください。 →「SDカードの曲を聴く」(P88)
MUSICスロットのSDカードは使用できません。	本機に対応していないSDカードを挿入した。	本機に対応しているSDカードを挿入してください。MUSICスロットに挿入してください。 →「SDカードの曲を聴く」(P88)
MUSICスロット側に音楽用SDカードが挿入されていません。	音楽用SDカードがMUSICスロットに挿入されていない。	本機対応のSDカードをMUSICスロットに挿入してください。
MUSICスロットのSDカードに書き込みできません。SDカードを確認してください。	音楽用SDカードが「Lock」状態になっており、書き込みできない。	音楽用SDカードを取り出し、「Lock」を解除してください。
SDカードの空き容量が不足しています。これ以上録音できません。	音楽用SDカードの容量がいっぱいになったため、MusicFolderに録音できなくなつた。	不要な曲またはプレイリストを消去して、再度録音してください。 →「プレイリストを消去する」(P101)
録音できませんでした。	何らかの原因で録音できない。	別の音楽CDに交換してください。 別の音楽用SDカードに交換してください。
高温のため録音できません。	本機の内部温度が高い。	ディスクを取り出し、内部温度が正常に戻るまでお待ちください。
低温のため録音できません。	本機の内部温度が低い。	
BDプレーヤーとの通信ができません。取扱説明書を確認してください。	本機がBlu-ray®プレーヤーとの接続を正しく認識できない状態にある。	Blu-ray®プレーヤーとの接続が正しく行われているかご確認ください。 Blu-ray®プレーヤーの接続方法については、別紙の取付要領書をご覧ください。

■ テレビ機能

メッセージ	原因	処置
このICカードは使用できません	使用できないカードが挿入されている。	正しいカードを挿入してください。 →「miniB-CASカードを入れる」(P124)
ICカードにアクセスできません。ICカードを入れ直してみてください 直らない場合はカスタマーセンターに連絡してください	カードが故障しているか、間違ったカードを挿入している。	
ICカードを交換してください	カードが故障している。	
ICカードを挿入されていない かロックが外れています。	カードが挿入されていない。または、ロックが外れている。	カードを正しく挿入してください。 または、カードのロックを確認してください。 →「miniB-CASカードを入れる」(P124)
放送局が登録されていません。 ホームCHスキャンを実行してください	ホームCHに放送局が登録されていない。	ホームCHスキャンを実行して放送局を登録してください。 →「ホームCHスキャンを行う」(P134)
放送局が登録されていません ドライブCHスキャンを実行してください	ドライブCHに放送局が登録されていない。	ドライブCHスキャンを実行して放送局を登録してください。 →「ドライブCHスキャンを行う」(P135)

■ ETC機能

別売のETC車載器を本機に接続したときに表示するメッセージについて説明します。

メッセージ	原因	処置
ETC車載器がセットアップされていません。	ETC車載器がセットアップされていない。	セットアップカードを挿し、セットアップを行ってください。
ETCカードが挿入されていません。	ETCカードが正しく挿入されていない。 (裏表が逆、前後が逆)	ETCカードをETC車載器に正しく挿入してください。
ETCカードの有効期限が近づいています。 有効期限は○月末です。	ETCカードの有効期限が近づいている。	ETCカードの有効期限が過ぎる前に新しいETCカードを挿入してください。
ETCカードの有効期限が過ぎています。 ETCカードを確認してください。	有効期限が過ぎたETCカードを挿入している。	有効期限が過ぎていないETCカードを挿入してください。
ETCカードの挿入を確認してください。	ETCカードが未挿入または正しく挿入されていない。	ETCカードを正しく挿入してください。
ETCカードを確認してください。	ETCカードが正しく挿入されていない。 (裏表が逆、前後が逆)	ETCカードをETC車載器に正しく挿入してください。
	ETCカードの金属端子(ICチップ)部分が汚れている。	ETCカードの金属端子部に汚れがないか確認してください。
	ETCカードの読み取り処理中にカードが抜き取られた。	再度ETCカードを正しく挿入してください。
	ETCカードまたはセットアップカード以外のカードが挿入された。	正しいETCカードまたはセットアップカードを挿入してください。
	何らかの異常で、セットアップが正しく行われなかった。	再度セットアップカードを挿し、セットアップを行ってください。同じエラーが繰り返されるときは、販売店にご相談ください。
ETC車載器を確認してください。	ETC車載器が故障している。	販売店にご相談ください。
ETC通信エラーです。	アンテナ通過時に何らかの異常があった。	

故障かな?と思ったら

「故障かな?」と思ったときの症状や原因、処置を説明します。

■ 共通

症状	原因	処置
操作できない。	走行中は、安全のため一部の操作が制限されます。	走行中は運転者の操作はなるべく控え、安全な場所に車を停めて操作してください。 なお、道路交通法により運転者が走行中に画面を注視することは禁止されています。
操作音が鳴らない。	操作音が[消]になっている。	[システム音の設定]の「操作音量」を[1 ~ 3]に設定してください。 →「システムの設定」(P293)
画面が表示されない。	画面消し状態になっている。	安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけて画面消し解除(P306)の操作をしてください。
	車のバッテリー電圧が低下している。	バッテリーを充電または交換してください。
	本機内部が高温になっている。	温度が下がるまでしばらくお待ちください。
モニターの画面が暗い。	モニターの明るさ調整が適切でない。	モニターの明るさの調整をしてください。 →「画質を調整する」(P304)
	車のライトがONになっている。	工場出荷時は車のライトをONに設定すると画面が暗くなる仕様です。[表示の設定]で「昼夜色」を[昼固定]に設定すると、常時明るい設定になります。 →「NAVIの設定」(P265)
	昼夜色の設定が[夜固定]になっている。	[表示の設定]で「昼夜色」を[自動切換]または[昼固定]に設定してください。 →「NAVIの設定」(P265)
パネルが閉まらない。	miniB-CASカードのロックが外れている。	miniB-CASカード挿入口にあるロックを行つてください。 →「miniB-CASカードを入れる」(P124)
通信ができない。	携帯端末によっては、Bluetooth Audio接続中に通信ができないものがあります。	/Bluetooth機器を選択する」(P284)の操作でBluetooth Audioの接続を解除してください。 Bluetooth Audio機能とハンズフリー機能を同じ携帯電話で接続していると、ハンズフリー機能は使用できますが通信できない場合があります。 Bluetooth Audio機能を解除することで改善する場合があります。
通信切断後に操作ができない。	通信の切断処理に時間がかかる場合があります。 復旧しない場合は携帯電話側BluetoothのOFF → ONを試みてください。	
急に通信できなくなった。	端末によっては途中で通信できなくなる場合があります。 携帯電話側のBluetoothをOFF → ONにすることで復帰する場合があります。	
電話帳の表示が携帯電話と異なる。	携帯電話から送られてくる情報によっては情報が正しく表示されない場合があります。	
無償地図更新の登録受付先が分からず。	OpenInfoに登録して頂く必要があります。 詳細は下記ホームページへアクセスして下さい。 www.MitsubishiElectric.co.jp/openinfo なお、ホームページでの登録期限は2015年7月31日までとなります。	

「共通」のつづき

症状	原因	処置
Bluetooth機器の登録ができない。	機器によっては登録できない場合があります。 動作確認済みの機種は三菱電機ホームページに掲載しています。	
HDMIでスマートフォンとの接続の仕方が分からない。	別売のHDMI変換ケーブル：LE-EAAV-MM (TYPE-E⇒TYPE-A変換)と市販のスマートフォンから出力するためのケーブルを接続する必要があります。なお、HDMI端子はスマートフォンの外部モニターとして使用できるものであり、ナビ画面でのタッチパネル操作はできません。接続可能機種については三菱電機ホームページをご覧ください。	
ガイド線とリアカメラ映像が同時に表示されない。	ガイド線とリアカメラ映像は別々に表示する仕様となっています。 そのため、表示タイミングにズレが生じることがありますが、故障ではありません。	

■ ナビゲーション機能

症状	原因	処置
ナビゲーション機能が起動しない。	地図カードが挿入されていない。	地図カードを挿入してください。 →「SDカードを挿入する」(P18)
	違うSDカードが挿入されている。	専用の地図カードを挿入してください。
自車マークの表示位置が正しく表示されない。	GPS衛星からでている電波信号に問題がある。	GPS受信状態でしばらく走行してください。
	フェリーなどで移動した。	
	駐車場などの方向転換用ターンテーブルにて方向転換した。	
	車速の学習のレベルが低い。	高速道路のような場所で加減速せずに一定速度でしばらく走行してください。
自車マークに点線囲み表示される。	車速信号が取れていない。	車速信号取り直し作業が必要です。 詳しくは販売店にお問い合わせください。
GPSが受信できない。	取り付け直後で自車位置計算に時間がかかる。	見晴らしのいい場所で最大20分位待ってください。
	GPSアンテナ付近のフィルムやカーボン含有の遮光フィルムを貼っている。	GPSアンテナを移設、またはフィルムをはがしてください。
	他のアンテナが近くにある。	GPSアンテナまたは他のアンテナを移設してください。
	GPSアンテナ上にものをのせている。	GPSアンテナ上にあるを取り除いてください。
	GPSアンテナを上下逆に設置している。	取付要領書を確認し、正しく設置してください。
	GPSアンテナを周囲が板金で覆われた場所に設置している。	周囲が板金で覆われていない場所にGPSアンテナを設置してください。
	GPSアンテナのコネクターを本機に接続していない。または、正しく接続されていない。	取付要領書を確認し、正しく接続してください。
走行中、一部の地図が表示されない。	詳細な地図を表示しているときに速い速度で移動すると、一部の地図が表示できない場合があります。 地図の縮尺を広域に変更することで、改善する場合があります。	

次のページにつづく

「ナビゲーション機能」のつづき

症状	原因	処置
渋滞線／アイコン類が表示されない。	自車移動や縮尺変更、地図向き変更などで改善する場合があります。	
路線名称が表示されない。	新規開通道路の制約事項として道路名称を表示できない場合があります。	
探索完了画面でルートの表示が点滅する。	ルート探索完了ごとに再表示するため点滅することがあります。故障ではありません。	
道路の表示が途切れる。	地図のスケールを広域にしていくと国道や高速道路など主要道路以外の道路データを間引くため、道路の表示が途切れることができます。 必要に応じて地図のスケールを詳細にしていただくことで改善します。	
メニューの操作ができない。	安全のため、走行中はメニュー操作ができない場合がある。	安全なところに停車しパーキングブレーキを引いて操作してください。
	エンジンスイッチをACCまたはONにした直後は、データ読み込みのため、地図画面表示後すぐに使えない機能がある。	読み込み完了までしばらくお待ちください。
音声による案内がない。	ナビ音量が[消]になっている。	[システム音の設定]の「システム音量」を[1～7]に設定してください。 →「システムの設定」(P293)
ルート探索を繰り返す。	MusicFolderに録音中は探索が遅くなるため、ルート探索完了時には既に案内点を過ぎている場合があります。 録音を停止することで改善する場合があります。	
突然ルートが変わる。	自動更新をONにしていると、最適なルートが見つかった段階で案内を開始するため、直前でルートが変わることがあります。	
VICS情報が受信できない。	VICS情報がまだ受信できていない。	見晴らしのいい場所で、しばらくお待ちください。
	本機にVICS中継ケーブルが正しく接続されていない。	付属の取扱要領書を確認し、正しく接続してください。
	パワーアンテナ設定が[手動]になっている。	[パワーアンテナの設定]を[自動]にしてください。 →「システムの設定」(P293)
DSRC機能で、受信していない情報が表示される。	一定の条件を満たした情報のみ自動的に表示します。 手動で表示するとすべての情報を表示できますので、自動表示されていない情報が表示される場合があります。	
料金表示が実際と異なる。	各種割り引き表示には対応しておりません。 また、ルートによっては料金が異なる場合があります。	
シンプルマップ表示時、アイコンの表示状態が変化する。	地図向きや自車位置によって再計算するため、表示状態が変化する場合があります。	
シンプルマップ表示時、スクロールすると表示が変わる。	走行中は案内に必要な情報を提供できるように表示内容を変更しています。	

■ レーンアシスト機能

警報のタイミングで違和感があった場合に以下の処置を行ってください。
(但し、微修正に限ります。)

症状	処置
右側が早く鳴る。	取付カメラの設定(P292)で「カメラ設置位置：左右位置」を“+”方向に調整してください。
左側が早く鳴る。	取付カメラの設定(P292)で「カメラ設置位置：左右位置」を“-”方向に調整してください。
警報タイミングが早い。	「レーンアシストの設定」(P291)で「検知感度」を[低]にしてください。それでも早い場合は、取付カメラの設定(P292)で「車幅」を少し小さくしてください。
警報タイミングが遅い。	「レーンアシストの設定」(P291)で「検知感度」を[中]または[高]にしてください。それでも遅い場合は、取付カメラの設定(P292)で「車幅」を少し大きくしてください。

■ オーディオ機能

症状	原因	処置
オーディオの音がでない/ 音が小さい。	音量が最小になっている。	音量を調節してください。
	バランス / フェーダーが 片寄っている。	バランス / フェーダーを調整してください。 →「音質の設定を変更する」(P38)
	「Audio OFF」になっている。	「Audio ON」にしてください。 →「オーディオ機能がOFFのとき」(P49)
ラジオの受信感度が悪い。	アンテナが伸びていない。	アンテナを伸ばしてください。
	アンテナ電源端子が接続され ていない。	パワーアンテナ車の場合は接続してください。
	パワーアンテナ設定が[手動] になっている。	[パワーアンテナの設定]を[自動]にしてください。 →「システムの設定」(P293)
ディスク再生ができない。	ディスクが裏向きに挿入され ている。	レーベル面を上にして挿入してください。
	ディスクが結露している。	しばらくたってから挿入してください。
	ディスクが汚れている。	ディスクをクリーニングしてください。
作成したディスクが再生できない。	ディスク作成時の設定がディスクアットワنسになっているかご確認ください。ディスクアットワанс以外の場合は再生できないまたは音飛びする場合があります。	
USBデバイスを認識しない。	USBデバイスによっては再生できない場合があります。 USBデバイスを一度取り外し、再度接続してください。 それでも認識しない場合は本機でご使用になれないUSBデバイスです。	
再生できないファイルがある。	量子化ビット数が16ビット以外の場合は再生できません。 また、ファイルによっては再生できないものがあります。	
	AACファイルのサンプリング周波数は88.2kHzと96kHzには対応してお りません。	
音楽再生が途中で途切れる。	CDの挿入後【録音する】をタッチすると音楽用SDカードに録音しながらの 再生(追いかけ再生)が始まります。 このように同時に録音と再生を行っている場合、音楽再生が途中で数秒間途 切れることがあります。 録音をしていなければ音楽再生が途切れることはありません。	

次のページにつづく

「オーディオ機能」のつづき

症状	原因	処置
録音できない。 MusicFolderの再生ができない。 MusicFolderの編集ができない。	何らかの原因で音楽用 SD カードにアクセスできない可能性がありますので、MUSIC スロットに挿入されている音楽用 SD カードを取り出し、再度挿入してください。 または、音楽用 SD カードに記録されているデータが破損している可能性があります。データが破損していると、録音や再生、編集ができません。 この場合、データの復旧ができないため音楽用 SD カードを本機で初期化してください。	
AVRCP のバージョンに対応しているがデバイス側の操作ができない。	機器によっては操作できない機能があります。	
Bluetooth Audio 再生時、正しい情報が表示されない。	機器によっては表示するための情報を取得できないものがあります。	
iPod が正しく動作しない。	バッテリーの残量が少ない状態で接続すると、iPod 起動時に正しく動作しない場合があります。	
Gracenote データベースバー ジョンが表示されない。	Gracenote データベースの更新を中断したままになっている。	Gracenote データベースの更新を行ってください。→「Gracenote データベースを SD カードで更新する」(P71)
曲が送り続けられる。	音楽用 SD カードが読めなくなつた。	音楽用 SD カードを一度抜き取り、再度挿入してください。
Blu-ray プレーヤーを接続していないのに、BD アイコンが表示される。	接続していた HDMI 機器を取り外すと BD アイコンを表示する場合がありますが、再度接続すると正しいアイコン表示に戻ります。	

■ テレビ機能

症状	原因	処置
受信できない。	アンテナケーブルの接続不良。	取付要領書に従い正しく配線してください。
地上デジタルTV放送が映らない。 映像が乱れる。	地上デジタルTV放送の放送エリア内ではない。	地上デジタルTV放送は、ある程度受信エリアが限られます。また受信障害のある環境では、放送エリア内でも受信できない場合もあります。
	専用アンテナを使用していない。	専用アンテナをご使用ください。
	miniB-CASカードが正しく挿入されていない。	miniB-CASカードを正しく挿入してください。 →「miniB-CASカードを入れる」(P124)
番組表が表示されない。	番組表が取得できていない。	本機を起動後、最初に番組表を表示するときは、番組データ受信に時間がかかることがあります。 地上デジタルTV放送の場合、視聴していない放送局は番組表に情報が表示されません。 番組データ取得(P131)をすると、番組情報を取得します。
放送局のロゴマークが表示されない。	ロゴマークが取得できていない。	地上デジタルTV放送の各放送局を一定時間受信していると、放送局のロゴマークが表示されます。
字幕や文字スーパーがでない。	「字幕設定」が「字幕なし」に設定されている。	【視聴設定】の「字幕設定」で【第1言語】または【第2言語】に設定してください。 →「TVの設定」(P300)
	見ている番組が字幕や文字スーパーがない番組である。	字幕や文字スーパーのある番組を見てください。字幕や文字スーパーのある番組はソースプレートにアイコンが表示されます。 →「記号について」(P130)
番組内容が変更される。	ワンセグとフルセグで番組内容が異なる放送を受信している。	「自動ワンセグ切換」をOFFに設定してください。 →「フルセグとワンセグを切り換える」(P139)

車両のバッテリー交換を行ったら

車両のバッテリーを交換すると一部メモリーが消去されます。

例：設定したルート

(設定した目的地や経由地は保持されます。)

お知らせ

- ・「起動時セキュリティの設定」(P298)を行っていた場合、起動後パスワードを入力するまで使用できません。
- ・起動時のパスワード入力を3回失敗するとカーナビ機能がロックされます。このときは、ACC OFF→ONを行い再度パスワードを入力してください。

ナビ関連用語

ナビに関する用語を説明します。

オンデマンドVICS (→P216)

携帯電話の通信機能を利用して、全国の渋滞情報、駐車場情報、規制情報などのVICS情報取得できます。この機能を利用することで出発地から遠く離れた目的地までの情報を取得できます。

※ Bluetooth接続ができるDUNプロファイルに対応した携帯電話が必要です。

※ 本サービスの利用は無料ですが、通信費はお客様のご負担となります。

オンライン受信 (→P216)

携帯電話の通信機能を利用して渋滞情報などを受信する機能です。

オンライン受信では、「オンデマンドVICS」と「スマートループ渋滞情報[®]」の受信が可能です。

細街路

道幅の狭い一部の道路。100mスケール以下の地図で表示できます。

走行すると表示されなくなりますが故障ではありません。

市街地地図 (→P170)

スケール10/25/50mで表示されるビルや家の形まではっきりと見える地図です。

自車

本機を装着しているお客様のお車のことです。

ジャイロセンサー

車の進行方向を調べる部品です。

車速センサー

車の走行距離を調べる部品です。

スマートループ渋滞情報[®] (→P216)

本製品のスマートループ渋滞情報[®]は、パイオニア カロッツェリア カーナビゲーションと三菱電機カーナビゲーションのリアルタイムデータを共有し、リアルタイムの渋滞情報を提供します。VICS渋滞情報と合わせて全国約70万kmにおよぶ道路状況に対応。渋滞している道路を回避しながら、より早く目的地に到着できます。

※ Bluetooth接続ができるDUNプロファイルに対応した携帯電話が必要です。

※ ユーザー登録および本サービスの利用は無料ですが、通信費はお客様のご負担となります。

スマートIC

スマートIC(スマートインターチェンジ)は、ETC車載器またはDSRC車載器装着車に限定したインターチェンジで、高速道路の本線・サービスエリア・パーキングエリアなどに設置されたインターチェンジです。

センシングリルート

ルート案内時、故意にルートを外れたとナビが判断した場合に元のルートに戻るリルートではなく、その時点での最適と思われるルートを案内する機能です。

走行軌跡

地図には、自車が走ってきた道に印(点線)がつきます。この印(点線)を走行軌跡といいます。

測位

GPS衛星からの電波を受信して、その情報を元に自車の位置を割り出することを言います。

電波ビーコン (→P216)

電波を媒体として、ビーコンが設置された場所に必要な道路交通情報を提供するもので、主に高速道路に設置されています。

光ビーコン (→P216)

光を媒体として、ビーコンが設置された場所に必要な道路交通情報を提供するもので、主に主要幹線道路に設置されています。

マップコード(→P193)

特定の場所の位置データをコード化し、1～12桁の番号と「＊」(アスタリスク)でその場所を特定することができるものです。従来、住所などを使って、特定の場所を表現していましたが、住所では特定できないところも特定することができるようになります。マップコードに関することは、下記へお問い合わせください。

株式会社デンソーコミュニケーションズ

電話番号 0566-61-4210

受付時間 10:00～12:00

13:00～16:00

(土・日、会社休日を除く)

ホームページ

<http://guide2.e-mapcode.com/>

マップマッチング

実際に走行している道路から外れた位置に自車位置マークが表示されるなど、地図上で誤差が生じることがあります。マップマッチングは、走行軌跡と地図をコンピューターで照合してそれを補正し、自動的に自車位置マークを道路上に表示させる機能です。

ランドマーク(→P156)

お店や施設を、地図上で見やすくするために絵で表した目印です。

レーンアシスト(→P175)

高速道路や都市高速道路を走行中、自車がレーンからはみ出る、または、はみ出す危険性がある場合にブザー音と表示で警告します。

DSRC(ディーエスアールシー)(→P227)

DSRC(Dedicated Short Range Communication)とは専用狭域(きょういき)通信の略称で、ETCを含めて路側と車載器間で利用される通信方式です。また、この通信方式を利用して提供されるサービスのうち、ETC以外のサービスのことをDSRCと呼んでETCと区別して用いることもあります。

ETC(→P235)

有料道路等におけるノンストップ自動料金収受システム(Electronic Toll Collection System)のこと、ETC車載器を取り付けることで有料道路等の料金所を通過する際に、一旦停止することなく自動的に通行料金の支払い手続きが可能になります。

FM多重放送(→P250)

FM放送波を利用して、広いエリアに道路交通情報を提供するもので、各地のFM放送局から放送されています。

GPS(ジーピース) (→P152)

GPSは、Global Positioning System(グローバル・ポジショニング・システム)の略称です。GPSは、米国が開発運用しているシステムで、高度約21,000kmの宇宙空間で、周回している4つ以上のGPS衛星から地上に放射される電波を同時に受信し、現在位置を知ることができるシステムです。

OpenInfo

OpenInfo サービスとは、三菱電機株式会社が運営する会員制の交通情報システムです。OpenInfo サービスを利用すれば、リアルタイムで渋滞情報を取得することができ、より早くスマートな目的地案内を実現します。また、高速道路の開通道路情報や最新の電気自動車用充電スタンド情報もダウンロード可能となり、快適ドライブをサポートします。

OpenInfo では、以下の機能がご利用になれます。

- ・スマートループ渋滞情報[®] (→P216)
- ・開通道路情報更新 (→P255)
- ・充電スタンド情報更新 (→P255)

これらの機能をご利用になるには、あらかじめ登録が必要です。別紙「OpenInfo サービスユーザー登録手順書」に従って登録作業を行ってください。

VICS(ビックス)

VICSは、Vehicle Information and Communication System(道路交通情報通信システム)の略称です。VICS レシーバーセットを装着すると、事故や工事の情報、渋滞状況や主要路線の区間旅行時間、駐車場の空き情報を得ることができます。

3D リアルジャンクション (→P168)

高速道路の分岐点が近づくと、3D の静止画面で実際の分岐のしかたや行き先、ジャンクション名などをリアルに表示します。

オーディオ関連用語

オーディオに関する用語を説明します。

追いかけ再生

音楽CDを録音中にすでに録音済みの曲を頭から再生します。その間も録音はつづけられます。

プレイリスト

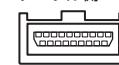
MusicFolderに音楽CDの曲を録音すると、アルバムごとに格納される場所が自動的に作成されます。その場所のことをプレイリストと言います。

HDMI(Eタイプ) (→P148)

本機側



ケーブル側



HDMIの車載用タイプコネクター。

本機は、HDMIのEタイプコネクターのため、家庭用で販売されているHDMIケーブルと接続できません。別売のHDMI変換ケーブルをお買い求めください。

ID3-Tag (→P57)

MP3ファイルの終わりに、曲名/アーティスト名/アルバム名/製作年度/コメント/音楽ジャンルを128バイトの固定の長さにしファイルとして格納しています。

MusicFolder (→P95)

挿入した音楽CDの曲を、音楽用SDカードに録音する機能です。

Sound Settings 関連用語

音質調整に関する用語を説明します。

アジャスタブルFIRグラフィックイコライザー

現在イコライザーの主流となっているIIR(無限インパルス応答)方式は、調整は容易ですが演算回数が多く演算誤差が蓄積されるため音質が著しく劣化します。

一方FIR(有限インパルス応答)方式は、演算回数が少なく音質劣化は最小限に抑えますが、任意の周波数ポイントでの個別調整が難しいという特性があり、イコライザーへの使用は困難でした。

「アジャスタブルFIRグラフィックイコライザー」は、調整時は40bitIIR方式で演算し、再生時には一端64bit演算コアに高精度演算変換をした後、さらにFIR演算方式に変換するため、容易な調整操作と高音質の両立を実現しています。

アジャスタブルFIRクロスオーバーネットワーク

各スピーカーユニットごとに再生周波数帯域や音量バランスを任意に設定できるのが、クロスオーバーネットワークです。

この機能も「アジャスタブルFIRグラフィックイコライザー」と同一の信号処理によって実現されており、64bit演算コアの高精度演算をFIR演算に変換することで、音質を飛躍的に高めました。

イコライザー

周波数特性を調節することができる装置や機能のことと言います。

音像

スピーカーから出力された音で再現されるボーカル、楽器などの位置や輪郭を言います。

音場

スピーカーから出力された音で再現される演奏状況や空間を言います。

カットオフ周波数

ハイパスフィルターやローパスフィルターで減衰させたポイントの周波数を言います。

クロスオーバー

クロスオーバーネットワークとも言い、2Wayや3Wayスピーカーで再生周波数帯域を分割する機能や装置のことと言います。

クロスオーバー周波数

クロスオーバーネットワークで分割された周波数帯域の境目を言います。

ゲイン

電気信号を増幅する装置または増幅した値を言います。

スロープ

ハイパスフィルターやローパスフィルターでの減衰度合いを言います。

1オクターブあたり何デシベル落ちるかを設定するもので、マイナスの値が大きいほど急激に減衰し小さいほど緩やかに減衰します。

Other

次のページにつづく

タイムアライメント

各スピーカーからリスニングポジションまでの音の到達時間を補正する機能のことを言います。

この機能を使用することで、中央で聴くことができない車の中で音の聴こえるタイミングを合わせることができます。

ハイパスフィルター

ローカットフィルターとも言い、高い再生周波数帯域を持つスピーカーに対して低い周波数をカットする装置または機能のことを言います。

パッシブクロスオーバーネットワーク

アンプ(本機または別売の外部アンプ)とスピーカーとの間に設置するもので、各スピーカーが持っている再生周波数帯域に分割した信号を送り込む装置(コイル、コンデンサ等)のことを言います。

フルレンジスピーカー

高域から低域までの周波数帯域を1つのユニットでカバーするスピーカーのことを言います。

実際には音楽CDの周波数帯域をすべてカバーすることが難しいため、2Wayや3Wayなどのスピーカーを使用することが一般的とされています。

マルチアンプシステム

2Wayや3Wayなどで用いられる方法で、高音/中音/低音のそれぞれの音域に対して、専用のアンプを接続し動作させるシステムです。

リスニングポジション

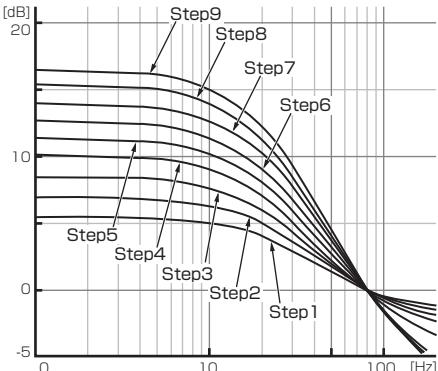
音を最適に聴く位置のことを言います。

ローパスフィルター

ハイカットフィルターとも言い、低い再生周波数帯域を持つスピーカーに対して高い周波数をカットする装置または機能のことを言います。

ローブースト

低域だけを持ち上げる機能のことを言います。



表示	特性(dB/oct)
Step 0	Flat
Step 1	2.0
Step 2	2.5
Step 3	3.0
Step 4	3.5
Step 5	4.0
Step 6	4.5
Step 7	5.0
Step 8	5.5
Step 9	6.0

2Wayスピーカー

ツィーターとウーファーなど2つのユニットで構成されるスピーカーです。2つのユニットを組み合わせることで高域と低域をカバーすることが可能となります。2つのスピーカーに分かれたセパレートタイプや1つのスピーカーに2つのユニットが装着されたコアキシャルタイプがあります。

3Wayスピーカー

ツィーターとミッドレンジ、ウーファーと3つのユニットで構成されるスピーカーです。3つのユニットを組み合わせることで高域、中域、低域をカバーすることが可能となります。2Wayよりもそれぞれのスピーカーの特性を活かすことができるため、余裕を持って動作させることができます。

DVDビデオ関連用語

DVDビデオに関する用語を説明します。

言語コード(→P279)

DVDビデオを再生するときに設定する各言語のコード。

タイトル

DVDビデオにはいくつかの大きな区切りが設定されており、その1つの区切りをタイトルと呼びます。また、各タイトルに設定された番号をタイトル番号と呼びます。

チャプター

各タイトルにはさらにいくつかの区切りが設定されており、その1つの区切りをチャプターと呼びます。また、各チャプターに設定された番号をチャプター番号と呼びます。

続き再生

ビデオ再生中に停止などで再生を中断後、再度再生したときに同じ場面から再生を開始する機能です。レジューム再生とも呼びます。

※ 続き再生ができるときは  が点滅し、できないときは  が表示されます。

ドルビーデジタル

ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮技術。

マルチアングル

1つの場面のアングルを変えて見ることができる機能です。

※ マルチアングル対応のDVDビデオのパッケージには  が記載されています。

レターボックス画面

ワイドソフトを4:3の画面で再生したときに、上下に黒い帯を入れた状態で再生する画面。

ビデオのパッケージに  と表示されているワイドソフトを4:3の画面で再生するとレターボックス画面で表示されます。

ワイドソフト

ワイドテレビ(横16:縦9)で再生するように画像を16:9で収録したソフト。

CPRM

記録型DVDディスクなどに使われている著作権保護技術のこと。

dts

デジタルシアターシステムズ社の開発したデジタル音声圧縮の技術。DVD-VIDEOではオプション規格のため必ず収録されているとは限りません。

MPEG

画像(動画)圧縮の国際標準フォーマット。

NTSC

カラーテレビの方式。

日本ではNTSC方式が採用されており、本機もNTSC方式専用となっています。他のテレビ方式(PAL方式,SECAM方式)で記録されたビデオは再生できません。

(リニア)PCM

音楽CDなどに使用されている音楽記録方式。

テレビ関連用語

本書で説明するテレビ機能の用語について説明します。

エリアCH

位置情報を取得し、そのエリア内で見ることができる放送局を自動的に登録しています。必ずしも受信状態が良い放送局とは限りません。

ドライブCH

旅行先など（一時的に滞在する地域）で放送局を登録するためあります。

物理チャンネル番号

リモコン番号とは異なり、実際に送信されているテレビのチャンネル番号（13ch～62chまで）のことを言います。

フルセグ

家庭用の地上デジタルTV放送のことで、ハイビジョン放送（HDTV）がご覧いただけます。1つのチャンネルを13個のセグメントに分割し、そのうち12個のセグメントを使用しています。本書では「フルセグ」と表現しています。

放送モード

本書では、「フルセグ」と「ワンセグ」の総称を「放送モード」と表記しています。

ホームCH

お住まいの地域（長期的に滞在する地域）の放送局を登録するためあります。

マルチ編成

1つのチャンネルで複数のテレビ番組を放送できるサービスです。

リモコン番号

放送局ごとに決められているリモコンのボタン用の番号です。本機では、画面に表示します。

ワンセグ

携帯電話やカーナビなどの移動端末向け地上デジタルTV放送のことです。1つのチャンネルを13個のセグメントに分割し、そのうち1つのセグメントを使用していることから、「1セグ=ワンセグ」と呼ばれています。

CHモード

各用途に応じて、放送局を登録する「ホームCH」、「ドライブCH」、「エリアCH」の総称を本書では「CHモード」と表記しています。

EPG

Electronic Program Guideの略で、テレビに番組表を表示させるシステムのことです。

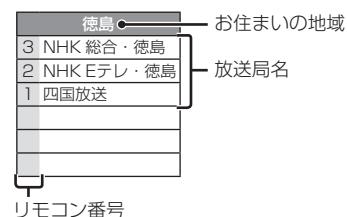
3桁チャンネル番号

マルチ編成でそれぞれの番組を区別するためにリモコン番号と組み合わされた番号のことです。フルセグでは011番から、ワンセグでは611番から始まります。

地上デジタルTV放送のチャンネル一覧表

- ホームCHスキャン(P125,P134)で登録された地域の放送局とリモコン番号の組み合わせは、以下になります。(2013年6月現在)他の地域の放送を受信されたときは、以下のような場合があります。
- この表の放送局名と画面に表示される放送局名は、一致しない場合があります。

表の見かた



お住まいの地域	北海道(札幌)	北海道(函館)	北海道(旭川)	北海道(帯広)
チャンネル名	3 NHK 総合・札幌	3 NHK 総合・函館	3 NHK 総合・旭川	3 NHK 総合・帯広
	2 NHK Eテレ・札幌	2 NHK Eテレ・函館	2 NHK Eテレ・旭川	2 NHK Eテレ・帯広
	1 HBC札幌	1 HBC函館	1 HBC旭川	1 HBC帯広
	5 STV札幌	5 STV函館	5 STV旭川	5 STV帯広
	6 HTB札幌	6 HTB函館	6 HTB旭川	6 HTB帯広
	8 UHB札幌	8 UHB函館	8 UHB旭川	8 UHB帯広
	7 TVH札幌	7 TVH函館	7 TVH旭川	7 TVH帯広

お住まいの地域	北海道(釧路)	北海道(北見)	北海道(室蘭)	青森
チャンネル名	3 NHK 総合・釧路	3 NHK 総合・北見	3 NHK 総合・室蘭	3 NHK 総合・青森
	2 NHK Eテレ・釧路	2 NHK Eテレ・北見	2 NHK Eテレ・室蘭	2 NHK Eテレ・青森
	1 HBC釧路	1 HBC北見	1 HBC室蘭	1 RAB青森放送
	5 STV釧路	5 STV北見	5 STV室蘭	6 ATV青森テレビ
	6 HTB釧路	6 HTB北見	6 HTB室蘭	5 青森朝日放送
	8 UHB釧路	8 UHB北見	8 UHB室蘭	
	7 TVH釧路	7 TVH北見	7 TVH室蘭	

お住まいの地域	岩手	秋田	宮城	山形
チャンネル名	1 NHK 総合・盛岡	1 NHK 総合・秋田	3 NHK 総合・仙台	1 NHK 総合・山形
	2 NHK Eテレ・盛岡	2 NHK Eテレ・秋田	2 NHK Eテレ・仙台	2 NHK Eテレ・山形
	6 IBCテレビ	4 ABS秋田放送	1 TBCテレビ	4 YBC山形放送
	4 テレビ岩手	8 AKB秋田テレビ	8 仙台放送	5 YT5山形テレビ
	8 めんこいテレビ	5 AAB秋田朝日放送	4 ミヤギテレビ	6 テレビユー山形
	5 岩手朝日テレビ		5 KHB東日本放送	8 さくらんぼテレビ

お住まいの地域	福島	茨城	東京	千葉
チャンネル名	1 NHK 総合・福島	1 NHK 総合・水戸	1 NHK 総合・東京	1 NHK 総合・東京
	2 NHK Eテレ・福島	2 NHK Eテレ・東京	2 NHK Eテレ・東京	2 NHK Eテレ・東京
	8 福島テレビ	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 日本テレビ
	4 福島中央テレビ	6 TBS	6 TBS	6 TBS
	5 KFB福島放送	8 フジテレビジョン	8 フジテレビジョン	8 フジテレビジョン
	6 テレビユー福島	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日
		7 テレビ東京	7 テレビ東京	7 テレビ東京
		12 放送大学	9 TOKYO MX	3 チバテレビ
			12 放送大学	12 放送大学

Other

次のページにつづく

お住まいの地域	埼玉	群馬	栃木	神奈川
チャンネル名	1 NHK総合・東京	1 NHK総合・東京	1 NHK総合・東京	1 NHK総合・東京
	2 NHK Eテレ・東京	2 NHK Eテレ・東京	2 NHK Eテレ・東京	2 NHK Eテレ・東京
	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 日本テレビ
	6 TBS	6 TBS	6 TBS	6 TBS
	8 フジテレビジョン	8 フジテレビジョン	8 フジテレビジョン	8 フジテレビジョン
	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日
	7 テレビ東京	7 テレビ東京	7 テレビ東京	7 テレビ東京
	3 テレ玉	3 群馬テレビ	3 とちぎテレビ	3 tvk
	12 放送大学	12 放送大学	12 放送大学	12 放送大学

お住まいの地域	山梨	新潟	富山	石川
チャンネル名	1 NHK総合・甲府	1 NHK総合・新潟	3 NHK総合・富山	1 NHK総合・金沢
	2 NHK Eテレ・甲府	2 NHK Eテレ・新潟	2 NHK Eテレ・富山	2 NHK Eテレ・金沢
	4 YBS山梨放送	6 BSN	1 KNB北日本放送	4 テレビ金沢
	6 UTY	8 NST	8 BBT富山テレビ	5 北陸朝日放送
		4 TeNYテレビ新潟	6 チューリップテレビ	6 MRO
		5 新潟テレビ21		8 石川テレビ

お住まいの地域	福井	長野	静岡	愛知
チャンネル名	1 NHK総合・福井	1 NHK総合・長野	1 NHK総合・静岡	3 NHK総合・名古屋
	2 NHK Eテレ・福井	2 NHK Eテレ・長野	2 NHK Eテレ・静岡	2 NHK Eテレ・名古屋
	7 FBCテレビ	4 テレビ信州	6 SBS	1 東海テレビ
	8 福井テレビ	5 abn	8 テレビ静岡	5 CBC
		6 SBC信越放送	4 だいいちテレビ	6 メ~テレ
		8 NBS長野放送	5 静岡朝日テレビ	4 中京テレビ
				10 テレビ愛知

お住まいの地域	岐阜	三重	大阪	滋賀
チャンネル名	3 NHK総合・岐阜	3 NHK総合・津	1 NHK総合・大阪	1 NHK総合・大津
	2 NHK Eテレ・名古屋	2 NHK Eテレ・名古屋	2 NHK Eテレ・大阪	2 NHK Eテレ・大阪
	1 東海テレビ	1 東海テレビ	4 MBS毎日放送	4 MBS毎日放送
	5 CBC	5 CBC	6 ABCテレビ	6 ABCテレビ
	6 メ~テレ	6 メ~テレ	8 関西テレビ	8 関西テレビ
	4 中京テレビ	4 中京テレビ	10 読売テレビ	10 読売テレビ
	8 岐阜テレビ	7 三重テレビ	7 テレビ大阪	3 BBCびわ湖放送

お住まいの地域	京都	和歌山	奈良	兵庫
チャンネル名	1 NHK総合・京都	1 NHK総合・和歌山	1 NHK総合・奈良	1 NHK総合・神戸
	2 NHK Eテレ・大阪	2 NHK Eテレ・大阪	2 NHK Eテレ・大阪	2 NHK Eテレ・大阪
	4 MBS毎日放送	4 MBS毎日放送	4 MBS毎日放送	4 MBS毎日放送
	6 ABCテレビ	6 ABCテレビ	6 ABCテレビ	6 ABCテレビ
	8 関西テレビ	8 関西テレビ	8 関西テレビ	8 関西テレビ
	10 読売テレビ	10 読売テレビ	10 読売テレビ	10 読売テレビ
	5 KBS京都	5 テレビ和歌山	9 奈良テレビ	3 サンテレビ

お住まいの地域	広島	鳥取	島根	山口
チャンネル名	1 NHK総合・広島	3 NHK総合・鳥取	3 NHK総合・松江	1 NHK総合・山口
	2 NHK Eテレ・広島	2 NHK Eテレ・鳥取	2 NHK Eテレ・松江	2 NHK Eテレ・山口
	3 RCCテレビ	8 山陰中央テレビ	8 山陰中央テレビ	4 KRY山口放送
	4 広島テレビ	6 BSSテレビ	6 BSSテレビ	3 TYSテレビ山口
	5 広島ホームテレビ	1 日本海テレビ	1 日本海テレビ	5 YAB山口朝日
	8 TSS			

お住まいの地域	岡山	香川	徳島	高知
チャンネル名	1 NHK総合・岡山	1 NHK総合・高松	3 NHK総合・徳島	1 NHK総合・高知
	2 NHK Eテレ・岡山	2 NHK Eテレ・高松	2 NHK Eテレ・徳島	2 NHK Eテレ・高知
	4 RNC西日本テレビ	4 RNC西日本テレビ	1 四国放送	4 高知放送
	5 KSB瀬戸内海放送	5 KSB瀬戸内海放送		6 テレビ高知
	6 RSKテレビ	6 RSKテレビ		8 さんさんテレビ
	7 テレビせとうち	7 テレビせとうち		
	8 OHKテレビ	8 OHKテレビ		

お住まいの地域	愛媛	福岡	佐賀	長崎
チャンネル名	1 NHK総合・松山	3 NHK総合・福岡	1 NHK総合・佐賀	1 NHK総合・長崎
	2 NHK Eテレ・松山	3 NHK総合・北九州	2 NHK Eテレ・佐賀	2 NHK Eテレ・長崎
	4 南海放送	2 NHK Eテレ・福岡	3 STSサガテレビ	3 NBC長崎放送
	5 愛媛朝日	2 NHK Eテレ・北九州		8 KTNテレビ長崎
	6 あいテレビ	1 KBC九州朝日放送		5 NCC長崎文化放送
	8 テレビ愛媛	4 RKB毎日放送		4 NIB長崎国際テレビ
		5 FBS福岡放送		
		7 TVQ九州放送		
		8 TNCテレビ西日本		

お住まいの地域	熊本	大分	宮崎	鹿児島
チャンネル名	1 NHK総合・熊本	1 NHK総合・大分	1 NHK総合・宮崎	3 NHK総合・鹿児島
	2 NHK Eテレ・熊本	2 NHK Eテレ・大分	2 NHK Eテレ・宮崎	2 NHK Eテレ・鹿児島
	3 RKK熊本放送	3 OBS大分放送	6 MRT宮崎放送	1 MBC南日本放送
	8 TKUテレビ熊本	4 TOSテレビ大分	3 UMKテレビ宮崎	8 KTS鹿児島テレビ
	4 KKTくまもと県民	5 OAB大分朝日放送		5 KKB鹿児島放送
	5 KAB熊本朝日放送			4 KYT鹿児島讀賣TV

お住まいの地域	沖縄
チャンネル名	1 NHK 総合・沖縄
	2 NHKE テレ・沖縄
	3 RBCテレビ
	5 QAB琉球朝日放送
	8 沖縄テレビ(OTV)

地上デジタルTV放送の受信に関する相談・お問い合わせは総務省まで

総務省 地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター

TEL 0570 (07) 0101

■ その他の機器への接続について

機器やケーブルの仕様および型番は2013年7月現在のものを記載しております。仕様および型番は予告なく変更されることがあります。本書の記載内容と異なる場合がございますがご容赦ください。

Blu-ray® プレーヤー	三菱電機製車載用ブルーレイディスクプレーヤー BD-P100
ETC 車載器	三菱電機製ナビゲーション接続用 ETC 車載器 ※ ETC 車載器のみ接続する場合は接続ケーブル (LE-44EC-7L / EP-9CN9T) を使用します。 ※ VICS と同時接続する場合は接続ケーブル (LE-9OBEC-7L) を使用します。
DSRC 車載器	三菱電機製 DSRC 車載器 ※ 接続ケーブル (LE-68FF-2SS または LE-64FF-2SS) を使用します。
VICS	光 / 電波ビーコン受信機 (CJ-95H) ※ ETC 車載器と同時接続する場合は接続ケーブル (LE-9OBEC-7L) が必要です。
iPod 接続ケーブル	LE-21AV-MM
HDMI 変換ケーブル	LE-EAAV-MM
外部入出力ケーブル	LE-1610AV-FF
ドラコンⅢ	RE-MZ50
リアカメラ	BC-20M 推奨

ソフトウェアについて

オープンソースソフトウェア

FreeType

Portions of this software are copyright 1996-2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006, 2007, 2008, 2009 The FreeType Project (www.freetype.org). All rights reserved.

LibJPEG

this software is based in part on the work of the Independent JPEG Group

EGL

Copyright © 1991-2000 Silicon Graphics, Inc. All Rights Reserved.
<http://oss.sgi.com/projects/FreeB/>

Gracenote サービス

Gracenote, Inc. 提供のCDおよび音楽関連データ:copyright © 2000-present Gracenote. Gracenote Software, copyright © 2000-present Gracenote. 本製品およびサービスには、Gracenote が所有する 1 つまたは複数の特許が適用されます。適用可能な一部の Gracenote 特許の一覧については、Gracenote の Web サイトをご覧ください。

Gracenote、CDBB、MusicID、MediaVOCS、Gracenote のロゴとロゴタイプ、および "Powered by Gracenote" ロゴは、米国および / またはその他の国における Gracenote の登録商標または商標です。



Other

Gracenote エンドユーザー使用許諾契約書

バージョン 20061005

本アプリケーション製品または本デバイス製品には、カリフォルニア州エメリービル市のGracenote, Inc. (以下「Gracenote」) のソフトウェアが含まれています。本アプリケーション製品または本デバイス製品は、Gracenote 社のソフトウェア (以下「Gracenote ソフトウェア」) を使用することにより、ディスクやファイルを識別し、さらに名前、アーティスト、トラック、タイトル情報 (以下「Gracenote データ」) などの音楽関連情報をオンラインサーバーから、或いは製品に実装されたデータベース (以下、総称して「Gracenote サーバー」) から取得し、さらにその他の機能を実行しています。お客様は、本アプリケーション製品または本デバイス製品の本来、意図されたエンドユーザー向けの機能を使用することによってのみ、Gracenote データを使用することができます。

お客様は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーをお客様個人の非営利的目的にのみに使用することに同意するものとします。お客様は、いかなる第3者に対しても、Gracenote ソフトウェアや Gracenote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。お客様は、ここで明示的に許可されていること以外に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様は Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーのあらゆる全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenote は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenote は、お客様に対して、お客様が提供する任意の情報に閲して、いかなる支払い義務も負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc. が直接的にお客様に対して、本契約上の権利を Gracenote として行使できることに同意するものとします。

Gracenote のサービスは、統計処理を行う目的で、クエリを調査するために固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを利用しているお客様を認識、特定しないで、クエリを数えられるようにしています。詳細については、Web ページ上の、Gracenote のサービスに関する Gracenote プライバシーポリシーを参照してください。

Gracenote ソフトウェアと Gracenote データの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用許諾が行われるものとします。Gracenote は、Gracenote サーバーにおける全ての Gracenote データの正確性に関して、明示的または黙示的にかかわらず、一切の表明や保証を致しません。

Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーがエラーのない状態であることや、或いは Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能が中断されないことの保証は致しません。Gracenote は、Gracenote が将来提供する可能性のある、新しく拡張、追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。

また、Gracenote は、任意の時点でそのサービスを中止できるものとします。

Gracenote は、市販可能性、特定目的に対する適合性、権利、および非侵害性について、黙示的な保証を含み、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenote は、お客様による Gracenote ソフトウェアまたは任意の Gracenote サーバーの使用により得られる結果について保証をしないものとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

© Gracenote 2013

仕様

ナビゲーションユニット		
受信周波数		1575.42MHz
受信方式		パラレル12チャンネル
受信感度		-130dBm
測位更新時間		約1秒
地図カード部		16GB
オーディオ		
アンプ部	最大出力	45W×4
	適合スピーカーインピーダンス	4Ω
イコライザー部	10バンドイコライザー	31.5/63/125/250/500/1k/2k/4k/8k/16k Hz 調整幅レベル：±12dB (1dB/1step)
DVD プレーヤー部	対応ディスク	DVD-VIDEO、DVD-R/RW ^{*1} 、DVD+R/RW、 CD-DA、 CD-R/RW (MP3、WMA、AAC、WAV フォーマット) ※1) VR/CPRM フォーマット対応
	周波数特性	5Hz～20,000Hz (CD-DA)
	S/N	90dB
	全高調波ひずみ率	0.01%以下
FM/AM部	受信周波数範囲	FM:76.0～90.0MHz AM:522～1629kHz
	実用感度	FM:12dBf、AM:32dB μ
	S/N	FM:60dB IHF-A、AM:50dB
	左右分離度	FM:20dB (1kHz)
TV部	放送方式	地上デジタル放送方式(日本)
	受信チャンネル	13～62ch
	アンテナ	専用アンテナ
MusicFolder部	形式	SD-Audio規格
	S/N	90dB
	全高調波ひずみ率	0.01%以下
音楽用 SDカード部	対応容量	最大32GB (SDHC規格対応/CPRM対応)
	対応圧縮音声フォーマット	MP3、WMA、AAC、WAV
	S/N	90dB
	全高調波ひずみ率	0.01%以下

次のページにつづく

GPSアンテナ		
防水		防噴流仕様
方式		マイクロストリップ平面アンテナ
モニター		
画面サイズ		7インチWVGA
タッチパネル		抵抗感圧式アナログ（フィルム+ガラス）
外部接続		
外部入力	Audio機器など(RCA 1系統)	映像：NTSC 1.0Vp-p 音声：2.0Vrms MAX (1kHz)
外部出力	アンプ用(4ch)	音声：1.8Vrms MAX (1kHz 0dB)
	サブウーファー用(2ch)	音声：1.8Vrms MAX (100Hz 0dB)
	後席モニターなど(RCA 1系統)	映像：NTSC 1.0Vp-p
カメラ入力(RCA 3系統)	映像：NTSC 1.0Vp-p	
HDMI入力	HDMI Type-Eコネクター	
電源・寸法・質量		
使用電源	DC13.2V(マイナスアース)	
最大消費電流	MAX13A	
動作温度	-10°C～+55°C	
外形寸法	約 幅180×高さ100×奥行き184mm	
質量	約3.3kg	

- ・本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
- ・使用電源が異常に低い場合や高い場合は内部回路保護のため、動作を停止または中断する場合があります。

保証とアフターサービス

■ 保証書について

- ・この製品には保証書が添付されています。
- ・所定事項の記入＜販売店印＞＜お買い上げ日＞および記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。
- ・万一故障した場合の無償修理期間は、保証書に記載している期間に基づきます。

■ アフターサービスについて

- ・調子が悪いときは、まずこの取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

保証期間中の修理は	▶ 保証書の記載内容に基づいて修理いたします。 詳しくは保証書をご覧ください。
-----------	--

保証期間経過後の修理は	▶ 修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。
-------------	--

- ・三菱電機は各機器の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後6年間保有しています。
- ・保証期間中の修理など、アフターサービスについて不明な点は、お買い上げ店か弊社代理店、「お客様相談窓口一覧表」に記載されている最寄りのお店もしくは下記三菱カーアイフォーメーションセンターにお申しつけください。

Other

お問い合わせ先 三菱カーアイフォーメーションセンター

フリーダイヤル **0120-182-710**

（土・日・祝日・弊社の休日は除く / 9:00 ~ 17:30）

用語索引

本用語索引では、使用したい機能をすばやく見つけるために、各機能のキーワードのみを記載しています。他のページにも下記の言葉が記載されている場合があります。

ア行

明るさ	304,305
アングル	84
案内開始	182,195
案内言語	268
イコライザー	47,321
色合い	305
色の濃さ	305
インターネットの設定	286
迂回ルート	205
映像	141
映像情報	128
エコ運転評価	231
エコ情報	24,231
エコ情報の設定	290
エコ情報履歴	231,233
エリア	127,129
エリアCH	324
追いかけ再生	320
オーディオ機能	49
オートセレクト	62,64
音楽CD	66
音楽ファイル	55,73
音質調整	29
音声	80,83,141,301
音声の設定	268,294
音声モード	128
音像	41,321
オンデマンドVICS	216,318
音場	41,321
オンライン受信	216,270,318
オンラインで受信する	224
音量を調節する	14,49

力行

カーブ案内	168,268
開通道路情報更新	255
ガイド線	247
ガイド線表示	288
ガイド線を調整する	288
外部機器接続確認	297
各アイコン	157
画質調整	264,304
カットオフ周波数	44,321
カメラ	24,247
カメラ設定	280,287
画面OFF	264
画面の表示を消す	306
観光ルート	23,196
キーワード変更	186
規制情報	219,221
季節マーク	266
北基準	165
起動時セキュリティの設定	298
距離順基準位置	188
緊急情報	225
緊急放送自動切換	302
繰り返しタッチ	163
クロスオーバー	42,44,321
クロスオーバー周波数	45,321
黒の濃さ	304,305
経由地	195,201
経由地削除	203
系列局	127,133
系列局サーチ	129
ゲイン	44,321
県境案内	168,268
言語コード	279,323
現在地	14,155,159
現在地登録	209
現在地補正	272
検索履歴	183
交差点案内図	167,266
交差点名称読み上げ	268
高速道路情報	178
高速略図	165

高速略図自動表示	267
交通情報	22,65
合流案内	168
小文字/大文字	160
コントラスト	304,305

サ行

サーチ	253
細街路	318
再生できるディスクの種類	53
サブカメラ	248
サブカメラの設定	290
サブメニュー	63,69,76,121,159
シーク	63
市街地地図	170,318
自車	318
自車位置の補正	265,271
自車基準	165
システム音の設定	294
システムの設定	264,293
施設ジャンル	23,187
施設名称	23,185
施設名称入力用キーボード	162
自宅	23,181,208
視聴設定	300,301
自動系列局サーチ	301
自動録音	275
自動ワンセグ切り換え	140
自動ワンセグ切換	301
絞り込み設定	186,189
字幕	83,301
字幕情報	128
字幕設定	301
ジャイロセンサー	318
車種	269
車速センサー	318
車両信号チェック	296
車両取付確認	296
住所	23,184
渋滞予測	269
渋滞予測経路	195
充電スタンド情報更新	255

周辺検索	23,191
受信機設定	300,301
受信強度	128
受信情報読み上げ	270
受信情報割り込み	270
手動録音	275
仕様	331
省エネ情報	195
商標	7
情報確認	137,300
ショートバナー常時表示	302
初期設定	300,303
シングル録音	275
数字入力	85
スキャン	64
スクロール	156,171
スクロール方面名称	171,266
スケール	170
スケールアイコン	170
スタンダード	164
スタンダード2画面	164
スマート IC	178,269,318
スマート IC回避	207
スマートフォンから探す	194
スマートループ渋滞情報 [®]	216,318
スロープ	44,321
設定	24
センサチェック	296
センシングリルート	269,318
全ルート	198
走行軌跡	266,318
走行軌跡データ消去	266
走行情報 (DSRC)	270
走行情報 (オンライン)	270
走行制限	129
走行中の操作制限	7
測位	152,318
ソフトウェアバージョン	138

夕行

タイトル	323
タイトル情報	67,70,106

タイムアライメント	41,43,322	ドルビーデジタル	323
タッチ操作	20		
建物情報	174		
タブスイッチ	20		
探索条件	195,200,201		
探索条件設定	195		
探索の設定	265,269		
探索方法	153		
探索ルート	267		
探索ルート上の合流案内	268		
探索ルート上の踏切案内	268		
地上デジタルTV放送のチャンネル一覧表	325		
地図色	266		
地図データ更新	24,255		
地図表示言語	267		
地点メニュー	156,158,172		
チャプター	323		
駐車場情報	221		
昼夜色	266		
長期通行規制回避	207		
続き再生	323		
ディスク挿入口	15		
ディスクを取り出す	50		
ディスプレイ	14		
デバイスID	287		
デモ走行	199		
電波ビーコン	216,318		
電話	24		
電話番号	192		
電話／郵便番号	23		
電話をかける	243		
電話を使う	239		
到着予想時刻学習リセット	269		
登録地	209		
登録地情報	211		
登録地の設定	208		
登録地名称	266		
登録地／履歴	23,183		
道路縁取り	266		
都市高速入口イラストマップ	167		
ドライブ	127,129		
ドライブCH	324		
ドライブCHスキャン	129,135,136		

		ナ行	
ナビ画面	155		
二重音声設定	301		
ノーマルバナー	127		

		ハ行	
バージョンアップ	261		
バージョン情報	261,264		
ハイパスフィルター	44,322		
パスワード	298		
パソコンからタイトル情報を取得する	109		
パッシブクロスオーバーネットワーク	322		
パワーアンテナの設定	294		
半角／全角	160		
番組内容	127,130		
番組表CH切換	302		
ハンズフリーの設定	281		
ビーコン情報	223		
光ビーコン	216,318		
非測位	153		
微調整	171		
ビデオ再生情報画面	114		
ビデオメニュー	115		
表示の設定	265,266		
フォルダの構成	56		
物理チャンネル番号	128,324		
踏切案内	168		
プリセットスイッチ	62		
プリセット選局	252		
プリセット登録	254		
フルセグ	139,324		
フルレンジスピーカー	322		
プレイリスト	320		
別ルート	206		
変換	160		
変換候補のリスト	161		
方位アイコン	164		
放送モード	128,324		
方面名称	171		
方面名称読み上げ	268		

ホーム	127,129
ホームCH	324
ホームCHスキャン	125,134
本機	14
本機の設定	264

マ行

マップコード	193,319
マップマッチング	152,319
マニュアル選局	254
マルチアンクル	323
マルチアンプシステム	322
マルチ編成	324
ミュージックメニュー	114
無変換	160
メール	137
メッセージ	307
メニュー	127
メモリ初期化	295
免責事項	5
メンテナンス情報	24,257
目的地の設定	181
文字入力	160
文字の種類	161
モニター OPEN	18
モニター角度の調整	264,304

ヤ行

郵便番号	192
用語解説	318
予測渋滞情報表示	223

ラ行

ラジオ	61
ランドマーク	266,319
ランドマーク選択	266
ランドマークを選択する	273
リアカメラ	248
リアカメラの設定	287
リスト表示	73,91,121
リスニングポジション	29,41,322
(リニア)PCM	323

リモコン番号	127,129,139,324
料金所案内図	167
ルート確認	197
ルート残距離	267
ルート自動更新	225,269
ルート消去	206
ルート探索条件	269
ルートの確認	197
ルートの変更	200
ルート編集	23,200
レーンアシスト	175,319
レーンアシストの設定	291
レーン案内	168,268
レーン情報	266
レターボックス画面	323
ローパスフィルター	44,322
ローブースト	44,322
録音する	93
録音方法を変更する	274
ロングバー	128

ワ行

ワイド	83,146
ワイドソフト	323
ワンセグ	139,324
ワンセグ / フルセグ	127,139

A

AAC	59
AM	62
Audio OFF	22,49
Audio ON	22,49
AUX	146
AV	14,49
AVアイコン	51,267
AVの設定	264,274
AVメニュー	22

B

Bluetooth Audio	22,142
Bluetoothの設定	282
Blu-ray [®]	22,147

C

- CH モード 127,129,324
CPRM 323

D

- DISC 22
DSRC 227,319
dts 323
DVD ビデオ 77
DVD ビデオの初期設定 276

E

- EPG 127,131,324
ETC 24,235,319
ETC 車載器の情報 238
ETC の設定 281
ETC の履歴 236
ETC 料金所案内 167
eスタートスコア 232
eスタートマスターレベル 231

F

- FM1 62
FM2 62
FM 多重情報 223
FM 多重放送 216,319
FM 文字情報 24,250
FOLDER 73,88,118

G

- GPS 152,319
GPS 時刻 298
Gracenote 329

H

- HDMI 出力機器 22,148
HDMI(E タイプ) 148,320

I

- IC カード 137
ID3-Tag 320
INFO 14
INFO の設定 264,280
INFO メニュー 24
iPod 22,112
iPod メニュー 116

M

- MAPCODE 23,193
MAP スロット 15,18
miniB-CAS カード 123
miniB-CAS カード挿入口 15
MP3 57
MPEG 323
MusicFolder 320
MusicFolder を聞く 95
MUSIC スロット 15,18

N

- NAVI 14
NaviCon 194
NAVI の設定 264,265
NAVI メニュー 23,157
NoTitle リスト 107
NTSC 323

O

- OpenInfo 7,320

P

- P ANT OFF 22
P ANT ON 22
PLAYLIST 95,96,97,98
PsideP 165

R

- RADIO 22,61

S

SD/MusicFolder	22
SD カード	17
SD カードの曲を聴く	88
Sound Settings	29
S/Wバージョン	138

3Wayスピーカー	322
3D 建物	266
3D ビューマップ	166
3D リアルジャンクション	168,320
3 桁チャンネル番号	128,324
3 次元測位	153
5ルート	195,205

T

TITLE	79,80
TUNE	61,62
TV	22,123,125
TVの設定	300

U

USB	22
USB デバイス	118
USB メモリ	22,118

V

VICS	216,320
VICS 記号	220
VICS 局	226
VICS 考慮	206
VICS 受信局周波数設定	270
VICS 受信時地図色	270
VICS 情報(一般道)	270
VICS 情報(高速道)	270
VICS スイッチ	218
VICS センター	220
VICS 駐車場情報	270
VICS の設定	265,270
VOL	14

W

WMA	58
WAV	60

数字

2 次元測位	153
2Wayスピーカー	322



〒100-8310 東京都千代田区丸の内 2-7-3 (東京ビル)